

Ο

縮 'ο /s/

縮 ροο

縮 ο' /s/

縮 οορς ο ρρς, οορς ο ρορ, οορς ο ρρς, οορς ο ρορ

ο'の形でのみ現れ、このとき3句以外の助詞句とともに用いることはできない。したがって、ο'を含む節全体はο'οという形のみとなる。これに接続詞節が加わることはある。

動速 οοο /sas/

形 (η) 良い (動副) 良く || そうあるべきだと思われるような様子の。

道徳的もしくは倫理的な観点からの良し悪しの判断であるという意味を加えたのがοοοο。

動 οορρς /satlɔs/

動 気分転換する

動 οορρω /satif/

形 (η) 特別な, 特殊な

名 οοδρρ /sakir/

名 リンゴ

動 οοαδδ /safkes/

形 (η) 衛生的な, 清潔な, 綺麗な || 菌などの汚れがなく、健康を害さずに使えるような。

動 οοαδν /safej/

形 (η) 優しい, 親切な

οοαδνは、相手のことを考えている色々な行動をしてくれるという点で優しいことを表す。一方でρδδρρは、相手の気持ちに共感して寄り添えるという点で優しいことを表す。οοαδνは行動が主眼で、ρδδρρは共感が主眼である。

名 οοαδν /safij/

名 優しさ, 親切心

動 οοα /sav/

動 (α'nがe'nを) した方が良くする「～すべき」や「～した方が良い」はοοαδςδδρρ～とする。

δοοαοο ρδρρ ▶ どうしよう || 困ったときなどに言う。直訳すれば「何をすべきか」ということになっているのだろうか」である。

動 οοαοορ /savaθ/

動 (α'がe'nをcaに) 許す, 認める, 許可する, 認可する || caがeを行っても良いと判断する。

動 οοραδς /saθvet/

動 (α'がe'nを) うまくやる, こなす || 失敗せず

にeを行う。

動 οοροα /saθav/

動 (α'がe'nに) 間に合う || それまでにeを行うと決められた時間ちょうどかそれより前にeを行う。

名 οορ /saθ/

名 今日, 本日 || 現在が含まれる1日。本来の語義は上記の通りだが、日常では「(筆者が)前に起きてから次に寝るまでの期間」の意味で使われることも多い。ただし、シャレア語の文脈では(現実時刻で)朝6時に日付が変わる30時間制を採用しているため、混乱を招くことは少ない。

動 οοοαα /safaf/

動 (α'がeを) 教育する, 育てる, しつける || eがより望ましい人間になるように、知識や技能を伝える。

動 οορ /sar/

動 (α'がeで) ある  
常に自動詞継続相で用いられ、それ以外の形では意味を成さない。すなわち、οορς, οορρ, οορρς, οορρς 以外の形では現れない。3句に形容詞を置くことができる。

名 οορ /sar/

名固 ο

動 οορρδ /sarsɔk/

形 (η, ica'nに) 役立つ, 役に立つ || icaをするのが楽になるような効果がある。

動 οορρδδ /sarzεg/

動 (α'がe'nを) 望む, 願う, 切望する, 渴望する, 懇願する || そうでない状態が耐え切れないほどのことであるeを望む。  
この単語を使うときは3句に置かれたδρρ節以下を強調したい場合がほとんどなので、助動詞的に用いられることはない。

動 οορρς /sarte/

動 (caに) ようこそ, いらっしゃい, ウェルカム

動 οορρα /sartef/

動 (α'がeをcaに) 歓迎する || eがcaに来たことを喜ぶ。

動 οορροο /sarjas/

形 (η) 綺麗な, 清潔な

動 οορρρς /sarhis/

動 (α'がe'nを) 極める, 習得する, 体得する, マスターする || eについてどんなことでも知っているなり行ったりできるようになる。

**動** սօրօս /salaf/

**形** (7n) 良い, 善い, 正しい || 道徳もしくは倫理に合致している。

**動** սօրզզ /saliθ/

**動** (aがcaに) 挨拶する || caに敵意や嫌悪感がないことを伝えるために慣習として行われる動作をする。  
言葉を交わす場合は特に սրօօն が使え、お辞儀をする場合は սօրօսոս が使え。ともに սօրզզ の下位語である。

**動** սօրօիօր /sariaθ/

**動** (a'nがeを) 幸運に思わせる, ラッキーと思わせる, 幸せにする  
感情動詞であるので、単純に珍しいことを引き当てただけではなく、それによって嬉しいというところまで含意する。感情を含まない表現として սօրօօս がある。

**動** սօրօյճ /sarjet/

**形** (7) おいしい, うまい, 美味の  
սօրյճ は「おいしい」という意味の基本的な単語で、味が良ければどんな場合でも使える。նօրօսոս は食べると ոոո 的な幸福感を得られる場合に使う。甘いものなどに使うことが多い。

**副** սօտիչ /sanit/

**副特** むしろ  
「Sではなくむしろ Z」は սիսսՅ ախսոսիչ とする。

**動** սօտնօր /sajetθ/

**動** (aがeを) 飾る, 装飾する || eがより良く見えるように、ものを添えたり手を加えたりする。

**名** սօտիչ /sajiθ/

**名** 飾り || ものを飾るときに添えるもの。

**動** սօծծճ /saket/

**動** (aがeを) 振る || 手に持っている eを一定の方向に繰り返して往復して動かす。  
J句には「手」そのものも置ける。  
日本語の「振っている」が経過相なのか反復継続表現なのかは、振っているものや状況による。バットを振る場合は1回振るのを単位とすることが多いため、「バットを振っている」は反復継続表現になりやすい。一方、遠くの人に向かって手を振る場合は1回左右に振るのが1単位とは考えにくいので、経過相で表現される。

**動** սօծ /saf/

**動** (aがe'nを) 好きになる, 好む || eが良いものだと思うようになる。  
好みの度合いを強めたのが ուրզծա。好みの弱い順に սծծա, սծծա ճուրջ նօսոս, ուրզծաՅ

となる。  
人に対する好みは ուրս も使える。ուրսの方が人の性格やオーラが好きというニュアンスが入る。

**動** սօծրճ /salof/

**形** (7) 若々しい, フレッシュな || 一般に若い人々がもっているような活気や勢いをもっている。  
本当に若いかどうかとは関係なく、若さに結びつくようなポジティブな性質をもっていることを表す。  
日本語の「若い」のようなネガティブなイメージはない。そのような場合は ւրսնօր を使う。

**副** սծո /saja/

**副** そう, その通り  
相手の言ったことが正しくそれに同意とき返す。相手が何かを口に出していなくても、相手が考えているであろうことが正しいと表情などから推測できた場合にも使える。英語の間投詞的な exactly に近い。

**名** սծօւծ /savak/

**名** (ieの) 授業, 講義, 講座 || 技能や技術である ieを教員が生徒に対して教えるもの。  
սօրծօ ո սծօւծ ը զնս J սօրսնծա նօսոս ըսս սիսսսսօօս ո սիսս սնծիս զօր.. > 彼の授業はとてもつまらなく、その間に寝ていない者はいなかった。

**動** սծր /saθ/

**動** (aがeをcaに) 教える, 教授する, 指導する || 技能や技術である eをcaが扱えるようにする。  
սօօօս とは異なる。どちらも技能を相手に伝えることではあるが、սծր は技能を伝えることを重点に置く言い方で、սօօօս は相手を人間的に高めることに重点を置く。  
J句には学問や楽器やスポーツなどが入る。

**副** սծրօ /saθa/

**副** 分かる, 確かに  
相手の発言への同意や共感を表す。

**動** սծրօր /saθar/

**動** (aがe'nにcaに) 賛成する, 同意する, 支持する || caがもっている eという意見が自分の考えと合っていると感じる。  
J句には意見の内容を置き、րօ 句にはその意見をもっている人を置く。したがって、「彼に賛成する」は սծրօրսյս զօ զնս となる。

**名** սծրօծ /salak/

**名** 薬, 薬剤 || 病気や傷を治したり健康を維持させたりするために、飲んだり塗ったりするもの。

名 սծիւցօրյծիւցօ /sadiarebias/

名画 サウジアラビア

助 սծոց /sajat/

形 (ի, ican Ի) 適切な, 適当な, 適する, ふさわしい || ica をするときのその場の状況に合っている。

助 սծ /se/

助動 ~で, ~の状態で

修飾する動詞が表す動作の途中もしくは完了後における、その動詞に係るある名詞の状態を表す。例えば日本語の「赤く光る」は、光っている途中における光っているものの色が赤であることを表すので, ազգս սծ սուօօ として表現できる。また「壁を赤く塗る」は、塗り終わった後の壁の色が赤になることを表すので、これも սծ を使って սծսուծսծ սծ սուօօ と言える。

助 սծսօհոս /sesfim/

助 (a Գ e Ե) 緩める, 弛める, たるませる, たゆませる

՝ 句のものにかかっている張力を弱めることを表す。ピンと張っている状態のままでも、張力が弱まっていれば սծսօհոս である。

助 սծս /sez/

形 (ի) 7

助 սծսցծ /setleθ/

助 (a Գ e Ե ca Կ) 掃く, 払う || ca の表面を何らかの道具でなでるようにして、そこにある余分なものである e を取り除く。

սծսցծ Ի սծսօհոս のような区別はなく、何をその場から取り除くかに重点を置かないのであれば、単に ՝ 句を省略すれば良い。

助 սծսօ /setaθ/

助 (a Գ e'n Ե) ?

՝ 句に現在時制無相の動詞をとり սծսօ 自身を継続相にすることで、経過相と同じ意味を出せる。普通に継続相の動詞を使うより、動作の途中であることが強調できる。なお、սծսօ Գ 経過相ではなく継続相にするので注意。

名 սծծիւց /sekθet/

名 動画, 映像, ムービー || いくつかの画像がしばしば音とともに連続的に表れることでものが動いているように見えるもの。特に実際の風景などを撮影したものは ծիւցծիւց Ի 言い、絵やイラストを動かすものは ծիւցծիւց Ե と言う。特に何らかのストーリーがある映像作品については սծծիւց Ե と言う。この単語は実写なのかイラストなのかを区別しない。

名 սծծիւց /seklaθ/

名 映画, ドラマ, アニメーション, アニメ || 何

らかの物語を映像の形で表現したもの。テレビなどで放送されるドラマも映画館で上映される映画なども全てまとめて սծծիւց Ե と言う。また、実写か絵かも問わない。ストーリーに沿って作られた映像全般を指すが、特に、日本でサブカルチャーの1つとなっているいわゆる「アニメ」については ծիւցծիւց Ե を用いることが多い。

名 սծծոց /sekat/

名 画像, 図, 静止画

意味は広く、写真, 絵, イラスト, スクリーンショットなどは全て սծծոց 。

名 սծծիւց /sefer/

名 手前 || 内部で入り口から近いところ。

助 սծծիւց /sefe/

助 ねえ, ねえねえ

սծ Ե 長くしたもの。սծ Ե を続けて 2 回言う代わりに սծծիւց Ե と言う。日本語で「ねえねえ」と「ねえ」を繰り返す言うのと同じである。長くしただけで丁寧度は սծ Ե と変わらない。

助 սծծիւց /sefir/

形 薄い, 薄味の, 味が薄い, あっさりした || 感じられる味の刺激が少ない。

名 սծծիւց /sevlət/

名 ベスト, チョッキ, ジレ, ウェストコート

名 սծծիւց /sepen/

名画 スペイン

名 սծծսծիւց /seθshiz/

名 制服, 学生服

学生が学校などで着るように定められているもののみを指し、企業などの団体が職員や構成員に対して着るように義務づけているものを指さない。

名 սծծիւց /seθzediθ/

名 体操服, 体操着, 体育着 || 学校が体育の授業などで学生に着るように指定している服。意味は語義にあるように狭く、トレーニングウェアやスポーツユニフォームなどを指すことはない。シャツとズボンの両方を指す。

名 սծծիւց /seθhar/

名 セーラー服

海軍の軍服としてではなく、日本の女子学生用の学生服としてのセーラー服を指す。セーラー服の上着とスカートの両方をまとめて指す。つまり、 սծծիւց Ե というより սծծսծիւց Ե である。

名 սծծիւց /seθer/

名 制服, 学生服 || 制服もしくは体操服。

助 **սօճիչ** /serbut/

動 (aが e'nを caを) 叱る, 怒る, 叱責する, 叱咤する || caが悪いことである eをしたので、今後しないように caに強く言う。

助 **սօցո** /sela/

接動 ~するように、~の通りに  
ալբոս ալբոսըս օ՛ր սօցո րոսոս րսւ.. ▶ あなたが好きなように行動してください。  
աուսոնս օ րնս յ րոց սօցո րոսրնս օ շօց յ'տ րսւ.. ▶ 彼は私が予想していた通りにそれを成功させた。

名 **սօցրօ** /seliθ/

名 **レタス, サンチュ, 高苣**  
レタスには様々な種類があり、葉が球状にまとまる結球性のものや、サラダ菜やリーフレタスのように結球しないものがあるが、全て սօցրօ で表せる。

名 **սօրիշտ** /sezem/

名 **温泉** || 地中から湧き出ているお湯を入浴用に貯めた場所。

名 **սօրիժ** /sejik/

名 **窓** || 外の光を取り入れたり風を通すために、建物の一部に開けられた穴。  
指すのは穴の方であり、穴にはめてある窓ガラスの方ではない。そちらは շյուսօրի で表す。  
「窓を開ける」は普通 ճյուսս րօ սօրիժ と表現し、ճյուսնս շյուսօրի とするのは稀である。

名 **սօրիչտ** /se:in/

名 **湖**

助 **սօտ** /sen/

形 (ր) **さん, 様**  
特に固有名詞の後につけて敬称を表す。初対面の人やそれほど交友が深くない人を入名で指すときに用いる。  
固有名詞以外にもつくことがある。例えば、通りがかった人と呼ばれたいときに、日本語で「そのあなた」という感じで ոճ րճօ օսնս と言える。  
形容詞として使われるため品詞は動詞型不定辞に分類されるが、動詞用法や副詞用法への派生のしようがないという点で特殊である。また、修飾する名詞を限定する機能がないという点でも特殊である。

名 **ստնժ** /senet/

名 **セント**  
ドルやユーロなどの補助通貨の単位。基本通貨が何であろうとも、「セント」が使われている通貨に対しては ստնժ を用いる。

助 **ստիչրի** /senix/

形 (ր) **健康な, 健やかな**

人や動物が被修飾語。

助 **ստիչս** /semis/

動 (aが) **黙る, 沈黙する** || 声を発していたのをやめる。

助 **ստիոց** /sejair/

形 (ր) **愛想の良い, 好感をもてる** || 人と接するときに、相手に自然と好感をもたせるような。

助 **սլ** /se/

助 **ねえ**  
相手を呼びかけるときに用いる。  
人に声をかけるときは、見知らぬ相手や目上の人などに対しては սլսլ を、ある程度の知り合いや立場が下の人であれば սլ (もしくは սլսլ) を用いる。親しい人に対しては սլ を用いることもできるが、日本語の「おい」のように少し語調が強く感じられるので、親しく相手でも սլ の方を用いる人もいる。

名 **սլո** /sef/

名 **好み, 嗜好** || 好きなもの。

助 **սլրի** /seθ/

動 (aが eを caに) **あげる, くれる, 贈る** || 好意で eを caに与える。

助 **սլրնժ** /selep/

動 (aが caを) **拭く** || caの表面を布などで擦ることで、そこにある水分や汚れなどを取り除く。

սլրնժ と սլսոսրի はどちらも, րօ の表面を布などで擦って水分や汚れを取り除くことを意味する。սլրնժ は、何の表面を擦るか (րօ 句で表されるもの) に重点を置き、具体的に何を拭き取るかにはあまり言及しない。例えば、食事前に机を拭くことを考えると、これは机の上を綺麗にするという目的はあるが、これといって目立ったある汚れを取り除くというわけではなく、まんべんなくそこを綺麗にするという感じである。このような場合に սլրնժ を用いる。一方 սլսոսրի は、取り除く汚れや水分など (ճ 句で表されるもの) に重点を置く単語である。例えば、机にこぼしたお茶を雑巾で拭く場合や、体の汗を吹く場合などは, սլսոսրի が好まれる。  
拭くのに用いる布などは րիչ 句で表現する。

名 **սլտ** /siz/

名 **7**

助 **սլտժից** /sizkur/

動 (aが eを) **吸い込む** || eを吸って、aの中に完全に入れてしまう。

助 **սլսո** /sitaj/

動 (aが caに) **挨拶する** || 何らかの言葉を発す

ることで挨拶する。  
「こんにちは」などの言葉を発することでの挨拶のみを表す。一方、場面は限定しないので、会ったときの挨拶も分けられるときの挨拶もこの単語で指せる。

**名 ucɔɔn** /sitej/

**名** 挨拶 || 挨拶するときに言う言葉。

**動 ucɔɔɔ** /sitif/

**動** (a が e'n を) 囁く || 小さな声で e を言う。

**動 ucɔɔs** /sitos/

**動** (a が e を) 吸う, 吸い込む, 吸い取る, 吸引する || 気体を利用して引きつけるようにして、液体や固体である e を a の中へ入れる。「中へ入れてしまう」のニュアンスをより強めたのが ucwɔɔɔɔ. coɔɔ と ciwɔɔɔɔɔ の関係と同じである。

**動 ucɔɔɔ** /situt/

**動** (a'n が e を) 孤独にする  
単に孤独なだけなら ucɔɔɔ で、そこに孤独感が伴うなら cɔɔɔɔɔ。

**動 ucɔɔiɔ** /sigir/

**形** (ɸ) 細い, 瘦せた, 狭い || 線状のもの幅の間の距離が小さい。道などの幅が狭いことも指せる他、人間が瘦せていることも表せる。

**動 ucɔɔɔ** /sifes/

**形** (ɸ) 弱い, 軟弱な

**動 ucɔɔɔ** /sifit/

**形** (ɸ) 薄い || 平面的なもの一方の面から裏側の面までの距離が小さい。

**動 ucɔɔɔɔ** /siver/

**形** (ɸ) 詳しい, 詳細な, 細かい  
内容が正確であるというニュアンスは含まない。

**動活 ucɔɔiɔɔ** /sibut/

**動副** 下手に, 粗末に **形** (ɸ) 下手な, 稚拙な, 粗末な

**名 ucɔɔɔɔ** /siθir/

**名** 糸 || 布などを縫ったり織って布地を作ったりするための柔軟で細長いものうち、比較的細いもの。

日本語で糸や紐に相当するものうち、布を縫うときや織物や編み物を作るときに用いるものが ucɔɔɔɔ と ucɔɔɔɔɔ で、それ以外の縛ったり束ねたりするためのものが ɔɔɔɔɔɔ と coɔɔɔɔɔɔ である。ucɔɔɔɔɔ と ucɔɔɔɔɔɔ および ɔɔɔɔɔɔɔ と coɔɔɔɔɔɔ はそれぞれ太さで使い分けられ、ucɔɔɔɔɔ と ɔɔɔɔɔɔɔ がそれぞれのグループの中で細い方である。ucɔɔɔɔɔ はミン糸のようなものを指し、手術で用いる縫合糸もこれで表す。ucɔɔɔɔɔɔ はそれより太いもので、

毛糸が代表例である。これらとは別に、ɔɔɔɔɔɔɔ は靴紐程度の細い紐を指す。coɔɔɔɔɔɔɔ はそれより太く丈夫なものを指す。なお、これら4つの単語はどれも素材では使い分けない。釣り糸や風糸は、日本語では「糸」と呼ばれるが、布の縫合や織物の作成には使われないので、シャレイア語では ɔɔɔɔɔɔɔ で表す。縄跳び用の縄も、日本語では「縄」だが、それほど太くないので coɔɔɔɔɔɔɔ ではなく ɔɔɔɔɔɔɔɔ を使う。

**名 ucɔɔɔɔ** /siθɔɔr/

**名** 麺, スードル || 材料となるものを細長く加工した食品。基本的には小麦粉などに水などを加えたものを細長くして作ったものを指すが、海藻麺や葛切りなども指す。

**名 ucɔɔɔɔɔɔɔɔ** /siθɔɔrviz/

**名** 焼きそば

**名 ucɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔ** /siθɔɔrvizfev/

**名** カップ焼きそば, 即席焼きそば

**名 ucɔɔɔɔɔɔɔɔ** /siθɔɔleɪ/

**名** ラーメン

**名 ucɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔ** /siθɔɔleɪfev/

**名** カップラーメン, 即席ラーメン, カップ麺, 即席麺 || お湯を注いで用意された具材を入れるだけでラーメンとして食べられる状態になる食材。

カップに入っている必要はないが、基本的にはカップに入っているものを指す。ただし、麺単体を指すことはなく、スープの素や具材などを合わせて ucɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔ と呼ぶ。

**動 ucɔɔɔiɔɔ** /sirgid/

**動** (a が e を ca に) 彫る, 刻む || 刃物などで ca の一部分を取り除いたり傷をつけることで、そこに e を残す。

**動 ucɔɔɔ** /silo/

**接動** ~というもの

ucɔɔɔ がついている節の方が結果で、主節の方がその理由。

**名 ucɔɔɔɔ** /silɔɔz/

**名** 指

単に ucɔɔɔɔɔ と言ったら手の指を表すことが多い。足の指の方を特に言いたい場合は ucɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔɔ などとする。

**動活 ucɔɔiɔ** /sitetf/

**動** おとなしく || 騒ぎ回ったり遊び回ったりせずに落ち着いて。活発に動き回るわけではないというだけなので、音や声を出していないかどうかには言及しない。

名 **սրտնոց** /sineθ/

名 下着, 下穿き

名 **սրձ** /sik/

名 髪, 頭髮, 髪の毛

「髪を結ぶ」の「結ぶ」は、多くの場合 սՅԱԾԻԾ ではなく ծՕԱԻԿԸ である。本当に սՅԱԾԻԾ の意味で結んでいる場合もあるので、使う動詞には注意すること。

名 **սրձոգո** /sikθaf/

名 前髪

動 **սրձի** /si:/

動 (a'n が e を) 恥ずかしがらせる || 良くないことのでせいで e に引け目を感じさせる。  
սրձի は「恥ずかしい」の一般的な語。սԻԳՐԸ は恥ずかしさの原因が過去の行動であるということを含意する。例えば、「変な服を着ているので恥ずかしい」なら սրձի しか使えないが、「試験で失敗して恥ずかしい」なら սԻԳՐԸ も使える。なお、日本語では同じ「恥ずかしい」で表現できる ածրի は全く別物なので注意。

副 **սրձո** /sija/

副 おはよう, こんにちは, こんにちは, 初めまして, もしもし  
時刻に関わらず、人を見かけたときや話し始めるときに用いる挨拶。  
初対面の人と会うときの特別な表現はなく、普通は սրձո を用いる。下の例文のように会えて嬉しいという旨を伝えることはあるが、定型表現はない。  
親しい仲なら、短く ոծ ということが多い。  
սրձո! ուօրթօծ յ շճր օ ծրտ շճաԾօԾօծ օ՛ր յ ղճր. ▶ 初めまして! お会いできて嬉しいです。

名 **սրճ** /sit/

名 葉, 葉っぱ

動 **սրճԵ** /sitet/

形 (ր) 酸っぱい, 酸味のある

սրճԵ はレモンなどの柑橘系の酸っぱさを表し、ղԵԱԻԸ はお酢や梅干しなどの酸っぱさを表す。

名 **սրճի** /sið/

名 贈り物, 頂き物, プレゼント, ギフト || 贈るもしくは贈られたもの。  
これから誰かに贈ろうとしている側が贈るものを指すこともでき、贈られた側が贈られたものを指すこともできる。日本語では、前者は「贈り物」と言って後者は「頂き物」と言う場合があるが、シャレイア語ではどちらも սրճի である。

助 **սՅ** /sɔ/

助動 ~のために 接動 ~するために

「彼女のために」のように人をとる場合は սՅրթօ を用いる。

動 **սՅսծօր** /sɔskar/

形 (ր) 本質的な, 根本的な

名 **սՅսծնր** /sɔsker/

名 本質, 根本, 核心

名 **սՅտ** /sɔz/

名 頭 || 動物の首から上の部分。  
首から上全体を表す。頭頂部だけを表すわけではない。

名 **սՅտիԸ** /sɔzit/

名 (izi の) 南

名 **սՅտիԸրյնտյտ** /sɔzitðenez/

名 (izi の) 南南東

名 **սՅԸ** /sɔt/

名 今, 現在

文章中で現在時制が用いられる時間を表す。したがって、小説などの叙述の現在時制が用いられている状況では、その物語が進行している段階の時刻を表す。このときは「そのとき」のような意味になる。なお、このことは現状考察中なので、今後変わる可能性が大いにある。

名 **սՅԸԵ** /sɔtis/

名 子, 子供

性別に言及せずに娘もしくは息子を指す。

名 **սՅԸԵտիԸր** /sɔtishir/

名 孫 || 子の子。

名 **սՅԸԸԵ** /sɔtik/

名 単語, 語 || 言語の中で、意味や機能をもった1つの言葉。

名 **սՅԸճր** /sɔtɛr/

名 肩

名 **սՅԸ** /sɔd/

名 家, 家宅, 家屋, 住居, 住宅 || 人が住むための建物。  
一軒家だけでなく、アパートやマンションなども含める。その場合、各入居者に割り当てられた1区画を指す。  
単純に人が住むための建物を指す。さらに「帰るべき場所」や「拠点となる場所」のような意味合いを加えたい場合は、սՅճյտ を用いる。

名 **սՅԸճյտօ** /sɔdɔvaf/

名 巣 || 動物が棲む場所。

日本語の「巣」はしばしば人間が居座る場所も表すが、սՅԸճյտօ は人間以外の動物の巣のみを表す。

名 οὐσιαστικὸν /sɔdθat/

名 企画, 事業, プロジェクト || あることを行ったり達成するために組まれた一連の計画。ὀν 節を取れる。

名 οὐσιαστικὸν /sɔdθav/

名 アパート, アパートメント, マンション, 集合住宅 || それぞれを1つの住宅として使うために内部をいくつかに分けた建物で、分けられたそれぞれの部分。1つの部屋を指し、アパートもしくはマンションの建物全体は指さない。その意味ではὀνσιαστικὸνを使う。規模では区別しない。また、分譲か賃貸かも区別しない。

名 οὐσιαστικὸν /sɔdað/

名 街, 都市, 都会

名 οὐσιαστικὸν /sɔder/

名 地面, 大地

動 οὐσάδ /sɔk/

動 (aがe'nを) 知る, 分かる  
J句にはὀνσιαστικὸν 節を置くことが多い。間接疑問表現でも良い。日本語の「知らせる」はρουιでも表現できるが、ρουιはοὐσάに比べて意味が限定的なので注意すること。詳しくはρουιの項を参照。

飾 οὐσάδ+ /sɔk/

飾 ~するための部屋, ~の部屋

名 οὐσάδουδῶρ /sɔksaθ/

名 教室, クラスルーム || 生徒に何かを教えるための部屋。建物の中の1つの部屋を指す。日本語では、「書道教室」のように、技能などを教える組織や施設全体を「教室」と呼ぶことがあるが、οὐσάδουδῶρにこの意味はない。

動 οὐσάδουσῶν /sɔksɔt/

形 (τ'n) 初耳な, 初めて知った || その場で初めて知った。  
ὀν J onðc! u'ṽ ouṽduṽc! ▶ 本当? 初耳だよ。

名 οὐσάδουσῶν /sɔktadlit/

名 クラスルーム, ホームルーム, 教室 || クラスごとに割り当てられた教室。学校にある教室のうち、各クラスの生徒がだいたい(の移動教室以外の)授業を受けるために用意されたものを指す。したがって、οὐσάδουσῶνの下位語である。

動 οὐσάδουσῶν /sɔktar/

形 (τ'n) 四角い, 長方形の, 矩形の || 長方形の形をしている。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkter/

名 長方形, 矩形 || 全ての角が直角の四角形。

「4つの辺が垂直または水平である」というニュアンスも含まれる。

名 οὐσάδουσῶν /sɔktɔlek/

名 厨房 || 食べ物の調理をしたりその後片付けをする場所。

名 οὐσάδουσῶν /sɔktɔnis/

名 ダイニング, ダイニングルーム || 食事をするための部屋。語法についてはοὐσάδουσῶνの項を参照。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkdeð/

名 (ieの) 倉庫, 貯蔵庫, 貯蔵室, 保管庫 || ieを貯蔵するための部屋。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkdef/

名 寝室, 寝間, ベッドルーム || 眠るための部屋。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkfeθ/

名 リビング, リビングルーム, 居間, 茶の間 || 個々の人の部屋とは別に、その家に住む人たちが集まって寛いだり会話したりする部屋。οὐσάδουσῶνとοὐσάδουσῶνはどちらも1つの部屋を指す。υṽcɔcɔrɔðとは違い、ある部屋の中の特定の空間を指すわけではない。リビングとダイニングの機能が1つの部屋に統合されている場合は、その部屋がοὐσάδουσῶνでありかつοὐσάδουσῶνでもあることになる。その部屋の一部分がοὐσάδουσῶνで別の一部分がοὐσάδουσῶνというわけではない。なお、この場合はこの部屋はοὐσάδουσῶνの方で指すことが多い。

動 οὐσάδουσῶν /sɔkvi/

動 ほら, ご存じの通り  
誰かに話している最中や話し始めるときに、相手がすでに知っている可能性が高い情報を言い出すときに使う。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkɔlad/

名 トイレ, 便所, 洗面所, 化粧室, 手洗い場, お手洗い, WC, 雪隠, 厠 || トイレがある部屋。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkɔð/

名 図書室, 書房 || 本が保管されている部屋。単に本の保管場所という意味合いしかなく、貸し借りできるシステムがある必要はない。

名 οὐσάδουσῶν /sɔkjetak/

名 風呂場, 風呂, 浴室, バスルーム || 風呂がある部屋。

動 οὐσάδουσῶν /sɔkhið/

動 (aが) 討論する, 討議する, 論争する || ある一定の話題について、個々の理解を深めるために様々な意見を出し合う。討論する話題はrɔðJ句で表現する。ὀνσιαστικὸνとは違いJ句はとらない。

動 **սծօւ** /sɔkɑd/

形 (ㄱ) 主な, 主たる, 主要な, 中心的な, メインの || 関するものの中で本体だと考えられている。「多数派である」というニュアンスは特にない。

動対 **սծծօ** /sɔkɛs/

動 (aがeを) 必要とする, 要る 形 (ㄱ) 必要な, 重要な, 大切な, 大事な, 不可欠な || ものごとに大きく関わっているために, eがないと非常に困ってしまうようになる。さらに「大事だから大切に扱う」という意味を加えたのが ողօծօ。 「~する必要がある」や「~する必要はない」などは սծս を用いて表現する。

名 **սծծրօ** /sɔkið/

名 腕時計, 懐中時計 || 持ち運んで用いるための小型の時計。普通は腕に巻きつけるタイプの腕時計を指す。

動 **սծծս** /sɔkɔs/

形 (ㄱ) 価値のある, 意味のある սլր'սլր'սլր'սլր' սծսւ ս'ր յ սնր օսլսսծծս ռօրօր. ց' սլր'սլր'սլր'սլր' ս'ր.. ▶ そんな意味のないことはすぐにやめて勉強しなさい。

名 **սծծս** /sɔkɔs/

名 価値, 意味

名 **սծծլ** /sɔkɔt/

名 国, 国家

名 **սծծլրօրօր** /sɔkɔtɔθ/

名 外国, 他国, 海外 || 自分が属していると思っている国以外の国。

名 **սծծր** /sɔkɔr/

名 部屋 || 建物の中で、壁や仕切りによって区切られた空間。

名 **սծսւս** /sɔfɛz/

名 家族 家族全体をまとめて սծսւս というのではなく、家族の一人一人をそれぞれ սծսւս という。

名 **սծսւնր** /sɔvɛr/

名 そうえり || 何らかのかわいい動物の概念を拡大して自分がそれであると主張している人。

動対 **սծսւր** /sɔvɔθ/

動 (aがeにziを) 足す, 加える, 合計する 形 (ㄱ, iziを) 足された, 加えられた ես սծսւնր լրսլր րո Է «23 を加えられた 15» すなわち «15 + 23» の意味になる。 սղօրօ ս ես սծսւնր լրսլր րո յ տը.. ▶ 15 + 23 は

38 です。

名 **սծսւրլ** /sɔvɔθ/

名 (ie と izi の) 和, 合計 սծսւրլ լր սլրսլր րո Է «S と Z の和» を意味する。どちらが լր սլր 句でどちらが լրսլր 句かはニュアンスにほぼ影響しない。

名 **սծլ** /sɔθ/

名 (izi の) 右, 右方

名 **սծղօւ** /sɔθɑd/

名 問題, 事件, 案件 || 話題になっている一連の出来事。

名 **սծղօւս** /sɔθɑv/

名 顔 正面から見たときに見える部分までが範囲。耳は入れれないのが普通。

名 **սծղօւսոնրօր** /sɔθɑvɑr/

名 笑顔, スマイル || 微笑んでいるときの顔。

名 **սծրօր** /sɔðɑr/

名 ボール, 球

名 **սծրօրօրլօւնր** /sɔðɑlikɛr/

名 ミラーボール, ディスコボール || 回転しながら光を反射することで装飾となる、表面に鏡を張った球。

名 **սծրլրլրսւնր** /sɔðitɔsɔð/

名 (izi の) 南南西

動 **սծս** /sɔf/

動 (aがe'nを) 考える, 思考する || e の答えを見つけようと頭を働かせる。 յ 句には間接疑問表現が置かれることが多い。

名 **սծսուլ** /sɔfɔt/

名 辞書, 辞典 || 単語の意味や用法についてまとめられた本。多言語間の辞書も 1 言語の辞書も սծսուլ と言える。

名 **սծսօր** /sɔfɑr/

名 参考書, 教科書, テキスト || 文章や絵や写真などを紙に印刷して綴じてまとめたものや電子的にまとめたもののうち、学問や技術を身につけようとして参照するような専門的なもの。学校教育で指定される教科書は特に սծսօրսօսօ と言うが、区別する必要がなければ単に սծսօր で良い。例えば、学校で「教科書を開いてください」と言うときにわざわざ սծսօրսօսօ とは言わず、単に սծսօր で済ませる。 աճր と言ふ範囲は背反なので、 աճր の下位語ではない。





クで図を書いているときに、「黒丸」という表現が塗り潰された丸なのか本当に黒い(塗り潰されていない結果黒板の黒色のままの)丸なのか曖昧になる。αὐτῶν と ἀντίστοιχο を使えばこの曖昧性は解消されるので、シャレイア語では塗り潰された丸のことを ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο と表現することはなく、常に ἀντίστοιχο αὐτῶν と言う。

**名** ἀντίστοιχο /sɔlit/

**名** 問題, 課題, 試験, 考査 || それを行うものの能力を計るために作られた、一連の問の集まり。  
人だけでなく機械の性能試験に対しても使える。

ἀντίστοιχο と ἀντίστοιχο は、どちらも対象を試すために意図的に作られた設問や試験項目の集まりであるが、その目的が異なる。ἀντίστοιχο における目的は、対象の能力がどの程度あるのかを見極めることである。一方で ἀντίστοιχο における目的は、対象の能力を確認したり向上させたりすることである。ἀντίστοιχο の対象は人以外にも機械などがあり得るが、ἀντίστοιχο の対象は基本的に人である。

**名** ἀντίστοιχο /sɔlv/

**名** 親, 両親

性別に言及せずには母もしくは父の一方を指す。母と父の総称というわけではないので注意。両親を両方指したい場合は、そのまゝ αὐτῶν ἀντίστοιχο と言う。

**名** ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο /sɔlvθif/

**名** 叔父母, 伯父母, 伯叔父母 || 両親以外の親戚で、両親と年齢が近い人。

**名** ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο /sɔlvhif/

**名** 祖父母

**名** ἀντίστοιχο /sɔlvɔr/

**名** 道路, 道 || 車道を含むような大きめの道。

**助** ἀντίστοιχο /sɔra/

**助動** ~のために

ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο と同じ意味で、英語の for the sake of に当たる。

**名** ἀντίστοιχο /sɔnɔf/

**名** 生物, 生き物 || 生きているもの。  
生きているもの全般を指すので、動物だけというニュアンスはない。動物を指したければ ἀντίστοιχο を使う。

**動** ἀντίστοιχο /sɔhiz/

**動** (a が e を zi から) 学ぶ, 教わる, 習う, 勉強する || 学問や芸術や技術である e を zi に伝えてもらい、e を身につけようとする。  
単に受動的に教わるだけなのが ἀντίστοιχο, 教わった内容を能動的に実践するのが ἀντίστοιχο。別の言い方をすれば、インプットが主体な

のが ἀντίστοιχο で、アウトプットが主体なのが ἀντίστοιχο。両方の側面がある場合は重点的な方を用いる。例えば、学問なら ἀντίστοιχο になることが多く、ピアノなどの楽器なら ἀντίστοιχο になることが多い。受験勉強としてある教科を学ぶ場合は、問題演習が中心になるだろうから ἀντίστοιχο になる。

**名** ἀντίστοιχο /sɔt/

**名** 体, 身体, 肉体

体の全体を指し、胴だけを指すということはない。  
動物についても植物についても使える。また、人形や造花などの動物や植物を模して作られたものに対してでも使える。

**動** ἀντίστοιχο /sɔd/

**動** (a が e を) 食べる, 食す || e を何度か嘔んで口から体の中へ入れる。

ἀντίστοιχο と ἀντίστοιχο の区別は口の中に入れたものを嘔むか嘔まないかで行う。嘔むなら ἀντίστοιχο で嘔まないなら ἀντίστοιχο である。

ἀντίστοιχο は、とにかく何かを口にすることを表す。一方 ἀντίστοιχο は、昼食や夕食などの 1 日のうちに摂るまとまった食事を食べることのみを表す。

**動** ἀντίστοιχο /sɔkat/

**形** (a) 完全な, 完璧な || あるべき性質は全て備わっており性質的に欠けている部分がない。

**名** ἀντίστοιχο /sɔv/

**名** 状況, 境遇

場所に見立てられる。したがって、「～な状況で」などは ἀντίστοιχο 句で表現する。  
ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο.. ▶ あの人ならどんな状況でも必ず成功させるだろう。

**動** ἀντίστοιχο /sɔvas/

**形** (a) 抽象的な

**名** ἀντίστοιχο /sɔk/

**名** (ica'n) 原因, 要因

**名** ἀντίστοιχο /sɔlað/

**名** スマートフォン, スマホ, 携帯電話, 携帯 || 手に収まる程度のサイズで持ち運びできるようにした、小型のコンピュータ。  
ガラパゴス携帯とスマートフォンの両方を指すが、単に ἀντίστοιχο と言った場合に想起されるのはスマートフォンの方である。  
ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο ἀντίστοιχο.. ▶ 携帯電話を見つめながら歩くのは非常に危険です。

**名** ἀντίστοιχο /sɔhik/

**名** 表, 表面, 表側 || 平らなもの 2 つの面の主な方。

「上を向いている方の面」というニュアンスはない。

**名 υζου** /suk/

**名 知識**

**動 υζου** /suθ/

**形** (f, izi の) 右の, 右方の

**名 υζου** /sud/

**名 食べ物, 食物** 食べるためのもの。

υζου は、食べられるもの全般を指す。cζουζου は、ただの食べ物ではなく特にそれが調理されたものだというニュアンスが入る。cζουου は朝食や昼食のように習慣的に毎日食べるまとまった食事を指す。なお、飲み物は υζου には含まれないが、飲み物を含めて1つの料理や食事だと考えれば、cζουζου や cζουου の一部になり得る。

υ

υ)

c

c)

δ

δ)

ζ

ζ)

θ

θ)

ι

ι)

κ

κ)

λ

λ)

μ

μ)

ν

ν)

ξ

ウ

助 **ウ** */za/*

接助 **そして**

ㄱと同じ使い方だが、前後関係が逆になる。すなわち、**ウ**節が先の出来事で主節が後の出来事である。**ウ**節は基本的に主節より前に置かれる。

助 **ウ** */zaz/*

動 (*a*が*e*を) **驚かせる、驚かす、びっくりさせる**

**ウ**は、予期していなかったニュースなどを知って「そうだったの」と思うときの驚きを表す。**ウ**は、突然物音がしたときなど、不意を突かれて「わっ」と叫んでしまいたくなるような驚きを表す。**ウ**と**ウ**はどちらかがどちらかの下位語ということではなく、別の「驚き」を表す。一方、**ウ**の驚き具合をさらに強めた言い方が**ウ**である。これは**ウ**の下位語である。

名 **ウ** */zat/*

名 **もの**  
不定の物の代詞。

副 **ウ** */zat/*

副 **～する物**

名 **ウ** */zatɔr/*

名 **商品、製品、商物、売り物** || 店などで売られているもの。実態のあるモノとしての商品のみを指す。サービスは**ウ**。

名 **ウ** */zatɔlar/*

名 **芸術作品、芸術品、作品、アート、アートワーク** || 芸術として作られたもの。

名 **ウ** */zatlin/*

名 **標、道標、目標、目印、ランドマーク** || ある場所へ向かうための手助けや目印となるもの。

動 **ウ** */zak/*

形 (ㄱ) **ある、とある**  
不定の修飾の代詞。

動 **ウ** */zaf/*

形 (ㄱ) **赤い**

動 **ウ** */zafɔm/*

動 (*a*が*e*を) **燃やす、燃焼させる、炎上させる** || *e*から炎と煙が出ている状態にする。煙がもくもくと出ている状態が継続相。煙と炎が消えた瞬間が終了相。

動 **ウ** */zavag/*

動 (*a*が*e*を) **叫ぶ、どなる、わめく** || 大きな声

で*e*を言う。

**ウ**に「大きな声で」を加えた単語。ただし、**ウ**句をとることはない。

動 **ウ** */zaved/*

形 **濃い、濃い味の、味が濃い** || 感じられる味の刺激が多い。

動 **ウ** */zafɔd/*

動 (*a*が) **沸く、沸騰する**

動 **ウ** */zafat/*

副 **熱心に、熱意をもって、意気込んで**

名 **ウ** */zaf/*

名 **7/10**

名 **ウ** */zarvak/*

名 **炎、火**

動 **ウ** */zarvik/*

動 (*a*が*e*を) **燃やす、燃焼させる、炎上させる**  
**ウ**は「炎が出ている」という点に重点を置き、燃えている炎の光もしくは炎そのものに注目する。一方で**ウ**は「何かが燃えている」という点に重点を置く。

名 **ウ** */zarvikhif/*

名 **夕焼け、夕日、朝焼け、朝日** || 日が沈む前や日が昇った後に空が赤く見える現象。太陽のことでなく、空が赤く見える現象の方を指す。夕焼けと朝焼けは区別しない。特に区別したい場合は、**ウ**と**ウ**と**ウ**などとする。

名 **ウ** */zarnat/*

名 **熱、熱気、暑気** || 温度の高い部分。

名 **ウ** */zarak/*

名 **夏、夏季**

動 **ウ** */zamek/*

動 (*a*が*e*を) **焼く、焼き上げる、炙る** || *e*をあまり動かさずに熱を加える。**ウ**も**ウ**も熱を与えているという点では同じである。しかし、**ウ**は熱を与えられるものをあまり動かすことはないが、**ウ**はよく動かす。調理以外の加熱にも使える。

動 **ウ** */zag/*

形 (ㄱ) **暑い、熱い** || 温度が非常に高い。

名 **ウ** */zaf/*

名 **火、炎**

大規模なものは特に**ウ**と言う。「火をつける」は**ウ**。これはラ

イターやマッチなどで何かに火をつけることを表す。一方、「火をおこす」は ριρδδωδ ωδω。これは木や竹を擦り合わせて火をつけることを表す。

**名 ωδρ** /zar/

**名 私たち, 僕たち, 俺たち**  
一人称複数を表す。

**名 ωδρ** /zaθ/

**名単 1°C, 1度, 1 摂氏度, 1 セルシウス度**  
温度の単位。

**名 ωδρριρδωδρ** /zaθδδdfɔr/

**名単 1°F, 1度, 1 華氏度, 1 ファーレンハイト度**

**動 ωδωριρδ** /zesðik/

**動 (aがeを) 覗く, 覗き込む** || 何らかの行動をとって、それまで見にくかったeを無理に見る。

**名 ωδωδρ** /zesɔθ/

**名 力, 精神力** || 大変なことやつらいことに立ち向かうための精神的な支えとなるもの。精神力の強さは ωδρι や ραδωδ を用いる。

**動 ωδερρ** /zetid/

**動 (a'nがeを) 混ませる, 混雑させる** || eの使用できるように確保されている場所のうち使われていない箇所があまりないようにする。

**動 ωδε** /zed/

**動 (aがe'nを) しようとする, しようと思う, する気になる**  
意志を表す。助動詞的に用いる。

**動 ωδειρρδε** /zedlig/

**動 (aがeをcaに) 投げる, 投げつける, 投げ飛ばす** || 手に持っているeをcaに向かって力任せに強く投げる。  
腹が立った結果八つ当たりで何かを投げるときに主に用いられる。陸上競技の投擲などで何かを投げる場合は、確かに力任せではあるが、普通は ωδρδωδ を使い ωδειρρδε は使わない。

**動当 ωδεωδ** /zedek/

**副動 とにかく, ともかく, ともあれ, いづれにしても, 何にしても** || 他の事情は別の問題で考える必要はなく。文頭に移動して強調されることも多い。

**動 ωδεωδ** /zedɔt/

**動 (aがeを) 破る, 裂く, 引き裂く, 引き離す** || 薄いものであるeに前後に力を加えて無理に分ける。

**動 ωδδωδρ** /zeksɔθ/

**動 (aがe'nを) 誇る, 誇りに思う, 自慢に思う, 得意に思う** || 自分に関することで優れている

内容であるeに対して良い気分をもつ。「自分の息子の成績が良いことを誇る」のように、J句の内容は必ずしも自分自身の能力に関することなくても良い。

**動 ωδδωδρ** /zɛkfaɪr/

**動 (aがe'n) 自惚れる, 思い上がる, 過信する, 調子に乗る** || 実際以上に優れている内容であるeが正しいと思ひ込み得意げになる。

**動 ωδδρρδρ** /zɛkleð/

**動 (aがeを) 使う** || eに自分のために特定のことをするよう指示し、eを自分の近くに控えさせる。

**動 ωδδρρ** /zɛkaθ/

**動 (aがe'nを) がんばる, 励む, 努める, 尽力する** || 大変なことがあってもeをやめずにやり抜く。  
何かしらの明確な目標がある場合は ωδωρρδρとも言えるが、上位語と下位語という関係とは必ずしも言えない。ωδδρρには困難に耐えるイメージがある。

**動 ωδδδρ** /zɛkeð/

**形 (+) かつこいい, クールな, イケメンな**  
ωδρρ などと対になる。男性的なイメージがある。

**動 ωδδδω** /zɛkez/

**動 (aがe'nをcaを) 応援する**  
励ましてあげようとする気持ちをもつという意味合いである。直接的に手助けするというニュアンスは薄い。  
ρρ句には励ます人を置き、J句にはその人が行うことを置く。  
ωδδδω ρ ρδρ δ'ωη ηρρρρ ρ ρδω ρ ρδρ ρδρρ.. ωδδδωρρ ρ ρδρ δ ρδω.. ▶ 彼の知り合いがアイドルになったと聞いた。応援している。

**動 ωδδδε** /zɛkɔd/

**動 (aがeでcaと) 競う, 争う, 戦う, 競争する, 勝負する** || caとともにeを行って、eの結果に関して互いに劣るまいとする。  
J句には競争するのに用いる競技が置かれ、ρρ句には競争する相手を置く。  
ρρρρρρρρはωδδδεの下位語で、競った結果どちらが勝ちでどちらが負けかをしっかり決めるというニュアンスが加わる。

**動 ωδδδδ** /zɛkɔk/

**動 (aがe'nをziから) 引き受ける, 請け負う, 受ける, 承諾する, 承知する** || ziから頼まれたeをこれから実際に行くと約束する。

**動 ωδδωιρρ** /zɛghir/

**動 (aがcaに) 到達する, 達する, たどり着く, 行き着く** || 様々な困難をくぐり抜けながらcaに行く。「かろうじて」や「やっとの思いで」などの

ニュアンスが含まれる。

**名** **αὐθα** /zef/

**名** 赤, 赤色

**動** **αὐθαδέγω** /zefkur/

**動** (aがeを) 求める, 欲する, 欲しがる || eを何かなんでも自分のものにしたと思う。

**動** **αὐθαδα** /zefed/

**動** (aがe'nを) 納得する || eを理解して、その内容を受け入れる。  
理解するだけなら δάδαδ で、さらにそれを拒絶することなく妥当だと判断するまでを合意する。

**動** **αὐθαδέδ** /zefek/

**動** (aがeをziから) 借りる, 借用する, 借り入れる, 賃借りする || ziのものであるeをお金を払って自分のものとして使う。

**副** **αὐθαίος** /zebar/

**副形** かなり, 非常に, 甚だ, たいそう, 超, めっちゃ

**動** **αὐθαρόδα** /zeθkod/

**動** (aがe'nをcaに) 懇願する, 嘆願する, 懇請する || eを何としてでも行ってほしいとcaに必死に伝える。  
αὐθαρόδα は望みを叶えるよう誰かに訴えかけることを表すが, αοσθαδὶ は単に強く望むという意味があるだけである。

**動** **αὐθαρηος** /zeθraf/

**動** (aがziから) 逃げる, 逃げる, 脱出する, 脱走する, 逃走する || 自由が効かなかったziの外に出る。  
「勉強から逃げる」など、比喩的にも用いられることが多い。  
αοσθαδὶος αοδρ θ'αὐθαρηοςδ αὐθαδὶ ο'αὐθρ δ'αὐθρ οδδρηγ οαδδ. ▶ 早くこの不思議な夢から逃げ出したい。

**動** **αὐθαρος** /zeθas/

**動** (aがziから) 逃げる, 逃走する || ziに捕まらないように、ziから遠ざかったりziが来れないような場所へ行く。  
「逃走する」をイメージすれば良い。「閉じられた場所から外へ出る」という意味では αὐθαρηος を使う。

**名** **αὐθαρη** /zeθer/

**名** 問題, 課題, 事件, 案件 || 考察したり解決しなければならないこと。  
その問題に関して面倒だったりなどで負の感情がある場合は、特に αὐθαρόδ と言える。学校の宿題や入学試験などのように、解く人の能力を見定めたり確かめたりするための問題には αὐθαρη を用いる。

**名** **αὐθαρόδ** /zeðak/

**名** 夫, 婿, 旦那, 亭主, 主人, ご主人 || 結婚した

男性の相手。

**名** **αὐθαρηγ** /zeðir/

**名** 机, デスク, テーブル || 上で何らかの作業をするのに利用する、平らな部分が何本かの脚で支えられた形状をもつ家具。  
αὐθαρηγ は文字を書いたり本を読んだりなどの作業をするための机で、αὐθρ は上に物を置くための机。  
机の下に引き出しなどの物を入れるスペースがある場合、その中を指して δ'αὐθρ αὐθαρηγ と言える。

**名** **αὐθρ** /zer/

**名** こと  
不定の事の代詞。

**動** **αὐθαρηόδα** /zerðot/

**動** (aがeを) 無視する || eの呼びかけや依頼などに応えないようにする。

**名** **αὐθαρος** /zelad/

**名** 課題, 問題, 演習 || それを解く人の理解度を確かめたり理解を深めるために用意された、一連の問いの集まり。

**名** **αὐθαροςαδ'α** /zeladfas/

**名** 宿題, ホームワーク || 授業とは別にやっておくよう生徒に課される課題。

**動当** **αὐθαρηδὶ** /zeleg/

**副動** 苦労して, 辛くも, どうにか, なんとか, やっと || 困難なことがあって苦労しながら。

**動** **αὐθαρηος** /zeRAF/

**動** (aがe'nを) 求める, 追求する || eが実現するように努力をする。  
3句には δ'αὐθρ を置くことが多いが、助動詞的には使われない。

**名** **αὐθαρη** /zeREF/

**名** 夢, 望み, 願い, 願望, 希望 || 努力などをして実現させたいと思っている内容。

**動** **αὐθαρηόδα** /zeMbt/

**動** (aがe'nに) 努力する, 尽力する, 力を注ぐ, 力を入れる, がんばる || あることを実現させるため、eをできる限り真剣に行く。  
実際に行う内容が3句で、目的はα3句で表現する。

**名** **αὐθαρηαρηος** /zezisis/

**名** 土手, 堤防 || 水害を防ぐために川に沿って作られた小高い部分。

**動** **αὐθαρηος** /zehav/

**動** (aがe'nを) 乗り越える, 乗り切る, 切り抜ける, 打ち勝つ, 克服する || 途中で諦めずに困難な状況であるeを解決する。  
3句に置かれるのは、乗り越えた困難な状況の内容であり、乗り越えるのに行った内容で

はない。

**動** **οὐνοσπο** /zehos/

**動** (aがeを) 守る, 護る || eが傷つかないように気を配る。  
οὐνοσπο οὐνοσποσπο ὁ ρουο ρουοσπο ρ ρουο. ο οὐνοσπο. ▶ 彼女を護らなければいけないのは彼女の彼氏だ、私ではない。

**名** **οὐνοσπο** /zedad/

**名** 力, パワー  
物理的な力を指す。

**動** **οὐνο** /zek/

**形** (7, iziから) 前の, 昔の, 以前の || izi までに過ぎ去った。  
時間の基準を表す ρουο 句がない場合は、現在から見て以前を指す。  
οὐνοσπο ρουοσπο ο οὐνο ρουοσπο ρουοσπο ρουοσπο ὁ οὐνοσποσπο ρουοσποσπο. ▶ 少し前から絶望や自己嫌悪を感じなくなった。

**動** **οὐνο** /zef/

**動** (aがcaに) 着く, 至る, 届く, 到着する, たり着く || 移動の最終地点としての ca に行く。  
ρουο に「移動の最終地点」というニュアンスを加えたもの。

**動** **οὐνοσπο** /zebuz/

**動** (aがeをziから) 奪う, 盗む, 掠める, ひったくる || zi が持っていたり身につけていたりしている e を無理に取り上げて自分のものとする。  
いわゆる「パクリ」も οὐνοσπο。

**動** **οὐνο** /zei/

**形** (7) 強い  
οὐνο は簡単に損なわれないという意味での強さを表す。人に対して使えば、つらいことに立ち向かえるなどの精神的な強さを表す。οὐνοσπο は外からの物理的な力に対して壊れにくいという意味での強さを表す。οὐνο は用いている力の強さを表し、主に副詞として用いる。

**動** **οὐνοσπο** /zehis/

**動** (aがeを) 作る, 作り上げる || 大きな苦労や努力の結果、eを生み出す。

**動** **οὐνοσπο** /zediθ/

**動** (aが) 運動する || 体力をつけたり健康であったりするために体を動かす。

**名** **οὐνο** /zeθ/

**名** 朝, 朝方, 午前 || 頭が働き出してからおおよそ正午までの時間。

**動** **οὐνοσπο** /zeθak/

**形** (7) 勇敢な, 勇気のある, 度胸のある || 困難な状態や危険な状態で怖がらずに行動する

ことができる。

**名** **οὐνοσπο** /zeθek/

**名** 勇気, 度胸 || 困難な状態や危険な状態で怖がらずに行動することができる気力。

**動** **οὐνο** /zet/

**副動** 強く, 力強く **形** (7) 強い, 力強い || 用いている力が大きい。  
οὐνοσποσποσπο ο ρουο ὁ οὐνοσποσποσπο. ▶ 彼は私を力強く抱き締めた。

**動** **οὐνοσπο** /zevisθ/

**動** (aがeを) 削ぐ, 削ぎ落とす, 削る || eの表面を薄く剥がすように切り取る。

**動** **οὐνοσπο** /zevof/

**動** (aがeを) 練習する, 勉強する, 習う || 学問や芸術や技術である e に関して教わったことを実践して上達させようとする。  
οὐνοσπο は、教わったことの練習という「勉強」の一側面という意味合いが強い。一方で οὐνοσπο はもう少しカジュアルな語で、上達のために反復練習をするという意味で広く使える。

**動** **οὐνο** /zi/

**助動** ~から  
起点などを表す。

**名** **οὐνο** /zis/

**名** 人  
不定の人の代詞。  
οὐνο は特定の 1 人に定まっているわけではない。したがって、単独で οὐνο とだけ言った場合は人全般を指し、修飾語句をとって οὐνο οὐνοσποσποσπο ο ρουο ρουοσποσποσπο などとすればシャレリア語を話す人全般を指す。一方で、οὐνο は特定の 1 人を指す。ただし、1 人に特定されてさえいれば良いので、筆者や読者が具体的にその 1 人が誰かを知っている必要はない。

**動** **οὐνοσπο+** /zis/

**動** ~する人

**名** **οὐνοσποσποσπο** /zisarhis/

**名** (ie の) プロ, エキスパート, スペシャリスト || ie についてどんなことでも知っている行ったりすることができる人。  
職業にしている必要はなく、単に非常に熟練していることを表すだけである。

**名** **οὐνοσποσπο** /zisaθ/

**名** (ie の) 教師, 教員, 先生 || ie を生徒に教えている人。

**名** **οὐνοσποσπο** /zischiz/

**名** (ie の) 学生, 生徒, 学徒 || 先生から ie を学んでいる人。

名 **ուրսանձոյն** /ziszkleđ/

名 主人, マスター

名 **ուրսանաղբս** /ziszdezθis/

名 メイド, お手伝い, お手伝いさん, 家政婦, 女中

日本語の「奴隷」とは違い、労働の強制などといったマイナスイメージはない。

名 **ուրսառօղջի** /zisvalđ/

名 (ie の) 運営者, 管理者, 指揮者, 指揮官 || ie を運営する人。

名 **ուրսօրնորոյ** /zisdelar/

名 (ie の ica の) 声優, キャラクターボイス, CV || ie という作品に出てくる ica の声を当てている人。

助 **ուրսօրնտի** /zisđom/

形 (ր) 消極的な, 弱気な || ものごとに関してあまり自分から進んではやろうとしない。

名 **ուրսօրն** /zisrej/

名 恋人, 想い人, 愛人, 情人 || 恋をしている相手。

助 **ուրսօ** /zisa/

助助 ~の方から

助 **ուրսան** /zizet/

助 (a が ca を) 追う, 追いかける, ついて行く || 前に進んでいる ca がいる方向へ進む。

名 **ուրսծծ** /zitak/

名 リュック, リュックサック, ナップサック, バックパック, 背囊 || 荷物を入れて背負って持ち運ぶための袋状の用具。

助 **ուրսճ** /zite/

助助 ~から, ~以来 助助 ~から, ~以来 期間の開始点を表す。これが修飾する動詞は期間相か反復表現になることが多い。

助 **ուրսբբ** /zitir/

助 (a'n が e'n を ca に) ためらわせる, 躊躇させる || e を行おうとしていた ca に、それをやめようと思わせる。しようとしていたことをやめようと思わせた原因が恐れの場合は、特に սբբսբբ と言う。

名 **ուրսճ** /zid/

名 意志, 意力 || あることを行おうとする思い。

助 **ուրսիբծ** /zidig/

助 (a'n が e を) 苛つかせる, 苛立たせる, イライラさせる || e を思うように行うことができないために e を不快な気分させる。սիբբծ և սիբբծ には「物事が思うようにいかない」というところは同じである。սիբբծ

には思い通りにならないことに 3 句で表される人がまだ介入できるというニュアンスがあるが、սիբբծ には逆に思い通りにならないことをどうにかしたいがどうにもできないというニュアンスがある。

助助 **ուրծոս** /zikad/

助 (a が e を) 残す, 取っておく, 余らせる 助 (ր) 残った, 残りの || e という一部分は使ったりせずにそのままにし、他の部分を使う。語釈では「一部を使わない」と表現したが、3 句の内容が食べ物であれば「一部を食べない」になるなど、ここでの「使う」は広く解釈して良い。

սիբբոս և սիբբոսիս ս'օ յ ճնցծծ սբբս սնոց ցնծ սնոցս ու ճն օրոյնը. ▶ 後から到着する友人のために少し料理を残しておいてください。

名 **ուրծն** /ziked/

名 残り, 残り物, 余り

ծո սնտուօս րօբբս ու ճնց ցօ և սիբծն օսնց յնծր րօճ և սնոցծ ս'օ րօ րծն! ▶ そこに着くまであとどのくらい歩かないといけませんか?

助 **ուրծնց** /zikor/

助 (a が e'n を) 経験する, 体験する || ? 助 (ր) սիբծրօս յ ճնց ~ まで「~したことがある」の意味になるが、ことさら「経験」ということを強調する意図がない場合は、単純に過去時制を用いて「~した」と訳すことが多い。

名 **ուրծբբ** /zikur/

名 経験, 体験

ծօսուօս յ սիբծբբ րծն ճնց ~ まで սիբծրօս յ ճնց ~ と同じ意味になる。

助 **ուրճ+** /zif/

助 ~を戻す, ~の逆操作を行う 「着る」から「脱ぐ」を作るような感じ。

助 **ուրճառաս** /zifefas/

助 (a が e と) 離婚する

助 **ուրճբբ** /zifit/

助 (a が e'n を zi から) 戻す, もとに戻す, なかったことにする || e を行った結果 zi の状態になってしまっているところから、e を行う前の状態にする行為を行う。行ってしまったことを打ち消すようなことをさらに行うという意味。例えば、「パソコンを壊した」という行為をしてしまったのなら、「パソコンを直す」という行為をすることを指す。このとき、ուր 句の位置には「壊れたパソコン」などが入る。

助 **ուրճա** /zifim/

助 (a が ca に) 戻る, 帰る || もともといた場所である ca へ行く。



動 **ւրճսօ** /zifɔs/

動 (aが e'nを) 反省する, 省みる || 過去に行った e について、その善悪などの判断しようとあれこれ考える。  
J 句には過去に行った行動が入る。

動 **ւրճճի** /zibeð/

動 (a'nが e を ca'nを) 後悔させる, 悔やませる, 惜しませる || 過去に行った ca をしなければ良かったと e に思わせる。

名 **ւրջ** /ziθ/

名 (izi の) 後ろ, 後方

動 **ւրջի** /zið/

形 (ր) 7/10

助 **ւրջիճ** /ziðɔ/

接助 ~というのも  
ւրջիճがついている節の方が結果で、主節の方がその理由。  
因果関係が弱い場合は սրջճ も使う。

動 **ւրջսրճ** /zirsif/

形 (ր) 無口な, 寡黙な, 口数の少ない || 人と会話するのが苦手で、あまり人と話したがない。

名 **ւրջրցօ** /zirtas/

名 からかい, おちょくり || からかうときに行う内容。

動 **ւրջրցր** /zirtis/

動 (aが ca を) からかう, ふざける, おちょくる, 囃し立てる || ca が嫌な気分になることや驚くようなことをわざとして、その様子を楽しむ。

ծնթսօւց の項で解説されている通り、ւրջրցր には相手を本気で悲しませようとする意図はない。一方、ծնթսօւց には相手のことが嫌いだとか悪意をもっているなどのニュアンスが少なからず入る。

名 **ւրջրճճ** /zilɔk/

名 過去 || 現在の時点で過ぎ去った期間全体。  
օ րճճ տիճօծ օ սօ րճսօր օ րճր յ յւրջ. տրցսր րօ  
ւրջրճճ յ յօրիճր ճր ճ ճր օրց. ▶ あなたが何もせずに過ごした時間は、1秒後に過去になる。

動 **ւրջրտրց** /zimɪt/

動 (aが e'nを) 回想する, 追憶する, 振り返る, 省みる, 反省する || 過去の出来事である e を思い出しながら、あれこれ考える。

動 **ւրջտիճ** /zimer/

形 (ր) 最後の, 終わりの

動 **ւրջտրց** /zimɪt/

形 (ր, ica について) 逆の, 逆さの, 反対の || 方向などの何らかの関係性について、一方が本

来あるべき方ではない状態になっている。

動 **ւրջ** /zit/

形 (ր, izi より) 前の

名 **ւրջի** /zid/

名 場所  
不定の場所の代詞。

動 **ւրջի+** /zid/

動 ~する場所

名 **ւրջիւրցրճ** /zidɔlek/

名 キッチン, 台所, お勝手, 調理場, 炊事場, 厨 || 食べ物の調理をしたりその後片付けをする場所。  
調理場だけの部屋である必要はなく、部屋の一角に調理用の施設がある場合でもその箇所を **ւրջիւրցրճ** と言える。調理場だけで部屋になっている場合は **սծծրցրճ** とも言える。

名 **ւրջիւրճր** /zidɔð/

名 駐車場 || 車を停めておくための場所。  
1台分の駐車スペースだけを指すわけではなく、駐車スペースが確保されている区画全体を指す。

名 **ւրջիւտօ** /zidnaf/

名 畑, 田, 田畑, 耕地 || 植物を育てるために用意された土地。  
畑と田は区別しない。

名 **ւրջիճ** /zik/

名 (izi の) 前, 昔, 以前 || izi までに過ぎ去った時間。  
基準点より前のある 1 点を指すのが **ւրջիճ**、現在より以前全体を表すのが **ւրջրճ**。しかし、**ւրջիճ** を用いても、時間の基準を表す **րուր** 句がない場合は、現在から見て以前を指す。

**ւրջիճ** や **րօրիճ** は、何らかの基準時刻 (言及がない場合は現在) から見て前か後かを表す。しかし **սլտ** や **րիսօր** は、そのような特定の基準との関係については触れず、時間軸上で前の方に行われたのか後の方で行われたのかを述べるのみである。

名 **ւրջիւրց** /zifir/

名 固 ジーフィール

名 **ւրջր** /zi/

名 強さ  
ծօւտօ օ րճր յ **ւրջր** սօւրցա օրջիճ ճրօ րճր. ▶ あなたにはあなたにしかない特別な強さがある。

動 **սւճսր** /zɔsit/

動 (a'nが e を) いっぱいにする, 満員にする, 満席にする || e の使用できるように確保されている場所のうち全てが使われている状態に

する。

**動** ωάουε /zoθet/

**動** (aがe'nをcaに) **自慢する** || 自分に関する  
ことで優れていると思っている内容であるeを  
得意げにcaに伝える。

ωάουεは優れていると思っている内容につ  
いて伝えるだけだが、φδουάουεはその内容  
を実際に相手に見せることを表す。

**名** ωάου /zot/

**名固** ω

**動** ωεεεε /zulet/

**動** (aがeを) **罰する, 懲らしめる, お仕置きす  
る** || 規則に反する行為をしたeが同じよう  
なことをしないように、eに嫌なことをさせ  
る。

日本語の「お仕置き」程度のニュアスで  
あり、それほど重くない。φάουεεεεに対応す  
るものだと考えれば良い。

**名** ωεεεε /zult/

**名** **罰, お仕置き** || 規則に反する行為をした人  
を罰するために行わせる内容。

u  
U)  
C  
C)  
ò  
ò)  
o  
C)  
ó  
ó)  
φ  
φ)  
oo  
oo)  
φ  
φ)  
U  
U)  
o  
o)  
o

## C

縮 **c** /t/縮 **ყც**名 **cou** /tas/

名 1

名 **couყც** /tastir/

名 袖口 || 袖のうち手を出す方の一部分。

動 **couყც** /tastar/

動 (aがeを) 掬う, 掬い上げる, 汲む || 液体や粉状のものにくぼんでいる部分をもつものを入れ、それを持ち上げることでeを取り出す。

語義の「液体や粉状のもの」とし句のものは同じである必要はない。例えば、「砂糖をさじで掬う」の場合は、砂糖の集まりにさじを入れてその一部の砂糖を取り出すが、「金魚を掬う」の場合は、水の中に掬う道具を入れて、それを持ち上げることで金魚をそこから取り出している。どちらの場合でも **couყც** が使える。日本語の「汲む」は、水などを掬い上げるという行為に注目するなら **couყც** が使えるが、単に容器に入れることを表すだけなら **ყაძეცა** などを用いる。名 **couყც** /tasθar/

名 袖 || 上半身に着る衣服のうち腕を覆う部分。

手を洗っていて袖口が濡れてしまったときに「袖が濡れた」と言うなど、日本語の口語では袖口を指して「袖」と言うことが多いが、シャレイア語では「袖口」を意味する **couყც** を常に使う。名 **couყცყცა** /tasθartev/

名 半袖 || 肘までない長さの袖。

名 **couყცყცა** /tasθalst/

名 長袖 || 基本的には腕の手首までをほぼ覆える長さで、少なくとも肘を覆える長さの袖。

単純に **couყცყცა** とだけ言った場合は手首までである袖がイメージされるが、七分袖なども **couყცყცა** に含まれる。名 **cou** /taz/

名 数

「数」というものそのものを表す。

名 **couყცყაღა** /taztiziv/

名 整数

名 **couყცყცა** /tazdilst/

名 自然数 || 1以上の整数。

**couყცყცა** は「ものを数えるための数」というニュアンスがある。個数を数えるときは普通 1 から始めるので、**couყცყცა** の厳密な定義は「1以上の整数」であり 0 は含まれない。一方、**couყცყცა** は「計算のための数」というニュアンスである。金額などを扱うときは「何も加えない」ということがあり得ることから、**couყცყცა** は厳密には「0以上の整数」を表す。動 **couყცყ** /tazθer/

動 (aがeを) 覗く, 垣間見る, 覗き見する || 少しの空間を通してその向こう側であるeを見る。

語義の「少しの空間」とは、穴のようもとから狭い空間ももちろん指すが、例えば顔の半分だけを壁の縁から出して向こう側を覗く場合など、覗く人の位置や姿勢によって見ることができる部分が制限されている場合も含む。

名 **couყცყცა** /tazθiler/

名 自然数 || 0以上の整数。

名 **couყითღრისი** /tazhaii/

名 画 ハイリア数

助持 **couყ** /tazi/

助形 ~にとって、~から見て

判断する視点を表す。

**uყცა ჰბოცის ო სპოცა ოცად ჰ ოსაბნუ რეოყცა ყაყ. ობ ოცა ჰ ოცისაბნუ რეოყცა ცაყ.** ▶ この問題はあなたにとっては重要なかもしれないが、私にとっては重要ではない。名 **couყც** /tazit/

名 昨日 || 今日より1つ前の日。

「昨日」と言いたい場合は普通 **couყც** を用いるが、説明的に **couყ ოყც** というこもできる。名 **couყცნოყც** /tazithir/

名 一昨日 || 今日より2つ前の日。

名 **coc** /tat/

名 ? || その日の0時からいづらか経過した後の瞬間。

**coc** 単独で用いられることはない。通常、**coc რყ** の後に時間を表す単位名詞+数詞の塊を続けて、ある時刻を表す。例えば、**coc რყა ცაბ ობ ობიყცა აბ** は「14時50分」。名 **couყც** /tadlit/

名 クラス, 学級, 組 || 学校において、授業を行うために生徒をいくつかに分けたそれぞれの集団。

- 名** **содѣд** /tadek/  
**名** 同 **タデック**
- 名** **содѣдѣс** /tadeklot/  
**名** 同 **タデックロット**
- 名** **содѣс** /tadis/  
**名** (izi の) 半分 || izi を 2 等分したものの一方。
- 飾** **сод+** /tak/  
**飾** ~の程度, ~の度合い, ~のレベル
- 名** **содѣдѣ** /takzag/  
**名** 温度 || 熱いもしくは冷たいの程度。  
「室温」は「部屋そのものの温度」というより「部屋の中の空気sの温度」という意味なので, содѣдѣ сѣдѣсではなく содѣдѣдѣ сѣдѣсと言う。
- 名** **содѣдѣсѣ** /takzagsot/  
**名** 体温 || 動物などであるその体の温度。
- 名** **содѣдѣдѣ** /takzaghak/  
**名** 気温 || 内部の空気sの温度。  
単に содѣдѣдѣと言ったら外気温を指す。
- 名** **содѣсѣс** /taktoluθ/  
**名** 横の長さ, 幅 || 横方向の長さ。
- 名** **содѣсѣсѣ** /takdavom/  
**名** 太さ, 幅 || 太いもしくは細いの程度。
- 名** **содѣсѣ** /takdem/  
**名** 深さ, 深度 || 深いもしくは浅いの程度。
- 名** **содѣсѣс** /takdaz/  
**名** 重さ, 重量, 目方 || 重いもしくは軽いの度合い。
- 名** **содѣсѣдѣс** /takvakez/  
**名** 大きさ, 容積 || 内部の 3 次元的な大きいもしくは小さいの度合い。
- 名** **содѣсѣсѣ** /takvaf/  
**名** 大きさ, 体積, 容積 || 3 次元的な大きいもしくは小さいの度合い。  
外から見たときの大きさを表す。中身のサイズは содѣсѣдѣс。
- 名** **содѣсѣсѣ** /takvaθ/  
**名** 広さ, 面積 || 2 次元的な広いもしくは狭いの度合い。
- 名** **содѣсѣсѣсѣ** /takvislat/  
**名** 縦の長さ, 垂直方向の長さ, 鉛直方向の長さ, 高さ, 深さ || 縦方向の長さ。  
содѣсѣсѣは сѣсѣсѣの度合いを表すため, 建物などの地面に固定されているものの最上部から地面までの長さを表す。содѣсѣсѣсѣは地面に固定されているというニュアンスは含まないので, 例えば部屋の高さやプールの深さなど, あらゆるもの(箱状のものの中

- 身も含む)の鉛直方向の高さを表す。
- 名** **содѣсѣсѣ** /takvit/  
**名** 速さ, 速度 || 速いもしくは遅いの度合い。
- 名** **содѣсѣсѣдѣсѣ** /takvikief/  
**名** 経度
- 名** **содѣсѣсѣсѣ** /takvot/  
**名** 数, 量, 数量, 分量
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣ** /takpadit/  
**名** 蓋然性, 可能性 || どの程度実際に起こりやすいかの度合い。
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣсѣ** /takfodot/  
**名** 価格, 値段
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣсѣ** /taklisak/  
**名** 縦の長さ, 奥行き || 縦方向の長さ。  
語義の通り сѣсѣсѣ 句のものの縦方向の長さを表すが, 日本語の「奥行き」の意味にもなることに注意。例えば, 部屋の寸法について話しているとする。содѣсѣсѣсѣсѣは сѣсѣсѣсѣで表される方向の長さのことであり, сѣсѣсѣсѣは水平面の中の上下(または前後)方向を指すので, 結果的にこれは日本語の「部屋の奥行き」に対応するわけである。各単語が表示する方向の詳しい使い分けは сѣсѣсѣсѣの項を参照。
- 名** **содѣсѣсѣ** /taklot/  
**名** 長さ, 距離, 身長 || 長いもしくは短いの度合い。
- 名** **содѣсѣсѣсѣ** /takjiθ/  
**名** 緯度
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣ** /takhiθ/  
**名** 高さ, 背, 背丈 || 高いもしくは低い程度。
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣ** /takhiθ/  
**名** 高さ, 高度 || 高いもしくは低い程度。
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣсѣ** /takad/  
**名** (ica の) チーム, クラブ, 会, 団体 || ica をともに行うために組織された何人かの人の集まり。
- 名** **содѣсѣсѣсѣсѣсѣсѣ** /takadkeder/  
**名** (ie の) 研究会, 学会 || ie を研究するために組織された団体。  
集会ではなくグループを指す。
- 動** **содѣсѣсѣ** /takez/  
**動** (a が e を) 掴む, 握る || 手の指を内側に曲げて, その指と掌の間に e を入れてしっかりと固定する。
- 動** **содѣсѣсѣсѣ** /takek/  
**動** (a が e で ca を) 補う, 補完する, 補足する, 埋める, カバーする **形** (†) 補足の || 不足してい

る *ca* のところに *e* を加えて足りるようにする。

**名** **codɕ** /takit/

**名** (*izi* の) 程度, 度合い, レベル

合成成分 **cod+** として主に形容詞として用いられる単語に合成され、その形容詞の程度を表す名詞型不定辞を作る。

**名** **codɕɟ** /takur/

**名** 箱, ケース, ボックス || 何かを中に入れておくためのもので、大きめで基本的に直方体状のもの。

**名** **coaɟɟ** /tafeθ/

**名** 通路, 通り道, 道 || 部屋や建物などの2つの空間を行き来するのに作られた道。

**名** **coaɟɟɔɕɟ** /tafeθfir/

**名** トンネル, 隧道 || 山や地下の地面を掘って貫通させた通路。

**名** **coaɟɟɟɟ** /tafeθlɟs/

**名** 廊下, 回廊 || いくつかの部屋を行き来するための、比較的長い建物内の通路。

**名** **coaɟɟɟɟɟɟ** /tafeθhidsɔɟ/

**名** 渡り廊下 || 2つの建物を繋ぐ空中に設置された通路。  
日本語の「渡り廊下」は2つの建物を繋ぐ通路全般を指すが、**coaɟɟɟɟɟɟ** は建物の2階以上を空中で繋ぐもののみを指す。

**飾** **coaɟ+** /tav/

**飾** ~するためのコーナー, ~コーナー

**名** **coaɟɟɟɟɟ** /tavɟɔð/

**名** 図書室, ライブラリー || 本などの資料を保管して、利用者が見れるようにしたり利用者に貸し出したりするコーナー。

**名** **coaɟɟɟ** /taveθ/

**名** コーナー || 何らかの目的のために設備などが整えられた部屋やスペース。

**助** **coφ** /taθ/

**形** (ɸ) ある, とある || たまたまそのときに関連していた。  
被修飾語は人や場所や時間など何でもあり得る。

**名** **coφoc** /taθat/

**名** 出入り口 || そこに入ったりに出たりするために外と繋がれている部分。

**名** **coφocðɟɟ** /taθatkuv/

**名** 入り口, エントランス || そこに入るために外と繋がれている部分。  
入り口専用として使われている箇所を指す場合や、「入るため」というニュアンスを特別加えたい場合に用いる。そうでなければ

単に **coφoc** と言う。

**名** **coφocɟɟɟɟɟ** /taθatɟɟɟɟ/

**名** 出口 || そこから出るために外と繋がれている部分。  
出口専用として使われている箇所を指す場合や、「出るため」というニュアンスを特別加えたい場合に用いる。そうでなければ単に **coφoc** と言う。

**名** **coφðɟ** /taθar/

**名** 明日, 翌日 || 今日より1つ後の日。  
「明日」と言いたい場合は普通 **coφðɟ** を用いるが、説明的に **coφi oðɟ** というのもできる。

**名** **coφðɟɟɟɟ** /taθarhir/

**名** 明後日, 翌々日 || 今日より2つ後の日。

**助特** **coφɟ** /taθe/

**助名** ~のような, ~に代表される  
**ciɟðɟɟoφioc o uɟɟoðɟ omoɟɟɟɟɟ oφiɟɟ ɟcoφɟ ɟɟɟ**. ▶ 彼のような素晴らしい教師は他にいない。

**助対** **coφɟð** /taθek/

**助** (*a* が *e* を) 乾かす, 乾燥させる **形** (ɸ) 乾いた || 濡れていた *e* の液体分をなくす。  
*o* 句には人が置かれる。  
気体も被修飾語になれる。

**名** **coφɟɟ** /taθiv/

**名** 単 1%, 1パーセント || 100分の1個。

**名** **coφi** /tað/

**名** 日

**名** **coφiɟɟi** /taðsið/

**名** クリスマス, 降誕祭 || グレゴリオ暦の毎年12月25日。

**名** **coφiɟɟo** /taðzaf/

**名** 元旦, 元日, 正月 || 特定の暦における年の最初の日。

**名** **coφiɟɟɟɟɟ** /taðzirtis/

**名** エイプリルフール, 四月馬鹿 || グレゴリオ暦の毎年4月1日。

**名** **coφiɟɟɟi** /taðbig/

**名** 大晦日 || 特定の暦における年の最後の日。

**名** **coφiɟɟo** /taðɟaf/

**名** (*ica* の) 誕生日 || *ica* が生まれた日付。  
「誕生日おめでとう」は **ɟ coφiɟɟo omoɟɟɟɟ** と言う。

**名** **coφiɟɟo** /taðɟif/

**名** 七夕 || グレゴリオ暦もしくは日本旧暦の毎年7月7日。

名 **coqɔɔɔɔɔɔ** /taðletjem/

名 バレンタインデー || グレゴリオ暦の毎年2月14日。

名 **coqɔɔɔɔ** /taðɪraf/

名 休日, 休み || 学校や仕事などが無い日。土曜日と日曜日の総称としての使い方は無い。

名 **coqɔɔɔɔɔɔɔɔɔ** /taðɪraflɔvɔt/

名 祝日, 祭日, 国民の祝日

名 **coqɔɔɔɔ** /taðit/

名 壁 || 建物や部屋などを囲んで外側と内側を縦に仕切っているもの。

名 **coqɔɔɔɔɔ** /taðɔd/

名 島 || 周りを水で囲まれている比較的小さめの大地。全体から見て比較的小さいものを指す。例えば、日本列島の本州やオーストラリア大陸を指して **coqɔɔɔɔɔ** と言うことはあまりない。また、川の中州のように陸がしっかりしていないものは指さない。周りが海である必要はなく、湖の中にある島なども指せる。

名 **coq** /tar/

名 回, 度  
基数や序数を伴って回数を表す。例えば「8回」は **coq** **oq'ooqo** となり「8回目」は **coq** **oq'ooqo** となる。単位名詞ではないので、数詞が直接修飾することはできない。「何度も」は **qo** **coq** **oɔɔɔɔ**。この表現は必然的に反復を表すので **oɔɔɔɔ** とともに用いられる。

**oɔɔɔɔ** **oɔɔɔɔɔɔ** **ɔɔɔɔ** **o** **qɔɔ** **ɔ** **qɔɔɔɔɔɔ** **qo** **coq** **oɔɔɔɔ**. ▶ 彼女は何度もリボンを結び直した。  
**oɔ** **ooqooqo** **qo** **coq** **oqooq**. **oɔɔ'ooqo** **o** **ooqo** **qo** **ooqooqooqɔɔ**. ▶ 今度晴れたら遊園地に行きましよう。

名 **coq** /tar/

名 固 **c**

飾 **coq+** /tar/

飾 ~部, ~側

名 **coqɔɔɔɔ** /tarsɔθ/

名 右部, 右側, 右 || その一部のうち右にあるもの。

名 **coqooqɔɔ** /tarziθ/

名 後部, 後ろ側, 後ろ || その一部のうち後ろにあるもの。

助動 **coqɔɔɔɔ** /tartik/

副動 少しずつ, 徐々に || 動作を何回か行う各回の進み具合が少しであるような。

名 **coqooɔɔɔ** /tardem/

名 下部, 下側, 下 || その一部のうち下にある

もの。

名 **coqooɔɔɔɔɔɔɔɔ** /targe.ɔqooɔɔ/

名 固 **グレゴリオ暦**

名 **coqooɔɔ** /tarfeθ/

名 側面, 側部  
外側から見た側面も内側から見た側面も指す。

名 **coqooqo** /tarθat/

名 冒頭, 出だし, 始まり || 物語や話などの最初の部分。

名 **coqooqo** /tarθaf/

名 前部, 前側, 前 || その一部のうち前にあるもの。

名 **coqooqo** /tarθes/

名 帳簿, 帳面, 手帳 || 一定の種類の情報を書き込むためにすでに専用の書式などが書かれている紙を束ねたもの。家計簿やスケジュール帳など。

名 **coqooqɔɔ** /tarθið/

名 左部, 左側, 左 || その一部のうち左にあるもの。

**oɔɔqooqo** **oqooqo** **o** **ooqo** **oɔɔ** **coqooqɔɔ** **ɔ** **ooqooqo**. ▶ 道路は左側を歩きましょう。

名 **coqooqoo** /tarθɔb/

名 ロープ, 縄, 綱 || ものを縛ったり束ねたり結んだり繋いだりするための柔軟で細長いもののうち、比較的太いもの。

名 **coqooqɔɔ** /tarðis/

名 暦, カレンダー

名 **coqooqooqɔɔ** /tarhari/

名 固 **ハイリア暦**  
普通は4代以降で使われている新ハイリア暦を指す。新旧の区別をしたいときは、それぞれ **coqooqooqɔɔ** と **coqooqooqooqɔɔ** とする。

名 **coqooqooqooqɔɔ** /tarharizit/

名 固 **旧ハイリア暦**

名 **coqooqooqooqooqɔɔ** /tarharaited/

名 固 **新ハイリア暦**

名 **coqooqoo** /tarhif/

名 上部, 上側, 上 || その一部のうち上にあるもの。

**ooqoo** と同様に、語義の「上側」の「上」というのは、そのものに暗黙的に定まっている方向ではなく、絶対的位置を基準とする。ペットボトルを例に挙げると、普通はキャップがある方を上に置すが、キャップがある方が下に置かれていれば底の方が重力と反対方向の側になるので、**coqooqoo** が指すの

は底がある方になる。こう決まった経緯は H2457 を参照。

名 **согоци** /talad/

記号, 符号, 印, シンボル, マーク || 特定の意味をより簡潔に分かりやすく表すために取り決められた文字や図形。日本語の「記号」ほど意味は広くなく、特定の意味をより簡潔にパッと見て分かるように、ある分野や用途ごとに定められたもののみを指す。天気記号を例にとると、「晴れ」や「雷」などの文字に比べ、天気記号は図案化によって (意味を知ってさえいれれば) パッと識別できるよなになっている。このよなものが согоци である。

名 **согоцирицтос** /taladōinat/

ビクトグラム, 視覚記号, 絵記号, 絵文字 || 絵やイラストによる記号。

名 **соголти** /talem/

タオル, 手ぬぐい || 濡れたものを拭くための布。普通はタオル地 (表面に糸を輪状にしたものができるよう織った生地) のものを指すが、そうでないものも表す。

名 **соголтирцд** /talemθik/

ハンカチ, ハンカチーフ || 携帯用の小型のタオル。普通はタオル地 (表面に糸を輪状にしたものができるよう織った生地) のものを指すが、そうでないものも表す。

名 **согорцд** /talik/

一部, 部分, 一部分 || ものをいくつかに分けたものうちの1つ。「部品」や「構成要素」の意味合いは薄い。もともと1つのものを恣意的にいくつかに分けたときの分けられた1つを指し、より小さいものを集めたり組み合わせたりしたときの1つの部品というわけではない。

動 **сотицдр** /tamər/

概略的な情報の深さや細かさの小さいことだけを表す。「主要部だけを取り出してまとめた」というニュアンスが入る「要約」とは異なる。

動 **сон** /taj/

若い, 年少の, 幼い, 幼少の || 生まれてから比較的あまり時間が経っていない。

動 **сондр** /tajer/

(aがeを) 掃除する, 清掃する || 汚れていたたり整理されていない場所である e を綺麗にする。ゴミを拾って捨てたり、雑巾などで拭いて埃を取り除いたり、散らかっているなら整頓したりなど、その場所を心地よくさせる

よな行為をまとめて言う。

動 **сдг** /tat/

(aがe'nを)?  
J句に現在時制無相の動詞をとり сдг 自身を継続相にすることで、継続相と同じ意味を出せる。普通の表現より、動作完了後の状態が続いていることが強調される。

名 **сдц** /tat/

(icaの) 種類, 種, 型, タイプ

動 **сд** /te/

助動 ~に [接動] ~するとき時刻を表す。

動 **сдудг** /teskur/

(aがeをcaに) 挿す, 挿入する, 差し込む, 入れる, 刺す || 穴が開けられているものや筒状のものである ca の中に、棒状の e を収める。го 句のものに開けられている穴は、арцрцд でも сдудсд でも良い。го 句に穴そのものを置くことはできない。したがって、「鍵を鍵穴に指す」をそのまま сдудгсдсд сдсддр го арцрцдсдсдсд と表現することはできず、сдудгсдсд сдсддр го дрцрцд とする必要がある。

名 **сдурц** /tesir/

瞬間, 一瞬, 途端, 時, 刹那 || 非常に短い時間。「非常に短い」とは言っても、どのくらいの短さかは場合による。

сд сдурц арцрцд ▶ 次の瞬間に сдсдсд о рдсд сдсдсдсдсд сд сдурц.. ▶ 彼は一瞬で夕食を食べ終えた。

動 **сдурц** /tezi/

助動 ~の前に, ~以前に [接動] ~する前に

動 **сдц** /ted/

(+) 今の, 現在の, 現行の, この何かしらの順序付けがなされているところで、今話題にしているところの順番を指す。урцрцд 「過去」と дрцдрцд 「未来」の間に сдсд 「現在」があるように、урцсд 「前」と рцрцд 「次」の間に相当するのが сдц である。例えば、「今月」は дрддд сдсдсд。сдсдсдсдсдсд о сддр го арцрцдсдсдсдсд сд сдсд сдсдсд.. ▶ 今月は4回東京に行った。

名 **сдцддр** /tedeθ/

(iziの) 西

名 **сдцддрцддрцд** /tedeθkelər/

(iziの) 西北西

名 **сдцддрггддздр** /tedeθtərsəθ/

(iziの) 西南西

助 **αὐτῶς** /teku/

助動 〰の間、〰の間中 接動 〰する間、〰する間中

意味は「〰する間中ずっと」で考えると分かりやすい。論理的には、動詞の相が表す期間に αὐτῶς 句の内容が表す時間が完全に含まれていることを表す。したがって、瞬間相や無相と同時に用いられることはない。

名 **αὐτῶ** /tef/

名 1 時間

助 **αὐτῶν** /tefev/

助 (a が e を) 引く、引っ張る 〰 手前に向かって e に力をかけて動かそうとする。

助 **αὐτῶν** /tef/

形 (+) 短い 〰 線状のものの端から端までの距離が小さい。

助 **αὐτῶν** /tevod/

助 (a が e を) 折る、壊す 〰 e に力や衝撃を加えて、複数の部分に切り離す。

助 **αὐτῶν** /tepit/

助 (a が e を ca に) 貼る、貼り付ける、くっ付ける、貼付する 〰 e の粘着性のある部分を ca に接触させるか、e を別の粘着性のあるものとともに ca に接触させて、e を付着させる。ペタッと貼る感じ。

助 **αὐτῶν** /tebem/

形 (+) 馬鹿な、頭の悪い 〰 ものを考えたり理解したりする能力が低い。  
αὐτῶν は思考力のなさを表し、δόξα は知識のなさを表す。一方で νόσος はこれとは違う軸の単語であり、一見無意味な行為をよくする様子を表す。

名 **αὐτῶν** /teθnas/

名 小麦

助 **αὐτῶν** /teθa/

助動 〰の後に、〰以降に 接動 〰する後に

助 **αὐτῶν** /teθaf/

助 (an が e を) 幸運にする 形 (+) 幸運な、運が良い、ラッキーな  
ラッキーかそうでないかは基本的にその場限りの話なので、常に運が良いということの意味しない限りは、形容詞としてではなく動詞として用いる。

名 **αὐτῶν** /teθef/

名 運

副 **αὐτῶν** /teθis/

副 まあまあ、そこそこ、それなりに 〰 程度が甚だしく高いわけでも甚だしく低いわけでもない。

名 **αὐτῶν** /teθer/

名 膝

名 **αὐτῶν** /teθiv/

名 町、街

名 **αὐτῶν** /ter/

名 私、僕、俺

一人称単数を表す。日本語のように多様ではなく、αὐτῶν のみである。  
一人称複数では οὐδὲν で、αὐτῶν οὐδὲν とはできない。これは、「私たち」というのは「私」が複数いるのではなく、「私」を含む人間複数を目指すためである。

名 **αὐτῶν** /terkos/

名 印、目印、マーク 〰 他のもとの簡単に区別できるようにつけられた何らかの情報。

名 **αὐτῶν** /termit/

名 掌、手 〰 握ったときに内側になる方の手の表面。

助 **αὐτῶν** /telef/

助 (a が e を) 叩く、打つ

ἀσπασε と比べて軽く叩くことを表す。

αὐτῶν οὐδὲν οὐδὲν οὐδὲν αὐτῶν. ▶ 彼は私の肩を軽く叩いた。

副 **αὐτῶν** /tele/

副 えー、えっと、あの、その、あのね

名 **αὐτῶν** /telis/

名 ご飯、飯

炊いた後の食べられる状態のものを指す。

助 **αὐτῶν** /teiz/

助 (a が e を) 飲む 〰 e を嘔まずに口から体の中へ入れる。  
「飲む」という意味で一般に用いられるのが αὐτῶν。「体の内部に入れてしまう」という意味を強調したのが αὐτῶν。

助 **αὐτῶν** /temver/

助 (a が e を) 塗る、色付ける、着色する、彩色する、塗装する

塗るのに使う道具は φερεν 句で表す。同じく日本語の「塗る」に対応する αὐτῶν は塗るものを φερεν 句に取れるが、αὐτῶν は φερεν 句を取らない。  
「赤く塗る」のように塗った後の状態を表したい場合は αὐτῶν 句を使う。  
必ずしも物理的に塗料を塗りつけている必要はない。例えば、CGなどで下絵に色を付ける場合も αὐτῶν と言える。

助 **αὐτῶν** /temed/

助 (a が e を zi で) 塗る、塗布する、塗り付ける 〰 液体状やペースト状をした zi を e に擦るようにつける。



塗り付けるものが **ուր** 句である。  
 「ペンキを塗る」などのように、塗る対象に色を付けることに重点を置いている場合は **ՀԱՄԱՅՈՂ** を使う。彩色する場合でも、塗料を塗り付けることそのものに注目する場合は **ՀԱՄԱԿ** も用いることができる。

**名 ՀԱՄԻՐՔ** /temiθ/

**名** **パンツ**, **パンティー**, **ショーツ** || 下半身に身につける下着。

**間 ՀԷ** /te/

**間** **էւ, ւէտ, ան, տն, անոն**  
 次に何を言うかとっさに思いつかなかったときに、話をつなぐために挿入される間投辞。  
 埋める間が長いときは **ՀԱՅՁ** を用いる。

**名 ՀԷԾԿՍ** /tekis/

**名** **トルコ**

**助当 ՀԵՂ** /ter/

**副助** **ときどき, たまに** || 特定の期間において、するかしないか半々くらいの頻度で。

**名 ՀԷԿ** /ted/

**名** **ドア**, **扉**, **戸** || 部屋などの出入口に取り付けて、開いたり閉じたりできるようにしたもの。  
 出入口に取り付けられるものを表すので、**雨戸**を指して **ՀԷԿ** とは言えない。

**名 ՀԷԿԱՅՈՂ** /tedsej/

**名** **窓** || 窓に取り付けて、建物の中と外を区切るためのもの。

**助当 ՀԵՂ** /teθ/

**副助** **まず, 初めに, 最初に** || 最も先に。

**名 ՀԷՂ** /teð/

**名** **手**  
 手首から先の全体を指す。指は含める。  
 「手をつなぐ」は **ՀԷՂ** ではなく **ՊՈԳՅՈՒՆ** を用いて **ՎՅՈՂՅՈՒՆ ԵՎ ՊՈԳՅՈՒՆ** と表現する。

**助 ՀԷՂՅԱՆ** /telen/

**助** (**a** が) **回る, 回転する**  
**ՀԷՂՅԱՆ** はそのものの中にある軸を基準に回転することを表すが、**ԳՅԱՅԿ** はある地点の周囲をぐるぐる回ることを表す。全く別の意味なので注意すること。地球で例えるなら、自転が **ՀԷՂՅԱՆ** で公転が **ԳՅԱՅԿ** 。

**名 ՀԷԺ** /tek/

**名** (**izi** の) **間, 隙間** || **izi** で挟まれている箇所。  
**ՀԷԺ ՀԱՐԿ Մ Յ Ս** で「S と Z の間」の意味になり、この形で使われる。

**助 ՀԷԺ** /teg/

**助** (**a** n が **e** を) **不満にさせる** || 欲求や望みの通りのことが起こっていない結果、**e** を悪い気

分にさせる。

**名 ՀԷՂՐՈՂ** /teθað/

**名** **船** || 人や物を運ぶための水上を動く比較的大きな乗り物。  
 手で漕ぐタイプの小型のボートやヨットは基本的に含まない。

**助持 ՀԿ** /ti/

**接形** **～するほど, ～するくらい, ～するように** 程度を表す。

**ՆՈ ՔԻՇՈՐԸ ՕՐՈՅՈՍ ԶՈՅԾ Օ ՀԵՂ ԵՎ Ս ԿՐՍ ԶՈՅՁ ՀԸՐ ԳԵՆՈՅՁ ՕՂ ԵՄ ԱՆՏՈՍ ԱՆՈՒՅՆՁ ԶԺՅԺ ՕՂ Ե ԳՆԱ!**  
 ▶ 絶対に護ってやると思えるほどまた誰かを愛することはできるのだろうか。

**ՈՒՐԱՍՈՍ Հ ԵՂ. ՈՒՍԱՆ ԵՂՅՈՍԻ ԶՈՐԾ ԳՐ ՃՈՅՍՈՍ Հ ՀԵՂ ՀՐՈ ՈՍԱ ՕՐ ԵՐԳՐԱ ԶՈՅՁ ԵՄՈՐՔ ԳՐ ԳՐԸ.** ▶ 私は幸せだ、なぜなら私の幸せの基準はもうこれ以上下がらないくらいに下がっているからだ。

**助 ՀԿՍ** /tis/

**形** (**†**) **1**

**助 ՀԿՍՏՐԱ** /tisfiz/

**助** (**a** n が **e** n を **ca** に) **怯ませる, 尻込みさせる, 気後れさせる, 気が引けさせる, たじろがせる** || **e** を行おうとしていた **ca** を怖がらせて、**e** をやめようと思わせる。

**助 ՀԿՍԹՅՁ** /tisθer/

**助** (**a** が **e** を) **くぐる, 通り抜ける** || **e** の下側もしくは **e** が棒状の場合はその内側を通る。

**助 ՀԿՍԻՔ** /tisit/

**形** (**†**) **狭い, 小さい, 小さな** || 面積が小さい。

**助 ՀԿՍԶՐ** /tiscoθ/

**形** (**†**) **唯一の, 無二の** || それ以外には存在しない。

**名 ՀԿՍՈՇԱ** /tizav/

**名** (**ie** と **izi** の) **差**  
 何らかの数値である **S** と **Z** に対して、**ՀԿՍՈՇԱ ՀԺ Մ ՀԱՐԿ Ա** は「S と Z の差」を意味するが、これは差の絶対値も本当の差(マイナスの値になり得る)も表し得る。どちらになるかは文脈による。

**助対 ՀԿԱՐՇԱ** /tiziv/

**助** (**a** が **e** から **zi** を) **引く, 減じる** **形** (**†, izi** 是) **引かれた, 減じられた**

**ՆՎ ՕՍԶՈՅՁ ՀԱՐԿ Ք** で「17 が引かれた 42」すなわち「42 - 15」の意味になる。

**助 ՀԿՀԳ** /titir/

**形** (**†**) **小さい, 小さな** || 音量が小さい。

**助 ՀԿԸՐԾ** /tidik/

**助** (**a** が) **止まる, 停止する, 立ち止まる** || 移動していたところでその移動をやめる。

αζαζδ と αζδδζ の使い分けは、それぞれの単語の対義語である υζαζαζι と ρζδααυ の使い分けに準ずる。詳しくは υζαζαζι の項を参照。機械の動作などは指さない。

**動** αζδ /tik/

**形** (η) 小さい, 小さな || 体積が小さい。

**動** αζδρζα /tikθit/

**形** (η, ica に) ピチピチの, パツパツの, きつい, 小さい || ica を覆う服や袋などが ica のサイズに対して小さく、ゆとりがほとんど生じていない。

**動** αζδου /tikaz/

**動** (a が e を) 要約する, まとめる **形** (η) 要約された, まとめられた || e の要点を取り出して短く分かりやすくする。

**名** αζδου /tikez/

**名** (izi の) 要約, 概略, まとめ, サマリー || 要約されたもの。

**動** αζδζυ /tikos/

**動** (a が e を zi から) 選ぶ, 選択する, 決める 選ぶ範囲は υζ 句で表す。範囲を表す助詞に αζ というのがあるが、ここでは使わない。

**名** αζδζδ /tikop/

**名** 秘密, 内緒 || 他人やグループには教えたり見せたりしないもの。  
διορις αζαζαζδζ ζ ρορ ο αζαζ. διορις αζαζαζδζ ζ ρορ ο ρζαζ. υζδδδυ ζδδδδδδζυ ο αζαζ ζ αζδδζδ ρ δδζυ..  
▶ 望んでいなかったのに、誰も望んでいなかったのに、私は突然彼の秘密を知ってしまった。

**動** αζδζδ /tikup/

**形** (ηn, izi で) 秘密の, 内密の, 内緒の || izi 以外には教えたり見せたりしない。

**動** αζδιζαυ /tigum/

**動** (a'n が e を) 苦しめる || 望んでいないことをしなければならぬために e をつらくさせる。語義から分かるように精神的苦痛を表す。肉体的苦痛は διζαζδζ. ροαζαζと対応する。

**名** αζαζαυον /tifnaj/

**名** 蕾, 花蕾 || 花びらが閉じていて花になる前の状態のもの。

**副** αζαζα /tifef/

**副形** ほとんど, だいたい, およそ, 約, ほぼ

**名** αζαζαζ /tifiθ/

**名** 子供, 小兒 || 大人としてはまだ十分に成長していない人。女性なら μιον もしくは αζαζαζに、男性なら

αζαζοαζに相当する人を、性別について言及せず指す単語である。

**名** αζαζαυ /tives/

**名** 集団, 団体, 班, 会, グループ || 行動などとともにしている何人かの人の集まり。基本的には人の集まりを指すが、人以外でも良い。  
αζαζαυ は、単純に複数人がともに行動をしているだけのグループを表し、意味は広い。一方で ααδδδζυ は、そのグループが意図的に組織されたもので、リーダーがいたりお金の管理をするバックヤードの人がいたりするなど、より組織的な側面が強いものを指す。

**動** αζαζαζ /tivet/

**形** (η) 少種類の || 種類が少ない。数量には言及せず、単に種類が少ないことだけを表す。

**副** +αζδ /tip/

**副** 不十分に~, 生~  
主に形容詞として何らかの尺度に関する程度を表す動辞に付き、その程度が想定したものとやそうあるべきものに足りていないことを表す動辞を作る。例えば、「温かい」に付けると、そうあるべき温度よりも低い(温かさが十分でない)ことを表す「生温かい」という単語が作れる。

**副** αζδρζα /tipir/

**副形** 不十分に || 必要な程度に達していない。  
δδαααζ ο ριζαζαυ ααζαζδ ζ υαζαζδ ααζαζαζδ ζ ααζαζαζαζαζαζαζ.. ▶ この言語には十分な単語がない。

**動** αζαζαζα /tiθif/

**形** (η) 単なる, ただの || 全く重要でないように思われて興味を惹かないような。

**名** αζαζοαζ /tiθat/

**名** 少年, 男の子, 男子 || 3歳から14歳くらいまでの男の人間。

**動当** αζαζαζαζ /tiθoz/

**副動** さて, ところで, 一方, それで || これまでの話とは異なる話題だが。日本語の「さて」などより使われる頻度は少ない。この理由の1つとしては、長文においては話題を大きく変えたいときは段落を変えることが多いので、わざわざ αζαζαζαζを使う必要がないことが挙げられる。主に、途中で話題が脱線して、話をもとに戻すときに使われることが多い。

**名** αζαζοαζ /tiθon/

**名** 隅 || 中央から離れた縁に近い箇所。αζαζοαζ は内側の一部分を指し、δδζαζαζ は外側から見て突き出た箇所を指す。したがって、机の αζαζοαζ の上に何かは置けるが、机

の δλσρσ の上に何かを置くことはできない。また、机の δλσρσ に体をぶつけることはあるが、机の срբан には体をぶつけることはない。

**動 србана** /tizɔf/

**形** (†) 中古の, 古い || 成立してから一度使われている。

英語で言う used や second-hand.

**名 србнр** /tirbis/

**名** 霜, フロスト || 冷たい物体の表面に空気中の水分が氷の結晶として現れたもの。

**名 србр** /tilaδ/

**名** 耳

**名 србна** /tilev/

**名** 端, 先端, 末端

србна と αλυσна は、どちらも細長いものの各方向の末端を指す。その端が別のものと接続している場合は αλυσна を使い、そうでない場合は србна と言う。例えば、洋服の袖部分だけを考えると、この片方の端は見頃と接続していて、もう片方の端は手を出す方 (すなわち袖口) であるが、見頃と接続している方を αλυσна で指し、袖口の方を србна で指すことになる。一方、単体の棒があるとき、この端はどちらも何かに接続しているわけではないので、両方向の端はどちらも србна で指すことになる。このように、2つある端がどちらも србна である場合も、どちらも αλυσна である場合も、片方が србна ともう片方が αλυσна である場合もある。

**動 србн** /tilif/

**形** (†) 薄い || その液体に溶けているものの割合が小さい。

**動 србна** /tilɔv/

**動** (aがeを) 分類する, 類別する, 分別する, 仕分ける, 分ける || ある基準に従って e のそれぞれを、いくつかの種類のうちどれかに決める。

日本語の「分類する」という単語は、「人を血液型に従って分類する」のように、個々の集まりとグループ全体を項としてとることもできるし、「私はA型に分類される」のように、1つものそれが属する1つのグループを項としてとることができる。シャレイア語では、この2つは異なる単語を用いる。具体的には、србна が前者で роцрб が後者である。

**名 србн** /tilɔt/

**名** 10 km, 10 キロメートル

srбнc と並んで、長めの距離を表すのに日常で用いられる。この次の単位である родрбc

は日常では使われない。

**名 срб** /ti/

**名** 飲み物, 飲料 || 飲むためのもの。

**動 србнрб** /tilik/

**動** (aが) 輝く, 煌めく, 瞬く || 光ったり消えたりを繰り返して輝く。

**名 србннн** /timar/

**名** ジュース || 果物や野菜を絞った汁を加工した飲み物。

**名 србнн** /tirad/

**名** 音, 物音

србнн は音波として聞こえるもの全体を表す。一方 αδннc は、音のうち音楽に関係するものだけを表す。したがって、例えば足音は србнн と言えるが (特別に音楽という芸術の範疇として捉えるわけでないならば) αδннc とは言えない。

**名 србн** /tiris/

**名** 赤ん坊, 赤ちゃん, 幼児 || 生まれてから3歳くらいまでの人間。男女の区別はしない。

**動 србн** /tinɔδ/

**形** (†) 子供っぽい, 幼稚な, 未熟な, 幼い || 精神的に大人らしくなく、その場での適切な行動や考えができていない。

ннδ とは違い、србнн はネガティブなイメージがある。例えば、図書館で静かにすべきなのに騒いでしまうような場合が србнн。

**副 србн** /tim/

**副形** 少し, ちょっと, わずかに

**名 срб** /tit/

**名** 1秒, 1秒間

ハイリア暦で定められる1秒は、地球における0.864(108/125)秒に等しい。ただし、ハイリア暦で定める時刻の表現は実際にはあまり使われていないため、単に србc ocрσ と言ったら地球の1秒を指すと考えて良い。

**動速 србн** /tiv/

**副動** 速く, 速やかに, 迅速に, 素早く **形** (†) 速い, 速やかな, 迅速な, 素早い || ものごとを始めてから終わるまでにかかる時間が少ない。сннδннσ α сδн δ усδср с србн δ србн ннδннσ ордн. ▶ 私は自分の部屋を2分で掃除した。

**動 србн** /tivif/

**動** (aが zi から) 消える, 消滅する || 一瞬のうちに zi から消える。

**動 србн** /tib/

**形** (†) 涼しい, 冷たい || 温度が程良く低い。

**動 србнсрб** /tibtip/

**形** (†) 生温かい, 生暖かい, ぬるい, 生ぬるい ||







C)

**動** **с10000** /dasaf/

**形** (†, ica'n に) **ちょうど良い, 向いている, 適切な, 適当な, 適する** || ica を行いやすい性質をもっている。

с10000 は被修飾語のもつ何らかの性質が向いていることを表し, uōnoc はその場の状況を鑑みて向いていることを表す。例えば, 男性がテニスをするときタンクトップを着るのは, 動きやすいという点では с10000 であるかもしれないが, 服装規定に反していれば uōnoc ではないということになる。英語では, с10000 は suitable に近く, uōnoc は appropriate に近い。

**動** **с10000** /dasos/

**形** (†) **重要な, 大切な, 大事な** || 大きな意味がある。

**動** **с10000** /dazkut/

**動** (a が e を) **飲み込む** || e を飲み込んで体の中ですっかり入れてしまう。比喩的に用いられることが多い。

**名** **с1000** /dat/

**名** **何も～しない**  
不在の物の代詞。

uoc с1000 と同じ意味だが, 普通は с1000 を用いる。特に「何もしない」ということを強調したければ uoc с1000 と表現する。

**動** **с1000** /dak/

**形** (†) **どんな～も～しない**  
不在の修飾の代詞。

**動** **с1000** /daf/

**形** (†) **1/10**

**動** **с10000** /davom/

**形** (†) **太い, 太った, 広い** || 線状のもの幅の間の距離が大きい。道などの幅が広いことも指す。

**動** **с10000** /darvam/

**副** **偉そうに, 横柄に, 高慢に** || 自分が実際よりも立派であるかのような態度で。ネガティブなイメージがある。

**名** **с10000** /daldas/

**名** **ドル**

**動** **с10000** /dalaz/

**副** **元気に, 活発に, 快活に**

**名** **с10000** /dales/

**名** **犬**

**動** **с10000** /dalet/

**動** (a'n が e を) **ドキドキさせる** || 不安や恐怖な

どで心臓の鼓動が速まっている状態に e をする。

с10000 も ρυκρδ も心臓のドキドキを表すが, с10000 は負の感情で ρυκρδ は正の感情を表す点で異なる。大舞台に立つ直前やお化け屋敷の中など, 不安, 恐怖, 緊張などから来るものは с10000 で, 期待などから来るのは ρυκρδ。なお, どちらも感情の表現なので, 激しい運動をしたなどによって単に心臓の鼓動が速くなっているだけの状態は指さない。

**動** **с10000** /dalok/

**動** (a が e で ca を) **突く** || 棒状の e で刺さらない程度に ca を強く押す。

**名** **с10000** /dalot/

**名** **0.1 mm, 0.1 ミリメートル, 100 μm, 100 マイクロメートル**  
小さいものを表す単位として, 日常で用いられる。

**動** **с1000** /dam/

**形** (†, izi から) **下の, 下方の**

**動** **с1000** /dad/

**形** (†) **厚い** || 平面的なもの一方の面から裏側の面までの距離が大きい。

**名** **с10000** /daθak/

**名** **胸, 胸部** || 胴の上半部で正面から見て視界に入る部分。乳房を指すわけではない。

**名** **с10000** /dalik/

**名** **門, ゲート** || 敷地を出入りするために開けられた空間に作られた構造物。開閉する扉部分を指すというよりは, 出入りのために開けられた空間とその枠を指す。したがって, 扉がなく, 枠だけが設置されていたり, 囲まれてもおらず左右に柱だけが設置されていたりしても, с10000 だと言える。門に嵌められている扉は с10000。

**連** **с1000** /das/

**接動** **しかし, だが, けれども**  
節を結ぶときのみ使われる。

**動** **с1000** /de/

**助動** **～なしで**  
接続詞の用法はない。英語の without とは違い, 動詞型不定辞の名詞用法や ρυκρδ 節をとって「～せずに」の意味で使うことはない。この表現をするには, со с10000 のように со を用いる。

**副** αὐτῶν+ /des/

**副** ～学, ～の学問

個別の学問名を作るときに使われる。学問の種類などを作るときは αὐτῶνδς との合成にする。

**名** αὐτῶνδς /destek/

**名** 菌

**副** αὐτῶνδςφ /destæð/

**形** 低い || 音の周波数が小さい。

**名** αὐτῶνδςκ /desket/

**名** 学問, 學術

**名** αὐτῶνδςκὺναιος /desketsvænos/

**名** 形式科学, 形式学 || 自然科学の研究などのために取り出された抽象的な概念そのものを対象とする学問。

**名** αὐτῶνδςκγοωάξ /desketlafɔr/

**名** 人文科学, 人文学, 社会科学, 社会学 || 人間が作り出したシステムや人間自身の営みを対象とする学問全体。

**名** αὐτῶνδςκισθῶγ /desketnar/

**名** 自然科学, 自然学, 科学 || 自然がもつ法則性を解明することを目指す学問と、それによって得られた知識を応用することを考える学問全体。

医学は主に人間を対象とするが、どちらかと言うと自然が生み出した人間としての側面を見ているので、(αὐτῶνδςκγοωάξ) ではなく αὐτῶνδςκισθῶγ に含める。また、科学知識の応用を対象とする学問も含めるので、農学や工学も αὐτῶνδςκισθῶγ に含める。数学や情報理論など、自然や社会を直接扱うというよりは、それらの説明や応用を行うために取り出された抽象的な構造を扱うものは、αὐτῶνδςκὺναιος で表す。

**名** αὐτῶνς /deset/

**名** ベッド, 寢台

**名** αὐτῶνδ /deseκ/

**名** 靴, 履物

「靴を履く」は δὲξιμῶν αὐτῶνδ。

**名** αὐτῶνξ /desɔv/

**名** 根, 根っこ || 植物の器官のうち、主に地中や水中にあって養分を吸収したり体を支えたりするもの。

**副** αὐτῶνδςε /dezθis/

**副** (aがeに) 仕える, 奉仕する, 奉公する, 献身する || eの近くに控えてeのために決められたり指示されたりしたことを行う。単なる雇用関係だけでは αὐτῶνδςε とは言えず、メイドのように特定の人のために奉仕することのみを表す。

**名** αὐτῶνδς /dezet/

**名** 椅子, 腰掛け || 上に座るための家具。

**副** αὐτῶνδςουσι /detæd/

**形** (η) 静かな, 静寂な || 物音が全くと言えるほどない。

**副** αὐτῶνδςου /detæi/

**副** (aがziと) 別れる || 恋人である zi との恋の関係をやめる。

**副** αὐτῶνδςφ /detuk/

**副** (aがeをziから) 取り除く, 除く, 除去する, 削除する

αὐτῶνδςφは何かをそこから取り除くことに重点を置いての言い方で、εξέρχου はそこにあるものの数量が小さくなることに重点を置いての言い方である。

**名** αὐτῶνδ /dek/

**名** 固 デック

**名** αὐτῶνδςκ /deklɔt/

**名** (izi'nの) 跡, 痕跡, 形跡, 証拠 || iziが過去に実際に起こったことを示すもの。

εἰς句には基本的に δςκ 節が置かれる。この δςκ は縮約されることが多い。ἀποβῆναι εἰς τὸν οὐρανόν εἰς τὸν οὐρανόν εἰς τὸν οὐρανόν > 彼女がこの世界で生きていたという痕跡を私はずっと探している。

**名** αὐτῶνδς /dekat/

**名** 床, 地面

その場で底面として認識されている部分を指す。屋外にいたのであれば地面を指すし、建物の2階にいたのであればその階の床を表す。

**名** αὐτῶνδςου /deker/

**名** ホテル, ペンション, 旅館, 宿屋, 宿 || 客が宿泊するための施設。規模は問わない。

**名** αὐτῶνδςουδςου /dekerseiem/

**名** 温泉宿, 温泉旅館, 旅館 || 温泉に入ることができる宿泊施設。

**副** αὐτῶνδςε /deket/

**副** (aが) 止まる, 静止する, 停止する || 動いていたところで動くのをやめる。

**名** αὐτῶνδ /def/

**名** 1/10

**副** αὐτῶνδςου /defes/

**副** (aがe'nを) 思いつく, 考えつく, 気づく

**副** αὐτῶνδςε /defɔt/

**副** (aがziを) 降りる

**名** αὐτῶνδς /dev/

**名** ペン, 筆記具, 筆記用具 || 文字や絵などの





すが、сӀаӀаは意図的に下ることを表す。сӀаӀаは斜面に沿って下に移動することを表すが、сӀаӀаは垂直に落下することを表す。格組の違いにも注意すること。сӀаӀаはJ句をとって転がる斜面(坂や階段など)を表すが、сӀаӀаはqo句をとって落ちる先(地面など)を表す。

**動** сӀаӀа /deðig/

**動** (aがe'nをcaに) 命じる, 命令する || eを行うようにcaに言う。

сӀаӀаに比べて命令の意味が強く、「命じた相手は逆らいにくい」などのニュアンスが含まれる。

**動** сӀаӀа /deðot/

**動** (aがe'nを) 断る, 拒む, 拒否する, 拒絶する || 要求や依頼であるeを行うことはできないと主張する。

**動** сӀаӀа /dersek/

**動** (aがe'nをcaに) 録画する || 将来見返せるようにeを画像や映像であるcaとして残す。J句には風景などの被写体が置かれる。qo句には「写真」などの記録媒体が置かれる。qo句は静止画でも動画でも良い。

**動** сӀаӀа /derti:/

**動** (aがe'nをcaに) 録音する || 将来聞き返せるように音声や音楽であるeをcaとして残す。

**動** сӀаӀа /derkot/

**動** (aがeをcaと) 定義する, 定める || 他のものと明確に区別できるように、eの意味をcaという言葉を用いて限定する。

**動** сӀаӀа /dergut/

**動** (aがeを) 所有する, 所持する || eが自分のものであるとし、自分の思うがままにできるようにする。意味は狭く、使われる頻度もそれほど高くない。所持というより支配に近いニュアンスをもつ。

**名** сӀаӀа /dermet/

**名** カメ

**名** сӀаӀа /delef/

**名** 床 || 部屋の下部を仕切っている底面となる部分。

**名** сӀаӀа /delem/

**名** 靴下, ソックス || 足と脚を覆う衣料で普通は足に直接身に付けるもののうち、生地がそれなりに厚いもの。「靴下を履く」はðʒʊsʊ сӀаӀа。ストッキングは除外する。足を覆うだけのものを指すので、タイツを指すこともない。

**名** сӀаӀа /delemteθɔr/

**名** ニーソックス, ニーハイソックス, ニーハ

イ || 膝が隠れる程度の長さの靴下。

**名** сӀаӀа /delemteð/

**名** 手袋, ミトン, グローブ

防寒のためやファッションの一部として身に付ける手袋を指す。手の防護のために用いる軍手やゴム手袋などは含めない。5本の指をそれぞれ入れる部分があるのか、親指とそれ以外の指を入れる部分に分かれているだけなのかは区別しない。また、指先を覆わずに指の付け根から掌と手の甲までのみを覆うものでも良い。

**名** сӀаӀа /delemfe:/

**名** ハイソックス, ハイソ || 膝のすぐ下程度までの長さの靴下。

**動** сӀаӀа /deliz/

**動** (aがe'nにziに) 従う || ziが頼むeを実際に行う。

頼まれた相手がuc句で、頼まれた内容がJ句。従う相手はqo句ではなくuc句で表すので注意。

**動** сӀаӀа /deliv/

**動** (aがziからcaに) 落ちる, 落下する

**名** сӀаӀа /delot/

**名** (ie'nの) 記録 || 将来見返せるようにieを記録したもの。

**名** сӀаӀа /delɔð/

**名** (iziの) 底 || 容器状のiziの内部で、最も下の部分。下の方の空間を指すので、「底面」の意味はない。

**動** сӀаӀа /delut/

**動** (aがe'nをcaに) 記録する, 採録する, 録る, 残す, 遺す || 将来見返せるようにeの内容を含むcaを作る。

J句は記録の対象となる物事を指す。基本的にðʒʊ節などをとるが、ðʒʊ節の代わりとなる代表的な名詞1つをとることも多い。qo句は「書類」や「ビデオテープ」などの記録媒体を表す。

J句には、記録したときの議論の内容や風景など、未来のある時点で過去の事実として参照するものも置くことができ、さらに、電話番号や予定などの通時的な情報も置くことができる。

**動** сӀаӀа /deras/

**動** (aが) 寝る, 寝転ぶ, 寝転がる, 横になる, 横たわる, 倒れる

**動** сӀаӀа /deɾɛf/

**動** 雨が降る, 降雨する || 空から水が降ってくる。

助詞句を伴わず、単独で用いられる。



名 αἰῶν /def/

名 運命, 宿命, 命運, 天運 || あらかじめそう決まっていたり変えたり避けたりすることができないかのような出来事。ポジティブなものもネガティブなものも両方指す。

動 αἰῶ /der/

形 (η) 低い || 基準となる水平面から上への距離が小さい位置にある。

縮 αἰ' /di/

縮 αἰσσοc

助 αἰσϋ /disi/

助動詞 ~を通して, ~を横切って

動 αἰσισϋ /dizis/

動 (aがeを) 止める, 消す, オフにする || 道具であるeの機能が働いていた状態から働かない状態にする。

助 αἰσc /dit/

助 (anがe'nを)?

αἰσσοc ὁ δῶν ~ の形で命令文を表す。助動詞的に用いられ、ὁ δῶν は省略されるのが普通である。口語では、さらに αἰσσοc が αἰσ' に縮約されたり、αἰσ' すらも省略されて命令したい文がそのまま述べられることがある。αἰσσοc をきちんと言う場合、αἰσ' に縮約して言う場合、αἰσ' すらも言わない場合の順で丁寧度が下がる。日本語で言うならば、最初の場合は「~してください」、次の場合は「~しなさい」や「~して」、最後の場合は「~しろ」に相当する。「~するな」のような禁止は、αἰσc を否定形にするのではなく δῶν 節内の動詞を否定形にする。例えば「食べるな」なら αἰσαἰσσοc ὁ δῶν 是誤りで αἰσσοc αἰσϋδῶν が正しい。

動 αἰσσοδ /ditak/

動 (a が ca に) 乗る, 載る, 積まれる, 積み込まれる || 乗り物などであるcaの上や中に身を置く。

助 αἰσcδ /dite/

助動詞 ~までに, ~まで (接動) ~までに, ~まで 期限を表す。

名 αἰσροδ /dikak/

名 固 ディカック

動 αἰσδισρϋ /digliδ/

動 (anがeを) 眩しくする, 目を眩ませる || e に強い光を感じさせるなどして一時的に周りがよく見えなくする。

副 αἰσc /dif/

副特 さえ, さえも, すら, すらも

名 αἰσδ /dib/

名 疲労, 疲れ || 体力や気力などを使った結

果、活動する気をなくさせて休憩したくする状態。

副 αἰσρδ /dibe/

副 (e'nに) ごめん, ごめんなさい, すまん, すいません, すみません || 句で謝罪することになった原因の行為を表すことができる。

動 αἰσρδιστ /dibem/

動 (aがe'nをcaに) 謝る, 詫げる, 謝罪する || eとこのことで迷惑をかけてしまったcaに許してもらおう言う。|| 句は悪いことの内容で、ρo 句は謝る相手。

動 αἰσρδισρ /dibur/

動 (aがe'nを) 反省する || 過去に行ってしまったeが悪いことだと認め、そうしてしまったことを悔やむ。

動 αἰσρισρϋ /diδtir/

形 (η) 辛い || 食べると舌などに痺れるような刺激がある。

αἰσρισρϋ は唐辛子などのピリッとする辛さを表し、αἰσραἰσδ はワサビなどのツーンとする辛さを表す。

動 αἰσρ /dir/

動 (aがe'nを) しない

節全体を否定したいときの表現である αἰσρδιστδῶν ὁ δῶν ~ と同じ意味で αἰσρδιστδῶν ~ と言える。助動詞的に用いることもできるので、αἰσρδιστの直後に節を続けることで、その節を否定することができる。実際、助動詞的に用いられることしかないと言えるほど、高頻度で助動詞的に用いられる。これは以下のような理由による。まず、助動詞的に用いずに ὁ δῶν をわざわざ言うのと、δῶν 節の中身が若干強調される。しかし、そもそも αἰσρ を使うのは、以下に述べるように不必要に否定内容を強調したくないためなので、節が強調される非助動詞的な表現とは合わないのである。

ρδιστ は ὁ δῶν の内容を強調するために用いられることも多いため、ρδιστ を用いて節全体を否定しようとする、否定内容がどうしても強調されてしまう。代わりに αἰσρ を使うことで、否定内容が不必要に強調されることを防ぐことができる。

αἰσροδ ὁ δῶν οἰσμοῦ αἰῶνσδ ὁ ρδιστ ο ρδιστ > 彼はいつも寝ているわけではない。

動 αἰσροϋσ /dirsiz/

動 (aがeを) 横切る, 横断する, 渡る, 貫く

動 αἰσροϋδ /dirtig/

動 (anがeに) 痒みを感じさせる || ὁ の皮膚をむずむずと感じさせ引っ掻きたくさせる。|| 句には体の部位が入る。

痒みがある状態は継続相で表す。

**動** αἰσθησιμότητα /dirfe/

**間** よろしく、よろしくお願ひします  
自己紹介のときに使う。

**名** αἰσθησιμότητα /dilik/

**名** 鏡, ミラー  
あくまで αἰσθησιμότητα は板状のものを指すので、「鏡の中」は αἰσθησιμότητα αἰσθησιμότητα と言う。この表現では、鏡で仕切られた空間のうち遠い方を指す可能性もあるが、そのような解釈ができる特別な文脈でない限り、αἰσθησιμότητα αἰσθησιμότητας は像が映っている鏡像の世界を表す。

**動** αἰσθησιμότητα /dilot/

**動** (a が e を) 数える, 勘定する || e の数量を調べる。  
個数だけでなく量を調べる場合でも使える。例えば αἰσθησιμότητας αἰσθησιμότητας と言えば、どのくらいの水があるか調べることになる。個数を調べるのがメインであって、その1つずつが何であるかを確認する、すなわち「列挙する」という意味合いはない。これは αἰσθησιμότητας を用いる。

**名** αἰσθησιμότητα /dir/

**名** 涙 || 悲しいときに目から流す液体。

**動活** αἰσθησιμότητα /dimer/

**動** (a が e'n に) 苦勞する, 苦心する, 骨を折る **副動**  
苦勞して, 苦心して

**動** αἰσθησιμότητα /ditik/

**動** (a'n が e を) 苛つかせる, 苛立たせる, イライラさせる, もどかしくする, じれったくする || 物事が e の思うようにいかないために e を不快な気分させる。

**名** αἰσθησιμότητα /dig/

**名** 憂鬱, 憂鬱感 || 近い未来に望まないことが起こることが来るつらい思い。

**動** αἰσθησιμότητα /dikef/

**動** (a が e を) 認識する, 識別する, 同定する, 見極める, 見分ける || e に自分の知っている e の特徴を見つけ、それが e であると分かる。目の前にあるものが自分の記憶にあるイメージと合致して、まさにそれであることが分かるという意味。例えば、長く会っていない友人に久しぶりに再会するも、雰囲気が変わっていて誰か分からない状態だったが、よく観察すると自分の記憶の中のその友人の特徴をそこに見出すことができ、目の前の人がその友人だと認識できた場合などが、αἰσθησιμότητας に相当する。

**動** αἰσθησιμότητα /divkof/

**動** (a が) 喋る, 発話する, 口をきく || 言葉を口から発する。

αἰσθησιμότητα αἰσθησιμότητας οἰσθησιμότητας οἰσθησιμότητας  
αἰσθησιμότητας. ▶ 彼の猫が突然喋りだしたので私はびっくりした。

**動** αἰσθησιμότητα /divit/

**動** (a が e を) 発する

**名** αἰσθησιμότητα /dir/

**名** 低く || 基準面からの上方向への距離が小さい場所。

**動** αἰσθησιμότητας /dilek/

**形** (†) しょっぱい, 塩辛い

**動** αἰσθησιμότητας /daz/

**動** (a が e'n を) しなければならなくする, 余儀なくさせる  
助動詞的に用いることが多い。  
この動詞を否定して αἰσθησιμότητας αἰσθησιμότητας ~ とすると、「~する必要はない」という意味になる。一方、αἰσθησιμότητας を否定するのではなく αἰσθησιμότητας 節内の動詞を否定すると「~してはならない」の意味になる。

**動** αἰσθησιμότητας /dazeg/

**形** (†n) 難しい, 困難な || 行うのに多くの手間や努力を必要とする。  
日本語ではしばしば不可能の意味で「難しい」と言うことがあるが、シャレイア語ではそのような意味で αἰσθησιμότητας を使うことはしない。

**動** αἰσθησιμότητας /dad/

**動** (a'n が e を) 悲しませる  
αἰσθησιμότητας, αἰσθησιμότητας, αἰσθησιμότητας など様々な負の感情の総称。

**名** αἰσθησιμότητας /dsk/

**名単** 1 kg, 1 キログラム

**名** αἰσθησιμότητας /dskdskdsk/

**名単** 1 lb, 1 ポンド

**名** αἰσθησιμότητας /dsklet/

**名** (ica の) 成績, 評価, 結果, レコード, リザルト  
検定試験や体力測定などの何らかの能力を測った結果や、血液検査などの何らかの状態を調べた結果検査や、何らかの得点が生じるゲームのリザルトなども指せる。  
何の試験や検査を行ったのかは αἰσθησιμότητας 句に置き、誰の結果であるかは αἰσθησιμότητας 句に置く。

**名** αἰσθησιμότητας /dsket/

**名** 腰

**動** αἰσθησιμότητας /dskor/

**動** (a が e'n を) 終える, やめる, 終了する, 完了する  
「終わる」には受動相当表現を用いる。  
完了相に相当する。単に完了相を用いるよりも「完了した」ということが強調できる。

動対 **αὐτοῖς** /dɔgɔs/

形 (†) 絶望した 動 (a'n が e を) 絶望させる  
慢性的に感じる鈍い絶望感を表す。  
何か外的要因があってこの状態に陥るとい  
うわけでもないのに、他の感情動詞と違って  
形容詞として用いることが多い。

名 **αὐτοῖς** /dɔgus/

名 絶望, 絶望感, 自己嫌悪

動 **αὐτοῖς** /dɔvɛk/

動 (a が e を) 踏む, 踏みつける || 足を e の上に  
置き, e に体重をかけて力を加えること。  
↓句に対して意識的に上に足を載せて力を加  
えることを表す。単に上に立っただけで  
αὐτοῖς と言うことはない。

動 **αὐτοῖς** /dɔpaɪ/

動 (a'n が e を) 不安にさせる, 緊張させる || 慣  
れないことをこれからしなければならいた  
めに, e を不安にさせる。  
あくまで心理的な不安面だけを表し、「体が  
こわばる」などの含意はない。この意味を  
出したければ ὀρῶσις を使うのが良い。

動当 **αὐτοῖς** /dɔθit/

副動 ます〜しない, まさか〜しない || 必ず起  
こらないと言っても良いくらいだが少しは  
起こる可能性がある程度の確率で。

動 **αὐτοῖς** /dɔð/

動 (a が e で) ない  
αἴψαορ と同じ意味だが, αἴψαορ より否定の  
意味が強い。「〜でない」と言いたいときは  
普通は αἴψαορ を用い、特別に否定を強調し  
たいときに αὐτοῖς を使う。

簡 **αὐτοῖς+** /dɔð/

簡 〜ではない  
主に形容詞や副詞として使われる単語につ  
いて、その対義語を作る。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðsafkes/

形 (†) 不衛生な, 不潔な, 汚い, 汚れた || 汚れて  
いて使用すると健康を害してしまいそう。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðsaret/

形 (†) まずい

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðsajat/

形 (†, ica'n に) 不適切な, 不適当な, 適さない ||  
ica をするときのその場の状況に合ってお  
らず、使うべきでない。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðseniɪ/

形 (†) 不健康な

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðsɔkar/

形 (†) 不完全な, 完璧な || あるべき性質のい  
くつかが欠けている。

動主 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðteθaf/

動 (a'n が e を) 不運にする, 非運にする 形 (†) 不  
運な, 非運な, 運が悪い

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðtufɪr/

形 (†) ありふれた, ありきたりの, よくある ||  
存在する数が多かったり現れる頻度が高か  
ったりする。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðɔdasaf/

形 (†, ica'n に) 向いていない, 不適切な, 不適当  
な, 適さない || ica を行いにくい性質をもっ  
ている。  
αὐτοῖςαὐτοῖς と αὐτοῖςαὐτοῖς の使い分けは αὐτοῖς  
の項を参照。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðkɔð/

形 (†) 不安定な, 落ち着かない || 状況や性質  
などがよく変わる。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðgilit/

形 (†) 丸まった, 丸みを帯びた || 先端が細く  
なっていない。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðfeðit/

形 (†, ica'n に) 不便な, 役に立たない

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðvɔlat/

形 (†) 無名な || あまり人に知られていない。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðlifɛs/

形 (†, ica'n に) 都合の悪い, 向いていない || それ  
があると ica を行うのに不利になってしまう  
ような。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðlivɛm/

形 (†) でこぼこな, 凹凸のある || 表面に多く  
の突起がある。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðlisaj/

形 (†) 嘘つきな, ホラ吹きな || よく嘘をつく。

動 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðɔater/

形 (†) 不透明な

動当 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðjakɔr/

形 (†n) 間違った, 間違いの, 誤りの, 不正解の

副 **αὐτοῖςαὐτοῖς** /dɔðhiv/

副形 最も〜ない, 一番〜ない

動 **αὐτοῖς** /dɔðɔf/

動 (a が e'n と) 勘違いする, 誤解する, 思い違え  
る || 真実とは異なる e が本当だと思っ  
てしまう。  
本人が ↓ 句の内容が真実と異なると感じ  
ている必要はない。したがって、本人は  
まだ真実だと信じていて、周りの人が「あ  
の人は勘違いしている」と言いたい場合  
にも、αὐτοῖς が使える。

**動 αΨΩ** /dɔz/

**動** (a'n が e を) **つらくさせる** || いたくない状況にいる結果、e を耐えがたく感じさせる。意味は広い。これに「今にも折れそう」というニュアンスが加わるのが αΨΩ。

**名 αΨϞ** /dɔr/

**名** **どんなことも～しない, 何も～しない**  
不在の事の代詞。

**名 αΨϞ** /dɔr/

**名固 α**

**名 αΨϞαω** /dɔrdaz/

**名** **ゾウ**

**動当 αΨϞϞϞ** /dɔrθaθ/

**副動** **実際, 現に, 事実** || すでに述べたことの根拠や証拠として。文頭に倒置されることが多い。

**動 αΨϞδω** /dɔlev/

**形** (+) **濃い** || その液体に溶けているものの割合が大きい。

**動 αΨϞϞω** /dɔliz/

**動** (a が e'n に) **耐える, 耐え忍ぶ, 我慢する, 辛抱する**  
↓ 句にはコト名詞を置く。

**動 αΨϞδδϞ** /dɔrker/

**動** (a が) **すすり泣く, 忍び泣く, 嗚咽する** || できるだけ他の人に気付かれないように静かに泣く。

**動 αΨϞιϞ** /dɔris/

**動** (a が) **泣く, 涙する, 号泣する** || 悲しみや苦しみを我慢できずに泣く。

**名 αΨΩ** /dɔn/

**名** **間違い, 誤り** || 実際に起こったわけではないこと。

**動速 αΨΩαδ** /dɔmet/

**副動** **遅く** || ものごとを始めるまでの時間が多い。

**動 αΨω** /dɔz/

**形** (+) **重い** || 持ち上げるのにたくさんの力を必要とする。

**動 αΨδ** /dɔk/

**動** (a が e を) **壊す, 破壊する, 割る** || e に力や衝撃を加えて、いくつかの部分に分けてしまう。  
力でいくつかの部分に分けるのが αΨδ、もっと多くの部分に分けるのが αΨααααα。これらの 2 つは外見が変化してしまっている。αΨδ の破壊の意味合いを強めたのが αΨααααα で、αΨααααα においてそれぞれの欠片が粉々になっているという意味を加えたのが

αΨααααα。一方で、正常に動作しなくしてしまおうのが αΨααααα であり、これは外見が変化するとは限らない。ここまでの単語はマイナスのイメージをもつが、αΨααααα はマイナスイメージをもたない。

**名 αΨϞ** /dɔr/

**名** **間違い, 誤り**

**動 αΨϞϞω** /dɔlas/

**動** (a'n が e を) **だるくする** || e に行動する気力を湧かなくする。

**動 αΨδιϞϞ** /dɔgjit/

**動** (a'n が e を) **目眩にする, 目を眩ませる** || 視界がはっきりしなくなり体を安定させられなくなる状況に e をする。強い光によって一時的に目が見えなくなることは αΨδιϞϞ を使い、αΨδιϞϞ では表さない。

**名 αΨ** /du/

**名** **いいえ, ノー**

**名 αΨω** /dus/

**名** **誰も～しない**  
不在の人の代詞。  
αΨω ααααα と同じ意味だが、普通は αΨω を用いる。特に「誰も～しない」ということを強調したければ αΨω ααααα と表現する。

**動 αΨϞααϞ** /dɔtvɔr/

**動** (a'n が e を) **激怒させる, 憤慨させる, 憤怒する, キレさせる**

**名 αΨϞ** /dud/

**名** **悲しみ**

**動 αΨαϞϞ** /dufit/

**動** (a'n が e を) **恥ずかしがらせる** || 過去の行動が原因で、e に恥ずかしいと感じさせる。日本語の「恥じる」には反省の意味合いが少なからず入るが、αΨααααα にはそのような意味合いはなく、反省していることを表現したいなら陽に αΨααααα を用いる。

**動 αΨααα** /dufɔð/

**動** (a が e'n を) **否定する** || e が真実ではないとはっきり思う。

**名 αΨω** /duz/

**名** **つらさ, つらみ** || いたくない状況にいる結果生じる耐えがたい思い。

**動 αΨϞδω** /dulez/

**動** (a が e'n に ca に) **反対する** || ca がもっている e という意見が自分の考えと合っていないと感じる。

**動 αΨω** /dun/

**形** (+n) **間違った, 間違いの, 誤りの** || 実際

起こったこととは異なる。

**動当 αζω** /dum/

**副動** 全く～しない, 全然～しない || 特定の期間において一度もそのようなことがなく。語義に「～しない」は含まれているので、動詞を否定化する必要はない。

**名 αζωζ** /duhɔr/

**名** 無, 虚無 || 何も存在しない状態のもの。cioc や ciζɔ などとは違い、「何もない」という状態の何らかのものを表す。

**名 αζζ** /dud/

**名** どこも～しない  
不在の場所の代詞。

**動当 αζζδ** /dug/

**副動** 決して～しない, 絶対に～しない || 起こる確率が0%だと言える状態。

**動 αζζζ** /dur/

**形** (†n) 間違った, 間違いの, 誤りの

u  
u  
c  
C  
ò  
ò  
o  
o  
ó  
ó  
q  
q  
oo  
oo  
q  
q  
u  
u  
o  
o  
o



δ

縮 'δ /k/

縮 ρδδ

動 δου /kas/

動 (aがeの) ままになる, 保つ

ουρに「もともとJ句の状態でも後もその状態を保つ」という意味を加えたもの。ουρと同じようにJ句には形容詞を置くことができる。

名 δοcρcυ /katlis/

名 臉

名 δοcρcρ /katliθ/

名 じゃがいも, 馬鈴薯

名 δοcρcί /katib/

名 蓋, キャップ

動 δοcιcρcυ /kadtis/

形 (η) 具体的な, 具象的な

名 δοcιcιδι /kadeq/

名 石

δοcιcιδιは手で掴んで簡単に持ち上げられる程度の大きさのものを指す。それ以上大きい物はθιcρcιοc。

助 δοcιc /kadi/

助動 ~として

δοcιcι υ というのは, υορcιcι υ υ という文がその文の後に省略されていると見なせる。これはしばしば比喩的になる。例えば以下の1番目の例文では、「そのことは私の中に残っている」という文に δοcιcι δόρcυcα がつくことで、「そのことというのは思い出である」という情報が付加されている。また、これを踏まえると「子供として扱う」の「~として」は δοcιcι 句では表現できないことが分かる。なぜなら、扱っている対象が実際に子供であるわけではないからである。

δνιυρcοc ο ρορ ρο υάωδc ρ cνρ δοcιcιc δόρcυcα. ▶ そのことは思い出として私の中に残っている。

ρρδωνρδρι δαcιυνδρι ο ρρc ρc cνρ δοcιcιc ωοηιορ. ▶ それは太陽としてそっと私を照らしている。

動 δοcιcρc /kadit/

動 (aがeを) 束ねる, まとめる || たくさんの e を1ヶ所に集めて一括りにする。

動 δοcνρ /kafer/

動 (aがeを) 抱く, 抱える, 抱擁する || 腕でeの周りを囲むようにし、自分の方に引き寄せる。「思い切り」というニュアンスを加えたのが

ηιορωοc。恋人を抱くときは ηιορωοc を用いることが多い。

動 δοcι /kav/

動 (aがeが) いる, ある, もつ || それに関連してeが存在している。

δοcιは、所有というよりは目的語の存在に重点が置かれる。英語の have に似て意味は広く、例えば「兄がいる」を δοcιcυο υηρcρ とと言える。一方、δρcは所有の意味合いが強くなり、自分のものであることを明確に示す。ただし、それを身につけている必要はなく、家などに保管してあるなどの場合でも使える。それに対して、ρρδνδは自分のものであるかどうかに関係なく、その場で携帯している場合に用いる。cινρθιcρcはδρcの所有のニュアンスを強めたもので、「自分の思うがままにできる」といった意味が込められる。

動 δορνc /kaθet/

形 (η) 話題にされ得る, 取り立てて言われる υοcρcω ほど特別なことではないが、かといってわざわざ話題にされないような平凡なことでもないようなときに使う。

動 δορι /kaθ/

形 (η) 8

動 δοριρcι /kaθid/

動 (aがeを) 締める || eに力を加えて動かすことでeを少しの力では動かないような状態に少しずつする。ギュッとする感じ。鉛筆のキャップを鉛筆に力強く押し込むと簡単には外れなくなるが、それも δοριρcι である。

名 δορ /kar/

名 能力, 機能, 力

何の能力かは ρρδ 句で表現する。人間に関しても機械に関しても使える。

名 δορ /kar/

名 固 δ

名 δορcυου /karsaθ/

名 (icaの) 基準, 水準 || icaについて何か判断するときと比較する対象となる一定の程度。基準の厳しさは高度に見立てられるので、ηιcρι や cινρ で表す。その基準を満たすのが難しいほど ηιcρι で、簡単なものほど cινρ である。

名 δορcοδ /kartak/

名 固 カルタック

名 δορδοc /karkat/

名 鶏

**名** **δογορο** /karθaθ/

**名** ニュース, 新情報, 知らせ || 最近起こったことで注目に値する出来事。

**助** **δογδδ** /kaleg/

**形** (η) 固い, 堅い, 硬い || 力を加えても形が変わりにくい。  
δογδδ は変形に対して強いことを表し、δδγδιοc は衝撃に対して強いことを表す。

**名** **δογορ** /kaliθ/

**名** 出来事, 事

**名** **δοουοιου** /kanadas/

**名** 固 カナダ

**助** **δδδ** /kak/

**動** (a が ca に) 現れる, 出現する, 姿を見せる || ca に存在していることを他のものが確認できるようにする。  
目で直接見えていなくても、何らかの形でそこに存在していることが分かれば良い。

**助** **δδω** /kaz/

**動** (a が e を) 見る, 見つめる, 注視する || 比較的長い間 e に視線を固定する。  
ρρδδδδω δδωωρ ο cδρ δ ρδω cδ ρδδωρρ. ροcδ ρδδωδωδ ο ρδω δ ηδc.. ▶ 彼が真実を打ち明けるまで、私は彼を黙って見つめ続けた。

**助対** **δδc** /kat/

**動** (a が e を ca と) 呼ぶ, 称する **形** (η, ica と) 呼ばれる, 称される || e を指し示す名前として ca を使うようになる。  
1 回そう呼ぶことを表すのではなく、今後ずっとそう呼ぶようになることを表す。したがって反復表現にはしない。

**助主** **δδc** /kaf/

**動** (a が ca に) 似る, 類似する **形** (η, ica に) 似ている, そっくりの || その性質の多くが ca と一致している。  
ωωροc ο cωη ορ'ωρδδ ρ cδρ δ ωδδc ρρρ ρδω.. ▶ 私の 2 人の娘は互いにそっくりだ。

**助** **δδδoc** /kapat/

**動** (a が e'n を) 分かる

**名** **δδγω** /kalas/

**名** 登場人物, キャラクター, キャラ || 小説やゲームや演劇などで出てくる人や動物など。演劇においては、その物語の中で名前や性格などの設定のある架空のキャラクターを、実際の人物や動物が演じることになるが、δδγω が指すのはキャラクターの方である。例えば、『シンデレラ』の演劇ではある役者がシンデレラ役をすることになるが、δδγω が指すのはシンデレラというキャラクターの方で、役者自身ではない。

**名** **δδγωωδδωc** /kalisokad/

**名** 主人公, 主役, メインキャラクター, メイン

キャラ || 話を進める上で中心となる登場人物。

**助特** **δδ** /ke/

**助名** ~ という

内容を表す。  
接続詞の用法はないので、必ず ρδδ δρcη の形で用いられる。縮約した ρδδ'η の形も好まれる。

**名** **δδωρoc** /kesθat/

**名** 引き出し || 前後に移動させて出し入れする、机などの家具に取り付けられた箱。  
開け閉めは箱と同様に ωδωη と δρcρcωι で表現する。どちらの場合でも δδωρoc は ρο 句に置く。

**助** **δδωδ** /keser/

**形** (η) 水色の, 空色の  
色相環の 180° 付近の色を一般的に表す。

**名** **δδωρ** /kesir/

**名** 水色, 空色

**名** **δδωργωωρδδη** /kesirfale/

**名** シャレイアンブルー, シャレイア語の青

**名** **δδω** /kez/

**名** 大人, 成人

**助** **δδωιcδρ** /keztər/

**動** (a が e を) 持つ || 手や腕などで e を引き上げて支える。

**助** **δδωιρδρ** /kezləθ/

**形** (η) 補足の, 補足的な, 蛇足の, 蛇足的な || 必ずしも必要とは限らないが念のため追加された。  
日本語の「蛇足」とは少し異なり、余分だから無駄なことをしたというネガティブなニュアンスはない。

**助** **δδωηδρ** /kezer/

**形** (η, ie'n が) 上手な, 得意な, 得手な, うまい || ie をするのが優れている。  
「うまく~できない」を日本語のまま ωρ~δδωηδρ とすると「~できないということが上手だ」の意味、すなわち「~を失敗することが得意だ」という意味になってしまい、意図したものと異なってしまいます。これは、~ωιρδδωηδρ と δδωηδρ を否定することで表現する。  
δδωηδρ は主に形容詞として人を修飾して、何らかの行為をするのが上手であるという性質をもっていることを表す。一方で、ηδωωρ は主に副詞として使われ、そのときに被修飾語の動作を上手に行ったことを表す。したがって、日頃からそれがうまくできるとは限らない。また、ηδωωρ は形容詞として作品を修飾することもでき、その作品の出来

が良いことを表す。

**動** **ծնալից** /kezis/

**動** (a が ca に) **残る** || どこかへ移動したりせずに ca に存在したままになる。  
他動詞で使った場合、意図的に րհ 句のものをその場に置いてきたというニュアンスが加わる。意図せずに置き忘れてしまった場合は **ծծալից** を使う。なお、格組の違いに注意すること。

ցնալիցոս օ ցնց րօ արհ օրհս արհսնօրս րօ օ Ընր. օօ ծնալիսուս օ՛ր րօ օճու րհ Ընր նցոց... ▶ 私だけをここに残して、私が辿り着けないような遠い場所へあなたは旅立ってしまった。

**名** **ծնարկ** /ketθet/

**名** **動画, 映像, ムービー** || 実際の風景を動画にしたもの。

**名** **ծնարկ** /ketlθk/

**名** **メモ, 覚書, 覚え書き, 留め書き** || 何かを忘れないように書き留めておいたもの。

**名** **ծնարկ** /keteθ/

**名** **写真, フォト, スナップ**

**名** **ծնակ** /ketθd/

**名** **盆, お盆, トレイ** || ものを上に載せて支えたり運んだりするための平たい道具。

**動** **ծնակ+** /ked/

**動** **～するための建物, ～の建物**  
1つの建物を表す。敷地を含めていたりそこで行われるサービスなどを示唆する単語を作るには **ծնակ+** を使う。

**名** **ծնակ** /kedsaf/

**名** **校舎, 学舎** || 学校内にある授業を行うための建物。  
授業を行う教室がある建物のみを指し、体育館などは指さない。

**名** **ծնակար** /kedeθ/

**名** (*ie* の) **倉庫, 貯蔵庫, 保管庫, 蔵** || *ie* を貯蔵するための建物。  
1つの建物全体が倉庫になっているものを指す。倉庫として使われる部屋は **սծնակարծն**。

**名** **ծնակուս** /kedpasif/

**名** **迷宮, 迷路** || 通路や部屋の配置が複雑であるために自分の居場所が分からなくなりやすい建物。

**名** **ծնակունդ** /kedbeneg/

**名** **病棟** || 病人が病気を治すために寝泊まりする部屋がある病院の建物。

**名** **ծնակ** /kedθav/

**名** **アパート, アパートメント, マンション, 集合住宅** || それぞれを1つの住宅として使うために内部をいくつかに分けた建物。

「アパートに住んでいる」と言いたい場合は **ծնակար** **սծնակ** とし、**ծնակ** は使わない。

**名** **ծնակ** /kedθvas/

**名** **寺, 寺院, 神社, 教会, 礼拝堂, 聖堂** || ある宗教に関する参拝や儀式などを行うための建物。  
何の宗教かは問わないので、仏教の寺やキリスト教の教会など幅広く指す。

**動** **ծնակ** /kedliθ/

**動** (*a* が *e'n* を) **話し合う, 議論する, 論議する** || 共通して解決したい内容である *e* を解決するために様々な意見を出し合い吟味する。

**名** **ծնակ** /kedet/

**名** **建物, 建造物, 建築物**  
家から高層ビルまで幅広い建築物を指す。

**名** **ծնակ** /kedetsakad/

**名** **本館** || ある施設にある建物のうち主要なもの。

**名** **ծնակ** /kedetθistet/

**名** **別館** || ある施設にある建物のうち副次的に使われるもの。

**動** **ծնակ** /keder/

**動** (*a* が *e* を) **研究する, 追究する, 探究する** || *e* について詳しく調べたり考えたりして、その真理や理論を明らかにしようとする。

**動** **ծնակ** /kefθv/

**動** (*a* が) **気を晴らす, 気晴らしをする, 憂さ晴らしをする** || 悲しみや不安などの負の感情を忘れて解消したりするために何かをする。  
負の感情をなくすのが **ծնակ**。そのような意味合いがなく、例えば何らかのことにやる気がなくなったので別のことを始めるなどの、単に気分転換をするだけの場合は **րօցոց**。

**名** **ծնակ** /kevθaθ/

**名** **標識, 看板, 掲示, 札** || それぞれであるとは分かるようにするために、見やすいところに置いておくもの。  
例えば、商店が出ている看板などは、それを見ることによって「そこに商店がある」ということや「探していた店はここだ」ということが分かる。このようなものを **ծնակ** という。表札も **ծնակ** も一種である。  
**ծնակ** **րօ** **ծնակ** **օրհ** **ծ** “**սծնակ**! **ծնակ** **րօ** **ծ** **ծ**”... ▶ その看板には「危険! 立入禁止!」と書かれていた。

**動** **ծնակ** /keves/

**形** (*f'n*) **当然の, 当たり前の, 明白な, 自明な, 明らか** **動** **当然, 無論, 明らかに, もちろん** ||

いちいち考えなくてもすぐにそうだと分かる。

動 **ðəɪəɪə** /keɪv/

動 (a が ca'n に) 準備する, 用意する, 支度する || すぐに ca を行えるように必要なものを揃えたりしておく。

**ðəɪəɪəɪə ɔo ɔo ɔo ɔo** ▶ 身支度をする  
**ðo ðəɪəɪəɪə ɔ'ɔ'** ▶ 準備は良い?

動 **ðəðioɪ** /kebat/

動 (a が e'n に ca に) 気づかせる, 感づかせる, 分からせる, 閃かせる || 今まで ca が知らなかった e を突然分かるようにする。「ハッと分かる」もしくは「ピンとくる」という感じ。

語義にある「知らなかった」というのは、昔は知っていたがそのときには忘れていたという状態も含める。

動 **ðəðiɪɔ** /kebið/

動 (a が) 落ち着く, 冷静になる, 沈着になる 副動 落ち着いて, 冷静に, 沈着に || 感情的でなく理性を保っている状態になる。

動 **ðəðəɪə** /keθev/

副動 まず, 大方 || 必ず起こると言っても良いくらいだが少しは起こらない可能性がある程度の確率で。

名 **ðəðə** /keð/

名 8

動 **ðəðəɪəð** /keðik/

動 (a が e を ca に) 設置する, 取り付ける, 備え付ける || 道具や機械などの e を ca に置いて使えるようにする。

ðəɪə とは異なり, ɔo 句に方向を意味する単語を入れる必要はない。すなわち, 「机に設置する」は単純に **ðəðəɪəðəɪə ɔo ɔəðəɪəɪə** と言える。

動 **ðəðəɪəɪə** /keðir/

動 (a が e に) 住む, 棲む, 居住する || 家である e を築き, そこを拠点に生活を行う。J 句は「家」や「マンション」などの住んでいる建物が置かれる。「東京に住んでいる」など地名を言いたいときは **ɔəɪ** 句で表現する。その場所で生活を行っている状態は経過相。

名 **ðəðə** /ker/

名 あのこと, あれ, そのこと, それ 特定の事の代詞。

動 **ðəðəɪəɪə** /kerzef/

形 (ɪ) 頼もしい || 基本的に頼もしそうに行動する性格の。

動 **ðəðəɪə** /kelaθ/

動 (a が ca に) 頼る, 頼りにする, 依存する || 困

ったことがあったら ca が解決してくれるだろうと期待する。

頼りにしている状態は継続相。

ɔo 句は人でなくても良い。例えば, 見知らぬ土地では地図が頼りになるかもしれないが, ここで「地図」は ɔo 句に置くことができる。

「家族にお金を頼る」などのように, 何に関して頼りにしているかは **ɔəðəɪ** 句で表現する。

動 **ðəðəðə** /kelad/

形 (ɪ) 大人っぽい, 大人びた || 精神的に十分成熟しており, その場に適切な行動や考えができています。

この単語はポジティブなイメージがある。ðəðəðə は大人らしい言動が実際にできていることを表すのみだが, **ɔəðəðəðə** はまだ精神的に子供なのに背伸びして大人っぽく見せようとしていることを表す。

動 **ðəðəɪə** /kelem/

形 (ɪ) 静かな || 物音がほとんどない。

ðəðəɪə は静かさを表す基本的な単語。**ɔəðəðəɪə** は語源からも分かるように物音が全くない様子を表す。すなわち, **ðəðəɪə** では少しの物音があるかもしれないが, **ɔəðəðəɪə** では全く物音がない。**ɔəðəðəɪə** は **ðəðəɪə** に「物音が少なく穏やか」というニュアンスを加えたもの。

騒がしいときに言う「静かに」は普通 **ðəðəɪə ɔəðəðəɪə** と言い, **ðəðəɪə** を用いる。**ɔəðəðəɪə** を用いると「物音一つ立てるな」という少し強すぎる意味になってしまう。

動 **ðəðəɪə** /kelit/

動 (a'n が e を) 安心させる, 安堵させる, 安らげる, ホッとさせる || 不安なことがない状態にして, e を落ち着かせる。

名 **ðəðəɪə** /kelɔr/

名 (izi の) 北西

動 **ðəðəɪəɪə** /keɪmes/

動 (a が) 落ち着く, 安定する || 慌てていたり忙しかったりしていたのが終わり, 心を休められる状態になる。

動 **ðəðə** /ket/

動 (a が e を ca に) 置く, 載せる

「机に置く」は **ðəðəɪə ɔo ɔəðə ɔəðə ɔəðəɪə** のように言わなければならないが, **ɔəðə** を省略できない。これは, ɔo 句の位置に入るものが, 置くための台というよりは置く場所であるためである。

動 **ðəðəɪə** /kever/

動 (a が e に) 参加する

動 ðʒ /keθ/

動 (aが e'nを caに) 言う, 述べる, 発言する  
 ðʒは何を発言したのかに重点を置く。したがって、J句に ðʒn 節や直接話法構文をとって、どんなことを発言したのかを表す。qodはコミュニケーションを意味し、会話の具体的な内容には特に言及しない。コミュニケーションなのだから、発言は双方向的になる。qouは発言によって相手がまだ知らない情報を伝えることを表す。相手への情報伝達がメインとなる言い方なので、発言は一方的である。qʒuは意見や物語などのような1つのまとまった内容のある文章を表現することを表す。qʒʒuは誰にというわけではなく声を出すことを表す。qioqʒuは qod で表されるコミュニケーションのうち、些細な内容を気楽に話すことを表す。なお、これらは実際に言葉を音声として発している必要はなく、メールやチャットなどの文字上だけの発言でも良い。ciʒiðʒuは口から言葉を発するという現象そのものに注目する。英語では、ðʒ, qod, qioqʒu, qou, qʒu, ciʒiðʒu はそれぞれ say, talk, chat, tell, speak, talk に相当する。

動 ðʒqðʒ /keθkeʒ/

動 (aが e'nと) 補足する, 注釈する || 補足として述べる。

動 ðʒqʒð /keθfek/

動 (aが e'nを) 暗唱する, 暗誦する  
 e という覚えていることをそのまま言う。

名 ðʒʒʒ /ketis/

名 角, 隅 || 端にある突き出ている部分。

名 ðʒʒq /ketʒr/

名 茎 || 植物の器官のうち、葉や花などを支えている棒状のもの。  
 樹木であってもタンポポのような小さい植物でも、根本から葉や花などを繋ぐ植物の本体とも思える部分は全て ðʒʒq で表す。したがって、日本語の「幹」や「枝」を含意する。それぞれ ðʒʒqʒʒððci と ðʒʒqʒʒʒʒʒʒci という個別の単語はあるが、それらを特に指したい場合を除いて普通は ðʒʒq と言う。

名 ðʒʒqʒʒððci /ketʒʒʒððci/

名 幹 || そこから分岐したより細い茎をもつような、植物の中央にある主な茎。

名 ðʒʒqʒʒʒʒʒʒci /ketʒʒʒʒʒʒci/

名 枝 || 幹から分岐した茎。  
 植物の中央にある幹から分かれた部分を特に指したいのみに用いる。例えば、単に「木の枝が落ちている」と言いたい場合は ðʒʒqʒʒʒʒʒʒci ではなく ðʒʒq を用いる。

動 ðʒð /kek/

動 (aが e'nと caに) 書く, 記す, 執筆する || e を

文章で表現してそれを ca に記録する。「手紙を書く」や「本を書く」における「手紙」や「本」のように、文章を書くことによって作られるものは qʒ J句で表す。

名 ðʒq /keθ/

名 コーヒー

名 ðʒqʒqʒʒʒʒ /keθlefɒm/

名 カフェオレ || コーヒーに牛乳を入れた飲み物。

名 ðʒq /ker/

名 容器, 入れ物, 箱, 瓶, ケース || 何かを中に入れておくためのもので、比較的小さいもの。

ðʒq は、机の上に置く程度の比較的小さいものを指す。ペン立てやペットボトルや調味料瓶などが相当する。coðʒq は、比較的大きめのものを指す。荷物を入れる段ボール箱や収納ボックスなどが相当する。なお、材質では分類されない。

形状や材質は問わないので、例えば、飲み物を入れる瓶なども ðʒq の一種である(ただしこれは特に qʒðʒq とする)。本のカバーのように覆うだけのものは指さない。

名 ðʒqciʒʒ /kerdev/

名 ベン立て, ベンケース || ベンを初めとする文房具を入れておくための容器。  
 木やプラスチックなどの硬い素材でできていて、机の上などに置いておいて利用するものが想起される。持ち運んで使うものは qʒciʒððciʒʒ。

名 ðʒqʒqʒʒʒciʒʒ /kelevkit/

名 ガラス瓶, ガラスケース, ジャー || ガラス製の容器。  
 ジャムなどが入っている瓶をイメージすると良い。

名 ðʒʒʒq /kisʒr/

名 お金, 金, 金銭, 貨幣 || 物の価値の基準や財産を貯める手段として用いられるもの。

動 ðʒʒʒʒ /kizʒs/

動 (a'nが eを) 仰天させる, 驚嘆させる, 驚愕させる

動 ðʒʒʒʒci /kizid/

動 (a'nが eを) 緊張させる  
 ciʒʒʒʒci は óðu の下位語であることから分かるように不安さを強調するが、ðʒʒʒʒci は心の張り詰め感を強調する。

動 ðʒð /kig/

動 (aが eを) 切る, 切断する || 刃物などの鋭利なもので e に力を加えて e を分離させる。「紙で指を切る」などのように、切り傷で

きることを意味する「切る」は **ծርստ** で表す。**ծրծ** を使うと切断したことになってしまふ。

**助特** **ծրծ** /kife/

**接形** ~という点で、~に関して、~するほど  
**սորոց օ ցոր յ արցրց օծոցց ըծրծ օգոյս օ'ր յ սնր ըսոր ընր..** ▶ あんなことを聞くなんてあなたは無知なのですね。

**助** **ծրծահ** /kivot/

**助** (aがeを) 区切る、仕切る、区分する、分ける、分割する || ひとまとまりだった e に境を定めることで複数の部分にする。

**名** **ծրծրց** /kibir/

**名** 氷 || 冷やして固体になった水。

**助** **ծրծրցոյն** /kibirhev/

**助** 雹が降る、霰が降る || 空から雹が降ってくる。

**名** **ծրծրցոյն** /kibirhiv/

**名** 雹、霰 || 空から降ってくる氷の粒や塊。大きさを区別しない。

**助** **ծրց** /kir/

**助** (aがe'nか) できるようになる、可能になる || e を行うだけの能力や技能を身につける。助動詞的に用いることが多い。  
յ 句には普通 **ծրս** 節を置くが、このときの **ծրս** 節の中の動詞は通時時制か現在時制にする。通時時制を用いるのは、「泳ぐことができる」のように、過去も未来もいつでもその能力を発揮できる場面があり得るような場合である。一方現在時制を用いるのは、「レストランでご飯かパンか選べなかった」のように、その能力を発揮する場面がほとんどそのときに限る場合である。  
**այծրցն անրոցս օ արց յ'ն սնարս օ'ր ան անսահն յ անրցս օ սորոցն..** ▶ 私はご飯を食べるかパンを食べるか決められなかった。

**助** **ծրցահ** /kiiter/

**形** 高い || 音の振動数が大きい。

**機節** **ծրս** /kin/

**機節** ~ということ  
発音は例外的に /kin/ であり、アクセントをもたないことに注意。

**名** **ծրգ** /kiθ/

**名** 発言、話

**名** **ծրցոյնից** /kiledet/

**名** 冬瓜

**名** **ծրցոյն** /kileθ/

**名** キュウリ

**名** **ծրց** /kid/

**名** (ica の) 境界、境、境目 || 2 つ以上の領域であ

る ica が接している部分。  
րցո 句には 2 つ以上の名詞句を 3 で繋げたものを置いても良いし、1 つの名詞句だけを置いても良い。後者の場合、例えば **ծրց րցո սնրոց** であれば、**սնրոց** が複数の国を指していると考えられ、実質 **րցո** 句に 2 つ以上の名詞句が置かれているのと同じになる。

**名** **ծրցահոց** /kidsorkut/

**名** 国境 || 国の境界。

**名** **ծրս** /kəs/

**名** あの人、その人  
特定の人の代詞。

**助** **ծրս+** /kəs/

**助** ~するための施設、~の施設

**名** **ծրսսո** /kəsəf/

**名** 学校、学院、学園 || 教師が生徒に教育を行う場所。  
基本的には小学校から高校までを指す。大学や専門学校などは、それぞれを意味する個別の単語を使うことが多い。この理由は、大学や専門学校は、学問や技術を伝授するという側面が強く、**սոսո** というより **սօր** の場だと考えられるためである。学校の敷地全体を指す。その中にある建物単体を表すことはない。

**名** **ծրսսնրյն** /kəsereṃ/

**名** 温泉施設、銭湯 || 温泉に入ることができる施設。  
特に宿泊設備が伴っているものは **աննրյն** と言う。  
**ծրսսնրյն** は、自然の地下水を溜めて入浴のために利用できるようにしている施設を指し、どちらかという日々々の疲れを癒やすために行く場所というニュアンスがある。一方で **ծրսսնրոծ** は、基本的に普通の水を沸かして浴槽に貯めて入浴できるようにした施設を指し、衛生のために生活の一部として行う入力をするための場所というニュアンスがある。

**名** **ծրսան** /kəsdes/

**名** 大学  
総合大学と単科大学の区別は特にしない。

**名** **ծրսն** /kəsben/

**名** 病院、医院 || 病気が怪我をした人を診察したり治療したりするための施設。

**名** **ծրսահ** /kəsəh/

**名** 図書館、ライブラリー || 本などの資料を保管して、利用者が見れるようにしたり利用者に貸し出したりする施設。

**名** **ծրսոն** /kəsrahit/

**名** 遊園地、テーマパーク、アミューズメント

パーク || 楽しく遊ぶための比較的大規模な設備が揃っている施設。

名 **δύσπυρὸδ** /kosjeiak/

名 銭湯, 風呂屋, 湯屋 || 日常生活における入浴をするための施設。

動 **δύσοο** /kosat/

動 (a が e'n を) 信じる || e は誤りではなく本当のことであると思う。

δύσοο は、J 句の内容が正しいという何らかの根拠があるか、根拠がなくても意志をもってそれが真実だと思うときに用いる。後者は、例えば自分の尊敬する人が言ったことだから根拠が見当たらなくても真実だと思うおうとする場合などが当てはまる。一方で ρερόδωι は、J 句の内容について、特に根拠がなくても疑いもせずに真実だと思っている場合に用いる。この 2 つの単語はどちらも、J 句に「彼は明日の試験に合格する」のような未来の事象を置くこともでき、J 句の内容の真偽については言及しない。αιρῖςο はこれらとは異なり、J 句の内容が誤っているというニュアンスがある。したがって、J 句に真偽が不確定な未来の事象が置かれることもない。

この単語の意味を強めたのが δύσπιστο。「彼女を信じている」などの「信じる」には πιστοδ を用いる。δύσοοδ J ρυ などとは言えない。

δύσοοο ο αιρ Ἰη ριόδοορ ο ρυ J αιρῖς αιρῖς οδρρ οδρ. ▶ 彼はこの部屋の中に隠れているに違いない。

動 **δύσζυ** /kosiz/

副動 丁寧に, 丁重に, 入念に || 細かいところまで気が配って。  
δύσζυ J δυδ. δυδου ο ρυ ρο ηρζα ζυη αιρῖς J ρηρτοο οδαιδρρ ρρῖ ηηη οερρδρρδ. ▶ 丁寧にすぎるほどに、彼は机の上に 1 億円する絵画を置いた。

名 **δύσζρ** /kosoθ/

名 施設 || 何らかの目的のために設備などが整えられた建造物とそれを含む用地。基本的には建造物だけでなくそれがある敷地全体を指すが、施設の種類によっては建物だけを指すこともある。例えば、遊園地は δύσζρ の一種だが、この場合、遊園地の各アトラクションを指すわけではなく、様々なアトラクションがある敷地全体を指している。一方、病院も δύσζρ の一種だが、総合病院のような大きな病院でない限り、病院の建物 1 つ以外に設備がないので、建物だけを指すことになる。テントのような移動式の設備を用いて一時的に作られたものは指さない。

副 **δύσ** /koz/

副特 全く, 全くの, 本当に, 実に, まさに, まさ

しく, こそ || それ以外のものではなく。修飾された語句を強調する。名詞でも形容詞でも動詞でも修飾できる。名詞を修飾する場合は英語の very のような意味合いである。否定語句を修飾した場合は否定が強調される。

疑問文において疑問詞を修飾することで、日本語の「いったい何が」などのように、尋ねる内容を強調できる。

δο ρηδoo ο δυδ δύδω αιρ ρυδ! ▶ そこにはいったい何がああるのですか?

αιρροερδoo δύδω σ'ρ Ἰη ρηδoo αιρ ρυδ! ▶ 君がここにいるなんて予想だにしてなかったよ!

動 **δύωδ** /kozε/

動 (a が e'n を ca と) 約束する || 必ず e を実現させると ca に言う。

ρο 句は約束する相手で、J 句は約束の内容。δύωδ と αιρρδδ はどちらも何かを将来行うと表面することを表す。δύωδ では、ο 句の人だけがそれを行うという意志があり、ρο 句の人は単にその意志を受け取ったにすぎない。一方で αιρρδδ では、ο 句の人と ρο 句の人が一方でそれを行う意志がある。「必ず守る」という意志がとても強いことを伝えたい場合は、特に δύρδρη を用いる。

名 **δύωρζ** /koziz/

名 (ica との) 約束 || ica と約束した内容。約束の具体的な内容は ρδδ 句で述べる。

動 **δύκαρη** /kotfeδ/

動 (a が e を) 測る, 計る, 量る, 測定する, 計測する || 何らかの量である e を装置を用いて決定する。  
例えば δύκαρηδ J οδρρδρ ρο αιρηο のように、J 句には「長さ」などの測定できる尺度が入る。

名 **δύκρδ** /kotled/

名 (a が e'n を zi で) 証明する || zi を提示することで e は本当であることを示す。何か証拠となるものを提示することで、あることが真実であることを示すことを表す。例えば、化石を提示することでその場所の年代を証明したり、証明書を提示することで自分が何者かを証明したりする場合などが挙げられる。

名 **δύκρρ** /kotlid/

名 (ie'n の) 証, 証拠, 証明, 裏付け || ie が本当であることを分らせるようなもの。ρδδ 句は δρηη をとるが、この場合はよく縮約が起こって ρδ'ηη となる。

動 **δύκρδ** /kotik/

動 (a が e を ca に) 見つける, 発見する || e の場所が分からなかった状態から、e の場所が ca

であると特定する。  
実際に探していたものを目で見る必要はない。どこにあるかが分かれば δόςρεδ を使える。

**動 δόςρε** /kod/

**動** (a'n が e'n を) **起こす, 生じさせる, 発生させる, 実現させる**

**動 δόςρεγός** /kodlet/

**動** (a が e'n を) **確信する** || e は絶対に本当のことだと思う。

**動 δόςρεος** /kodat/

**形** (η) **正確な, 厳密な** || 正しい数値から少しのずれもない。  
「正確に 50 人」は **ογός ογ'αθ οδόςρεος**。日本語では「正確に」と副詞的に用いるが、シャレイア語では名詞の正確さを述べるときは形容詞的に用いる。

**動 δόςρεγός** /kodek/

**動** (a が e'n を) **理解する, 分かる** || e の詳しい内容などが論理的にしっかりと知っている状態になる。

頭を使って理解するのが δόςρεγός、感覚的に理解するのが **ρεγός**。

何となくではなく論理的に把握して初めて δόςρεγός と言う。さらに全体を包括的に理解しているというニュアンスを加えたのが **ογόςρεγός**。何となく表面は分かっているが、本質的な部分や全体像の把握などができていないときは **δόςρεος** を使う。

**動 δόςρεζός** /kodzj/

**動** (a が e'n を) **証明する, 論証する, 立証する** || e が本当であることを論理的に説明する。

**名 δός** /kək/

**名 現実**

空想や夢などと対比したときの「現実」という概念を表す。

**動 δόςρεος** /kəkər/

**動** (a が e'n を ca に) **説明する, 解説する** || ca が e をよく理解できるように e について教える。

**名 δόςρερε** /kəkud/

**名** **カセット, カートリッジ, ディスク, ロム, メモリ** || コンピュータに読み込ませて用いるデータを保管しておくための小型の機器。SD カードや USB メモリはもちろん、ゲームのカートリッジなども指せる。

**名 δόςρεος** /kəkθaf/

**名** **題名, 表題, 標題, 題, タイトル**

**名 δόςρε** /kəkfet/

**名** **名前, 名** || ものを指し示すときに用いられる言葉。

人間の氏名を指して **δόςρε** という場合は、

姓名やミドルネームなどの総称になる。  
名前を尋ねるときは **δός ογόςρε γόςρε** とする。英語のように **δός ογόςρε γόςρε** だけではなく、名前だけでなくもっと一般に「あなたはどんな人か」という意味になる。

**名 δόςρερε** /kəkfetθər/

**名** **姓, 名字, ファミリーネーム**

シャレイア名における姓は、その人の性格や特徴を表す単語に姓接尾辞をつけて作られるため、この単語は **ρερε** との合成により成り立っているが、シャレイア名以外の普通のファミリーネームもこの単語で表す。

**名 δόςρερε** /kəkfetθəθ/

**名** **名, 名前, ファーストネーム**

シャレイア語においては、人を名前で言及するときは姓ではなく名を使うのが一般的なため、この単語は **ρερε** と合成されて成り立っている。日本などでは姓で呼ぶことが普通だが、そのような場合でも **δόςρερε** はファーストネームの方を指す。

**動 δόςρε** /kəkfid/

**動** (a が e を ca に) **見つける, 発見する** || e が ca に存在していたことを知る。

見つけようと探していて実際に見つけるのが **δόςρε** で、特に見つけようとしていたわけでもないがその存在に気づくのが **δόςρε**。「服の汚れを見つける」などは後者の **δόςρε** を使う。

**ρε** 句は **γ** 句のものがある場所、**ογ** 句は **ο** 句のものがある場所を表す。状況によってはこれらが異なる場合がある。例えば、建物の屋上から見渡していて何かが公園にいるのを見つけた場合、**ρε** 句は公園だが **ογ** 句は建物の屋上になる。

**動 δόςρεος** /kəkvad/

**動** (a が e'n を zi で) **調べる** || 分からないことである e を分かるためにそれに関する情報を **zi** から探す。

**ογ** 句には、特定の本や新聞などの情報源が置かれる。したがって例えば、辞書で単語の意味を調べるときは、「辞書」を **ογ** 句に置けるが、ネットで調べるときは、ネットそのものが情報源というよりネット上の Web ページが情報源となるので、「ネット」そのものは **ογ** 句に置けない。代わりに、手段と見なして **ρε** 句で表現する。

**動 δόςρε** /kəkθað/

**動** (a が) **存在する**

**名 δόςρε** /kəkθər/

**名** (izi'n の) **結果**

**名 δός** /kəkj/

**名** **言葉** || 意味をもった言語による表現。



1 単語でもたくさんの文からなる非常に長い文章でも、言語を用いて表現されたものであれば **ծծա** と言える。ただし、「言語による」というところに重点が置かれるので、例えば歌そのものは **ծծա** ではないが、歌の歌詞だけに着目すれば **ծծա** と言える。

動 **ծծցունս** /kɔrdes/

形 (ʔ) **はっきりした, 確固とした, 確固たる** 〓 そこに存在していることがよく分かる。

動 **ծծցնիօց** /kɔrgat/

形 (ʔ) **硬い, 固い, 堅い** 〓 衝撃を加えても割れたり砕けたりしにくい。

動 **ծծցունք** /kɔrveð/

動 (a ɡ e'n ք ca և) **約束する, 誓う** 〓 何が起こっても必ず e を実現させると ca に言う。

名 **ծծցուրք** /kɔrvɪð/

名 **誓い, 約束** 〓 何が起こっても必ず実現させると約束した内容。

օօ սօրծ յ նձուստ օ ծծցուրք օրցծ ըծնտ օծնք օծծօ օ ըօր յ ընք! 絶対に幸せにするというあの約束は嘘だったの?

動 **ծծցրօս** /kɔrθav/

動 (a ɡ e'n ք) **予兆する, 前兆となる, 兆す, 示す** 〓 e ɡ これから起こるだろうということを表す。

名 **ծծցրնք** /kɔrθev/

名 (ie'n) **予兆, 前兆, 兆候, 兆し, 前ぶれ** 〓 ie ɡ これから起こるだろうということを示す現象。

将来何が起きそうかを表すのが ընք 句で、どういう現象がその予兆を示しているかは ըծնք 句で表す。例えば、「地震が火山の噴火の前触れとなる」という状況の場合、「火山の噴火」は ընք 句で「地震」が ըծնք 句になる。

名 **ծծցրօս** /kolaz/

名 (ica) **ケース, カバー** 〓 ica を保護したり持ち運んだりするために専用で作られた容器。バイオリンケースやスマートフォンケースのように、中に入れるものが決まっっていて、そのための専用の大きさや形をしているものを指す。

名 **ծծցնք** /koled/

名 **理性**  
「自分」というのは2つに分かれ、片方は感情的な自分でもう片方は理性的な自分である。これらをそれぞれ **ծծցնք** と **ցնք** で表す。**ցնք** は **ծծցնք** が制御することのできない嗜好や感情である。例えば、ある人を恋愛的に好きになったが、その相手には他に好きな人がいて、自分に振り向くことはあり得ないとする。このとき、そのまま恋愛を続けるのはただつらいだけなので、**ծծցնք**

は恋愛をやめようとする。しかし、**ցնք** はその人が好きで仕方がないので、いくら **ծծցնք** が恋愛が不合理か論理的に説明しても **ցնք** は恋愛をやめることができない。他の場面として、何かにイライラして怒鳴ってしまったとする。怒鳴っている最中に **ծծցնք** は冷静に怒鳴ることが意味のないことだと気づくが、勢いから怒鳴り続けてしまう。これも **ծծցնք** が **ցնք** を制御できなかったより身近な例である。このように、**ցնք** というのは自分がどうがんばっても変えることのできない自分を指す。ただし、**ցնք** が一生を通して変わらないかというそうでもなく、挫折や死などの大きな外的ショックによって変わり得る。いわゆる「人が変わった」というのは **ցնք** が変わったことを意味する場合が多い。

**ծծցնք** は理性的な自分を指すので **սծաճ** と似ているが、**ծծցնք** は **սծաճ** と違って理性を1つの人格のように捉えたときの言い方である。

名 **ծծցճ** /kɔlɔt/

名 **駅, 駅舎, 停留所** 〓 電車が停車して、その乗客が乗り降りしたり荷物を積み降ろししたりするための施設。

乗客の乗り降りや荷物の積み降ろしをするための場所のみを指し、車両の整備のための停車場や車庫などは指さない。この単語を合成要素としている他の単語も同様である。

ծնոճքն յ ընք. ըս տչքնս օ ընք յն ընձճքս օր սր ըծրդւ ըս ծծցճ. ▶ ぼーっとしていて、駅で電車を降り損ねた。

名 **ծծցճնք** /kɔlɔtθ/

名 **港** 〓 船舶が停泊して、その乗客が乗り降りしたり荷物を積み降ろししたりするための施設。

名 **ծծցճունք** /kɔlɔtvɔr/

名 **バス停, 停留所, バスストップ** 〓 路線バスが停車して、その乗客が乗り降りしたりするための施設。

名 **ծծցճուրք** /kɔlɔθɪr/

名 **空港, 飛行場, エアポート** 〓 飛行機が発着して、その乗客が乗り降りしたり荷物を積み降ろししたりするための施設。

動 **ծծրդւնք** /kɔrɪðeɪ/

動 (a ɡ e'n ք) **そうだと思う, 聞こえる, 推測する, 推量する** 〓 視覚によって得られた根拠をもとに e ɡ 正しいと思う。

ծծրդւնքնս օ ընք յն սօրօց յ օւրցնօց օ սնք ծծրօր յ օ ընք. ▶ 彼の言っていたことが本当であるようには聞こえなかった。

**助** **ծծրրց** /kɔɾliθ/

**助** (a ց eՆ ւ) **そう**だ**と**思**う**, 見**え**る, 推**測**する, 推**量**する || 視**覚**によって得**ら**れた**根**拠**を**も**と**に e ց 正**し**い**と**思**う**。

**名** **ծծրրց** /kɔɾiθ/

**名** 酒, 酒**酒**, **ア**ル**コ**ール, **ア**ル**コ**ール**飲**料 || **ア**ル**コ**ール**が**一**定**量**含**ま**れ**て**い**る**飲**料。ビ**ール**や**ウ**イ**ン**な**ど**の**あ**ら**ゆ**る**ア**ル**コ**ール**飲**料**を**指**す**。

**助** **ծծրրն** /kɔɾɛɾ/

**助** (a ց eՆ ւ ց zՆ ր) **そう**だ**と**思**う**, 推**測**する, 推**量**する || zի とい**う**何**ら**か**の**根**拠**を**も**と**に** e ց 正**し**い**と**思**う**。推**量**した**内**容**が**, 根**拠**となる**情**報**か**ら推**測**できる**本**質**的**な**情**報**であ**った**り**, 誰**か**が話**し**て**い**る**内**容**を**根**拠**に**し**て推**測**される**そ**の**話**し**手**が**伝**え**た**い**ど**であ**ら**う**こ**と**であ**った**り**する**場**合**は**, 特**に** ԾԾՐՐՆ ց 使**え**る。j 句**の**内**容**が**正**し**い**と**判**断**し**た**根**拠**が**視**覚**による**も**の**だ**った**場**合**は**特**に** ԾԾՐՐԸ ց 使**う** **こ**と**が**でき**る**, 其**れ**が**聴**覚**による**もの**だ**った**場**合**は**特**に** ԾԾՐՐՆ ց 使**う** **こ**と**が**でき**る**。

**名** **ծծրրց** /kɔɾiɑsɔzɪt/

**名** 国 **韓**国

**名** **ծծ** /kɔd/

**名** **あ**の**場**所**, あ**そ**こ**, **そ**の**場**所**, そ**こ  
特**定**の**場**所**の**代**詞**。

**副** **ծծն** /kɔdɛ/

**副** なる**ほ**ど, **そ**う**か**  
こ**れ**ま**で**気**づ**か**な**か**っ**た**こ**と**に**気**づ**き**, 納**得**し**た**と**き**に**用**い**る。

**助** **ծծծ** /kɔk/

**副助** 必**ず**, 絶**對**に**, 確**実**に**, 必**と** || 起**こ**る**確**率**が** 100% **だ**と**言**える**状**態**で**。**蓋**然**性**を**表**す**單**語**は**, 蓋**然**性**が**高**い**方**か**ら順**に** ԾԾԾ, ԾԾՐՆ, սԾՐ, րԾԾԾ, ԾԾՐ, ԾԾԾԾ, ԾԾՐԾ, ԾԾՐԾ 8 段**階**ある**。**区**切**り**方**は頻**度**を**表**す**單**語**群**と**同**じ**な**ので**, 詳**しく**は** ԾԾԾ 的**を**参**照**。

**助** **ծծրց** /kɔɾɪɾ/

**助** (a ց eՆ ւ) **解**明**する**, 解**き**明**か**す, 明**ら**か**に**する || 未**だ**知**ら**な**か**った**こ**と**を**調**査**や実**験**な**ど**によ**っ**て**は**き**り**さ**せ**る。

**助** **ծծտ** /kɔm/

**助** (a ց e ւ) 着**る**, 着**用**する, 身**に**つ**け**る  
衣**服**だ**け**に**限**ら**ず**, 靴**を**履**く** **こ**と**や**帽**子**を**か**ぶ**る** **こ**と**や**ア**ク**セ**サ**リ**ー**を**つ**け**る** **こ**と**な**ど**も**この**動**詞**で**表**せ**る。  
ծծտը ց զն յ ոծթօնթօր օծթ շօր ոծթօս օծթօր. ▶ 彼女**は**た**く**さ**ん**の**リ**ボン**が**付**い**た**か**わ**い**ら**し**い**ワ**ン**ピ**ース**を**着**て**いた**。**

**助** **ծծտաճուց** /kɔmfɛɦɑr/

**助** (a ց) **女**装**する** || 普**段**は**着**な**い**よ**う**な**か**わ**い**ら**し**い**服**装**を**着**る**。**対**応**す**る**日**本**語**と**し**て**は**「女**装**する」**が**近**い**が**, 「男**性**が**女**性**の**格**好**を**する」**な**ど**の**よ**う**な**性**別**を**限**定**する**ニ**ュ**ア**ス**は**な**い**。**そ**の**た**め**に**, 例**え**ば**普**段**ボー**イ**ッ**シュ**な**服**装**し**か**し**な**い**よ**う**な**女**性**が**か**わ**い**ら**し**い**服**を**着**る**こ**と**も** ԾԾտաճուց と言**え**る。

**助** **ծծտրընուց** /kɔmծɛɦɪz/

**助** (a ց e ց ca և) 重**ね**着**する**, 着**込**む, 厚**着**する || 通**常**の**衣**服**である** e ց ca 上**に**重**ね**て**着**る。  
j 句**も** զօ 句**も** սծթօսծծ で**表**さ**れ**る**衣**服**である** **必**要**が**あ**る**。**し**た**が**っ**て**, **コ**ート**な**ど**の**防**寒**着**を**上**に**羽**織**る**こ**と**は**含**意**し**な**い**。**

**助** **ծծտն** /kɔzɛk/

**形** (r, izi և) 強**い**, 丈**夫**な**, 頑**丈**な**, 強**固**な**, 堅**固**な** || izi ց 外**か**ら加**え**る**物**理**的**な**力**では**簡**単**に**は**形**が**崩**れ**たり**壊**れ**たり**し**な**い**。**比**較**的**強**い**力**を**加**え**て**も**形**が**ほ**と**ん**ど**変**わ**ら**な**い**ま**ま**である** **こ**と**を**指**す**。**形**に**注**目**す**る**言**い**方**で**, 「機**能**した**ま**ま**である」**とい**う**ニ**ュ**ア**ン**ス**は**薄**い。  
ծծրցրց օ զս յ սծա օծտնծ շուր օրցրցօսծաը. ▶ 彼**は**地**震**に**強**い**家**に**住**ん**で**い**る**。

**副** **ծծ** /kɔt/

**副形** ち**ょう**ど, ぴ**つ**たり**, き**つ**かり**, 必**ず**ち**り**  
形**容**詞**や**副**詞**を**修**飾**し**て**, 意**味**を**よ**り**厳**密**に**す**る。**例**え**ば**, օօօօ ց 下**の**方**に**あ**れ**ば**少**し**横**方**向**に**ず**れて**い**れ**ば**良**い**が**, օօօօ Ծծ** ց と**す**ると**本**当**に**真**下**しか**指**さ**な**く**な**る。**被**修**飾**語**の**意**味**を**限**定**す**る**こ**と**も**あ**れ**ば**, 単**に**強**調**す**る**だ**け**で**限**定**し**な**い**こ**と**も**あ**る**。**単**に**強**調**す**る**だ**け**の**例**と**して**は** ոն օօօ Ծծ ց がある**。**単**に** ոն օօօ と言**っ**ただ**け**で**も** 1000 円**である** **こ**と**に**は**変**わ**り**な**い**が**, Ծծ** ց をつ**け**る**こ**と**で**ち**ょう**ど 1000 円**である** **こ**と**が**強**調**さ**れ**る。**た**だ**し**, 単**に** ոն օօօ と言**っ**ても**「約** 1000 円**」**を**表**す**こ**と**が**あ**る**の**で**, 限**定**か**非**限**定**か**は**曖**昧**である**。**

**助** **ծծ** /kɔd/

**助** (a ց e ց ca և) 書**く**, 記**す**, 綴**る** || e ց 表**す**文**字**や記**号**を ca に**記**録**す**る。  
j 句**は**書**く** **内**容**も**し**く**は**記**号**を**表**す**。**し**た**が**っ**て**, 「名**前**を**書**く」**を**それ**ぞ**れ Ծծս յ ծծս ց と言**え**る**が**, 「本**を**書**く**」**の**意**味**で Ծծս յ յ օր ց と言**え**ない**。**「本**を**書**く**」**を** Ծծ ց 用**い**て**表**現**し**たい**な**ら Ծծս յ ր օր ց とい**う** **必**要**が**あ**る**が**, 本**を**書**く**こ**と**に**行**う**行**為**の**焦**点**は**文**字**を**記**す**こ**と**で**は**な**く**文**章**を**作**る** **こ**と**な**ので**, 普**通**は** Ծծ ց 使**っ**て Ծծս յ ր օր ց と**す**る。**ま**た**, 結**果**目**的**語**に

はずに ριζόσουσ ωσφιとしても良い。  
 δζαは文字や記号を書くことに焦点を置き、  
 δζδは文章を書くことに焦点を置く。  
 δζαは文字を書く場合に、ριζοδは線で図形を描く場合に、ριζορは絵を描いて何かを表現する場合に使う。

**動 δζαδαι** /kɔdez/

**動** (aがeを) 捕まえる, 捕らえる, 取り押さえる  
 || 逃げていたか逃げようとしているeを逃げられないようにする。

**動 δζαδαι** /kofed/

**動** (aがeを) 精通する, 熟知する, よく知る || eに関する知識を豊富にもっている状態になる。  
 英語のfamiliarが近い。  
 対義語の「疎い」に相当する単語はなく、αιφαδισιυなど表現する。

**動当 δζαυ** /kɔv/

**副** 実は, 本当は || これまで明らかにされていなかったが本当のことを言うとき。

**動速 δζαυ** /kɔd/

**副動** 安定して **形** (+) 安定した, 落ち着いた || 状況や性質などがあまり変わることのない。意味は広いが、「安定した椅子」などのように物理的な安定性というよりは、「安定した生活」のように物事に性質に関しての意味合いが強い。

**動 δζαιρζαι** /kɔhid/

**動** (aがeを) 積む, 積み上げる, 積み重ねる || eの上にさらにeを置くというのを繰り返す。

**助特 δζ** /ku/

**助名** ~の

δζα的な意味での所有を表す。

**動 δζαισιυ** /kuzes/

**動** (aがeを) 縛る, 括る, 締める, 締めつける, 結びつける || 紐状のものをeの周りに巻いて固定し、eが動いてしまわないようにする。固定するときには大半の場合は紐を結ぶだろうが、紐を結ぶことではなく、ものを固定することがメインの言い方である。

**名 δζα** /kut/

**名** あれ, それ

特定の物の代詞。

**名 δζαουσι** /kutaz/

**名** 意味 || ものが表現している内容。「~の意味」はδζαουσι ρ δζαυ~。

**名 δζααυ** /kutaf/

**名** 口

唇は含む。口の中を内部とする箱だとイメージすれば指す範囲が分かりやすい。歯や舌がある口の中の空間はδζαι ραιρ δζααυ。

**動 δζαρζαι** /kutiz/

**動** (aがeにcaを) 意味させる, 表させる, 示させる

δζαρζαιδαι ρ δζαυ ιρζαιδαι ο αιου ρο δζαυ. ρο δζαυ δαοιαιδαι ραιρδζαυ ρδαι ο ιρζαι ρδαι ιρζαυδαι ο ρδαι. > 大人になったということは、突然いなくなっても誰かが必ず探しに来てくれるわけではないということだ。

**動 δζαρζαι** /kutid/

**動** (aがeをcaを) 閉じる, 閉める

ρ句には実際に動かされている部分が置かれ、ρο句には閉じた状態にされるものが置かれる。

**名 δζαρζαι** /kudis/

**名** 中心, 中心部, 中央, 真ん中

2次元的もしくは3次元的な広がりがあるものの中央付近を指すので、「街の中心」や「地球の中心」などはδζαρζαιで表現できる。ただし、順序付けられた列の中央付近という意味はないため、「3人兄弟の真ん中」はδζαρζαιではない。

**名 δζαρζαυ** /kudɔð/

**名** 奥, 深部 || 内部で入り口から遠いところ。

**動 δζδ** /kuk/

**形** (+) あ, その, 例の

特定の修飾の代詞。

**動 δζα** /kuf/

**動** (aがeを) 得る, 手に入れる, 入手する

「努力しようやく手に入れた」というニュアンスを加えたのがδζαυδαι。結果的にρ句のものを所有することができたことを表すが、このときの「所有」の意味合いとしては、δαοι的な所有もδζααυ的な所有も表す。

**名 δζαραυ** /kuθat/

**名** 囲い || 特定の範囲を囲むためのもの。

塀や柵やフェンスなど、一定の範囲を囲んで他の部分と区別させるために設置されるものの総称。

**動 δζαρζαυ** /kuθit/

**動** (aがeをziで) 囲む, 取り囲む

**動対 δζαρδ** /kulak/

**動** (aがeを) 施錠する, ロックする, 鍵をかける

**形** (+) 施錠された, ロックされた, 鍵のかかった

**名 δζαρζαυ** /kulik/

**名** 錠, 錠前, ロック || 扉や箱に取り付けて、特定の手順を踏まないと開けられないようにする器具。形状や機構は問わない。南京錠のように取り外しできるものも備え付けのものも指せ

る。電子ロックも指せるので、例えば指紋  
認証で開く金庫に対して ծոցուծ յ ծկրզծ と言  
える。

名 **ծկո** /kuz/

名 (*izi* の) 中, 内部, 内側

名 **ծկուծնղրզո** /kuzteðiv/

名 街頭, 町中, 街中, 街角

動 **ծկ** /kut/

動 (*a* が *e* を) 持つ, 所有する, 所持する || *e* が自  
分のものである状態にする。

動 **ծկո** /kuv/

動 (*a* が *ca* に) 入る, 立ち入る || 特定の範囲であ  
る *ca* の内側へ移動する。

- u
- ui
- c
- ci
- ծ**
- ծi
- ո
- ոi
- ó
- ói
- ր
- րi
- ոո
- ոոi
- ր
- րi
- ոո
- ոոi
- ո
- ոi
- o

ծ

**動** **ծագրաւ** /garniv/

**動** (a'n ց e ւ) 疼かせる, ズキズキさせる, ジンジンさせる || 脈打つように e を痛ませる。

**動** **ծն** /get/

**形** (ր) 8/10

**名** **ծնդիս** /ge.ris/

**名固** キリシヤ

**動** **ծնծն** /gebet/

**動** (a'n ց e ւ) 傷つける, 怪我させる, 負傷させる  
切り傷のように外から見て傷が分かるものを指す。捻挫などは含まない。出血を伴っているというニュアンスがある。

**名** **ծնծից** /gebit/

**名** 傷, 怪我, 外傷

ծնծն と同じく、外から見える傷のみを指す。

**動** **ծիւրցաւ** /gisiv/

**動** (a ց e ւ ca ւ) 刺す, 突く || 先端の尖っている e で ca を強く押して ca の内部まで侵入させる。

もともとは穴が開いていなかったのに、針状のものを無理に押し込んで穴を開けつつ刺すことを意味する。ただし、錐で開けた穴にネジを刺す場合のように、もともとあった穴を広げつつ刺す場合は含意する。「鍵を鍵穴に刺す」や「ピアスを耳に刺す」などのように、それを刺すための穴がすでに作られていて、その穴を広げずに刺す場合は含意しないので、このようなときは代わりに զրբճաւ 或 շսծբց を用いる。

**動** **ծիւրիս** /gisin/

**動** (a ց e ւ) 切る || 刃物などの鋭利なもので e に力を加えて傷をつける。

**動** **ծիւրնս** /gizes/

**動** (a'n ց e ւ) 頭を冴えさせる, 頭を回させる, 冴えさせる || e の思考力を良くし、様々なことを的確に考えられるようにする。

**動** **ծիւրնջ** /gizer/

**動** (a ց e ւ) 攻撃する, 攻める, 襲う || e より優位な立場になろうとして e に対して進んで行動を起こす。

**名** **ծիւց** /git/

**名** 8/10

**動** **ծիւցուօր** /gidtar/

**動** (a ց e ւ) 削る || e の表面に衝撃を与えて e の一部分を少しずつ取り除く。

虫歯の治療などで歯に衝撃与えて削っていくイメージ。

**名** **ծիւցուր** /gifnit/

**名** ナイフ

食事用のナイフのみを指す。

**動** **ծիւրծծ** /gipik/

**形** (ր) 危険な, 危ない || 危害を負わせる可能性が高いような。

**動速** **ծիւրցու** /giθaz/

**副動** 激しく, 強く, きつく **形** (ր) 激しい, 強い, きつい || 勢いが強い。

**名** **ծիւրցուօ** /girdat/

**名** 岩, 岩石, 巨石

**名** **ծիւրցծն** /girkov/

**名** サメ

**名** **ծիւրցուծ** /girzot/

**名** 苦境, 窮地, 危機, ピンチ || 不利になり、その状態を立て直す手段もないような状況。語法や成句は շսծնծ と同様である。

**動** **ծիւրցի** /gilit/

**形** (ր) 尖った, 鋭い || 先端が非常に細くなっていて、簡単に何かに刺さりそうである。

**名** **ծիւրն** /ginet/

**名** 針 || 布を縫うときなどに用いる先端が尖っている細い道具。

**名** **ծնջ** /gɔr/

**名固** ծ

**動** **ծնջծից** /gɔrgut/

**動** (a'n ց e ւ) むかつかせる || e を怒らせた人を苦しめてやりたいと思うほどに、e を怒らせる。

**動** **ծիւրուրիցի** /gudbiθ/

**動** (a'n ց e ւ zi ւ) 寂しがらせる || 近くにおいてほしい zi に見捨てられたように感じさせ、e を寂しがらせる。

**名** **ծիւցուօ** /gudat/

**名** 絶望, 絶望感 || 今後に希望がないという思い。

**動** **ծիւցիւց** /gudit/

**動** (a'n ց e ւ) 絶望させる || 今後に希望がないと e に感じさせる。  
絶望の度合いをさらに大きくしたのが ծիւցուծն。

**動** **ծիւցուծ** /guvɔt/

**動** (a'n ց e ւ) 苦しめる, つらくする || e を肉体



3

助 30 /fa/

接助 ～しながら, ～しつつ, ～して

զննրէւնս օ զնս յ ծըր ց շնց 30 արծնրմեւն օ՛ս յ զրււ. ▶ 彼は私の話を嫌がらずに聞いた。

名 30սւծը /faster/

名 姫, お姫様, 王女, 皇女, 内親王 || 王室や皇室に属する女性のうち、最高位をもつ人とその配偶者を除く人。

王(もしくは天皇)の娘だけに留まらず、王の孫や王の息子の妻なども、そのような人が王の一族として認められることになっているのならば、指すことができる。

男性の王の妻は指さない。

名 30սւծըռօսօրցրո /fasterfasli/

名 国 シンデレラ

童話『シンデレラ』の主人公の名前というよりは、主人公を指す比喩的な二つ名に近い。したがって、『シンデレラ』をシャレイア語に翻訳するならば、翻訳中で主人公を指す名詞は 30սւծըռօսօրցրո ではなく 'սըսուծընրցօս とするのが自然である。

名 30ծըրնո /fakrej/

名 彼女 || 恋をしている相手である女性。

名 30ծնը /faker/

名 女性, 婦人, 女 || 大人であると言える女の人間。

「大人である」というところまで含意する。年齢に言及せずに単に「女性」ということを表したい場合は սլուս օօսոս と言う。

名 30սո /faf/

名 母, 母親, お母さん || 親のうちで女の方。

名 30սօռըրնօ /faθif/

名 叔母, 伯母, 伯叔母, おばさん || 母以外の親戚で、母と年齢に近い女性。

名 30սօռուրց /fa]hir/

名 祖母, おばあさん, おばあちゃん || 両親のどちらかの母親。

母方の祖母か父方の祖母かは区別しない。区別したい場合は 30սո ր 30սո Կ 30սո Կ զրծս のようにする必要がある。

名 30ր /far/

名 これ, このこと  
近接の事の代詞。

名 30ր /far/

名 国 3

名 30րցօս /fartad/

名 雑誌, マガジン || 一定のジャンルに沿った

様々な記事載せていて、定期的に発行される一般向けの読み物。

学術雑誌(ジャーナル)は指さない。また、同人誌も指さない。

名 30րցօրցօր /farkarθaθ/

名 新聞, ニュース, 新聞紙 || ニュースを伝えるために定期的に発行されるもの。紙としての新聞紙を指すわけではない。そのため、出版社がネット上で公開している新聞記事のページなども 30րցօրցօր ք 指せる。

動 30րնոս /farhəs/

動 (aが) 灯る, 仄かに光る

名 30րծս /falas/

名 キュロット, キュロットスカート, キュロットパンツ || 裾側の布が広がっていてスカートのように見える短めのズボン。

助 30րն /fale/

接助 ～なので, ～だから

名 30ր /faɪ/

名 架空, 空想, 非現実

ծնծ に対になる。頭の中で映像を思い浮かべながら想像している世界は特に ծօօսոս と言う。30ր Կ 小説やゲームの中の世界など、現実世界ではないもの全般を表す。「架空の」は րնն 30ր Կ。

名 30րնոս /farnas/

名 雰囲気, ムード

名 30րնրց /faɪɪr/

名 スプーン

動 30սոք /fanar/

動 (aが eを) 撫でる, 撫する, さする || 掌で eを軽く触りそのまま掌を動かす。

動 30սոքօրնոս /fanarməf/

動 (aが eに) 頬擦りする

動 30սո /fam/

形 (Գ) 女の, 女性の, メスの

人間に対しても、それ以外の動物や植物に対しても用いる。

名 30ո /faj/

名 娘 || 女の子供。

ճնառսնս օ ճոն շն սըծ րցն րօսուծք օսրւ. րծ ածնս օ՛ս յ սճրւ շն օսւրցուրց. ▶ 娘は1年前に結婚していて、一昨日子供が産まれた。

名 30ոուրց /fajhir/

名 孫娘 || 子の子。

**動** ခ၁၁၁၁ /fajem/

**形** (ㄱ) 温かい

**名** ခ၁၁၁၁ /fajim/

**名** 温もり, 温かみ

**名** ခ၁၁၁၁ /fahat/

**名** 蝶, 胡蝶, ちょうちよ

**動** ခ၁၁ /far/

**形** (ㄱ) かわいい, かわいらしい

**動** ခ၁၁ /fam/

**形** (ㄱ) 早い, 先の || 時刻の点で比較的前の。  
၁၁၁၁၁ ဝ ဝ၁၁ ဝ၁ဝ၁၁၁၁ င၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁  
င၁၁။ ▶ 彼は私より先に学校に着いていた。

**助** ခ၁ /fe/

**助動** ~と, ~と一緒に

ခ၁ ခ၁၁ ▶ 一人で

**名** ခ၁၁ /fes/

**名** この人  
近接の人の代詞。

**名** ခ၁၁၁ /fesat/

**名** (izi) 本物 || izi の偽物ではないもの。

**動** ခ၁၁၁၁ /fesad/

**形** (ㄱ) 浅い || 地面などの基準となる水平面から  
下端への距離が小さい。

**動** ခ၁၁၁၁ /fesaf/

**形** (ㄱ) 素敵な, 素晴らしい || 心が引きつかれて  
しまうほど質が非常に高い。  
主観的な判断基準からの言い方である。

**動** ခ၁၁၁၁ /fesar/

**動** (a ဂ e) 欲する, 欲しがる || e を自分のもの  
にしたいと思う。  
英語の want などからの類推で「~したい」  
を ခ၁၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁ ~ としたくなるが、これは  
誤り。この場合は ဝ၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁  
င၁၁၁၁၁၁၁၁၁၁၁။ ▶ 私は彼が毎日い  
たい誰と会っているのか思いを巡らせた。

**動** ခ၁၁၁၁ /fesas/

**動** (a ဂ e'n) 考える, 思索する, 思い巡らす ||  
e の答えは何なのかを見つけるため、いろい  
ろなアイデアを比べながら頭を働かせる。  
ခ၁၁၁၁၁၁၁ ဝ ခ၁၁၁ ဝ၁၁၁၁ ခ၁၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁  
င၁၁ င၁၁၁၁ ခ၁၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁ ဝ၁၁၁၁။ ▶ 私は彼が毎日い  
たい誰と会っているのか思いを巡らせた。

**名** ခ၁၁၁၁ /fesat/

**名** 仲間, 同志, 同胞 || 一緒に同じことをする  
人。

**名** ခ၁၁၁၁၁၁၁ /fesatðik/

**名** 同僚 || 同じ職場で同じ仕事をしている人。

「同じ仕事」というのは同じ役職や地位とい  
う意味も含んでいて、上司や部下のことは  
ခ၁၁၁၁၁၁၁၁ ဟု言わない。

**動** ခ၁၁၁၁ /fezik/

**動** (a ဂ e) (zi) 受け取る || zi から渡されたり  
送られたりした e を実際に手に取る。  
၁၁၁ 句のものが自分の手元に来たことのみを表  
し、その所有者が自分に変わったかどう  
かについては全く言及しない。あるものの  
所有権が自分に移っても、それがその場に  
なければ ခ၁၁၁၁ ဟုとは言えない。また、他人  
のものであっても、その人から一時的に渡  
されて自分の手元に来たのであれば ခ၁၁၁၁  
と言える。

**動** ခ၁၁၁+ /fet/

**動** ~のようなもの, ~に似たもの, ~に近い  
もの

**名** ခ၁၁၁၁၁ /fetkad/

**名** 固体

**動** ခ၁၁၁၁၁ /fetlaθ/

**動** (a ဂ e) (ca) 取りに行く  
ခ၁၁၁၁၁, ဝ၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁၁၁၁၁  
၁၁၁၁၁၁၁။ ▶ 前者の 2 語は、後者の 2 語に移動の終  
点にある荷物を取るために移動するという  
意味合いが加わる。

**名** ခ၁၁၁၁ /fetiɲ/

**名** 液体, リキッド

**名** ခ၁၁၁၁ /fethak/

**名** 気体, ガス

**動** ခ၁၁၁၁ /fetav/

**動** (a ဂ e) 参加する || e を行う団体に加わっ  
て e を行う。

**動** ခ၁၁၁ /fete/

**動** すいません

**動** ခ၁၁၁၁ /fetek/

**動** (a ဂ e) 連絡する || e と話をしようとして  
そうできる状態にする。

**動** ခ၁၁၁၁ /fetip/

**動** (a ဂ ca) 付く, 付着する || ca から離れてい  
る状態から ca と接触する。

**動** ခ၁၁၁၁ /fetið/

**動** (a ဂ) 集まる, 集う || 1 နေ所に移動してひと  
まとまりになる。  
「~に集まる」と言いたいときは ခ၁၁ 句を用  
いる。ဝ၁၁ 句などは使えない。  
収集の意味合いはなく、それは ခ၁၁၁၁၁၁ ဝ၁၁၁  
で表現する。

**名** ခ၁၁၁၁ /fetas/

**名** (ica) 類似点, 共通点 || それと ica が共通



してもつ性質。

**動 αααα** /fetus/

**形** (α, ica) **類似する, 類似の, 似ている, 共通点をもつ** || ある基準において ica と同じ性質をもつ。

αααα は同じ性質を共有していることを表すが, αααα は物として同じことを表す。言及する共通点が外見である場合は、特に αααα を使う。したがって意味は αααα の方が広い。意味を強めてたくさんの共通する性質をもつことを意味したい場合は、特に αααα が使える。

**動 ααααα** /fedkut/

**動** (αが e を) **暗記する, 記憶する** || 努力して e の内容を覚える。

**動 ααααα** /fedas/

**動** (αが ca と) **重なる, 合わさる, 積み重なる** || ca と同じ位置にあるように見える場所に移動する。

ααααα はある視点から見たときに α 句のものが αα 句のものと同じ位置に移動することを表す。横から重なっても良いし、上から重なっても良い。一方で, ααααα と ααααα は視点の位置は関係しない。ααααα は層のように重なることを表し、ααααα は上に上に積まれていくことを表す。ααααα の自動詞の意味は「重なる」なのに対し、ααααα や ααααα の自動詞の意味は「重ねる」であることにも注意。

**動 ααααα** /fedak/

**動** (αが e'n に) **気づく** || これまで気に留めていなかったことに注意したことで e が分かる。ααααα は、注意が別のところに向いていたり全く気にしていなかったりなどで知ることのなかったことに気づくことを指す。ααααα は、いろいろ考えたり試行錯誤したりした結果アイデアが浮かんできたことを表す。ααααα は、突然分かることを表し、「ハッとすする」や「ピンとくる」という感じ。ααααα と ααααα の違いは、それを思いつく予兆(それについて考えているなど)があるかないかである。

αααααααα α ααα ααααα ααα α ααα. αα ααααααααα α'α α αααα.. ▶ 私が気づかないうちに、心の中の君は薄れていたのだった。

**動 ααααα** /fedat/

**動** (αが e と) **知り合う** || e と互いに知っている状態になる。

ααααααα α ααα α ααα. αα αααα αα'αα ααα ααα'α. αα ααααααα ααα ααα ααα ααααα.. ▶ 私が彼女と知り合ったのは、8月12日、駅前のカフェだった。

**動 ααααα** /fekθe/

**動** ほら, さあ

誰かに話している最中で、「これまでの自分の話から想像ができると思いますが」のような意味で新しいことを話し出すときに使う。英語の間投詞的に使う「you see」が近い。

**動 ααααα** /fekθet/

**動** (αが e'n を zi'n から) **察する, 察知する, 感知する, 推察する, 見当がつく, 想像がつく** || zi という情報から、それらの本質やそれらによって伝えている人が伝えたかったことである e を理解する。

**動 αααα** /feket/

**動** (αが) **起きる, 目覚める, 目を覚ます** || 睡眠していた状態から意識を取り戻す。

**動 ααααα** /fekαt/

**動** (αが e'n を) **覚える, 記憶する, 暗記する** 「S を覚えている」は、基本的に「S を忘れていない」と解釈して ααααααα α α と表現する。これは、特別に「覚える」という努力をしなくても覚えていることがあるからである。したがって、「覚える」という行為が前提で「覚えている」ということを言いたい場合は ααααααα α α と表現することができる。ααααααα はこの単語の下位語で、覚えようと努力して覚えることを指す。

**名 ααααα** /fekur/

**名** **記憶** || 覚えている内容。ααααα の語法とは異なり、意識的に覚えようとしていない内容も含む。

**動 αααα** /feg/

**動** (αが e を zi から) **買う, 購入する** || e とお金を交換して、zi のものだった e を手に入れる。

**動 αααααα** /fegiv/

**形** (α) **新しい, 新鮮な, 真新しい** || 見た目や雰囲気は新しくそう。

**動 ααα** /fev/

**副動** **速く, 早く, すぐ, すぐに, 早速** || ものごとを始めるまでの時間が少ない。

**動 αααααα** /fevlif/

**動** (αが e に zi から) **透けさせる, スケスケにする** || zi を通して e の様子がはっきりと見える状態にする。

**動 ααααα** /fevet/

**動** (αが e を) **連れる, 一緒にする, 伴う, 従える** || e と一緒にものごとを行うこと。αα ααααααα α α で αα α と同じ意味になる。日本語の「連れる」は「一緒に行く」という意味だが、この語はもっと意味が広く一



օձափրգ ըսուի րձս. ▶ 彼は自分にとって便利  
な人としか仲良くなるうとしない。

ձ Ժձձձձ /fɛfas/

Ժձ (a ց e և) 結婚する, 入籍する

ձ Ժձձձձ /ferzɛs/

Ժձ (a ց e և) 手に入れる, 獲得する, 入手する,  
得る || 大きな苦労の結果, e が自分のもの  
になる。

ձ Ժձձձձ /ferzi/

ձ (ica) 形見 || もう昔のように接すること  
が出来ない ica との出来事を思い出させて感  
傷的な気分させるもの。  
別れた恋人からもらったプレゼントや、死  
んだ親が残した形見など、それを見ると特  
定の人の思い出が蘇り、当時の懐かしさ  
や今は同じような経験をできないことの悲  
しさなどが感じられるもの。当時と同じよ  
うに親しく接することができなくなってい  
れば良いので、相手が死んでいる必要は当  
然なく、現在でも顔を合わせるときがある  
場合でも良い。

սօրօց օ անր օսրծ ձ անրաբն օնօրանս ձնարսուօ  
րց օ րձուի ր Ըձր. ջիօրաբու օ Ըձ սնւ. ▶ この本  
は今は死んでしまった私の父が遺した大切  
な形見だ。

ձ Ժձձձձ /fɛrtɛθ/

ձ 手首 || 手と腕を繋ぐ部分。

ձ Ժձձձձ /fɛrde/

ձ 無理, ぶええ, びえん, めう, うわ  
何らかの困難に直面したときに、困難に直  
面したことやその困難が難しいことなどを  
嘆く気持ちで言う。このときの困難は、疲  
れていたたりやる気が出なかったりなど、比  
較的些細なことでも良い。

ձ Ժձձձձ /fɛrvaθ/

Ժձ (a ց e և) 関わる, 関わり合う, 接点をもつ  
ձ 句には人が置かれ、近所に住んでいて道端  
で会うようになったり、同じ学校や職場な  
どにいて少し喋るようになったりなど、何  
らかの関わりをもつようになったことを表  
す。必ずしも親密になっているとは限らず、  
会うたびに喧嘩するなどの関係でも、関係  
があることに変わりはないので、この単語  
を使うことができる。

ձ Ժձձձձ /fɛrɔt/

Ժձ (a ց e և zի և Ըձ) 交換する, 替える, 取り替  
える || e և Ըձ に渡す代わりに zի を受け取る。  
自分が相手に渡すものが ձ 句、相手から代  
わりにもらうものが սր 句、交換の相手(人  
など)が րօ 句。英語の exchange とは使う助  
詞のイメージが異なるので注意すること。  
特に、交換の相手を ձ 句で表してはいけな

い。  
ձ 句と սր 句で表されるもの、すなわち交換  
するものが、同じ名詞で表現できる場合、  
սր 句の方は省略するのが普通。例えば、「本  
を交換する」は、ある本を渡す代わりに別  
の本を受け取ることを表すが、ԺձրձԸԸԸԸ  
անր սր անր として表すが、ԺձրձԸԸԸԸ  
անր だけで十分である。

սրցօս と同様、所有者の変化までは意味に  
含めない。単なる貸し借りとして交換した  
場合も ԺձրձԸ 是使える。

「言葉を交わす」などの「交わす」も  
ԺձրձԸ。

անրձԸԸս օ Ըձր րօ րձս ձ ձնա ըսն սնրձս  
օսուրԸա. ▶ 私は彼と特に意味のない言葉を交  
わした。

ձ Ժձձձձ /fɛrʃɛrɔt/

ձ ハーモニー, 和声 || 音楽において、複数の  
音が同時に響いたときの音全体。  
音楽とは関係なく、単にものごとがまとま  
っている様子を表す場合は ԺձրձԸ を用いる。

ձ Ժձձձձ /fɛrʃɛm/

Ժձ (a ց Ըձ) 会釈する, お辞儀をする, 礼をす  
る || 挨拶として Ըձ に向かって頭を軽く下げ  
る。

ձ Ժձձձձ /fɛrhat/

ձ 奇跡 || 普通に考えればほとんど起こり得  
ないようなこと。

ձ Ժձձձձ /fɛrhit/

ձ (ʃn) 奇跡的な, 信じられない || 普通に考え  
ればほとんどあり得ないような。

ձ Ժձձձձ /fɛlɔz/

Ժձձ 一緒に, 共に  
2 人(2 づ)以上が共に行動することを表す。  
「手紙をゴミと一緒に捨てた」のように「1  
つにまとめて」の意味での「一緒に」を指  
すことはない。  
ձձ րձու と同義。

ձ Ժձձձձ /fɛlek/

Ժձ (a ց zի և) 合う, 釣り合う, 適合する, 調和す  
る || 自分と zի ց 全体的にまとまる。  
սր 句に服などをとれば「似合う」、人をと  
れば「気が合う」などの意味になり、広く  
使える。

ձ Ժձձձձ /fɛli/

Ժձ 形 ~のように, まるで~のように Ժձ 形 ~す  
るように  
比況を表す。  
Ժձր 是比喩のイメージが強い。Ըօրձ 是たく  
さんある中のそのとき言及したい 1 づを表  
す。րիԸձ 是単に例を挙げる。Ժձր 是形容詞  
や副詞を修飾するが, Ըօրձ և րիԸձ 是名詞

を修飾する。

αἶψα は名詞を修飾しないので、「Sのような Z」を表現したい場合は *οὐ αἰσθητὸς ἔργου* のように *αἰσθητὸς* などを用いる。

*αὐτὸς οὐ ἔθανε αἶψα θάνατος οὐκ*。▶ 彼は死んでいるかのように眠っている。

*αὐτὸς οὐ ἔθανε αἶψα θάνατος οὐκ*。▶ 彼は人形のように座っていた。

*ὀξυρῖνος οὐ ἔθανε αἶψα θάνατος οὐκ*。▶ 彼は針のように尖ったもので刺された。

名 **αἶψα** /felik/

名 調和, 釣り合い

動 **αἶψα** /felad/

動 (a が e を ca と) 繋げる, 繋ぐ, 結ぶ, 連結する, 接続する || e の端を ca の端に合わせて一続きにする。

*αἶψα* は、J 句のものと *οὐ* 句のもの (特に J 句の方) を近づけることでそれぞれの端を繋ぎ、全体で 1 つにすることを表す。*οὐ αἶψα* は、*οὐ* 句のものと *ως* 句のものは基本的に動かさず、その間に J 句のものを入れることでそれら 2 つを繋ぎ、全体で 1 つにすることを表す。格組にも注意。

J 句も *οὐ* 句も同じ名詞で表されるなら *οὐ* 句の方を省略する。その場合は *οὐ ὅθεν* の省略と見なされる。

動 **αἶψα** /feitis/

動 (a が e'n を) 夢見る, 望む, 願う, 憧れる || 他人が e と同様のことをしているのを羨む気持ちで e が実現してほしいと思う。

動 **αἶψα** /feiaθ/

動 (a が e'n を ca を) 手伝う, 手助けする, 助ける || ca と一緒に e を行ってあげることで、ca が e を行うのを楽にする。手伝う行為や内容が J 句で、手伝う相手が *οὐ* 句。

名 **αἶψα** /feianes/

名 国 フランス

動主辞 **αἶψα** /feies/

動 (a が ca と) 仲良くなる, 親しくなる 形 (f, ica と) 仲の良い, 親しい 副動 (ica と) 仲良く, 仲良さげに, 親しそうに

「S と Z は仲が良い」という状況を表すには、*σοφία οὐ αἶψα θάνατος ἔργου* と *σοφία οὐ αἶψα θάνατος* の 2 通りの表現方法がある。後者は *οὐ ὅθεν* が省略されていると解釈される。副詞として使う場合、理論上 *οὐ* 句をとることができるが、実際には *οὐ ὅθεν* が省略されていると見なして *οὐ* 句をとらないのが普通である。

動当 **αἶψα** /fenak/

形 (f'n) もっともらしい, もっともな, それら

しい, ありそうな 副動 もっともらしく, それらしく || 道理にあっていて正しいように聞こえる。

「正しそうに聞こえるが実際正しくない」というニュアンスまでは含まず、実際に正しいか正しくないかは含意しない。あくまで「正しそうに聞こえる」というだけである。

動 **αἶψα** /femat/

動 (a が e に zi から) 透けさせる || zi を通して e の様子が見える状態にする。例えばうっすらと輪郭が見えるだけでも *αἶψα* と言える。色や模様などまではっきりと見える場合は *αἶψα* が使える。

動 **αἶψα** /femis/

副動 素直に, 温順に || あえて他人の意見に逆らおうとせずそれに従って。意見に対していちいち反論したりすることはしないという意味で、従順であることとは少し違う。明らかに間違ったことに背いたからといって *αἶψα* ではないとは言えない。

動 **αἶψα** /fehar/

形 (f) かわいい, かわいらしい

*αἶψα* は日本語の「かわいい」に対応するもっとも広い意味の単語で、人間や動物以外でも服や小物などに対して使える。以降に述べる単語はこの下位語で、人間や動物以外 (場合によっては人形なども含む) のみを修飾し、物に対して使うことはない。*οὐ* は一緒にいると癒やされるようなかわいさ、*οὐ* は無邪気で元気をくれるようなかわいさ、*οὐ* はかわいがってあげたくなるような感じ、*οὐ* はあざとい感じのあるかわいさ、*οὐ* はおとなしい感じのかわいさを表す。*οὐ* はこれら全てのかわいさの上位概念で、かわいさのあまり様々な感情が爆発するような感じである。

*οὐ ὅθεν οὐ ἔθανε αἶψα θάνατος οὐκ*。▶ 彼女はとてもかわいらしいスカートを履いていた。

動 **αἶψα** /fez/

動 (a'n が e'n を) するように思わせる, するよう見えさせる || e が起こるように周りの人を思わせる。

通例 *αἶψα* 自身は *οὐ* 句をとらず *αἶψα οὐ ἔθανε* ~ の形をとる。さらに、*αἶψα* を助動詞的に用いて、単に *αἶψα* ~ の形になることが多い。英語の seem に近い。

名 **αἶψα** /fed/

名 ここ, この場所 近接の場所の代詞。

名 **αἶψα** /fek/

名 国 フェーク



**名** αἰσθητικὸς /fisbit/

**名** ミント, ハッカ

**助** αἰσθητικὸς /fis:tef/

**助** (aがeに) 触れる, 触る || eにそっと優しく触る。

**助動** αἰσθητικὸς /fisif/

**副動** 弱く, 優しく, 軽く **形** (†) 弱い || 用いている力が小さい。

**名** αἰσθητικὸς /fit/

**名** これ  
近接の物の代詞。

**助** αἰσθητικὸς /fitig/

**助** (a'nがeを) つらくさせる

**名** αἰσθητικὸς /fitur/

**名** 少女, 女の子 || 3歳から8歳くらいまでの女の人間。

**助** αἰσθητικὸς /fidev/

**助** (aがeでcaに) 負ける, 敗れる, 敗北する || eで競い合い, 決められた基準のもとでcaより劣位な立場になる。

**助** αἰσθητικὸς /fik/

**形** (†) この  
近接の修飾の代詞。

**助** αἰσθητικὸς /fiθav/

**助** (aがe'nをcaを) 許す, 容認する || eという過失があったにも関わらずcaを罰さないであげる。

過失の内容がj句で, 罰を免れた人がqo句。過失の内容がしっかりと述べられているなら罰を免れた人が誰なのかは明白な場合が多いので, j句がある場合はqo句は省略されやすい。

αἰσθητικὸς j'n αἰσθητικὸς j'θδδδ o αἰσθητικὸς qo αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς o qδy qo qδy.. ▶ 謝ったからといって必ず許してもらえないわけではない。

**名** αἰσθητικὸς /fiθot/

**名** 布  
織物に限定しないので, 編み物やフェルトや不織布を含む。

**名** αἰσθητικὸς /firti/

**名** フィルティア

**名** αἰσθητικὸς /filot/

**名** 穴  
基本的には, 反対側まで完全に抜けている空間を指すのが αἰσθητικὸς で, 抜けていないものは αἰσθητικὸς。ただし, 完全に抜けていなくても奥が見えないようなものであれば αἰσθητικὸς と言える。例えば, 地面に掘られた穴は, 底が見えるような浅いものなら αἰσθητικὸς だが, 底が見えないような深いものなら αἰσθητικὸς

である。

**名** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /filotsodvaf/

**名** 巢穴 || 巣のうちで, 地面に掘った穴の形状をしているもの。

**名** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /filotkulik/

**名** 鍵穴 || 錠に開けられている鍵を挿すための穴。

**名** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /filotri/

**名** 井戸, 井泉, 井 || 地下の水を引き上げて用いるために地面に穴を掘って作られた設備。語源の通り, 水(温泉などのお湯を含む)を取り出すためのもののみを指す。石油用のものなどは指さない。

**助** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /finif/

**助** (aがziから) 消える, 消滅する || 徐々にziから消えていく。

**名** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /finas/

**名** 風  
「風が吹く」は普通 φῦσταισθητικὸς αἰσθητικὸς だが, 天候としての「風が吹く」は動詞型不定辞の αἰσθητικὸς を用いる。  
αἰσθητικὸς φῦσταισθητικὸς j αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς. υἰσθητικὸς o'g qδδδδ δοφῦσταισθητικὸς αἰσθητικὸς. ▶ 風を受けながら, 私は一人で未来のことを考えていた。

**助** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /finis/

**助** 風が吹く  
助詞句を伴わずに用いる。  
気象としての意味で, 天気予報で「明日は風が強いでしょう」などと言うときの「風が吹く」である。

**名** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /finiθ/

**名** 女性, 女の子, 女 || 17歳以上だが成人とまではいかないような女の人間。

**助動** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /fimez/

**副動** そっと, 穏やかに, 優しく **形** (†) 穏やかな || 勢いが弱い。  
勢いが弱いことのみを表し, 「静か」などの意味合いはない。

**助** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /fimz/

**形** (†) 柔らかい, 軟らかい || 少しの力で形が変わるような。

**助** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /fit/

**形** (†) 小さい, 小さな, ちっぽけな, 些細な

**名** αἰσθητικὸς αἰσθητικὸς /fiθ/

**名** (icaの) 近く, 付近, そば || icaからの距離が小さい場所。

qo句の名詞を基準点とすると, αἰσθητικὸςはその基準点から単に近い1点もしくは狭い範囲を表し, αἰσθητικὸς αἰσθητικὸςは基準点から近い部分の比較的広い範囲を指す。また, αἰσθητικὸς αἰσθητικὸςは基準点を

(完全には言わないまでも) 取り囲んでいるイメージがある。

名 **αζφρδνι** /fiθdem/

名 (izi の) 下, 下方, 根本 || izi の下側部分の近くの場所。

名 **αζφηρζα** /fiθhif/

名 (izi の) 上, 上方 || izi の上側部分の近くの場所。

動 **αζφρ** /fið/

動 (a が e'n) 待つ || e が実際に起こるのはまだかと思いつながら、それまでの時間を過ごす。

↓ 句の内容が実現した瞬間が完了相。  
↓ 句には δρν 節が置かれる。人などを直接置くことはできず、「Sを待つ」は αζφρδνι δρν ρδδρυ ο α などとするしかない。

名 **αζφρδνι** /fild/

名 おばあさん, おばあちゃん, 老婦人, 老婦 || 年老いた女の人間。

名 **αζδ** /fik/

名 (ie の) 知識

αζδ はある一定の話題や分野 (ρδ 句で表される) に関するいくつかの知識の集まりを指し、υρδ は具体的な個々の知識を指す。例えば、「孤立語とは語と形態素がちょうど対応する言語」や「膠着語とは単語に接辞を付けてその単語の役割を明示する言語」などは言語学の類型論の事実であるが、このような特定ジャンルの知識を全てまとめて指すのが αζδ であり、「孤立語とは語と形態素がちょうど対応する言語」という個別の知識をそれぞれ指すのが υρδ である。

名 **αδν** /fɔs/

名 9/10

動 **αδνδδρ** /fɔskɔr/

動 (a が e'n を ca に) 告白する, 打ち明ける || これまで隠していた e を ca に知ることのできるようにする。

δρρδνιρδ ζρδνι ο δζρ δ'ιη αδνδδρρυ δ υρρρυ ο'ρ ρο ρδρ δ ρορ... ρδ δ'ιρροηιορ ο'ρ δ ρδρ. ▶ これをあなたに打ち明けるかずっと悩んでいたのですが...、私はあなたが嫌いです。

動 **αδνσηδ** /fɔsɟek/

動 (a が e を) 育てる, 養育する

名 **αδνσηορ** /fɔsnar/

名 村, 里, 村落, 集落

αδνσηορ, δζφρδνι, υδνσηορ は、いずれも人々が集まって社会を形成している箇所を指す。αδνσηορ は規模が小さく自然が豊かなものを指す。δζφρδνι は中規模以上のもので、建物が多くあり道路や設備などが整備されてい

るところを指す。υδνσηορ は δζφρδνι のうちで特に規模が大きいもので、周辺の地域の中心地となっているような場所を指す。υδνσηορ は δζφρδνι の下位語だが、αδνσηορ と δζφρδνι は別のものである。

動 **αδνςυ** /fɔsɪz/

動 (a が e を zi から) 抜く, 抜き取る || zi に刺さっている e を刺さっていない状態にする。

名 **αδνσηορ** /fɔzar/

名 コート, アウター, オーバー, 上着, 外套 || 屋外で防寒などの目的で衣服の外側に着るもの。

冬に外出するときには防寒目的で上に羽織り、比較的温かい屋内では脱ぐようなものを指す。

動 **αδνςορ** /fɔtad/

動 (a が e を zi から) 出す, 取り出す || zi にしまわれていた e を外に出す。

名 **αδνςδρ** /fɔtɔr/

名 表面 || 外側から見ることができる部分。英語の surface に当たる。「裏」の対義語ではない。

動 **αδνςιρρυ** /fɔdlis/

動 (a が ca に) 飛び込む, 転がり込む || 投げ入れられているかのように、勢い良く ca に入る。

勢いの方が重視で、「急いで入る」という意味合いではない。

δζφνι と同様に ρο 句は範囲を表すので、ρο δζφυρδνι ~ という必要はない。

δν δνςρρ ορδρ. αδνςιρρυδνι ο 'ορρυ ρο δρρδδ ορρδδ. ▶ 次の瞬間、アリスはその穴に向かって飛び込んだ。

動 **αδνςιηδρ** /fɔdɪaɪ/

動 (a'n が e の) 頭を真っ白にする, 思考停止させる || 緊張のあまり何も考えられないような状態に e をさせる。

動 **αδνδδζρ** /fɔkɪθ/

動 (a が e を) 発音する, 発声する || ある言語の e の音声を発する。

動主 **αδνδδζρδνιδ** /fɔkteθdɪz/

形 (ɪ) 重発音話者の 動 (a が) 重発音で話す || 日常的に ρ と ρι をそれぞれ /ɾs/ と /dɪz/ で発音する。

反復表現にはしない。αδδδρρηδδ の項も参照。

動主 **αδνδδζρηδδ** /fɔkteθɪp/

形 (ɪ) 標準発音話者の, 軽発音話者の 動 (a が) 標準発音で話す, 軽発音で話す || 日常的に ρ と ρι をそれぞれ /θ/ と /d/ で発音する。動詞としての語義は正確には「日常的に軽

発音で話すようになる」であり、1回軽発音で話すことを表すのではなく、ずっと軽発音で話すような状態になることを表す。したがって、*αὐτο* を使って反復表現にすることはない。

名 **αὐτοβόη** /fɔktiθ/

名 (ie の) 発音

名 **αὐτοβόητος** /fɔktiθdɔz/

名 重発音 || ρ と φ をそれぞれ /fɛ/ と /dɛ/ とするシャレリア語の発音。

名 **αὐτοβόητος** /fɔktiθap/

名 標準発音, 軽発音 || ρ と φ をそれぞれ /θ/ と /ð/ とするシャレリア語の発音。

名 **αὐτοβία** /fɔkɛð/

名 (ica の) 錠, キー || 錠である *ica* を解除するために作られた道具。錠穴に指すタイプの錠だけでなく、カードキーなども指せる。特定の錠を解除するために特別に作られたものを指すので、例えば生体認証で使う指紋などを *αὐτοβία* と言うことはない。物理的な錠を解除するためのものだけを指すので、「手がかり」のような意味はない。

動 **αὐτοβιάω** /fɔkɛð/

動 (a が e を ca に) 表現する, 表す || 感情などの形がない *e* を、形があってより具体的な *ca* によって示す。  
*αὐτοβιάω ο ρυὶ ἡ ρυὶαὶαὶ οὐδὲρ οὐ ρυὶ ρο ρυὶσος...* ▶ 彼はあのときの激しい感情を絵で表現した。

名 **αὐτοβία** /fɔkɛð/

名 (ie の) 表現 || 表現されたもの。  
*αὐτοβία* の *ρο* 句で表されるものを指す。

動 **αὐτοβίαω** /fɔvɔt/

動 (a が e を) 放棄する, 見捨てる, 手放す 形 (η) 放棄された, 見捨てられた || *e* の世話や管理をやめてそのままにする。

動 **αὐτοβίαω** /fɔvar/

動 (a が zi から) 出る || 特定の範囲である *zi* の外側へ移動する。  
*ορ* 句には建物や敷地などの範囲を表す単語が置かれ、境界を表す単語は置かれない。

動 **αὐτοβίαω** /fɔper/

動 (a η が e に) 開放感を感じさせる || 嫌なことを成し遂げた結果、*e* を気楽にして気分が良くさせる。

名 **αὐτοβία** /fɔbas/

名 幽霊, 亡霊, 霊, お化け, 化物 || 何らかの魂が現れているものとされ、普通では説明がつかないような方法でその存在が見えたり感じたりするものうち、人を怖がらせる

るようなもの。  
霊的なものの中でも人を怖がらせるようなものを指す。神霊や精霊などは指さない。

名 **αὐτοβία** /fɔθis/

名 など, その他 || 他の似たようなもの。  
*ς* で繋げてものを列挙した後に *αὐτοβία* とすると、「～など」という意味になる。例文を参照。

*οὐδὲρ ο ρυὶ ἡ οὐδὲρ ρυὶ ρυὶσος ρυὶ αὐτοβία.* ▶ 私はリンゴやミカンなどが好きだ。

動 **αὐτοβίαω** /fɔθɔɪ/

形 (η) 滑稽な, 珍妙な, シュールな, おかしい, おもしろい

動 **αὐτοβίαω** /fɔðɔn/

動 (a が e n を) 諦める, やめる, 断念する || *e* を行うことが不可能だったり意味がないと感じたりして、*e* を行わないことにする。

動 **αὐτοβίαω** /fɔrsef/

動 (a が e を) 緩める || *e* を動かすことで *e* を少しの力でも動くような状態に少しずつする。

動 **αὐτοβίαω** /fɔrmas/

動 (a η が e の) ぼーっとさせる, 鈍くする || *e* の思考力を悪くし、ものごとについて考える気力をなくす。

動 **αὐτοβίαω** /fɔlan/

動 (a が) 出かける, 外出する || もとにいた建物などから、何かの目的で一時的に違う場所へ行く。

*αὐτοβίαω* は用事がある建物から出て別の場所に行くことを一般に表す。もともといた建物は家でも良いしオフィスなどでも良い。したがって、外回りの仕事などでオフィスから離れることも *αὐτοβίαω* と言える。一方 *ρυὶσος* では、まず離れる建物は基本的に家である必要がある。さらに、家から出る目的が、通勤や通学などの習慣的もしくは義務的なものではないという意味も加わる。例えば趣味の買い物に行くなど、基本的に娯楽や気晴らしのための外出というニュアンスになる。

*ὄο ρυὶσος αὐτοβίαω ο 'δὲρ ρυὶσος οὐδὲρ ρυὶσος ρυὶσος ρυὶσος.* ▶ ケルヴィスさんはここにいますか? 彼と話したいのですが。/ 彼は今出かけています。

動 **αὐτοβίαω** /fɔles/

動 (a が e を ca に) 投げる, 放る || 手に持っている *e* が *ca* に向かって空中を飛んでいくようにする。  
「投げる」で最も一般的に使える単語が *αὐτοβίαω*。そのうち、軽くポイッと放り投げる動作を表すのが *ρυὶσος* で、力強く思い切り投げつける動作を表すのが *οὐδὲρ ρυὶσος*。



物が手を離れた瞬間が完了相。

**名** ၁၁၅၄c /fɔlit/

**名** **ベランダ**, **バルコニー**, **テラス** || 建物から外に突き出した部分で、それほど広くないもの。

**名** ၁၁၅၄ဘ /fɔliv/

**名** **趣味**, **ホビー** || 楽しみとして継続的に行っている行為。

**動** ၁၁၅၄ဟ /fɔlɔm/

**動** (aがeを) **脱ぐ** || 体につけていた衣服などの装飾品であるeを取り去る。

**動** ၁၁၅၄့ /fɔlɔn/

**動** (a'nがeをcaに) **呆れさせる**, **呆気をとらせる**, **呆然とさせる**, **引かせる** || eを驚かせつつcaと距離を置きたくなるように思わせる。qo句に置かれたものが「うわっ」と思う引くようなことをしたために驚くという感じ。

**動** ၁၁၅၄တ /fɔn/

**動** (a'nがeを) **がっかりさせる**, **落ち込ませる**, **残念がらせる**, **落胆させる**, **失望させる** || eの期待が叶えられなかった結果、eを悲しくさせる。期待が叶えられず、悲しくなるのが၁၁၅၄တで腹立たしくなるのが၁၁၅၄တ့。

**名** ၁၁၅၄ု /fɔs/

**名** (iziの) **外**, **外部**, **外側**

**動** ၁၁၅၄ဘိ /fɔv/

**動** (aがeをcaを) **開ける**  
၁句には実際に動かされてる部分が置かれ、qo句には開いた状態にされるものが置かれる。具体的に言えば、၁句には「蓋」などが、qo句には「箱」が入る。၁句とqo句が同時に明示されることは稀で、基本的にはどちらか一方のみを明示する。၁句のみを言えば、蓋などを動かす動作に重点が置かれることになり、qo句のみを言えば、それが閉じられた状態になることに重点が置かれる。

**動** ၁၁၅၄ပု /fɔpas/

**形** **ぼやけた**, **ぼけた** **動** (aが) **ぼやける**, **ぼける**  
色などの境界が連続的になって曖昧になっている状態を指す。近視の人が眼鏡なしで見える視界のような感じ。

**動** ၁၁၅၄ဖ /fɔθ/

**動** (aがeを) **始める**, **開始する**  
「始まる」は受動相当表現にする。開始相を用いて *uθo* と表現するところを、「開始する」ということを強調して *၁၁၅၄ဖထ uθo* と表現できる。このような動詞の開始相の代わりとしての使い方は *၁၁၅၄ဖ* 自身は完了相になるのが通例だが、動詞 *o* が表す動作

が開始したことを強調しつつ、現段階ではその動作が行われた後の状態になっていることを表すのに、*၁၁၅၄ဖ* という継続相の形を用いることも稀にある。

*၁၄. ၆၀ ၁၁၅၄ဖ ဝါ၅၄ပထု။* ▶ あれ、雨降り出したの？

**名** ၁၁၅၄ဝဲ /fɔlɔk/

**名** **縁**, **輪郭**

**動** ၁၁၅၄ဂ် /fɔair/

**動** (aが) **滑る**, **スリップする**

姿勢を変えずにスーッと移動している感じを表す。水平面か斜面かは関係しない。したがって、氷などの上で滑ることも、滑り台を下ることも、*၁၁၅၄ဂ်* で表現できる。ただし、氷や凍結した地面のような摩擦の少ない水平面上で、慣性のみに従って滑る場合には、特に *၅၄၅၄ဂ်* と言う。例えば、スケートで氷の上を滑すことや、凍結した道路上を車が横滑りすることは、*၅၄၅၄ဂ်* に該当する。

日本語の「スリップする」から想起されるような「バランスを崩している」というニュアンスはない。また、「滑って転ぶ」というニュアンスもない。

**名** ၁၁၅၄ဝဲဝဲ /fɔhɔk/

**名** **フオーハック**

**名** ၁၁၅၄တ /fɔn/

**名** **外**, **屋外**, **表**

*၅၄၅၄ဂ်ဝဲ ဝါ၁ ၁၁၅၄တ ဒဲါ၅၄ဂ် ငါ၅၄ဂ် ငါ၅၄ဂ် ဝါ၁ဝဲဝဲ ဝါ၁ဝဲ ဝါ၁ဝဲ။* ▶ 外は思っていたより寒い。

**動** ၁၁၅၄ု /fus/

**形** (၎) 9/10

**名** ၁၁၅၄တ /fun/

**名** **落胆**, **失望**, **がっかり** || 期待が叶えられなかったための悲しみ。

31

**助特** αιο /va/

**助名** ~という, ~である  
同格を表す。

αιο 句が修飾する語句 (αιο の前にある語句) と αιο 句の内容として置かれる語句 (αιο の直後にある語句) はモノコトが一致する。

**名** αιου /vas/

**名** 人

一般の人の代詞。  
英語における総称の you とほぼ同じ。フランス語の on と似ているが、on とは違って他の代名詞の代わりとなることはない。

**動** αιουρςυτ /vaslɔn/

**形** (η) 広い, 大きい, 大きな, 広大な, 巨大な || 面積が非常に大きい。

**動** αιοερςυτ /vatlɔm/

**動** (aがeを) ほどく || 結ばれた e をもとの状態に戻す。

**助** αιοευδ /vade/

**接動** ~なので, ~だから

αιοευδ がついている節の方が理由で、主節の方がその結果。

因果関係が弱い場合は αορς も使う。

**名** αιοευδδ /vadek/

**名** 固 ヲァデック

**名** αιοευδςα /vadeɸ/

**名** (ica'n) 理由

**動** αιοδδδς /vakat/

**形** (η) 大きい, 大きな || 音量が大きい。

**動** αιοδδςυτ /vakez/

**形** (η) 大きい, 大きな || 何かを入れられる部分の体積が大きい。

**名** αιοδδςε /vakut/

**名** 固 ヲァクット

**動** αιοε /vaf/

**形** (η) 大きい, 大きな || 体積が大きい。  
3次元的な大きさを言う場合は αιοε で、2次元的な大きさを言う場合は αιδρ。

αιοε は外側から見た大きさが大きいことを表し、αιοδδςυτ は箱などで何かを入れる部分の大きさが大きいことを表す。  
公園などのように普通は αιδρ を使うようなものに対して αιοε を使うと、単に土地の広さだけを述べるのではなく、地面より上の空間を含めての大きさを述べているというニュアンスが出せる。

**名** αιοεςυτ /vafɔs/

**名** 動物 || 自分から動き回って必要な養分を

得るような生物の総称。

哺乳類だけでなく虫や魚などのあらゆる動物を指す。日常的には人間を含めない。ただし、学問の文脈などでは、人間も含めてあらゆる動物を指すこともある。

**動対** αιοεςυδδ /vafɔk/

**動** (aがe'nを) 発表する, 公開する, 公表する, 表明する **形** (η) 公開された, 公表された || これまで知られていなかった e を、多くの人が知ることができるようにする。

αιοεςυδδ は知られていなかった新しいものを公に出すことを表す。試験結果の発表などはこの αιοεςυδδ に当たる。Twitter などの不特定多数が見られる場所に何かを書くことも αιοεςυδδ の一種である。一方、αιδδςυρ は一部の界限でしか知られていなかったマイナーなものをより多くの人に知られるようにすることを表す。ρδδδδς はこれらの単語とは異なり、これまで言ってこなかったことを特定の人物に明かすことを表す。

**動** αιοεδςυτ /vafɔs/

**形** (η) 壮大な, 立派な

スケールや規模が大きいことを表す。

αιδδδδς αιδ ς υρ δς αιοεδςυτ. ▶ 大きな夢を持って。

**名** αιοερςεη /varti/

**名** 固 ヲァルティア

夢の世界や架空の世界などと比較して、目の前に存在している世界を指す。一般的な「世界」という名詞は αιδςα。  
固有名詞だが、ディカックなしで用いられることもある。

αιδδςυτ αιδ αιοερςεη ▶ 死ぬ, 亡くなる || αιοηρςα や αιδςαητ を使うよりも少し婉曲的な表現。

**名** αιοερδδςε /vargɔt/

**名** 熊

**動** αιοερςαδςα /varɸd/

**形** (η) 大きい, 大きな, 巨大な || 体積が非常に大きい。

**動** αιοερρδςα /varθas/

**動** (aがeを) 眺める, 一望する, 展望する, 見渡す || 遠くにある e 全体を視界に入れるようにして見る。

**動** αιοερδδς /valat/

**形** (η) 有名な, 著名な || 多くの人が知っている。

**名** αιοερδδ /valek/

**名** 文章, 文 || 1つのまとまった文の集まり。

動 αογζω /valɔj/

動 (aが) 育つ, 成長する, 生長する, 成熟する  
人間を含めて動物にも植物に対しても使える。

動 αογζωτς /valɔd/

動 (aがeを) 運営する, 管理する, 指揮する || eの全体に気を配ってeがうまく機能するようにに必要な処置を行う。  
何らかの大会, パーティ, コンサート, ホームページ (Web アプリなどを含む) など、人々が参加して何かを行うものをJ句に置く。

名 αογζωτς /varis/

名 海洋, 大洋

動 αοσθααογ /vamfar/

形 (f, icaに) ぶかぶかの, だぶだぶの, 大きい || icaを覆う服や袋などがicaのサイズに対して大きく、いくらかのゆとりが生じている。

動 αοσθωτς /vahif/

動 (aが) 死ぬ, 死亡する, 亡くなる  
老化で自然に死んでいくニュアンスがある。「息を引き取る」という表現とイメージは近い。事故などの外的要因が原因となって命を落とす場合は、δρςωαωを受動相当表現で使う。なお、老化で死ぬのも病気が原因だから、δρςωαωを用いるべきだと考えるかもしれない。確かにその通りで、病気が原因ということを強調したければδρςωαωを用いれば良いし、そうでなければαοσθωτςを用いれば良い。これは表現者の受け取り方による。

名 αοδω /vad/

名 様子, 様相, 様態  
「～の様子で」と言うときの助接辞にはφςを使う。

節 αοδω+ /vad/

節 ~の様子で, ~の様相で, ~の様態で  
性格を表す動辞と合成して、その性格の人が行いそうな様子で被修飾語の動作することを表す単語を作る。φςω+の逆操作である。

動 αοδωδδγωαω /vadkerzef/

副動 頼もしそうに

動 αοδωαατςφς /vadfistir/

副動 頼りなげに

動 αοδω /vaf/

動 (a'nがeを) 満足させる, 達成感を感じさせる || 難しいことを何とか成功させて気分が良い。

動 αοδφ /vaθ/

形 (f) 広い, 大きい, 大きな 動 (aが) 広がる, 大

きくなる || 面積が大きい。  
意味を強めたのがαοσφζωτς。

名 αοδφ /var/

名 1倍

動 αοδδ /vak/

副動 いつも, 常に, きまって || 特定の期間のいつにおいても。

頻度を表す単語は、頻度が高い方から順に αοδδ, αδςαγ, γδα, φςγδω, ααγ, αςφςα, αδδδγ, ατςωの8段階ある。αοδδ, ααγ, ατςωがそれぞれおよそ100%, 50%, 0%の頻度を表し(もちろん正確にこの数値というわけではない)、αοδδとααγの間にαδςαγとγδαとφςγδωがあり、ααγとατςωの間にαςφςαとαδδδγがある。αδδδγとατςωは準否定語。

頻度に関する比較をする場合はγδαを使う。例文参照。

ωαδωαα ατςωααφ δδγδςα α ααγ φρς φρςφωααφω δγδα δααγφ τςφφ φρςφωαα φωω. ▶ できるだけ頻繁にシヤレリア語で話そうと思う。

名 αοδφ /vaθ/

名 年

αδ ατςφ ς αοδφ ▶ 一年中, 年中 || αδはαδδφでも良い。

δ αοδφ σφφφ ωωωωγδα ▶ 明けましておめでとう

副 αοδ /va/

副 うわっ, うわあ, あら  
驚いたときに自然に発する。

動 αοδωαγ /vazer/

形 (f'n) 問題な, 重要な || それが起こることで状況に大きな変化が起こるような。

名 αοδω /vat/

名 空間, スペース

名 αοδωααφφ /vatliθ/

名 視界, 視野 || 見える範囲。

助辞 αω /ve/

助辞 ~の中で

範囲や選択肢を表す。最上構文での比較範囲や選択疑問文での選択肢を表す。選択疑問文で使う場合は、αω 句全体は疑問詞を修飾し、αω 句の中の選択肢はδで繋げる。δで繋げないよう注意。

δω σδωαα α φδφ δ δδα αωα σδδφφ δ φδφρς! ▶ あなたが好きなのはリングかミカンのどちらですか?

動 αωα /ves/

形 (f) 全ての, 全部の

「全部」という名詞の用法はなく、別の単語のατςωを用いるか、代詞を修飾する形でωαα αωααと言う。

οσολυς は「全ての S」という意味で、S という言葉で表されるものを全て集めてきてそれ全体を表す。「Sの全て」のように、1つの S に含まれる部分の全体を指したい場合は、ολυς οと表現する必要がある。この場合、ολυς οσολυς οとはあまり言わない。例えば、κορη οσολυς は「毎日」の意味になり ολυς κορη は「一日中」の意味になる。

**名** ㊦㊧㊩㊪ /vetɔr/

**名** 胃

**節** ㊦㊧㊫+ /vet/

**節** ~の体系, ~の系列, ~の系統

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vetsɔlak/

**名** 装い, 服装, 格好, 身なり

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮㊱㊲㊳ /vetsɔlakzapan/

**名** 和装, 和服 || 日本古来の衣服による装い。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vetfɔð/

**動** (a が e を ca を) 拭き取る, 拭う, 拭い取る || ca の表面を布などで擦ることで、そこにある水分や汚れなどの e を取り除く。

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮㊱ /vetfermi/

**名** 魔法, 魔術

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮㊱㊲ /vetlakad/

**名** 文字体系, 文字 || 同じ種類とされる文字のまとまり。

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vetaθ/

**名** (ica の) 体系, 系列, 系統

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vetut/

**動** (†) 有限の, 限りある || 個数や量に限りがある。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vetur/

**動** (a が e を) 空腹にする, お腹を空かせる

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮㊱ /veknas/

**名** 習慣, ルーティン, 決まり, 決まった行為 || 特定の時刻やタイミングに必ず行っている内容。

「毎年元旦には決まってこれをやる」や「ここに来たらまず最初にこれをやる」のようなもの。毎日行うものでなくてもよく、月単位や年単位だったり、特定の行動の後だけだったりしても良い。毎日行うものは特に ㊦㊧㊬㊭㊮㊱㊲ という。

αϕδδωοσ ο ελεϑ ὁ ㊦㊧㊬㊭㊮㊱ ρδβ'η αῖστωοϑ ελεῖσῦ ο'ῖ ὁ δᾶρηοε.. || 私にはお酒を飲む習慣がない。

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮㊱㊲ /veknastað/

**名** 日課 || 毎日の特定のタイミングで繰り返している内容。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vekas/

**動** (†n) 普通の, 通常の, 平凡な, 一般的な, あり

ふれた, よくある || 様々などところで見られたり当てはまったりするような。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vevt/

**動** (a が e を) 満腹にする, お腹いっぱいにする

**動** ㊦㊧㊬ /ver/

**副動** よく  
修飾詞修飾型副詞を動詞に修飾させたいときに間に挟んで用いる、いわば潤滑油的な単語。

動詞を副詞句で修飾したい場合は必ず ㊦㊧㊬ が必要になる。しかし、ερ 節や ὁερᾶ 節が副詞節として動詞を修飾する場合、文法上は動詞を修飾しているのではなく主節全体を修飾していると考えられるため、㊦㊧㊬ を省略しても良い。

ηρσοσ ζαῖαϑ ὁδωοη ο ελεϑ ὁ ρεῦ.. || 彼のことはとても好きだ。

αἰδωοε ὁ ελεῖ εἰσ εἰσ ζαῖαϑ ὁελερρε.. || 私は今まああ疲れている。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /velav/

**動** (a が e'n を) 完遂する, 成し遂げる, やり遂げる, 遂げる, 仕上げる, 完成させる || e を途中でやめたりせずに最後まで行く。

ὁ 句には動作が入る。したがって、「S を完成させる」は ㊦㊧㊬㊭㊮ῦ ὁ ελε η ρερεδῦ ὁ ὁとする必要がある。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /veleθ/

**動** (†) ドジな, 慌てん坊な, おっちょこちょいな, 間抜けな

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮ /velef/

**名** 色

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮ /velem/

**名** ブルーベリー

**名** ㊦㊧㊬㊭㊮㊱㊲ /velemzaf/

**名** クランベリー

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /venit/

**動** (a が e を) 慌てさせる, 動揺させる, 動転させる, 狼狽させる, 動じさせる || e の予期しない出来事が起きた結果, e を冷静でいられなくする。

**動** ㊦㊧㊬㊭㊮ /vehas/

**動** (a が) 蒸発する, 気化する || 液体であった状態から、熱や圧力の変化によって気体に変化する。

**動** ㊦㊧㊬㊭ /vek/

**副形** すぎる, あまりに || 限度を超えて。形容詞を修飾して、それが表す内容が限度を超えていることを表す。英語の too と同じ。

**名 o20** /vef/

達成感, 充足感, 満足, 満足感 || 難しいことを何とか成功させたときに感じる良い気分。

**動 o20** /veð/

形 (f) いろいろな, 様々な, 多種の, 多様な, 多彩な || 種類が多い。  
数量には言及せず、単に種類がたくさんあることだけを表す。

o101010100 o101010100 o101010100 o101010100 o101010100 o101010100  
その店ではたくさんの種類の美しいネックレスが売られていた。

**副 o20** /ver/

副形 同じくらい

**間 o20** /ve/

間 おい、ねえ

**動 o20** /vef/

形 (f) ~たち、~ら  
修飾する名詞が複数であることを明示する。一般名詞だけでなく、o101010100, o101010100, o101010100 などの代詞も修飾できる。ただし、日本語の「私たち」は、「私」で表されるものが複数集まった集団ではなく、「私」とそれ以外の人から成る集団を指すのが普通なので、o101010100 とすることはできず、別の単語 o101010100 を用いる。多重人格者の各人格を o101010100 で表している場合や、タイムマシンで別の時間帯の自分自身に会いに行く場合など、本当に「私」で表されるものが複数ある場合は、o101010100 と言える。

被修飾語で指せるものが複数あることを明示する用法のみをもち、被修飾語で指せるものと別のものの集合を指すようにする用法はない。例えば、o101010100 という表現では、複数個のリングだけを表すことはできるが、リングとミカンの集まりなどは表せない。後者を表したい場合は o101010100 のように o101010100 を用いる。

**動主 o20** /vev/

形 (f, ica と) 同じ, 等しい 副 (a が ca と) 同じになる, 等しくなる

**飾 o20** /veð/

飾 ~体, ~書体

**名 o20** /veðkadeq/

名固 カデグ体, 石書体

**名 o20** /veðjif/

名固 シフ体, 星書体

**名 o20** /veðiif/

名固 リッシュ体, 水書体

**名 o20** /veðet/

名 書体 || 特定の文字体系の文字の具体的な

形を一定の特徴のもとに決めたもの。  
ラテン文字のブロック体と筆記体、漢字の篆書体と楷書体、アラビア文字のクーフィー体とナスフ体のようなもの。フォントのタイプフェイスを指すわけではないので注意。例えば、Times と Garamond は、タイプフェイスとしては異なるが、書体としてもブロック体 (のセリフ体) で同一である。

**動 o20** /velok/

動 (a が e' n を ca と) 取り決める, 決める, 決定する, 合意する || ca と話し合っ、一緒に e を行うという意志を示す。

**名 o20** /veluk/

名 (ica との) 取り決め, 決定, 合意 || ica と取り決めた内容。

**名 o20** /vis/

名 全て, 全部, 全体

ある S に含まれるもの全体を指して「S の全て」を表現するとき o101010100 の形で用いられることが多い。o101010100 の項も参照のこと。

**名 o20** /vislat/

名 (izi の) 縦, 垂直方向, 鉛直方向

**動 o20** /vislit/

形 (f) 鉛直な, 鉛直方向の, 縦の, 縦方向の

**動 o20** /vizat/

動 (a が e を) 炒める, 焼く || e をよく動かしながら熱を加える。

**動 o20** /vizek/

形 (f) 社交的な, 外向的な || あまり親しくない人とても積極的に会話できる。

**動速 o20** /vit/

副動 速く, 素早く 形 (f) 速い, 素早い || 動く速度が大きい。  
o101010100 は移動の速度が速いことを表す。o101010100 はものごとを行うのにかかる時間が少ないことを表す。o101010100 はものごとを始めるまでに時間がかからないことを表す。したがって、「走るのが速い」や「川の流れが速い」は o101010100、「仕事が速い」などは o101010100、「返事が速い」などは o101010100 を用いる。

**動 o20** /vituf/

形 (f) 単純な, シンプルな, 分かりやすい || 構造などが込み入っておらず、全体を理解しやすい。

**名 o20** /vikef/

名 (izi の) 東

**名 o20** /vikefpelas/

名 (izi の) 東北東

名 αριθμητικά /vikefðenez/

名 (izi の) 東南東

助 αριθμ /vip/

副助 もう,すでに

τηλεφωνο θηλασ ο ελθ εριθμητικω. ▶ 私はもう子供ではなくなったのだ。

θο αριθμητικω θηλασ ο αριθμ! ▶ 彼はもう出かけましたか?

名 αριθμητικω /viθðar/

名 サービス || お金などの対価を受け取って行動する内容。

助 αριθμω /viθak/

助 (aが) 行動する, 動く || ある特定の目的のために何かをする。

英語の act に当たる。位置の変化に注目する英語の move に相当する単語は αριθμηω や αριθμηω。

名 αριθμω /viθek/

名 行動, 行い || 行動した内容。

助 αριθμηω /virdek/

助 雷が鳴る, 落雷する

天候としての雷を表す。したがって、αριθμηω is 1 回の落雷を表すのではなく、落雷が継続して起こっている期間全体を表す。

名 αριθμηω /viridik/

名 雷, 雷光, 稲妻, 稲光 || 雲と地面の間で起こる放電の光。

αριθμηω は雷の光を指す。「雷鳴」は αριθμηω αριθμηω。

助 αριθμηω /vilis/

助 (aが) 走る, 駆ける

助 αριθμηω /vitiθ/

助 (aが e を) 一瞥する, チラ見する, 見かける || e を一瞬の間だけ見る。

助 αριθμω /vif/

助 (aが e を) 急ぐ || 普通よりも短い時間で e を行う。

助 αριθμω /vɔ/

助助 ~で, ~に

場所を表す。

αριθμηω αριθμηω だけは、内側であることを特別強調する意図がない限り αριθμηω とする。

名 αριθμηω /vɔstɔn/

名 レストラン, 飲食店, 食堂 || 食事を提供する店。

αριθμηω は食事をするのがメインの店を指し、αριθμηω は食事というよりは休憩の場や憩いの場という感じの店で、コーヒーや紅茶と軽食を楽しむ店を指す。

助 αριθμηω /vɔsfɔm/

形 (η) 膨大な, 莫大な || 数量が非常に大きい。

名 αριθμηω /vɔsias/

名 カフェ, 喫茶店

名 αριθμηω /vɔsis/

名 店, 商店, 売店, ショップ || ものやサービスを売っている場所。

固定された建物で何かを売っている必要はなく、屋台なども指せる。

名 αριθμηω /vɔsisfɔð/

名 本屋, 書店, 書房, ブックストア || 主に本を売っている店。

助助 αριθμηω /vɔsɔr/

助助 大抵, 大体, 大方, ほとんど, ほぼ || 特定の期間において、ずっとしていると言っても良いくらいだが少しの例外がある程度の頻度で。

助 αριθμηω /vɔtar/

助 (aが e を) 超える, 越す, 上回る, 凌ぐ

o 句には何らかの方法で大小が測れるものが入り、その大小関係で o 句の方が j 句の方が大きいことを表す。大小は必ずしも数値で測ることができる必要はない。英語では exceed に近そう。

o αριθμηω αριθμηω ο j αριθμηω αριθμηω. αριθμηω αριθμηω. ▶かわいさがある基準を超えると涙が出てくる。

助 αριθμηω /vɔtiz/

助 (anが e を) 忙しくする || e をやるのが多くて休んでられない状態にする。

助助 αριθμηω /vɔtið/

助 (aが e を ca で) 満たす, 詰める (η, ιca で) いっぱいの, 満ちた, 満たされた || 容器状の e に ca を入れて、e の中を ca ばかりにする。容器が j 句で、入れるものが qo 句。qo 句が液体である必要はない。

助 αριθμηω /vɔd/

助助 十分, 充分 || 必要な程度より甚だしい。

助助用法で使う場合は B 型副詞になるので、名詞は修飾できない。例えば、「十分なお金」は αριθμηω αριθμηω とは言えず、αριθμηω αριθμηω αριθμηω. ▶ 明日の試験で失敗しないように、十分寝なさい。

助 αριθμηω /vɔdan/

助助 (η) 無限の, 限らない || 個数や量に限りがない。

助 αριθμηω /vɔdak/

助 (aが e'n を) 把握する, 捉える, 理解する







# 6

機疑 **6o** /pa/

機疑 ～か

動詞の前に置いて疑問表現であることを明示する。

連結辞で2つの節が繋がれている場合は、両方の節の動詞の前に6oを置く。それ以外の接続詞で2つの節が繋がれている場合は、主節の動詞の前だけに6oを置く。

文末をパデックではなくデックで終えることで、疑問文ではなく反語文にすることができる。例文を参照。

口語でも6oは省略できない。

アクセントをもたず、直後に置かれた動詞と一続きに読まれる。

6o 6rcoc 6y6u o 6ou 6 qoq. ▶ 誰にそんなことができようか。

名 **6ou** /pas/

名 誰, どの人

疑問の人の代詞。

動 **6ouca** /pasif/

動 (aが) 迷う, 道に迷う, 迷子になる || 自分がどこにいるか分からなくなり、進むべき道や方向が分からなくなる。

動 **6ocq** /patir/

動 (aが e'nを) 疑問に思う, 疑問をもつ, 疑問を抱く || eが正しいか正しくないかを知りたいと思う。

6句には間接疑問表現が置かれる。

動 **6ocq** /patuf/

形 (7) 馬鹿な, 無学な, 無知の, 浅学な || 知識が十分にない。

名 **6ocic** /padat/

名 (ica'nの) 可能性, 蓋然性 || icaが実現することや真実であることへの見込み。

6ocicは「実現の見込み」なので、あるかないかを論じるものだが、c66ocicは「どのくらい実現し得るかの度合い」なので、その数値(0%~100%)を論じるものである。

名 **6ocid** /padek/

名固 パデック

動当 **6ocic** /padit/

形 (7n) あり得る, 可能性がある 副動 あり得て uoc6 6 66ocic o 6rcu ~で「～はあり得る」や「～かもしれない」の意味。また、文に副詞として66ocicをつけても「～かもしれない」のニュアンスが出せる。

英語の possible とほぼ同じように扱えるが、可能の意味はない。

c6rcicic 66ocic c6 c6rc6q. ▶ 明日は雨が降

るかもしれない。

c6rcicic 6 66ocic o 6rcu 66ocic 666 o qoc6q. ▶ 人間が永遠に生きるという可能性はないわけではない。

動 **66ocic** /pafsis/

形 (7) ぼんやりした, 曖昧な, おぼろげな || 本来に存在しているのかよく分からない。比喩的にも用いる。

名 **66ocu** /pafas/

名 想像, 空想 || 頭の中で映像として考えた内容。

動 **666cu** /pafem/

動 (a'nが eを ca'nを) 悩ませる, 迷わせる || caについて決断できないことによって eをつらく思わせる。

動 **666cu** /pafis/

動 (aが e'nを) 想像する, 空想する, 思い描く || eの様子を映像として頭で考える。日本語の「想像している」は経過相。

動 **666c** /pafik/

動 (aが e'nを) 思い出す || 忘れていた eに再び気づく。

ふと思い出すときは自動詞で、何らかの原因(忘れていたものに関連するものを見たなど)があって思い出す場合は他動詞を受動相当表現で用いる。

666c666 666c666 o c6q 6'n c6rcic666 666cu o'q c6 uoc6 6 666cic666 rcic 6rc6oc666. ▶ 今日はまだシャレイア語の文を作っていないことを突然思い出した。

動 **6666q** /paf60/

動 (aが e'nを) たぶんそうだと思う, 推測する, 推量する || きちんとした根拠はないが eが正しいと思う。

6666qは、理論立った推測というより、気持ちとしてそうだろうと思うというニュアンスがある。一方で6666qは、何らかの根拠があって、それをもとにした推測であるというニュアンスがある。

日本語の「たぶん」に相当する単語には、q6q や u6q などの可能性を表す副詞もある。6666qは「私は～だと思ふ」のように主観で判断したということの意味し、q6q や u6q は客観的な事実としてそれが起こる可能性がいくらかあると分かっていることを意味する。

名 **666c** /pav/

名 4

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6

6



名 66c /pat/

恐怖, 恐怖感, 恐れ || 危害を加えられそう  
だという不安。

名 66c1 /pad/

どこ, どの場所  
疑問の場所の代詞。

動 66u1 /pam/

覚 (aがe'nを) 忘れる, 失念する, 忘却する || 覚  
えていたはずのeが思い出せなくなる。  
「置き忘れる」や「持ってくるのを忘れる」  
などの意味はない。この意味では 66u1c1φ を  
使う。

動 66u1 /paz/

憂 (a'nがeにca'nを) 不安にさせる, 心配させる,  
案じさせる, 気がかりにさせる || 確実でない  
要素であるcaのせいで、eを落ち着けなく  
する。  
心配である原因が「慣れてないことを近く  
やらなければならない」ということである  
場合は、特に 66u1c1φ を用いる。  
不安な人が 3句で、不安要素が 90句。

動当 66u1 /pav/

副動 ?

接続法のようなニュアンスを節全体に与え  
る。すなわち、その節の内容が想像や仮説  
であって実際には起こっていないもしくは  
起こり得ないことを表す。

919000c o c3p 3'n 919000c 3600i 0'9 01 919c..  
▶ まるで海で泳いでいるかのように感じる。  
01919c 000c 3 003691 3600i. o 081n 0609c  
3600i o c3p 90 0191c 000c 01c o 0191 c 019c 0019p  
0019 3 00019i.. ▶ 他の人たちが頭を下にし  
ているような場所に私が現れたとしたら、  
とても滑稽なことでしょう。

副 66p /paθ/

副形 どのくらい, どれくらい, どれほど, どの  
程度

動 66p19p /pa1er/

形 (7) 不思議な, 奇妙な, 謎の || 仕組みがうまく  
説明できない。

名 66c /pet/

名 何, どれ  
疑問の物の代詞。

動 66d /pek/

形 (7) どの, 何の  
疑問の修飾の代詞。

動 66191n /pefen/

動 (aがe'nに) 慣れる, 順応する, 適応する || 何  
度もeを見たり関わったりすることで、eに  
対して何とも思わなくなる。

名 66p /peθ/

名 質問 || 質問された内容。

動 66p19c /peθið/

動 (aがe'nを) 試みる, 試す, してみる, やってみ  
る || 結果がどうなるか分からないが、とり  
あえずeを行う。  
助動詞的に用いることがある。

66p191n 906010i o c3p 919 0191c 3 019c c  
c3p. ▶ 試しに頭の中で自分の体を観察して  
みた。

名 66p191n /persəf/

名 思い出 || 過去に経験した何か大きな意味  
がある事柄。  
過去の経験を全て 66p191n と言うわけではな  
い。経験のうち、友達と旅行して楽しかっ  
たなど、何かしらの意味のあった経験のみ  
を 66p191n という。ただし、意味があったと  
しても、悲しかったりつらかったりした出  
来事を指すことは少ない。

動 66p191c /pernet/

動 (aが) うろつく, うろうろする || 行くべき場  
所がよく分からずに一定の範囲で動き続け  
る。  
慌てたり困ったりしているという意味合い  
はない。

名 66p19 /pelas/

名 (izi) 北東

動 66p191n1n /pe1mɔf/

動 (aが) うとうとする, うつらうつらする, う  
たた寝する || 今にも眠りに落ちそうで実際  
にときどき短時間眠りに落ちるのを繰り返  
している状態になる。

動 66p191n /pe1af/

副動 気楽に, 気軽に || 心配や緊張などの精神  
的な負担なく。

動当 66p191c1n /pe1iv/

形 (7n) 浅はかな, 軽率な, 軽薄な, 浅薄な || 副動  
浅はかにも, 軽率にも, 軽薄にも, 浅薄にも ||  
深く考えておらず配慮が足りない。

動 66n191p /pehɔ1/

動 (a'nがeを) 上の空にする, 放心させる, ぼー  
っとさせる || 様々なものに注意が向かず、  
何も考えていないような状態にeをする。

動 66p191n /pesa/

動 おやすみ, おやすみなさい  
原義が「良い夢を」なので、基本的には寝  
るのを見送る人がこれから寝る人に向けて  
使う。これから寝ようとしている人の方は  
900191c と言うか、もしくは「あなたも寝る  
ときは良い夢を」というようなニュアンスを  
込めて 66p191n を返す。結局、寝るのを見送る  
人は必ず 66p191n を用い、これから寝る人は  
66p191n でも 900191c でも良い。

名 **δύο** /pez/

名 (ica への) 不安, 心配, 気がかり, 憂い || 確実でない要素である ica のせいで落ち着けない気持ち。

動速 **δύο** /pef/

形 (η) どんな, どのような 副動 どのように修飾する名詞がどのような様子であるかを問う。

υοδύο と υοδύδ はどちらも「どんな S」と訳され得るので違いには注意すること。前者は S の様子を尋ねるが、後者はいろいろある S のうちのどれかを尋ねる。

名 **δύοη** /peɪ/

名 夢 || 睡眠しているときに経験する幻覚。場所に見立てられるので、「夢を見る」は ριδουσαι δύοη と表現し、ρρρ など使えない。「夢を見始める」は ριδου 完了相にして ριδουσαι δύοη とするか、ρουη を用いて ρουηδου ρο δύοη とする。また、「夢の中で」は δύοη δύοη であり δύοη δύοη とはしない。

「夢に S が出てきた」は「夢で S を見た」と考えて ρρρδουδύοη δύοη と表現する。もしくは「会った」という意味で ρδουη を用いても良い。どちらにしても、δδδ は使えない。

δ δύοη ουου ▶ おやすみ, おやすみなさい || δύου と同様に、寝るのを見送る人がこれから寝る人に向けて言う。

ρδουδου ο δύοη δύοη ουουδου δύοη δύοη δύοη ουουδουη ουουδουη. ▶ 昨日夢の中に昔の彼女が出てきた。

動 **δύουσαι** /pisisim/

動 (a が e' n を ca' n に) 困らせる, 困惑させる || そのときの状況では ca を行うことがうまくできないために e を悩ませる。

動 **δύου** /piv/

形 (η) 4

動 **δύουδουδ** /piθvɔp/

動 (a が e' n を) 確認する || すでにほとんど e であるとは分かっているが、本当に e かどうかを調べる。

動 **δύουδου** /piθpaθ/

動 (a が e' n を ca に) 確認する, 確認をとる || e が正しいか正しくないかを ca に尋ねることではっきりさせる。

動 **δύουδ** /piθek/

動 (a が e' n を) 確かめる, 確認する || これまであやふやだった e が正しいか正しくないかはっきりさせる。

「はっきりさせる」というのが重点。

δ句の内容についてははっきりさせる方法が人に聞くことである場合は δύουδουδ が使える。δύουδ は、正しいか正しくないか半々くらいどきどきにどちらなのか確かめることを表す。

一方 δύουδουδ は、一度調べるなどして真偽がほとんどはっきりしているが、念のためにもう一度確かめることを表す。初めの段階での確証度が異なる。

δύουδ だけでは真偽をはっきりさせるという行為しか表さないので、δύουδουδ δύουη ~ と言っても δύουη 節の内容が正しいとは限らず、間違いであることが確認できたのかもしれない。

δ句には δύουη 節を置く。間接疑問表現でも良い。

名 **δύου** /pir/

名 何のこと, 何, どのこと, どれ 疑問の事の代詞。

動 **δύουδου** /pilosim/

動 (a が e' n を) 迷う, 悩む || e を決められずあれこれと考える。

δ句には間接選択疑問表現が置かれやすい。δύουδου は単純に決断ができずにいることだけを表すが、δουδουη は決断ができないことによつて負の感情を抱えていることを表す。この2つの単語の意味は似ているが、助詞のとり方は異なるので注意すること。

名 **δύουδου** /pilosim/

名 悩み, 悩心事 || 悩んでいる内容。

動 **δύου** /pi/

動 え, ん, あれ, おや

何か不思議なことや気になることがあったときに発する。

動 **δύου** /pit/

動 (a' n が e を) 怖がらせる, 恐ろしがらせる || 危害を加えられそうだと e に感じさせ、e を不安にさせる。

これに「怖がってこれ以上行動したくない」という気持ちを加えたのが ρδδδου。

動 **δύουδ** /pɔδɔs/

動 (a が e を) 見る, 眺める || e をしっかりと見ようとせず、e に視線を向ける。

動 **δύου** /pɔz/

動 (a' n が e を zi' n に) 飽きさせる, うんざりさせる || zi をこれ以上続けるのが嫌な気持ちに e をさせる。飽きる人が δ句で、飽きる対象が υη δ句。

名 **δύου** /pɔd/

名 朝 || 起床から頭が働き始めるまでの時間。シャレイア語では、1日を δύου, υηδ, ουου, υηδδ, ρδ, δύουδ, δύουδ, δύουδ という7つの時間帯に区切る。この区切り方は単に24時間を7等分するわけではなく、一般的な会社勤めの社会人や学校に通う学生の1日の生活に基づいて決まっている。δύου は、そのような人が起きてから目が冴えてくる頃



ბი

助 ბიძარი /bazer/

助 (a'n が e を) 悔しがらせる || e の期待を叶えるのに十分なことができなかつたと感じさせ、e を腹立たしい思いにさせる。

助当 ბიძარი /bazir/

副助 突然、突如、急に、不意に 形 (+n) 突然の、急の  
英語の accidentally に相当する。ポジティブな文脈ではあまり使われない。

助 ბიძარიძე /batgər/

助 (a が e に) 打ち当たる、突き当たる、衝突する || e の方へ向かって動いていたものが e に激しく触れる。

助 ბიძარიძე /batief/

助 (a が) 泣く、泣き叫ぶ、号泣する || 悲しさのあまり大声を出す。

名 ბიძი /bag/

名 青、青色

助 ბიძიო /bava/

接助 ~なのに、~けれども、~にも関わらず 逆接の理由を表す。

助 ბიძიოგ /bavar/

助 (a が e を) 割る、砕く、壊す || e に力や衝撃を加えて、たくさんの部分に分けてしまう。

助 ბიოგ /baθ/

形 (+) 4/10

助 ბიოგაძე /bardet/

助 (a が e と) 喧嘩する、言い争う

助 ბიოგაძეძე /barfək/

助 (a が) はしゃぐ、はしゃぎ回る、ふざける、騒ぐ  
単純に楽しげに笑い合ってるだけではなく、走り回ったりなどの何らかの大きな動作を伴う。複数人でも 1 人でも良い。基本的には子供が行うイメージがあるが、酒を飲んで酔った大人が陽気に動き回ってる様子も ბიოგაძე と言える。単語自体にマイナスイメージはない。  
ბიძარიძე ო ცარი ბიძარიძე ო ოც ბიძარიძე. ▶ 妹たちのはしゃぐ声で目覚めた。

助 ბიოგაძეძე /barzək/

助 (a が e を) 壊す、破壊する || e をもとに戻せなくなるほどにひどく壊す。

助 ბიოგოც /barhat/

助 (a が) 爆笑する、大笑いする || 大きな声を出して笑う。

助 ბიოგოც /balat/

助 (a'n が e を) 驚かせる、驚かす、びっくりさせる、不意を突く

助 ბიოგოც /bai/

接助 たとえ~

副 ბიოგი /bam/

副形 とても、かなり、だいぶ、非常に  
より程度の基だしさを強調したい場合は ბიძარი を使う。

助 ბიძი /bag/

助 (a'n が e を) 怒らせる、腹を立たせる、立腹させる  
これをそのまま強めたのが ბიძარიძე で、「傷つけてやりたい」というニュアンスが含まれるのが ბიძარიძე. なお、実際に傷つけたかどうかは関係がない。

助当 ბიძე /bar/

副助 突然、突如、急に、不意に 形 (+n) 突然の、急の || 誰も予想していない状態。

助 ბიძარიც /bavət/

形 (+) うるさい、騒がしい、やかましい || 物音が大きい。

助 ბიძარიცხე /beszət/

形 (+) 醜い、見苦しい || 色や形や雰囲気などが全体的に整っておらず、見たくないと感じさせる。

名 ბიძარიცხე /bezit/

名 背、背中 || 胴において背面から見て視界に入る部分。

助 ბიძარიძეძე /bedfəs/

形 (+) 歪な、醜い  
ბიძარიცხე との違いは、対義語である ბიძარიცხე と ბიძარიცხე の違いと同様である。ბიძარიცხე を参照。

助 ბიძარიძეძეძე /bedem/

助 (a'n が e を) 疲れさせる、疲労させる、疲弊させる || あまり疲れるあまり、全く活動したくなくさせる。

名 ბიძარიცხეძეძე /bedər/

名 過ち、しくじり、失態、過失、過誤 || 過去に行ってしまった行うべきでなかったこと。  
ბიძარიცხეძეძე は、それによって良くない結果を引き起こしてしまった行動を表し、本人がそうすべきではなかったと後悔しているというニュアンスがある。ბიძარიცხეძეძე には、倫理的に正しくないという意味合いだけがあり、その行為の関係者がどう思っているかにはあ







**動** δίστασις /buvðst/

**動** (aが) 大人になる, 成長する  
αὐτὸν から αἰσθησις になること、もしくは同じことだが、大人びない ἡδῶν 性を失うことを表す。したがって、主語に男性を来ることはない。  
ポジティブなイメージはない。

**動** δίσταῖν /buver/

**動** (aがeの) 悪口を言う, 毒づく, 罵る, 貶す, 諷する || eの悪い点をわざと挙げる。  
δίσταῖν は単に誰かの悪い点に言及したくらいの意味である。δίσταῖναι はその意味を強めたもので、相手を傷つけるために意図的に悪い点について述べることを表す。

**名** δίστασις /buvir/

**名** (ieの) 悪口 || ieの悪口を言ったその内容。

**動** δίσταρος /budst/

**動** (aがeを) 嫌いになる, 嫌う, 嫌がる  
αἰσθησίου と δίσταρος の意味は違う。前者は「好き」の否定なので、嫌いであるかもしれないし何とも思っていないかもしれない。後者は「嫌い」である。  
δίσταρος は「嫌」程度で、δίσταρος はさらに嫌悪感を増してもう関わりたくないと思っていることを表す。  
δίσταρος と δίσταρος の使い分けは、ὄρα と ἴσως の使い分けに準ずる。詳しくは ὄρα の項を参照。

**動主** δίσταρος /burteg/

**動** (aが) 臭う, 悪臭がする **形** (†) 臭い || 不快な匂いを発生させる。

**動** δίσταρος /burded/

**動** (aがeを) 罵る, 罵倒する, 誹謗する, 中傷する, 誹謗中傷する, 悪態をつく || eを傷つけるためにわざわざ eの悪い点について述べる。

**名** δίσταρος /burdid/

**名** (ieの) 罵倒, 誹謗, 中傷, 誹謗中傷, 悪態 || ieを罵ったその内容。

**名** δίσταρος /burdʒ/

**名** 悪魔, 鬼  
比喩的に使われることが多い。

**動対** δίσταρος /burvst/

**動** (aがeを) 腐らせる, 腐敗させる, 墮落させる  
**形** (†) 腐った, 腐敗した, 墮落した || 悪いもので満ち溢れ, 道德的でなくなる。  
「腐敗した精神」や「腐敗した政治」など、比喩的な意味では δίσταρος を用いるのが一般的である。

**動** δίσταρος /bulaʒ/

**動** (aがeを) 嫌う, 毛嫌いする, 憎む

**名** δίσταρος /bunlbhis/

**名** 蚊, ハエ || 空中を飛ぶ小型の虫。

蚊なのかハエなのかは特に区別せず、空中を飛び回るせいでうっとうしい虫を指す。

**名** δίςτις /bunat/

**名** 虫, 害虫  
ゴキブリなどのように、それに対して嫌悪感を抱いている虫を指す。

**動速** δίςτις /bud/

**形** (†) 悪い **動動** 悪く || そうあるべきではないと思われるような様子の。

**動** δίςτις /budez/

**動** (aがeを) 妬む, 嫉妬する || どんなことをしてでも eのようになりたいと思うほどに eを妬む。

**動** δίςτις /bunið/

**形** (†) 悪い, 間違った || 道德や倫理に合致していない。

δί

φ

縮 **φ** /θ/

縮 **φόςφ**

助 **φο** /θa/

助動 ～に、～へ

間接目的語の他、到達点などを表す。

助 **φουοc** /θasat/

形 (φ, ica'n に) 効果的な, 有効な, 効果のある

名 **φουόςc** /θaset/

名 (ica'n への) 効果, 効能, 効き目

助 **φουι** /θaz/

助 (a が e'n を ca に) 伝える, 教える, 知らせる, 伝達する || e という情報を言葉にして, ca が e を知っている状態にする。

単に「知らせる」ならば **uód** を他動詞で用いても表現できるが, **φουι** はさらに、言葉によって情報を伝えている (発話したかどうかは問わないので文字でも良い) ことと、直接的にその言葉を相手に知らせているということの 2 点が意味合いとして追加される。

助活 **φουιόςφ** /θazeθ/

助動 真剣に, 本気で, 真面目に 助 (a が e'n を) 真剣にやる, 本気でやる, 真面目にやる

助 **φoc** /θat/

助 (a が) 歩く, 歩行する

足のどちらかが必ず地面についているのが **φoc**、両足が同時に地面から離れることがあるのが **φιcφc**。この 2 つの使い分けには速度は関係しない。

助 **φocυoc** /θatsat/

助 (a が) 散歩する, 散策する || 気分転換や気晴らしのために歩く。

**φocυoc**, **υιόςφc**, **δόςφc** は、特定の場所に移動するためではなく動き回ることを意味するという点では共通している。**φocυoc** は、気晴らしのために歩いている場合に使い、歩き回ることそのものを楽しんでいるという意味合いが加わる。一方 **υιόςφc** は、楽しんでいるというニュアンスがなく、時間潰しなどのために何となく辺りを回っていることを表す。**δόςφc** は、行くべき場所が分からないために動き回っているというニュアンスがあり、例えばトイレに行きたいがそれが見つからず歩き回っている状況などがこれに当たる。このような区別に加え、**φocυoc** は徒歩の場合しか用いられないが、**υιόςφc** と **δόςφc** は歩く以外にも乗り物を運転する場合にも用いることができる。そのため、例えば時間潰しのために車でドライブする場合も **υιόςφc** が使える。

名 **φocód** /θatak/

名 予想, 予測 || 将来実現するだろうと考えられた内容。

助 **φocός** /θate/

助動 ～まで 接助 ～するまで 期間の終了点を表す。

助 **φocόςυ** /θates/

形 (φ) 最初の, 初めの

**φόςφc** と表す内容は同じだが、**φόςφc** が単に順番の番号が 1 であることを指すのに対し、**φocόςυ** はそれが他の何よりも先であることをニュアンスとして含意する。

助 **φocόςδ** /θatik/

助 (a が e'n と) 予想する, 予測する, 予期する || 将来 e が起こるだろうと考える。  
↓ 句には **δc** 節が置かれやすい。

名 **φocόςυι** /θatóm/

名 腹, お腹, 腹部 || 胴の下半部で正面から見て視界に入る部分。

助 **φocόςφ** /θatur/

助 (a'n が e を) 空かす, 空かせる, 空ける || e の使用できるように確保されている場所のうち使われていない箇所がいくつかあるようにする。

空きがあるかないかの 2 値ではなく、空き具合も表現できる。例えば、比較表現にできる。

↓ 句は、語義の「使用できるように確保されている場所」を入れるのではなく、それを集めた区画全体を入れる。具体的には、誰も座っていないバスの座席があったとしたら、↓ 句には「座席」ではなく「バス」を入れる。

名 **φocι** /θad/

名 2/10

助 **φocιωόςφ** /θadφcɔr/

助 (a が e'n を ca に) 祈る, 祈願する, 祈念する || 神や仏などの ca に対して、e が実現するよう何らかの儀式をする。

**υόςφc** や **φόςφc** などと違い、**φocιωόςφ** は宗教的な意味合いが強い。単に願っただけでなく、それを神や仏などの信仰の対象に対して頼むことを表す。

語義に「儀式」とあるが、大々的なものである必要はなく、例えば仏壇の前で手を合わせたり、絵馬を書いて奉納したりなど、何らかの決められた段取りであれば良い。

助 **φocιάν** /θadej/

助 (a'n が e を) 感動させる, 感激させる

感激の度合いが高く泣いてしまうくらいの場合には αἰσθητικὸς が使える。

**動 ροσιζυι** /θadez/

**形** (+) 積極的な、能動的な、活動的な、強気な || ものごとに関して自分から進んでやろうとする。

**名 ροσιζφι** /θadið/

**名** 画面、モニター、ディスプレイ

ブラウン管や液晶ディスプレイなどを指す。テレビのモニター部分も指せる。ただし、映像の出力機器全般を指すわけではなく、長方形の表示領域に映像が映り、それ自身を見ることでその映像が知覚できるもののみを指す。したがって、7セグメントディスプレイやプロジェクターは ροσιζφι には含まれない。それ自身が発光する必要はないので、電子ペーパーは含まれる。

**動 ροδῶυ** /θakes/

**動** (a が e'n を ca に) 提案する、提言する || e を試してみてもどうかと ca に伝える。

**動 ροδῶα** /θakaf/

**動** (a が e'n に ca'n と) 答える、回答する、解答する、応答する、返答する || ㊸句に質問の内容を置き、ρο 句に解答の内容を置く。

**動 ροδῶφι** /θakad/

**動** (a が e を) 利用する、使用する、使う || e が提供するサービスを役立てる。|| ㊸句には、「バス」や「エレベーター」などの設備や「図書館」などの施設が置かれる。

**名 ροδῶα** /θakaf/

**名** 答え、回答、解答、応答、返答、返事 || 回答した内容。

**名 ροδιζφ** /θagir/

**名** 敵、邪魔者 || 自分に危害を加えてきたり、自分の行動の妨げになったりするもの。必ずしも人である必要はない。

**名 ροα** /θaf/

**名** (izi の) 前、前方

ρυικ 句で表される名詞から見たときの前方を指す。

**動 ροαδῶφι** /θafkad/

**動** (a が e'n を ca に) 相談する || e を解決するための助言などを ca に求める。「議論する」の意味合いはなく、その場合は δῶαρηφ を用いる。

**動 ροαῶφ** /θafef/

**動** (a が e を) 呼ぶ、呼び出す、呼び寄せる、呼びつける || e に自分のところへ来るように言う。呼ぶときに声を上げたかどうかは含意しない。

い。声を出したことを表現したいなら ρικ ρυρηφ などを用いる。ρυζφου を使うのも良いが、これには「自分のところまで来てもらう」という意味合いがない。また、呼んだ相手が実際に来たかどうかも含意しない。

**動当 ροαῶζι** /θafef/

**副動** 偶然、たまたま、予期せず、思いがけず、図らずも **形** (+n) 偶然の、たまたまの、予期しない、思いがけない || 因果関係がなく誰も予期していなかったが、その場の状況が原因で。ροαῶζι も ρυρηφ もほぼ同じ意味だが、ροαῶζιの方が「因果関係がない」というニュアンスが大きく、ρυρηφの方が「誰も予期しなかった」というニュアンスが大きい。

**動 ροαῶυ** /θafas/

**動** (a が e を ca に) 差し出す、差し伸べる、提示する、出す、見せる || ca に見えるように e を前に出す。相手に向かって「どうぞ」と見せる感じ。新幹線内で「切符を見せてください」と言うときの「見せる」もこの ροαῶυ を使う。

**動 ροαῶυαιζφ** /θafasozθ/

**動** (a が e を ca に) 見せびらかす、誇示する || e を ca に自慢げに見せる。

**名 ροαυ** /θav/

**名** 番目、回目、番、位

数詞を伴って序数を表す。通常は ορηφ ρυζ ροαυ の縮約形である ορ' として現れる。数を特別強調したいときに限って縮約されずに用いられる。

**動 ροαυρηφ** /θavleð/

**形** (+) 斬新な、新奇な、新鮮な || これまで存在していたものとは完全に異なる。

**動当 ροαυου** /θavas/

**副動** さらに、いっそう、その上、加えて

文頭に移動されて強調構文として用いられることが多い。

**動 ροαυῶα** /θavef/

**動** (a'n が e を) 興奮させる、ワクワクさせる || 楽しいことややりたいことが今後できるために e を落ち着けなくする。

**名 ροαυιφ** /θavif/

**名** 興奮、ワクワク || 楽しいことややりたいことが今後できることによる落ち着けない気持。

**動 ροαυις** /θavot/

**動** (a が e を ca に) 配る、分ける、分配する、配分する、配布する || たくさんある e の一部を ca のそれぞれに渡したり送ったりする。ρο 句には当然複数のもやグループなどが入る。したがって、「全員に分ける」は ρο

սուս օճանս の方が適切で զօ սուս օճան 是不自然である。

ուսուս սօրօս օ սօր և օրօրնուսու. բօժանս օ անը զօ րնանց օճան և րնեոնու. ▶ 今日はバレンタインデーなので、友達みんなにチョコレートを配った。

**名 բօժանց** /θavut/

**名** (ica の) **取り分, 分け前** || ica に配られた一部。

派生元の բօժանց 的 զօ 句には配る対象の全体が置かれるが、բօժանց 的 ըրօ 句には配った個々の対象が置かれる。

**名 բօծօր** /θapac/

**名** **いつか, やがて** || 具体的にいつかは分からないが、今より後のある時点。

**動 բօզ** /θaθ/

**形** (ր) **新しい, 新規の** || これまで存在していたり使われたり見たりしていたものとは異なる。

「これまでに存在していない」という意味合いをさらに強めたのが բօզօրնր。

**間 բօրօծ** /θaða/

**間** **さあ, ほら, それで, それでね, とにかく** 話し始めるときや話を再開するときに注意を引きつけるために用いる。そのため、基本的な文頭に置かれる。

**動 բօրանց** /θaδis/

**動** (a が e に ca を) **かける, 支払う, 払う** || e を手に入れたり作るのに ca を負担する。↓句と զօ 句の対応が日本語と逆なので注意すること。

語義は「値段や費用を決める」ではない。すなわち、実際に ↓句のものを手に入れたり作るのに費用を払ったりすることのみを表し、これからそれを手に入れたり作ろうとしたりする人に対して払わせる費用を決めることは指さない。

**動 բօրանց** /θaδar/

**動** (a が e を ca に) **貸す, 貸し付ける, 貸貸し** する || 自分のものである e をお金を受け取って ca のものとして使わせる。

**動 բօռօր** /θafar/

**動** (an が e に ca に) **好奇心をもたせる** || ica について詳しく知りたいと思わせる。

**名 բօռանց** /θafar/

**名** (ica への) **好奇心** || ica について詳しく知りたいと思う気持ち。

**名 բօր** /θar/

**名** **そのこと, それ** 指示の事の代詞。基本的な前に出てきた文全体や接続詞節を

指すことが多いが、以下の例文のように、後に出てくる文や節も指し得る。文や節だけでなく、ծրր や ճնրի のように内容をもつ名詞を受けて、その内容を表すこともある。ուրսնանց օ անը ՚ն սօրօս ուսուս ճրր և սուրօս օ բօր. զն ճնանանց օ րնս և րնս.. ▶ 私はなぜそれが正しいのか分からなかったが、彼は友達を殴った。

**名 բօր** /θar/

**名** 腕

**動 բօրանց** /θalet/

**動** (a が e'n を) **目指す, 志す, 狙う** || e を実現させることを 1 つの水準としてもものごとを行う。「山の頂上を目指す」などのように移動の方向を表す用法はない。

**助 բօրց** /θali/

**助動** **～に向かつて, ～の方へ** րօս 或 րծծ などの移動の動詞とともに用いられた場合は、移動の方向を表す。例えば、րօսնս բօրց օ は「S 方面に向かう」という意味で、実際に S まで行くかどうかは分からない。一方、րօսնս րօ օ は S まで移動している。

սրբանս օ 'աուսբր բօրց անց ան րնրօր.. ▶ シヤスティルが私に向かつて無言で囁いた。

**名 բօրց** /θalit/

**名** (ie'n の) **目標, 目的, 目当て** || 何かを実現するために ie をしているときの、実現しようとしていること。

**動 բօրցր** /θalið/

**動** (a が zi を) **出発する, 発つ, 出かける** || ある場所に行こうとして zi から離れる。ուր 句の場所を離れた瞬間が完了相。移動元に重点を置くので、行き先を զօ 句で表すことはできず、それには բօրց などをを用いる。

**名 բօրանս** /θalns/

**名** **用事** || その時点で行っていなければならないこと。将来何かしようという計画ではなく、その時点でしていなければならないことを表す。「計画」や「予定」ではない。ծօ ծօանց օ րնր և բօրանս ան օրծր. ▶ 明日暇?

**名 բօրանց** /θalnk/

**名** 腕 手も含める。

**動 բօրանց** /θalarp/

**形** (ր, izi より) **後の, 以後の** || izi の時点でまだ過ぎ去っていない。

**名 բօրանց** /θalarp/

**名** (izi の) **後, 以後** || izi の時点でまだ過ぎ去っ

ていない時間。  
基準点より後のある1点を指すのが ρορική、  
現在より以後全体を表すのが δορική。

助 ροις /θanis/

助 (aが) 進む, 前進する || 移動すべき方向が決  
められている状態で、その方向に移動する。  
「向いている方向に移動する」という意味で  
の「前進」ではない。これは υςρρρρδν ρο ροο  
や ροις ρο ροο などと言う。

助 ροιου /θajas/

助 (aが e'nを caに) 申し出る, 提案する || eを  
行っても良いということを caに伝える。  
ροιουορ ρο cδρ ρ δνριο.. ▶ 手伝いますよ。

間 ρδ /θa/

間 さあ, さて, ほら || 何らかの行動を始めよ  
うとするとときに、それを促す目的で言う。

助 ρδν /θas/

助 (aが eに) 会う, 逢う || eを見つけて eと会  
話などを交わす。  
何かしらのコミュニケーションをとったと  
ころまで合意する。単に見かけただけなら  
ρρρを使う。

助 ρδδορ /θakat/

助 (aが eを caに) 取りに来る

間 ρδδνδ /θavδ/

間 さようなら  
別れるときの一般的な挨拶。今後また会う  
予定があれば, cδ ρδδ ορδρとも言う。

助 ρδδ /θak/

助 (aが ziから caへ) 来る, 行く

助 ρδδρρδρ /θakδδδθ/

助 (aが eを ziから) 迎えに来る  
cδ ριοιςρδρ ρο cδρ ρδδ υδci ρ ρδδδc. ρδδρρδρδν  
δ cδρ ρ οοοο.. ▶ 友達の家で遊んでいると、母  
親が迎えに来た。

名 ρδδν /θav/

名 互い, 相互  
「互いに」という副詞の用法はない。  
何と何が「互いに」なのかは文脈に依存す  
る。

δν ρδδν で「互いが互いととも」すなわち  
「一緒に」の意味合いが出せる。  
δδδνδ ο υδρ δ ρδδν.. ▶ 私たちは互いに見つめ  
合った。

助 ρδρ /θar/

形 (f, iziの) 次の, 新しい

名 ρδρου /θalas/

名 特徴, 特性, 特色 || 他のもものと比べて特に  
言及しておくべき性質。

動活 ρδδνδρδρδ /θasδδθet/

副動 自慢げに, 得意げに, 得意顔で, したり顔

で 助 (aが e'nを) 自慢げにする, 得意げにする,  
得意顔でする, したり顔でする, ひげらかす ||  
自慢しているような態度で。

名 ρδδνδci /θasδd/

名 (icaへの) 態度, 姿勢

名 ρδδci /θad/

名 後 || 何らかの物事が終わった時点より以  
後の時間。

δδρδν ο ρδν δ ρδνδρ ο ρ' δ cδδδρ cδ ρδδci!?. cδδ  
ρδδδοο ρο cδρ δ'n cδρρρ δδδδ.. ▶ 彼は「掃除は  
後でやるよ!」と言ったが、絶対にやらない  
と思う。

名 ρδδρδρ /θagit/

名 角 || 動物の頭から生えている硬く尖った  
もの。

副 ρδρδρδρ /θalδr/

副特 特に, 特段, とりわけ || そのとき言及し  
たいことである。

名 ρδριορ /θarai/

名 同人誌  
内容のジャンルは問わない。漫画やアニメ  
などを扱っているものでも、文芸的な内容  
のものでも、ρδριορと言える。

助 ρδ /θe/

接助 そして  
接続詞として節と節を繋ぎ、前の節の内容  
が起こった後に次の節の内容が起こること  
を表す。cδνιςも同様の役割をもつが、cδνις  
とは違い ρδは直後であることを表す。また、  
英語の andにはこの意味もあるが、シ  
ャレイア語の δや ρδにはないので注意。  
ρδがついている方が後の出来事である。  
ρδ節は主節より後に置かれる。

名 ρδν /θes/

名 彼, 彼女, その人  
指示の人の代詞。  
υις ορρδと同じ意味だが、普通は ρδνを用  
いる。ただし、ρδνが表し得る対象が複数考  
えられる場合に、別々のものを指すという  
ことを明示する目的で、片方の ρδνを υις  
ορρδにすることがある。実際の用法は例文  
を参照。

cδρ, υδρ, ρδρの3単語に対してだけは、ρδν  
を代わりとして用いることはできない。  
基本的に文脈中で前に出てきた単語を指す。  
主節に前置された副詞節の中では、後に出  
てくる主節にある単語を指すこともある。

cδροορδρ ρο cδρ δ υις ουδδδν cδροις 'οορρρ  
cδρ ρδρδδδδδ υδρρρδδδδδ ο'ν δ υις ορρδδ.. ▶ 私はシ  
ャリアにとって無視できないほど大切な人  
間ではない。

名 ᠒᠔᠘᠐᠑ /θetar/

名 丼, 井ぶり, 丼物 || ご飯の上におかずを載せた料理。

名 ᠒᠔᠘᠐᠑᠗᠘᠘᠐᠑ /θetaleftas/

名 牛丼 || ご飯の上に煮込んだ牛肉や玉ねぎを載せた丼物。

動 ᠒᠔᠘᠘᠙᠗ /θetiv/

動 (aがeの) 喉を渴かせる, 渴かせる

名 ᠒᠔᠘᠙᠗᠓ /θedlem/

名 カボチャ, 唐茄子, 南京皮の色で区別はしない。したがって、英語では pumpkin ではなく squash に近い。

動 ᠒᠔᠘᠑᠗᠒ /θedeð/

動 (aがe'nを) 計画する, 企てる, 画策する || eを行うための具体的な方法や手順をあらかじめ考える。「こっそり」の意味はない。計画を練っている最中が経過相。

名 ᠒᠔᠘᠙᠙᠒ /θedið/

名 計画, プログラム || 計画された具体的な方法や手順。

動 ᠒᠔᠔᠘᠙᠓ /θektam/

動 (aがeにcaを) 詰める, 詰め込む || eの隙間をなくすようにcaをeに入れる。᠒᠐句のもの以外の何かがすでに᠑句のものに入っているも良い。᠑句はいわゆる容器のようなものでなくても良い。例えば、虫歯に詰め物をする場合も᠒᠔᠔᠘᠙᠓ が使える。᠔᠑᠘᠙᠙᠒ と ᠒᠔᠔᠘᠙᠓ の違いは大きく2点ある。1つ目は、上の語法で述べた通り ᠒᠔᠔᠘᠙᠓ は別のものがもとから入っているも良いという点である。2つ目は、᠒᠔᠔᠘᠙᠓ の方には「隙間をなくす」というニュアンスが入る点である。

動 ᠒᠔᠔᠐᠗ /θekaf/

動 (aがe'nをcaに) 告白する, 打ち明ける || これまで言わなかったeをcaに知ることのできるようにする。᠔᠑᠔᠔᠔᠑ はこの下位語で、告白する内容を意図的に隠していたというニュアンスが入る。

動 ᠒᠔᠔᠘᠙᠘ /θekid/

動 (aがeをcaに) 吊るす, ぶら下げる, 吊り下げる, 掛ける || eの上部を直接もしくは紐などを用いてcaに固定して、eが下に垂れるようにする。

名 ᠒᠔᠔᠔᠑ /θekur/

名 鞆, バッグ || 荷物を入れて手に持ったり肩に掛けたりして持ち運ぶための袋状の用具。᠒᠔᠔᠔᠑ は手提げもしくは肩に掛けるタイプのものを指し、᠓᠙᠘᠔᠔ はリュックサックのよ

うな背負うタイプのものを指す。どちらも比較的大きめのものを指し、小物を入れる目的のポーチなどは指さない。ポーチは᠒᠙᠔᠔᠔。

動 ᠒᠔᠔᠔᠑᠗᠘ /θevset/

形 (r) 旨い, 旨味のある 単に味が良いという意味ではなく、出汁に特徴的なグルタミン酸などの味のことを指す。味が良いという意味では᠔᠐᠑᠒᠘を用いる。

名 ᠒᠔᠔᠔᠑ /θeper/

名 トマト, 赤茄子, 唐柿

名 ᠒᠔᠔᠔᠑᠙᠘᠔ /θepertiv/

名 ミニトマト, プチトマト

形 ᠒᠔᠒᠒ /θeð/

形 (r, iziの) 左の, 左方の

名 ᠒᠔᠒᠒᠘᠘ /θeðed/

名 地図, マップ || 地上や建物の一部分にあるものの位置関係や大きさなどを、実物から縮小して表示することで示すもの。スケールは問わず、世界地図や日本地図を始め、道端にある案内板に描かれたものや1つの建物の内部の構造図まで、幅広く指せる。また、平面のものにも限らず、地球儀なども指せる。

名 ᠒᠔᠒᠒᠘᠘᠔᠘᠙ /θeðedʃət/

名 地球儀 || 地球を縮小した形の球体状の地図。地球儀を地図の一種として見たときの言い方である。太陽系儀や三球儀の一部としての地球儀は、地図というよりも模型として見ているので、᠒᠔᠒᠒᠘᠘᠔᠘᠙ではない。

名 ᠒᠔᠑᠔᠙᠙ /θersiv/

名 ラズベリー, キイチゴ

名 ᠒᠔᠑᠔᠙᠙᠓᠑᠓ /θersivʒɔm/

名 ブラックベリー

名 ᠒᠔᠑᠔᠙᠙᠒ /θerviv/

名 ワイン, 葡萄酒

名 ᠒᠔᠑᠔᠙᠙᠒᠔᠔᠔᠔ /θervivzaf/

名 赤ワイン

名 ᠒᠔᠑᠔᠙᠙᠒᠔᠔᠔᠔᠔᠔ /θervivʃaθ/

名 白ワイン

名 ᠒᠔᠑᠔᠙᠙᠔᠙᠔᠙᠔ /θerixisv/

名 河原, 川原 || 川の両側にあつて川に沿って存在している、砂や石で覆われた比較的平らな陸地。

名 ᠒᠔᠑᠔᠘ /θelet/

名 ノート, 帳面, 手帳 || 手書きで自由に書き込んだ紙もしくは書き込めるようにした紙

をまとめたもの。

**ρδρδ** は、もともとが白紙だったり罫線が書かれている程度の、比較的何でも書き込めるようなもののみを指す。一方で **σσρρδδ** は、家計簿など帳簿やスケジュール帳といった用途が決まっているものを指す。

大学ノートのような罫線が引かれている紙を綴じたものも指せる上に、ルーズリーフをファイリングしたもの全体も指せる。もっと言うくと、ただのコピー用紙に何か書き込んでそれを何らかの方法で束ねたりファイリングしたりしたものも指し得る。ただし、束ねていない1枚のルーズリーフや紙を指すことはしない。

最終的に束ねられた状態で管理されるものを指す。例えば、便箋を文房具屋で買うとどいたいたい1枚ずつの便箋が軽く糊付けされて束ねられているが、使うたびに1枚ずつ剥がして別々に使うのであればこれは **ρδρδ** とは言えない。ただし、このような使い方は想定されていないだろうが、束ねた状態のまま各ページに文字を書いているという使い方をするのであれば **ρδρδ** と言える。

サイズは問わないので、手帳サイズのものも指せる。

**名 ρδρδσσρρ** /θeletað/

**名** 日記, 日誌, **ダイアリー**, ジャーナル || その日に起こったことや考えたことなどを日付を添えて記しておくもの。

**名 ρδρδδ** /θeles/

**名** 浜, 浜辺 || 海や湖の水面に沿っている比較的平らな陸地。  
砂浜だけを指すということはなく、小石が転がっているような礫浜も指す。砂浜を特に指す場合は **ρδρδδσσρρσ** と言う。  
川の両側に広がる平地は指さず、これは **ρδρρρρρρ** で表す。

**名 ρδρδδσσρρσ** /θelesnatis/

**名** 砂浜, **ビーチ** || 砂で覆われている浜。

**名 ρδρδδδ** /θelæk/

**名** お米, 米

**動 ρδ** /θe/

**動** おや, まあ, ああ  
驚いたときや何かに気づいたときなどに発する。ð とは違って、意図的に発することが多い。

**名 ρδδ** /θed/

**名** そこ, その場所  
指示の場所の代詞。

**動当 ρδρ** /θer/

**動副** 五分五分で, たぶん || 起こる確率が半々

くらいで。

**名 ρδδρρ** /θenit/

**名** **カーディガン**, **セーター**, **ベスト**

**ρδδρρ** と **σδρρρρρρ** はどちらも太めの糸を編んで作られたものを指し、その本質的な違いは生地 thickness である。**ρδδρρ** は比較的生地の薄いものを指し、**σδρρρρρρ** は生地の厚いものを指す。特に、**σδρρρρρρ** は生地が首元まであるものが想起される。日本語では、被って着るタイプを「セーター」と呼び、前が開いていて羽織って着るタイプを「カーディガン」と読んで区別するのが一般的だが、このような区別はシャレリア語ではない。ただし、**σδρρρρρρ** は基本的に長袖のものが想起されるが、**ρδδρρ** は必ずしもそうではなく、袖のない **ρδδρρ** は特に **ρδδρρρðð** と呼ぶこともある。日本語では「ベスト」と呼ばれるものもニット生地のようなものであれば **ρδδρρ** になり得る。この2単語とは別に、**σδρρρρ** は、スーツにおいてワイシャツの上に着るベストのように、糸を織って作られる普通の服と同じような生地できているものを指す。  
**σδδððρ** にはならない。

**名 ρδδρρρρðð** /θenithap/

**名** ベスト

**名 ρδρρ** /θer/

**名** お茶, 茶  
チャノキの葉以外の植物から作られる茶(いわゆる茶外茶)も含む。したがって、麦茶やマテ茶やハーブティーなども含む。

**名 ρδρρρσσρ** /θeizaf/

**名** 紅茶

**名 ρδρρρððð** /θe.rnəm/

**名** 緑茶

**動 ρρρσδδ** /θistet/

**動** (f) 副次的な, 二次的な || 関するものの中で本体だと考えられているものに付随する。

**動 ρρρσδδρð** /θisdik/

**動** (f) 酸っぱい, 酸味のある

**名 ρρρ** /θit/

**名** それ  
指示の物の代詞。  
**σσρρ ρρρð** と同じ意味だが、普通は **ρρρ** を用いる。ただし、指示対象を区別するために **σσρρ ρρρð** を用いることもある。これについては **ρδδ** の項を参照。

**動 ρρρδδρρ** /θitkur/

**動** (aがcaに) 所属する, 属する, 加入する, 参加する || 組織やグループである **ca** の一員にな

る。

**動** **ԳՐԿԳՂԵ** /θitlɛd/

**形** (ր) **下位の, 下級の**  
「劣っている」という意味合いはない。

**名** **ԳՐԿԾԾ** /θitat/

**名** **曜日**  
シャレイア語では7つある曜日にそれぞれ名前があるわけではないので、月曜日を1番目の曜日、日曜日を7番目の曜日として、ԳՐԿԾԾ օր՝օրԸԸ, ԳՐԿԾԾ օր՝օրԹԹ などと呼ぶ。

**動** **ԳՐԿԸ** /θid/

**形** (ր) **2/10**

**動** **ԳՐԿԹ** /θik/

**形** (ր) **その**  
指示の修飾の代詞。

**動** **ԳՐԿԹՅԸ** /θikst/

**動** (aがeを) **肩に掛ける, 肩に提げる** || eの一部を肩で支えるようにして下に垂らして携帯する。  
鞆などの持ち手部分を肩に掛けることを表す。肩の上に置いて支える「担ぐ」の意味はない。

**動** **ԳՐԿԹԹ** /θikek/

**動** (aがeを) **持つ, 携帯する, 所持する, 身につける** || eがすぐ使えるような状態で身につける。  
語義の「身につける」というのは、鞆などに入っている状態でも良い。

**名** **ԳՐԿԹԿ** /θikik/

**名** **持ち物, 所持品, 携帯品** || 携帯しているものの。

**名** **ԳՐԿԹԿ** /θikot/

**名** **ポケット** || ものを入れて一緒に持ち運ぶように取り付けられた袋状の部分。

**名** **ԳՐԿԹԳ** /θikuθ/

**名** (iziの) **中身, 内容, 内容物** || 箱や袋などの容器である iziの内部に入れられているもの。

**動** **ԳՐԿԹ** /θife/

**接動** **~しながら, ~しつつ**  
接続詞として用いることが大半で、主節とԳՐԿԹ節が同時に行われていることを表す。ԳՐԿԹは基本的に同時に起こっていること両方を意志をもって行っていることを表す。一方でօօは付帯状況などを表す。なお、օօを用いるべき場面でԳՐԿԹを使うことは可能だが、ԳՐԿԹを用いるべき場面でօօを用いることはできない。

սՅճՅճս օ ալԸ Նճճճ օճԹԹ. Ըճճճ Թճճճս օՅ Նճ ԳՐԿԹ Ըճճճս օՅ Նճ. ▶ このドアを開けるには、押ししながら引かなければならない。

**名** **ԳՐԿՂԹ** /θifek/

**名** **ポーチ, 巾着** || 小物を入れて持ち運ぶための比較的小さい袋状の用具。  
基本的に鞆やリュックサックに入れて使うものを指す。

**名** **ԳՐԿՂԹԸԸԸ** /θifekdev/

**名** **筆箱, 筆入れ, ペンケース** || ペンを初めとする文具を入れておくためのポーチ。  
基本的に鞆やリュックサックに入れて使うものを指す。

**名** **ԳՐԿՂԹԹԿ** /θifekis/

**名** **財布** || 主にお金を入れるためのポーチ状の入れ物。

**動** **ԳՐԿԹՍ** /θipas/

**動** (aがe'nをcaに) **頼む, 依頼する, お願いする** || eを行ってほしいとcaに伝える。  
頼んだ相手が実際に頼まれたことを行ったかどうかまでは意味に含まない。  
頼んだ相手がそれをやってくれたかどうか待っている状態が継続相。  
頼みの必死さなどを強めたのが տճԳԹՅԸ。

**名** **ԳՐԿԹՍ** /θipes/

**名** **頼み, 依頼, お願い** || 頼んだ内容。

**動** **ԳՐԿԹՅԸ** /θiθst/

**動** (aがeをcaに) **通す, 刺す** || 穴が開けられているcaの穴にeを入れ、穴の向こう側にもeがあるようにする。  
Գօ句に開けられている穴は完全に貫通しているものでなければならぬので, ԸճՅՅս であってはならない。  
Գօ句に穴そのものを置くことはできない。

**名** **ԳՐԿԹ** /θiθ/

**名** (iziの) **左, 左方**

**名** **ԳՐԿԹԿԸ** /θiθid/

**名** **週, 週間**

**動** **ԳՐԿԹԾԹ** /θirtaθ/

**動** (aが) **間食をとる, 軽食をとる, おやつを食べる** || まとまった食事以外でお腹が空いたために少し食べ物を食べる。  
訳語に「おやつ」を入れたが、昼食と夕食の間の軽食だけを指すわけではなく、夕食の後の夜食なども指せる。

**名** **ԳՐԿԹՂԹ** /θirtθ/

**名** **間食, 軽食, おやつ** || まとまった食事以外でお腹が空いたときに食べる少しの食べ物。

**動** **ԳՐԿԹՅԱ** /θirkst/

**動** (aがe'nと) **思い込む, 鵜呑みにする, 盲信する, 信じる** || 疑に根拠がないにも関わらず疑わずにeが本当だと思う。  
ԳՐԿԹՅԱԾ օ ԸԳԹ ՆՅ ԳՐԿԹԹԾԾ օԳ Ն ԳՐԿՂԹԸԸԸ.



սծ ծծուրնն ո՛ր յ զրգ սր սնս.. ▶ 筆箱を持ってきたかと思っていたが、家に忘れてきていた。

**助当 զրգնս** /θiles/

**副助** よく, わりと, まあまあ || 特定の期間に置いて、するかしらないか半々よりは多い頻度度。

**助 զրգնն** /θiled/

**助** (a ց e'n) 予定する, 企てる, 計画する, スケジュールする || e を将来行くとあらかじめ決めておく。

o 句に置かれる人と、予定の内容である j 句の中身で主体となる人は、同じである必要はない。例えば、上司が部下の予定を決めるなどの場合も զրգնն が使えらる。予定の内容の段取りを詳しく決める場合は特に ընննն とも言う。

**名 զրգրտ** /θilin/

**名** 毛  
髪は毛は特に սրծ。

**名 զրգրտրոսնն** /θilinθazek/

**名** 鬚, 鬚, 髯 || 口の上や顎や頬に生える毛。英語のように場所による細かな区別はない。

**名 զրգրց** /θilit/

**名** レモン

**名 զրգրցն** /θilid/

**名** 予定, 計画, スケジュール || 予定された内容。

ծոսոս յ զրգրցն ընն ծրտ ~ まで「~の予定がある」の意味になる。このとき、ծոս の主語は、予定の内容を行う主体となる人であり、予定を決めた人ではない。

զրգրցն と ընննն の違いは、զրգրցն と ընննն の違いに準じる。すなわち、より具体的な手順がある方が ընննն である。

**助 զրգրտն** /θiləm/

**形** (ր) 普通の, 通常の

**助 զրտսսծրց** /θinifsbıt/

**形** (ր) 清涼感のある, スーツとする, ミント風味の || ミントを食べたときに特徴的な口の中が涼しくなる感覚がする。

**名 զրտսց** /θinit/

**名** 味, 風味

**助 զրտսցն** /θinik/

**助** (a ց e に zi) の 代わりをさせる, 代わらせる, 代理をさせる, 代替させる || 普段もしくは普通は zi が行うもしくは zi を用いるところを e にする。

սո զրտսցնն սր ~ まで「~の代わりに」という意味になる。զրտսցն を名詞用法で用いて、սո զրտսցն ընն ~ という形もよく使われる。

սոսոզնն ո ընն զո ըրսնն ըն սոթ յ՛ն ըրտսցնն ո՛ս. սո զրտսցնն զ՛ր յ զոթ սրտն ըննննն ո՛ր զո՛ս յ՛ն սընննննննն ո՛ս.. ▶ 今日、息子に勉強させる代わりに遊ばせてあげた。

**名 զրց** /θit/

**名** (izi) の 隣, 横 || izi の右および左の範囲。

**副 զրգ** /θif/

**副形** ほとんど, ほぼ, 大方, 粗方 || まだそうではないが、あと少し程度が甚だしくなればそうなる。修飾詞修飾型の副詞として使われるので、名詞は修飾しない。数量に言及して「ほとんどの S」と言いたい場合は、「ほとんど全ての S」と考えて սոսնննն զրցն とする。

**名 զրցնն** /θidet/

**名** スパッツ, レギンス

**助 զրցնն** /θizer/

**助** (a ց) 屈む || 膝を少し曲げて腰を低くした状態になる。

**助 զրս+** /θəs/

**助** ~職

**名 զրսսծր** /θəsəθ/

**名** (ie) の 教師, 教員, 先生 || 技能や技術である ie を教える職業。

**名 զրսսնրցն** /θəsəhız/

**名** (ie) の 学生, 生徒, 学徒 || 学校などで ie を学ぶ職業。

**助 զրսսծն** /θəsək/

**助** (a ց e) 職とする, 生業とする || e を職業とする。j 句に置かれた職業で働いている状態が継続相で、反復表現にはしない。

**名 զրսսնն** /θəsdek/

**名** 職業, 生業, 職 || 基本的にはお金を得るために、生活の中心として行っている行為の種類や形態。個々の仕事内容ではなく、「医者」や「弁護士」などの仕事の種類を指す。また、それによってお金を得ている必要性は必ずしもないので、「専業主婦/専業主夫」や「学生」なども含める。

**名 զրսրնննն** /θəsθelər/

**名** 声優, ボイスアクター, ボイスアクトレス || 何らかの作品で登場人物やナレーションの声を当てる職業。

**名 զրսրոսծր** /θəsrasər/

**名** 医者, 医師, ドクター || 病気や怪我を患っている人と関わってそれを治す職業。

**名 զրստըծնն** /θəsnikfeð/

**名** 俳優, 女優, 男優, 役者, アクトレス, アクタ

一 演劇などで登場人物を演じる職業。

名 ᠵᠠᠰᠤᠴᠣ /θɔd/

名 (ica'n の) 機会, 好機, 潮時, きっかけ, チャンス || ica を行うのに適した状況。

名 ᠵᠠᠰᠣᠳᠤ /θɔk/

名 それ, そのこと, その人

限定節の中でその被修飾語を指す。限定節の中でもともと被修飾語を指していた部分には何も置かれなないのが普通であるため、基本的に ᠵᠠᠰᠣᠳᠤ が現れることはない。しかし、限定節において被修飾語を指す箇所が 2 ヶ所以上あった場合、そのうち 1 つは通常通り消えるが、残りは ᠵᠠᠰᠣᠳᠤ として残る。

代詞とは異なり、人かどうかやモノかコトかは区別しない。したがって、ᠵᠠᠰᠣᠳᠤ を含む限定節の被修飾語に応じて、ᠵᠠᠰᠣᠳᠤ 自身がモノ名詞になるかコト名詞になるかが変わる。

U  
U  
C  
C  
ᠳ  
ᠳ  
C  
C  
O  
O  
Q  
Q  
O  
O  
Q  
Q  
U  
U  
O  
O  
O

ῥ

助 ῥου /ðas/

形 (ㄱ) 男の, 男性の, オスの

名 ῥουός /ðasot/

名 息子 || 男の子供。

名 ῥουόςῥῳρῖς /ðasothir/

名 孫息子 || 子の息子。

名 ῥουῳρῖς /ðazej/

名 彼氏, 彼 || 恋をしている相手である男性。

名 ῥουῳῖδ /ðazek/

名 男性, 男 || 大人であると言える男の人間。

名 ῥῳρῖδῳ /ðarkes/

名 王子, 王子様, 皇子, 親王 || 王室や皇室に属する男性のうち、最高位をもつ人とその配偶者を除く人。

王(もしくは天皇)の息子だけに留まらず、王の孫や王の娘の夫なども、そのような人が王の一族として認められることになっているのならば、指すことができる。女性の王の夫は指さない。

名 ῥῳρῖς /ðaled/

名 弟 || 同じ両親から生まれた男の子供のうち、年下の方。

名 ῥῳρῖςῳρῖς /ðaledthif/

名 従弟, 従兄弟 || 弟以外の親戚で、自分と年齢が近い年下の男性。

名 ῥῳῥῳρῖς /ðanaθ/

名 時刻, 時間

名 ῥῳῳ /ðaz/

名 父, 父親, お父さん || 親のうちで男の方。

名 ῥῳῳρῖς /ðazthif/

名 叔父, 伯父, 伯叔父, おじさん || 父以外の親戚で、父と年齢が近い男性。

名 ῥῳῳῥῳρῖς /ðazhir/

名 祖父, おじいさん, おじいちゃん || 両親のどちらかの父親。

名 ῥῳῳῳ /ðab/

名 少年, 男の子, 男子 || 14歳から大人になるくらいまでの男の人間。

助 ῥῳ /ðe/

助動 ~を, ~に向かって

結果目的語を表す。ῳῳ ῥῳ ῳ は ῳρῖςῳῳ ῳ ῳρῖς ῳ とだいたい同じ意味になる。

助 ῥῳς /ðet/

助 (aが) いる, ある, 存在する

ῳρῖς は存在より場所がメインになる表現で、

ῳῳρῳρῖς は場所より存在がメインになる表現。言い換えれば、少なくともどこかに存在していることが確定している上で、どこにいるのかを述べるのが ῳρῖς であり、存在しているのか分からない状態で、実際に存在していることを言うのが ῳῳρῳρῖς。普通は継続相で用いるが、開始相から完了相までを使わないことはない。例えば、経過相にして ῳρῖςῳρῖς とすると「行っている」の ῳρῳρῖς と同じ意味になるが、ῳρῖςῳρῖς は場所のみ焦点が置かれる一方で ῳρῳρῖς は移動しているという点にも焦点が置かれるというところが異なる。

助 ῥῳςῳρῖς /ðetan/

助 (aが) 動く || 一部もしくは全部の位置を変える。

助 ῥῳῳῳῳρῖς /ðevem/

形 (ㄱ) 茶色い, 茶色の

名 ῥῳῳῳρῖς /ðevim/

名 茶, 茶色

助 ῥῳρῖς /ðeθ/

形 (ㄱ) 2

助 ῥῳρῖςῳρῖς /ðeθak/

助 (aが e を ca に) 描く, 描画する || 線などの図形を ca の上に記して e を作る。

名 ῥῳρῖς /ðer/

名 あのこと, あれ 遠方の事の代詞。

名 ῥῳρῖςῳρῖς /ðelax/

名 声, 鳴き声 || 人や動物が口から出す音。基本的には人間の声を指すが、人間以外の動物が出す鳴き声も ῳρῖςῳρῖς である。

ῳρῖς ῳρῖςῳρῖς とすると、無言ではなく声に出して何かを行っていることを表す。一方で ῳρῖς ῳρῖςῳρῖς は、文章などではなく喋って何かを伝えることを表す。

ῳρῖς ῳρῖςῳρῖς ▶ 声に出して

ῳρῖς ῳρῖςῳρῖς ▶ 言葉で, 声に出して

助 ῥῳρῖςῳρῖς /ðerit/

助 (aが e を zi から) 聞く, 聴く || zi から発せられる音である e を耳で感じ取る。

「聞く」という動作そのものに注目するのが ῳρῖςῳρῖς で、聞く動作より「情報を仕入れる」ということに注目するのが ῳρῖςῳρῖς。したがって、ῳρῖςῳρῖς は ῳρῖς 句に「音楽」や「声」など音そのものや「話」など音で表されるものが置かれやすく、ῳρῖςῳρῖς は「評判」や「うわさ」などの情報が置かれやすい。日本語の「Sが聞こえる」は、他動詞を用い

て φάρμακ.ζω.ι.ο と表現する。

名 **φάρμακ** /ðenez/

名 (izi の) 南東

動 **φάρμακ** /ðehiz/

動 (a が e を ca に) 重ねる, 積み重ねる || ca にかぶさるように e を層を成すように置く。

動 **φάρμα** /ðes/

動 (a が e を) 起動する, 点ける, オンにする || 道具である e の機能が働く状態にする。

助 **φάρ** /ði/

助動 ~で, ~を使って (接動) ~することで 道具や手段を表す。

動 **φάρμακ** /ðisnek/

動 (a が e を) 織る || 糸である e を縦横に互い違いに組み合わせることで布地を作る。  
ι.ο 句には「糸」などの材料が置かれる。完成品は φ.ι.ο 句で表現する。  
比較的細め糸 (υφάρμακ で表されるもの) を材料として織り機などの機械によって布地を作ることは φάρμακ と言い、毛糸のような太めの糸 (υφάρμακ で現れるもの) やそれ以外の材料を互い違いに組むことで手芸として何かを作ることを υφάρμακ とする。髪を編む場合も υφάρμακ を使う。

名 **φάρμακ** /ðiseθ/

名 (izi の) 人形, ドール, フィギュア, めいぐるみ || 玩具や装飾用として、動物や人間やキャラクターなどである izi の形に作られたもの。  
特に周りが布で作られた柔らかいものは υφάρμακ とする。

名 **φάρμακ.ζω.ι.ο** /ðiseθjekar/

名 雪だるま || 雪を固めて人間や動物などを象ったもの。

名 **φάρμακ.φάρμακ** /ðitarðis/

名 カレンダー || 暦における日を表形式で示して、日付や曜日などを確認できるようにしたもの。

名 **φάρμακ** /ðitek/

名 表, 図表, テーブル || 格子状にデータを配置して分かりやすく示したもの。

動 **φάρμακ** /ðiter/

動 (a が e を ca を) 挙げる, 取り上げる, 例に出す, 例示する, 出す || ca に当たるものの 1 つとして具体的に e を示す。  
φ.ο 句はどんなものを挙げるかを表し、ι.ο 句は挙げられた具体的なものを表す。例えば、「国の名前を挙げる」なら「国の名前」が φ.ο 句になり、「アメリカ」や「日本」などが ι.ο 句になる。  
「例えば」は φάρμακ を用いる。

φ.ο 句に当たるものの例を 1 つ上げることが指すのが φάρμακ。これを繰り返し、相当するものを全部もしくはそれが不可能ならできるだけ多く挙げていくのが φάρμακ。ここで、φάρμακ が φ.ο 句としてとるものを φάρμακ は ι.ο 句にとるので注意。

名 **φάρμακ** /ðitir/

名 例, 例え, 具体例

動 **φάρμακ** /ðidok/

動 (a が e を) 直す, 修理する, 修復する || 正常に機能しなかった e を機能するようにする。

動 **φάρμα** /ðik/

動 (a が e を zi から) 作る, 造る, 生む, 作成する, 制作する (φ.ι.ο (φ.izi から) 作られた, 造られた, 生まれた, 製の || 何らかの作業を zi に対して行い、それまでなかった e を生み出す。  
φάρμακ は「作る」の最も一般的な単語。φάρμακ は複数の部品を合わせることで 1 つの全体物を作り上げることを表す。コンピューターなどの機械類の製造はこの典型例である。一方で、ωφάρμακ は何もないところから生み出すイメージをもつ。アイデアや芸術作品などはこれに当たる。υφάρμακ はたたくさんの労力を費やしてようやく完成するというニュアンスをもつ。  
υφ 句には材料が置かれる。一方、φάρ 句は道具を表す。例えば、リンゴジュースを作るなら、υφ 句には「リンゴ」が置かれ、φάρ 句には「ミキサー」などが置かれる。

動 **φάρμακ+** /ðik/

動 ~するための機械, ~する機械

名 **φάρμακ** /ðiket/

名 カメラ, ビデオカメラ, 写真機 || 写真や映像を撮るために用いられるもの。  
写真しか撮れないものも動画を撮れるものも区別せず φάρμακ とする。

名 **φάρμακ.φάρμακ** /ðikðiler/

名 電卓, 計算機 || 専ら計算をするために用いられるもの。  
基本的に計算のみをするための電子機械やそれに相当するアプリケーションを指す。したがって、関数電卓は普通 φάρμακ.φάρμακ だが、プログラミング機能つきのものはどちらからという φάρμακ。

名 **φάρμακ** /ðikar/

名 機械, 機器, 器具, 装置, マシン || 定められた目的を果たすために、動力によって定められた動きを行うもの。

動 **φάρμακ** /ðiket/

動 (a が) 働く, 仕事する, 労働する, 勤労する || お金を稼ぐために与えられた仕事を行う。お金を得ることができるものを指すので、

基本的にボランティアは含まれない。  
何らかの職に就くことではなく、与えられた仕事を行うこと 1 回分を表す。

**名** φικδρσζ /ðikit/

**名** 仕事, 職務 || 働くことの内容。

**動** φικρσ /ðif/

**動** (a'n が e'n を) 可能にする, できるようにする || e が実現するような状態にする。そのときの状況などによって可能であったことを表すのが φικρσ で, もともと能力などがあることがあって可能であることを表すのが δρσρ。英語で例えるなら, φικρσ は can に近く, δρσρ が be able to に近い。

**助特** φικρσδ /ðife/

**助名** ~のような, ~といった **接形** ~のように例示を表す。例を挙げるだけなので, φικρσδ が修飾している語句の意味を制限しない。名詞を修飾するか, もしくは動詞を修飾している σννσρ を修飾する。

ρικσννσρσ σ ιρσν σνννσ δ'ν υσρσρσ δ σδδννσν σ δρσν νδθρδρσρ σννδδ σ ρνρ σνννρ ρφικρσδ ρσρσ.. ▶ あなたがそうやっていつも笑っているのを, みんなは当たり前だと思っている。

**副** φικρσνρσ /ðifer/

**副特** 例えば

**動** φικρσνσρσ /ðivlat/

**動** (a が e を) 操作する, 操縦する, 運転する, 操縦する || 機械などである e の機能を使うために e を動かす。

**名** φικρρ /ðiθ/

**名** 2

**動** φικρρνσρσ /ðiθhat/

**動** (a が e を) ? || 自分が作った e を眺めて満足感と達成感に浸る。

**名** φικρρν /ðið/

**名** 道具, 用具, 器具, ツール || 何かを行うために作られたもので, 動かせて手に持てる大きさのもの。

鉛筆やドライバーやコップなど, 手に持てるサイズ感のもの。ただし, 手で持って使うものである必要はない。自動車などの比較的大きいものや, エアコンなどのどこかに設置して使うものは指さない。

**名** φικρρσνσν /ðiðtən/

**名** 食器 || 食事のときに使用する道具。箸やフォークなどの食べることそのものに使う道具と, 茶碗や皿やコップなどの食べ物や飲み物を載せたり入れたりするために使う道具を, どちらもまとめて指す。

**副** +φικρσ /ðif/

**副** 電子~, コンピュータ関連の~

もともとコンピュータを用いていなかったものを表す単語に接尾され, コンピュータを用いて管理や処理をするようになったものを指す。

**名** φικρσνσν /ðifσv/

**名** コンピュータ, パソコン, 計算機, 電算機 記憶装置と演算装置と制御装置の集合ではなく, モニターやマウスやキーボードなどの周辺機器を合わせたもの全体を指す。個人用のものであってもそうでなくても φικρσνσν とする。個人用のものを指すための「パーソナルコンピュータ」に対応する単語はない。

δσ υπνννσρσ δ ρικρσνσν σφικρδ! τρρρσρ δρσνν σ ρσννρφικ ρρρσ υδ σδρδσ... ▶ あのパソコン壊れてるの? ずっと画面が青く光ってるけど...

**副** φικρσρ+ /ðir/

**副** ~語, ~の言語

個別の言語名を作るときに使われる。言語の種類などを作るときは φικρρσνσν との合成にする。

**名** φικρρσδδρδρδσνσνσν /ðirtokiponas/

**名** トキボナ

**名** φικρρδννρρρρσν /ðirge.ris/

**名** ギリシヤ語

**名** φικρρσννρρδδνσνσν /ðirfe.ranes/

**名** フランス語

**名** φικρρσσννρρδν /ðirfale/

**名** シャレリア語

**名** φικρρσννσννδδσν /ðirzapan/

**名** 日本語

**名** φικρρσνννσννσνσνρρσν /ðirzemanis/

**名** ドイツ語

**名** φικρρσννρρδδσν /ðilarkas/

**名** アルカ

**名** φικρρσνσνννρρδνρσν /ðilanger/

**名** 英語

**名** φικρρσννσννδδνσννσννσνσνσν /ðilesperantσs/

**名** エスペラント

**動** φικρρννρσν /ðiler/

**動** (a が e を) 計算する, 算出する, 勘定する

**名** φικρρρσνν /ðiliv/

**名** テレビ, TV

**名** φικρρρσνννρρρσνν /ðilivtiı/

**名** ラジオ

電場を受信して放送内容を出力する機械そのものを指し, ラジオ番組を指すことはない。

名 αἰσῶμα /ðilɔf/

名 言語, 言葉

名 αἰσῶμα ποδόςq /ðilɔfakɔθ/

名 人工言語 || 個人や団体によって人為的に作られた言語。プログラミング言語や数学で用いる形式言語は含めない。

動 αἰσῶμας /ðilɔt/

形 (†n) 不自然な, 変な, 奇妙な || そうあるはずだとは考えられないような様子の。

名 αἰσῶμας /ðinðet/

名 アニメーション, アニメ, 動画 || 絵を動かして動画にしたもの。

名 αἰσῶμας /ðinat/

名 絵, 絵画, イラスト || 物や風景の姿やイメージを、点や線などを用いて平面上に表現したもの。写真は含まない。

動 αἰσῶμας /ðinit/

動 (aがeをcaに) 描く || 物や風景であるeの姿やイメージを、点や線などを用いてcaの上に表現する。

動 αἰσῶμας /ðinir/

動 (aがeをziからcaへ) 運ぶ, 持ち運ぶ, 運搬する, 持って行く

名 αἰσῶμας /ðik/

名 (icaの) 方法, 手段, 仕方, やり方

動 αἰσῶμας /ðir/

動 (aがeを) 使う, 用いる, 使用する, 利用する || あることを行うために、eの機能を役立てる。

αἰσῶμα は「使う」の意味の最も一般的な単語である。ροδόςq は目的語に設備や施設などが置かれ、そのサービスを受けることを特に表す。

動 αἰσῶμας /ðidit/

動 (aがeを) 噛む, 咬む, 噛みつく || 上下の歯でeを強く挟む。歯でものが挟まれている状態が継続相。

動 αἰσῶμας /ðitas/

動 (aがeをcaに) 預ける || 自分のものであるeを一時的にcaにもとに渡して管理してもらう。

名 αἰσῶμας /ðiv/

名 アプリ, アプリケーション, ソフト, ソフトウェア || OSなどの基盤となるものを除く、特定の処理を行うためのコンピュータ上のプログラム。

名 αἰσῶμας /ðɔs/

名 あの人の人

遠方の人の代詞。

名 αἰσῶμας /ðɔtar/

名 遅く, 遅い時刻, 遅い時間, 後 || 比較的後の時刻。

動 αἰσῶμας /ðɔtir/

形 (†) 遅い, 後の || 時刻の点で比較的後の。

動 αἰσῶμας /ðɔdfɔr/

形 (†n) いつもとは違う, 普段とは違う, 非日常の

動 αἰσῶμας /ðɔder/

形 (†, icanに) 無駄な, 役に立たない || icaをするのが楽になるような効果がない。

動 αἰσῶμας /ðɔkuz/

動 (aがeをziから) 隠す || eをziが知ることのないように意図的に言わないしておく。

動 αἰσῶμας /ðɔkum/

形 (†) 人見知りな, 引っ込み事案な, 内気な || あまり親しくない人と会話するのが苦手で避けがちな。

名 αἰσῶμας /ðɔfɔs/

名 (iziの) 向こう, 向こう側, あちら, あちら側, 奥 || iziを境界に分けられた部分のうち遠い方。

動 αἰσῶμας /ðɔfɔt/

動 (aがziと) 別れる || もともと一緒に行動していたziとは別の場所に行く。「恋人との関係を断ち切る」の意味ではαἰσῶμαςを用いる。

名 αἰσῶμας /ðɔvsiθ/

名 (iziの) 偽物, 偽作, 偽造品, 捏造品 || iziに似せてiziそのものに見えるように作られた。

動 αἰσῶμας /ðɔvgɔt/

動 (aがeを) 嫌悪する, 嫌忌する || 二度と触れたり関わりたいくないと思うほどにeを嫌う。

動 αἰσῶμας /ðɔpat/

動 (aがeをcaに) 隠す || eが見つかることのないように、分かりにくい場所であるcaに置く。「隠れる」はαἰσῶμαςαἰσῶμαςとする。

動 αἰσῶμας /ðɔpis/

動 (a'nがeを) 怯えさせる, 怖気づかせる || 行動を起こす気力をなくすほどにeを怖がらせる。

動主薬 αἰσῶμας /ðɔbek/

動 (aがziと) 仲悪くなる, 仲違いする, 不仲になる, 不和になる 形 (†, iziと) 仲の悪い, 不仲な, 不和な 副動 (iziと) 仲悪く, 仲悪そうに 「疎遠になる」というよりは「互いに嫌いな」というニュアンスがある。

副詞として使う場合に *ταυς* 句をとることは稀である。詳細は *αυταυς* の項を参照。

**動 φάρδις** /ðəbit/

**形** (†) 愛想の悪い || 人と接すると、相手にあまり接したくないと思わせてしまうような。

**名 φάρδιξ** /ðəbur/

**名** 罪, 犯罪, 悪, 罪悪, 悪事 || 規則で罰されると定められている行為。

語義の「規則」というのは、一般には法律のことを指すが、例えば学校内での話であれば、学校の校則などを指すこともある。罪を犯したことで科される罰のことは指さない。あくまで規則に背く行為のみを指す。

**動 φάρδος** /ðəθaf/

**動** (aが eを) 押す || 手前とは反対側に向かって e に力をかけて動かそうとする。

**動 φάρξις** /ðəθik/

**動** (aが eを ziと) 区別する, 弁別する, 識別する || e と zi が異なる種類のものであると判断する。

**動 φάρξις** /ðəθir/

**動** (aが eを ziから) 離す, 切り離す, 切る, 断つ || 合わさっていた e の端を zi の端を離すことで、一続きでない状態にする。

**名 φάρξ** /ðəx/

**名** 同 φ

**動 φάρξια** /ðəxdek/

**動** (aが ziから) 脱退する || 組織やグループである zi の一員であった状態からそれをやめる。

**動 φάρξια** /ðəxkev/

**動** (aが eを) 売る, 販売する || 客を迎えて e を売るための準備をする。

店頭で並べるなどの作業が終わった瞬間が完了相。したがって、日本語の「売られている」は基本的に継続相で表現することになる。

αὐτὸ φάρξιαστικὸν οὐρεθρὸν. φάρξιαστικὸν ἵ οὐρεθρὸν οὐρεθρὸν. ▶ この港では、100種類以上の魚が売られています。

**動 φάρξιαστικὸν** /ðəxvab/

**動** (aが eを ziから) 持ち去る, 持ち出す, 持って行く

**動 φάρξιαστικὸν** /ðəxlam/

**形** (†, icaと) 異なる, 違う, 相違する || ある基準において ica と別の性質をもつ。

φάρξιαστικὸν はある見方から見て性質が異なっていることを表すが、φάρξιαστικὸν は物として別のものであることを表す。英語では、前者は different などに対応し、後者は other に対応

する。

**動 φάρξιαστικὸν** /ðəlet/

**動** (aが eを caへ) 売る, 売却する, 販売する || 所有している e をお金と交換して、ca からお金を手に入れる。

実際にものを売却することのみを表す。店などで商品を並べて来る客が買うのを待っていることは φάρξιαστικὸν で表す。

サービス業などではサービスという行為を客に売っているが、それは φάρξιαστικὸν では指さない。φάρξιαστικὸν の 3 句にはモノしか置けない。

**名 φάρξιαστικὸν** /ðəlem/

**名** (ica との) 相違点, 違い, 差異, 差 || それがつ ica とは別の性質。

**動 φάρξιαστικὸν** /ðəliz/

**動** (aが e'nを) 疑う, 怪しむ || e が正しくないのではないかと思う。

一度 3 句の内容が正しくないのではと思った瞬間が完了相。疑いが晴れた瞬間が終了相。

**動 φάρξιαστικὸν** /ðəlog/

**動** (aが e'nを) 我慢する || 行いたいことである e をしないようにする。

**動 φάρξιαστικὸν** /ðəlas/

**動** (aが caへ) 旅行する, 旅する || いつもいる場所から離れた ca へ娯楽として行く。

娯楽目的なのが φάρξιαστικὸν、そうでないのが φάρξιαστικὸν。特に φάρξιαστικὸν は明確な行き先がないことが多く、「旅に出る」などと言ったときの「旅」に似ている。

**動詞 φάρξιαστικὸν** /ðəlas/

**動** (a'nが eを) おかしくさせる, 変にさせる **形** (†) おかしい, 変な || e がいつもの様子とは違う状態にさせる。

明らかにいつもの雰囲気とは違うが、「狂っている」とまではいかず「様子がおかしい」程度の状態であることを表す。

人についても物についても言うことができる。人について言うときは、人は様子がおかしいときとそうでないときがあるので、動詞として用いるのが普通である。

ὁ φάρξιαστικὸν οὐρεθρὸν ἵ οὐρεθρὸν. ▶ 待つて。何かがおかしい。

**動主 φάρξιαστικὸν** /ðəlam/

**動** (aが ziから) 遠ざかる, 離れる **形** (†, iziから) 遠い, 離れた || zi との距離が長くなる。

形容詞は場所に対してでも使える。最初の段階で接触している場合は φάρξιαστικὸν とも言える。

**動 φάρξιαστικὸν** /ðənef/

**形** (†) つまらない, おもしろくない || 興味があまりもてないような。





οο

**名 αοοιζ** /fastir/

**名固** シヤスティル

**動 αοοιζ** /faslef/

**形** (η) 素晴らしい, すごい, とても良い || 他のものと比べて質が非常に高い。

**動 αοοιζ** /fasli/

**動** (αが) 大成功する, 躍進する

**動 αοοοδ** /fasak/

**動** (αが e'n) 成功する, 成し遂げる, 達成する, うまくやる

αοοοδは何らかの成果をしっかりとあげたことを意味するが, αοοιζはそこまで意味が強くなく, 失敗はしなかった程度の意味になる。

もともとは脚光を浴びるような境遇ではなかった人が, 努力や機会によって成功して脚光を浴びるようになったという場合, 特に αοοιζ という。

**名 αοοζ** /fasor/

**名** 魂, 靈魂

生物の肉体と対をなすものとしての「魂」を指す。霊や幽霊などではない。

**動 αοο** /fat/

**形** (η) 明るい || 光が十分にある。

明るさや光っているかどうかを表す単語は、まず 2 つのグループに分けられる。一方のグループは、単純に明るさを表し、それ自身が光を放ったり反射したりしているかには言及しないものから成る。このグループには、αοο や αοοιου が属する。αοοはこのグループの最も基本的な単語である。αοοιου はさらにその光が美しいことを表す。もう 1 つのグループは、それ自身が光を放つか反射するかして光っていることを表し単語から成る。このグループの詳細は αιζ の語法欄を参照。

**動 αοοο** /fakar/

**動** 晴れる, 天気になる

助詞句を伴わず、単独で用いられる。

**動 αοοζ** /fakoθ/

**動** (αが e を) 創る, 創造する, 創作する || それまでなかった新しい e が存在するようにする。

**動 αοο** /faf/

**形** (η) 5

**名 αοοιζ** /fafit/

**名** 雪 || 空から降ってくる粒になっていない氷の結晶の 1 つ。

**動 αοοζ** /fafev/

**形** (η) 頭の良い, 賢い, 利口な || 他の人があまりできないような難しい問題を解決できる。語義の「問題」というのは試験問題などの学問や教育の範囲である必要はない。

**名 αοο** /fav/

**名** 昼, 昼間, 日中, 午後 || およそ正午から日が沈み始めるまでの時間。

**名 αοοιζ** /favgud/

**名** 真昼 || 昼の時間帯のうち中央付近の時間。正午というよりは αοοι で表される時間帯の中央付近を指すので, だいたい 14 時頃。

**動 αοο** /faθ/

**形** (η) 白い

**名 αοο** /far/

**名固** α

**名 αοοιζ** /farzi/

**名** 超能力者, 魔法使い, 超人 || 通常では考えられないような特殊な能力をもった人。

**動 αοοιζ** /farket/

**形** (η) カッコいい, スタイリッシュな, シヤレた

いわゆる「キマってる」という感じ。

洋服などにも使う。

**名 αοοιζ** /farnif/

**名** 早朝, 朝, 夜明け, 明け方 || 日の出から起床までの時間。

**動 αοοιου** /farhas/

**形** (η) 明るい, 輝いた, 輝かしい || 光であふれていて明るく美しい。

単に明るさを強調するために用いられるだけでなく、比喩的に用いられることも多い。

**動 αοοζ** /falei/

**動** (αが e を)?

自分もしくは他人の絶望感に共感し、そのときの感情の共有によって自分の心も傷ついていくのを客観的に認識して、どこことなく満足感を得ている状態を表す。基本は絶望という負の感情だが、正の感情も入り混じっている。単なる絶望である οιζιζ や οιζιζαとは異なる。

**動 αοοιζ** /falik/

**形** (η) 頭の良い, 賢い, 聡明な || ものを考えたり理解したりする能力が高い。

**名 αοοιζ** /falix/

**名?**



どなく穏やかな。

**名** **անձնօր** /ʃegɑr/

**名** (ieへの) 愛

տըսնընս նընտն օ անըր շ զնս զօ անձնօր. ▶ 彼の愛情は徐々に歪んでいった。

**動** **անձնըր** /ʃegir/

**動** (aがeを) 愛する

相手のことが好きすぎるあまり歪んでしまった愛情を表す。օօրի と同じく、恋愛以外でも良い。

**名** **անձ** /ʃef/

**名** 5

**名** **անձը** /ʃeθ/

**名** 白, 白色

**動** **անըտնոյ** /ʃerne/

**動** (aがeに) 魔法をかける

**名** **անըտըրոյ** /ʃerni/

**名** 魔法

誰かにかけられた具体的な魔法のそれぞれを指す。魔法の体系としての「魔術」は յնձանըտըրոյ。

「Sに魔法をかける」は անըտնոյնս յ Ս կա տօճընս սըր անըտըրոյ յ Ս で表現する。

**名** **անըր** /ʃer/

**名** (ieへの) 愛 || ieの全てを受け入れ、ieを幸せにしずっと大切にしようとする思い。実際に相手が幸せになっているかどうかは問わない。

զնծն անըր. ցոնծն օ անըր յ'տ ցոնծն ցոնծն օ'ց յանըր անըր ընըր. ճօ անըր օ'ց ցոնծն ճըր անըր յ'տ յանըր ճօնընծն օ'ց! ▶ あれだけ理解していると思っていた愛を、今は思い出すことしかできないのはどうしてだろう?

**名** **անըրօ** /ʃerɑt/

**名** 音, 音調

**名** **անտնոյ** /ʃenɔ/

**名** シェノ, シェノア || シャレイア語の発展に大きく貢献した人。

**名** **անըն** /ʃej/

**名** 幸せ, 幸福, 幸福感

**名** **անըր** /ʃer/

**名** 神, 神様, 仏, 仏様 || 信仰の対象になったりする人間を超えた能力をもった存在。

**名** **անըր** /ʃif/

**名** 星

**名** **անըրզնոյ** /ʃiflɔhis/

**名** 流れ星, 流星

**動** **անըր** /ʃir/

**動** (aが) 光る || 光を放つか反射するかして、

周りから明るく見えるようになる。

անըր は、それ自身が光を放つか反射するかして光っていることを表す最も基本的な単語。このような単語は、անըրの他に զնծնանըր, անըրզն, անըրզնոյ がある。անըր はこのグループを総括する単語である。զնծնանըր は光が強かったり色が変わるなどして美しいことを表す。日本語の擬態語である「キラキラ」をイメージすると分かりやすく、英語では brilliant が近い。անըրզն 是光が明滅していることを表す。日本語の「ピカピカ」といった感じで、英語では twinkle などが対応する。անըրզն ほうっすらとした優しい光を表す。暗い部屋でキャンドルに火を灯した場面を想像すると良い。なお、単に明るさを表す単語群について、անըր 的語法欄も参照のこと。

**動** **անըրն** /ʃirɛn/

**動** (aが) 赤面する, 顔を赤らめる, 頬を染める, 紅潮させる || 恥ずかしさから顔を赤くする。

**動** **անըրնոյ** /ʃirɛnɔ/

**形** (ʃ) 博識な, 博学な, 頭の良い || 知識を十分にもっている。

**名** **անըր** /ʃɑd/

**名** 世界

**動** **անըրզոս** /ʃɑdɔs/

**形** (ʃ) 上品な, 気品のある

**動** **անըրնըր** /ʃɑdɛr/

**形** (ʃ) 高い, 高価な, 高額な || 価格が比較的高い。

**名** **անըն** /ʃɑk/

**名** 命, 生命 || 生物が生きていくために必要だと考えられるもの。

**動** **անըրզըր** /ʃɑklit/

**形** (ʃ) 整った, きちんとした, 綺麗な, 端正な 視覚的な形状が整っている場合だけでなく、「整った詩」のように形式が整っている場合にも使える。

անըրզըր と比べて անըրզըր 是、形式や形状が整っていることだけに焦点を当て、そこから感じられる雰囲気や好感などには触れない。

英語の well-formed に近い。

**動** **անըրնոս** /ʃɑkɑs/

**動** (aがeに) 興味をもつ, 興味がわく, 関心をもつ || eのことをより深く知りたいと思う。

**名** **անըրնոյ** /ʃɑkɛnɔ/

**名** (ieへの) 興味, 関心 || ieのことをより深く知りたいと思う気持ち。

**動** **անըրնոյ** /ʃɑv/

**動** ~の宗教, ~教

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔvkeɾaset/

名 キリスト教

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔvbudas/

名 仏教

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔvas/

名 宗教

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔð/

名 本, 書籍, 書物, 図書, 冊子 || 文章や絵や写真などを紙に印刷して綴じてまとめたものや電子的にまとめたもののうち、一般向けのもの。

αὐτοὶ は、小説やエッセイや漫画などの一般向けの本を指す。一方 αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν は、辞書や専門書や教科書のような専門的な内容を扱う本を指す。αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν は、様々な記事を集める一般向けの定期刊行物を指す。『Newton』のような専門的な内容を扱っていても一般向けに書かれていれば αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν とと言える。ここまでの3単語は、基本的に出版社から出されるものを指す。αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν は、そのようなものではなく個人やグループが趣味などで作るものを指す。これらの単語はどれかがどれかの下位語というわけではなく、それぞれ完全な別概念として認識される。規模は問わない。紙をホッチキスで留めただけのものなど、簡易的なものは特に αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν と言う。電子書籍も含める。

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔðtur/

名 小冊子, 冊子, パンフレット, リーフレット || 簡易的に作られた本。小冊子の定義として「48 ページ以下の不定期刊行物」というものがあるが、シャレイプ語の αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν はこれとは別物である。48 ページ以下であっても表紙があって各ページがしっかりと綴じられているものは αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν ではないし、49 枚以上の紙をホッチキスなどで単に留めただけのものは αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν になる。なお、施設の案内リーフレットのような1枚の紙を折っただけのものも αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν で表せる。

動当 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔrsaθ/

形 (7n) 礼儀正しい, 行儀良い, 丁寧な || 礼儀正しく, 行儀良く, 丁寧に  
形容詞としての被修飾語はコト名詞である。

動 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔrθas/

動 (aがeをcaに) あげる, 託す, 捧げる || 非常に大切なものである e を ca に与える。

動 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔlaθ/

動 (aが) 生活する, 暮らす, 過ごす || 食事したり仕事をしたり睡眠をとったりなどの人間の営みを行う。

αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν ο ρυθμὸν τῆς αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν. ▶ 彼は今アメリカで暮らしている。

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔlar/

名 芸術, アート

「芸術」という概念を表すのみで、芸術作品を指すことはない。その意味では αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν を使う。絵画や彫刻などの美術に関わるものだけでなく、楽曲や小説や建築や演劇なども含める。

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔlɔs/

名 円, 丸, 円形

動 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔlus/

形 (7) 丸い, 円形の || 円の形をしている。

動 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔlik/

動 (aがeを) 並べる, 整列する, 配置する || 複数の e を特定の場所に整えて位置させる。何らかの決められた配置に沿っていけば良いので、1列である必要はなく、2列以上でも格子状でも円状でも良い。

動対 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔj/

動 (aがeを) 整理する, 整頓する, 片付ける, 整える, 揃える || (7) 綺麗な, 整理された || 乱れていて秩序のない状態の e を乱れていない状態にする。J句は「部屋」などが入る。「本」などのような片付けるものは入らない。

名 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔt/

名 球, 球体, 球形, ボール

球の形を αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν と言う。球技で用いるボールのような特定の用途があるようなものは αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν と言う。

動 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fɔθ/

形 (7) 賢い, 機転の効く, 頭の良い || 状況に応じてより良い選択ができる。

動 **αὐτοὶ ἀποφασίζουσιν** /fut/

形 (7) 丸い, 球状の, 球形の || 球の形をしている。

თ

名 **თაბობა** /zapan/

名固 日本, 日本国

動 **თაბ** /zes/

形 (†) 5/10

動当 **თაბაბა** /zled/

形 (†n) 失礼な, 無礼な, 非礼な, 失敬な 副動 失礼にも, 無礼にも, 非礼にも, 失敬にも

名 **თაბათობა** /zemanis/

名固 ドイツ

名 **თაბ** /zis/

名 5/10

名 **თაბათობა** /zozvan/

名 洞窟, 洞穴, 窟 地中に自然にできた人が入ることができる程度の空間。人工的に掘られたトンネルなどは指さない。

動 **თაბაბა** /zotav/

動 (aがeを) 潰す, 押し潰す, 壊す Ⅱ eに力を加えてももとの形を崩す。

名 **თაბაბე** /zodet/

名 影 Ⅱ 光が当たらないことによって周り比べて暗くなっている部分。

名 **თაბარი** /zodag/

名 闇, 暗闇 Ⅱ 光を消し周辺を暗くするもの。辺りを明るくする光と対照的に、辺りを暗くするものがთაბარი。実際は光をない状態を「暗い」と言うのだから、თაბარიが実在しているわけではない。

名 **თაბარითაბა** /zodagfav/

名 極夜 Ⅱ 1日を通して太陽がずっと沈んでおり空が十分明るくならない現象。

名 **თაბარა** /zodam/

名 深夜, 夜中, 真夜中, 夜 Ⅱ 多くの人が眠りにについているだろう期間から日の出までの時間。

名 **თაბარათაბე** /zodamkud/

名 真夜中 Ⅱ 深夜の時間帯のうち中央付近の時間。正子 というよりはთაბარათაბეで表される時間帯の中央付近を指すので、だいたい2時頃。

名 **თაბ** /zot/

名固 თ

動 **თაბარაბა** /zorzed/

動 (aがeを) 恨む, 怨む, 憎む, 鬱鬱する Ⅱ 自分に害を与えるような行為をしたeを憎く思う。

「恨んでいる」は継続相。

動 **თაბარა** /zomeð/

形 (†) 薄暗い, 小暗い, 仄暗い Ⅱ 光がそれほどない。

名 **თაბარა** /zomið/

名 (†) 薄暗がり Ⅱ 薄暗い場所。

動 **თაბა** /zom/

形 (†) 黒い

動対 **თაბარა** /zusit/

動 (aがeを) 汚す 形 (†) 汚い, 汚れた  
თაბარაは埃やゴミがついているなど簡単に汚れのもとを除去可能な状態を表し,თაბარაは泥汚れのような洗ったりしないと綺麗にはならない状態を表す。例えば、机に埃が積もってあればそれはთაბარაだが、木でできた机にインクをこぼしてインクが染み込んでしまっている場合はთაბარაである。「汚れた水」はთაბარაになる。これら2つとは違い,თაბარაは実際に汚れがあるかないかに関わらず、気分的に汚いと感じさせるようなものを表す。例えば、一度尿を入れたコップを綺麗に洗浄して菌などを完全に排除したとしても、何となくそのコップを使いたくないと感じられるが、これがთაბარაである。თაბარაბაはそれを使ったりその場にいたりすると健康を害してしまいそうだというニュアンスが強くなる。

動 **თაბარა** /zudem/

形 (†) 古い, 古めかしい Ⅱ 見た目や雰囲気がある昔のものようである。

動 **თაბე** /zut/

形 (†) 暗い Ⅱ 光が十分でない。

動対 **თაბარა** /zudor/

動 (aがeを) 汚す 形 (†) 汚い, 汚れた

名 **თაბა** /zum/

名 黒, 黒色

動 **თაბარი** /zutag/

形 (†) 汚い, 穢れた, 不浄な Ⅱ 何となく汚れている気持ちかして触れたくないと思わせる。

## 9

助 9 /ɛ/

助 する

同じ動詞の重複を避けるため、前に出てきた動詞の代わりに用いる。動詞とそれを修飾するいくつかの助詞句全体の代わりにもなる。前の動詞と時制や相が一致している必要はない。注意すべきなのは、前の動詞と内容まで一致するわけではないということである。言い方を変えれば、代詞の ρϛ ではなく υηϛ に対応する。

9 に係る基本助詞句の種類は、9 が代わりをしている動詞に依存する。そのため、語義欄の格組は空欄とした。

受ける動詞句が否定文の場合、9 の肯定形(否定接頭辞がつかない形)の意味は否定文になる。一方、9 を否定形で使うと、前の否定文の否定を意味するので肯定の意味になる。以下の例文を参照。

この単語の語幹にはアクセントをもつための母音がなく、規則上アクセントは活用接尾辞には来ないので、結果的にこの単語の活用形は全てアクセントをもたない。

αϕδουοιοσ ο εδ9 η ριουηδαι. αιθ αιςρροσ ο ρδου. ▶ 私には弟がいらないが、彼にはいる。

縮 '9 /ɛ/

縮 εδ9

助 90 /la/

助助 ~で

個数や数量や順番などを表す。

助活 ρουδδου /laskez/

副 大人ぶって 動 (a が e'n) 大人ぶってやる || 実際の内面はまだ子供なのに、言動や容姿だけ大人っぽく見せようとして。ネガティブなイメージがある。

名 ρουουα /lasav/

名 アニメ

助 ρουηε /laset/

形 (η) 薄橙色の, 肌色の

助特 ρουε /lasi/

助名 ~における, ~の点での  
英語の「with respect to」に似ている。

名 ρουηε /lasit/

名 薄橙色, 肌色

助 ρουαα /lasɔf/

助 (a が) 振る舞う, 行動する

単独で用いられることはほぼなく、ααηδ9 ϛαηδ9 ϛ などの副詞句を伴う。

名 ρουεα /lasuf/

名 振る舞い, 立ち振る舞い, 佇まい, 行動

名 ρουεεε /laztad/

名 スポーツ

運動するものに限り、チェスやクイズなどは含めない。

名 ρεε /lat/

名単 1 単位

ϛ9η 句において、単位がこれといって存在しないときに単位の代わりに置く単語。

飾 ρεε+ /lat/

飾 ~の単位

単位名詞以外の名詞に接頭され、単位名詞を作る。

名 ρεεεεε /latað/

名単 1 日

名 ρεεαηδ9 /latvað/

名単 1 年, 1 年間

名 ρεεαηδ9 /latben/

名単 1 ヶ月, 1 ヶ月間

名 ρεεεεεεε /latθiðid/

名単 1 週, 1 週間

助 ρεεεε /latik/

助 (a が e を ca に) 分類する, 類別する || ある基準に従って、e はいくつかある種類のうち ca であると決める。

助 ρεεεηδ9 /ladez/

助 (a が e を ca に) 任せる, 委ねる, 委任する, 託す || e を ca の好きなように行ってほしいと ca に伝える。

ρεεαηδ9 に「90 句の人が好きなように行って良い」というニュアンスを加えたもの。

助 ρεε /lak/

助 (a が ca と) 話す, 語らう, 会話する, 対話する || 言葉を用いてある話題についての情報や意見のやりとりを ca とする。コミュニケーションのうち、些細なことを気楽に語り合うことは特に ρεεεεηδ9 を用いる。言語を扱えるかどうかに言及する「S を話せる」は δεεεε ρεεαηδ9 ϛεε η とする。

名 ρεεαηδ9εεε /lakfeiat/

名 音符 || 音楽において、音の有無や高低や長さなどを表すために用いられる記号。音部記号(ト音記号など)、調号、変化記号(シャープなど)、拍子記号、休符なども含む。

名 ρεεεεε /lakad/

名 文字, 字 || 言語などを記録するための視覚的な記号。

ῥοδοσιは1つの文字を指し、αἰςῥοδοσιはいくつかの同種の文字のまとまりを表す。例えば、ギリシャ文字のアルファやベータなどの個々の文字がῥοδοσιで、ギリシャ文字という文字のまとまりがαἰςῥοδοσιになる。

名 ῥοδοσιουσι /lakadsaj/

名 大文字, 装飾文字

旧シャレイア文字は2種類あり、その一方はベースラインからアセンダーラインまで全体を使う。この文字はロゴや見出しなど特別に装飾や強調をしたいときだけに使われ、通常の文章中では用いられない。そのため、それを表すこの単語は「装飾する」という意味の σουσι との合成語となっている。転じて、ラテン文字やキリル文字の大文字も指す。

名 ῥοδοσιουσιουσι /lakadtanas/

名 漢字, 真名

「中国」との合成語であるが、中国語で使われている漢字のみを指すわけではなく、国や言語によらず漢字全般を指す。

名 ῥοδοσιουσιουσι /lakadkanas/

名 仮名

平仮名と片仮名の総称。万葉仮名は除く。

名 ῥοδοσιουσιουσιουσι /lakadkanaskatas/

名 片仮名

名 ῥοδοσιουσιουσιουσιουσι /lakadkanashilas/

名 平仮名

名 ῥοδοσιουσιου /lakadvar/

名 小文字

名 ῥοδοσιουσιουσιου /lakadfale/

名 シャレイア文字 || シャレイア語の表記に用いる独自の文字体系。25種類のアルファベットに加え、10種類の数字も入れる。

名 ῥοδοσιουσιουσιου /lakadlatin/

名 ラテン文字, ラテン字, ローマ文字, ローマ字

名 ῥοδῆρ /lakuθ/

名 ラベル, レーベル, レッテル, 札 || ものに貼ってそれが何に関係しているものなのかを分かるようにするための紙や板。紙片である必要はなく、例えばホテルなどの部屋番号のプレートなども ῥοδῆρ の一種である。

名 ῥοδῆρ /lafes/

名 兄弟, 姉妹, 兄弟姉妹, 同胞 || 同じ両親から生まれた人。年上なのか年下なのかや男なのか女なのかを区別しない言い方。兄弟姉妹のそれぞれを指すのであって、兄弟姉妹全員を総称するのではない。

るのではない。

名 ῥοδῆρ /lafesθif/

名 従兄弟, 従姉妹, 従兄弟姉妹 || 兄弟姉妹以外の親戚で、自分と年齢が近い人。

動 ῥοδῆρ /lavak/

形 (f) おしゃべりな, 口数の多い || 人と会話するのが好きで、よく人に話しかけたり話題を作ったりする。単に人と話しているのが好きであるということだけを表し、「秘密を守れない」などの意味はない。

動 ῥοδῆρ /lavet/

動 (aがcaと) 合流する, 会う || これから一緒に行動しようとしていたcaと出会う。待ち合わせをしていた相手と出会う感じ。

名 ῥοροσι /laθat/

名 小説, 物語

動 ῥοροσιου /laθfok/

動 (aがeを) 塞ぐ || 窪みや穴であるeの入口の部分の覆うことで、ものがeの中に入ったときeを通過したりするのを防ぐ。単純にουροσιを使った場合は入り口を見えなくするだけだが、ῥοροσιουを使うとそれに加えて、その窪みに何かが入ったりその穴を通して何かが行き来するなどを防ぐという意味合いが強くなる。分かりやすい例としては、落とし穴を作ってその穴の上に何かを載せて隠す場合はουροσιに当たる。これをῥοροσιουにしてしまうと、何か穴に落ちることを防ぐというニュアンスが入ってしまい、落とし穴の目的から外れてしまう。塞ぐのに使うものはουρο 句で表現する。

名 ῥοροσιου /lafar/

名 人, 人間, ヒト

動物的な観点から見た「ヒト」を表す。指示代名詞は基本的にουροで受ける。

動 ῥουσι /lan/

動 (aがziからcaへ) 行く, 来る

物の位置の変化を表す基本的な単語として、ῥουσι, ροδῆρ, սիճօ, սրբրօր, րիսու, յօր 6つがある。これらは、まず距離に重点を置くրիսուとյօր、場所に重点を置くῥουσι, ροδῆρ, սիճօ、そして移動そのものに重点を置くսրբրօրと、3種類に分けられる。

ῥουσιは注目しているものとは別の方向に移動することを表し、ροδῆρは注目しているものの方向へ向かうことを表す。この「注目しているもの」は必ずしも主語であるとは限らないため、日本語の「行く」や「来る」とは綺麗に対応しないことに注意すること。ῥουσιに「移動の最終地点」というニュアンスを含めたのがուիսで、これにさらに「か

ろうじて」のニュアンスを含めたのが  $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$ 。  $\alpha\lambda\delta\acute{\alpha}$  は少し特殊で、移動元に重点を置き、移動先については一切述べない。また、「いなくなってしまった」というニュアンスが含まれる。  $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  は移動そのものを強調する言い方で、どこからどこへ移動したのかということには重点が置かれない。

**名 ρουταῖος** /lanðos/

**名** 老人, 年寄り, 高齢者 || 年老いた人。

**動 ρουταῖζέω** /lanðoθ/

**動** (a が e を ca へ) 迎えに行く, 出迎える

**動 ρουτινέω** /laner/

**形** (†) 黄緑の, 黄緑色の

**名 ρουτις** /lanir/

**名** 黄緑, 黄緑色

**動 ρουσι** /lam/

**形** (†) 6/10

**動 ρῶδῶ** /laf/

**動** (a が zi に) 返事する, 返答する, 応答する || zi という呼びかけに対して、言語によって応答する。  
質問に回答を返す場合は  $\rho\omicron\delta\acute{\alpha}\omicron$ 。

**連 ρῶ** /lar/

**接動** か, または, もしくは  
節を結ぶときのみ使われる。

**名 ρῶρο** /lataθ/

**名** 卵, 玉子

鳥の卵を食用と見なしたものを指す。特に何も言わなければ鶏の卵を指すが、うずらの卵なども指せる。イクラなどの魚の卵は指さない。また、鶏の卵であっても、食用として見なすのではなく、生殖のために産卵されたものだと思わず場合は  $\rho\acute{\alpha}\rho\omicron$  とは言わない。

**名 ρῶδ** /lak/

**名** 時計 || 時刻を示す道具。  
単に  $\rho\acute{\alpha}\delta$  と言うと、壁などに掛けたり机に置いたりする固定式の時計を指す。腕時計などの持ち運び式のもの  $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  という。

**名 ρῶσι** /lav/

**名** 子供, 青年 || 大人としてはまだ十分に成長していない人。  
女性なら  $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  もしくは  $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  に、男性なら  $\rho\acute{\alpha}\delta\acute{\alpha}$  に相当する。

**助特 ρῶ** /le/

**助名** ~の 助形 ~の  
数値を示すことで修飾語の程度を表す。  
数量をとるという点で  $\rho\omicron$  と似ているので、区別に注意。  
 $\rho\acute{\alpha}\delta\acute{\alpha}\omicron$  o  $\alpha\lambda\delta$  ῶ  $\rho\acute{\alpha}\delta$   $\alpha\lambda\delta$   $\rho\acute{\alpha}\delta$   $\rho\omicron\epsilon\epsilon\omicron\rho$   $\omicron\delta\acute{\alpha}$ 。 ▶

3 日前に彼に会った。

$\alpha\sigma\omicron\epsilon\omicron$  o  $\rho\acute{\alpha}\delta$  ῶ  $\rho\acute{\alpha}\delta\acute{\alpha}\omicron$   $\rho\acute{\alpha}\delta$   $\rho\omicron\epsilon\epsilon\omicron\rho$   $\omicron\epsilon\epsilon\omicron\rho\delta\alpha\delta\alpha\delta\omicron$   $\acute{\alpha}\rho\acute{\alpha}\omicron$ 。 ▶ 彼女は永遠の 17 歳だ。

**動 ρῶσι** /les/

**動** (a が e'n を) する

英語の do のように、漠然とした動作を表す。ただし、前に出てきた動詞をもう一度使いたいとき、重複を避ける目的で代わりに用いる動詞は  $\rho$  で、 $\rho\acute{\alpha}\delta$  は使えない。  
ῶ 句に  $\delta\epsilon\tau$  節をとると、 $\delta\epsilon\tau$  節の動詞を強調しているというニュアンスを伝えられる。その場合、ももとの動詞の時制と相が  $\rho\acute{\alpha}\delta$  の時制と相になり、 $\delta\epsilon\tau$  節内に移動したその動詞の相は現在時制無相とする。例えば  $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  の強調は  $\rho\acute{\alpha}\delta\alpha\tau\epsilon\rho$   $\delta\epsilon\tau$   $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho\omicron$  となる。ただし、自他は  $\rho\acute{\alpha}\delta$  に移らないので注意すること。

上で説明した強調の構文において  $\rho\acute{\alpha}\delta$  を否定形にすることで、部分否定の文を作ることができる。この方法で部分否定の文を作るときは、 $\alpha\lambda\delta$  を使うことも多い。

**名 ρῶσι** /les/

**名** 固 ρ

**動 ρῶσιαῖδῶ** /lesvɔp/

**動** (a が e'n を) やり直す || 一度行った e をもう一度行う。  
助動詞的に用いることができるが、そうする場合もそうしない場合もどちらも多い。  
 $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$   $\rho\acute{\alpha}\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  o  $\alpha\lambda\delta$  ῶ  $\alpha\delta\theta\tau$   $\rho\omicron$   $\epsilon\omicron\rho$   $\omicron\epsilon\epsilon\omicron\rho$   $\acute{\alpha}\alpha\tau\epsilon\rho$ 。 ▶ 人生は一度でさえもやり直すことはできない。

**動 ρῶσιρῶρ** /lesθar/

**副動** 次に, 続いて || 2 番目に行くこととして。  
 $\alpha\lambda\delta$  に呼応する。

**名 ρῶσις** /lesit/

**名** ミカン, オレンジ

**名 ρῶσινησι** /letjem/

**名** チョコレート, チョコ, ショコラ

**名 ρῶσις** /letad/

**名** 階, 階層, フロア || 層の構造をもつ建物のうちの 1 つの層。  
階数の数え方は日本の方法に準ずる。すなわち、地上と繋がっている階が  $\rho\acute{\alpha}\delta\alpha\tau\epsilon\rho$   $\omicron\rho'$  e で、その上の階が  $\rho\acute{\alpha}\delta\alpha\tau\epsilon\rho$   $\omicron\rho'$  u。  
何も言わずに何番目の階と言った場合、普通は地上の階を表す。「地下 S 階」は  $\rho\acute{\alpha}\delta\alpha\tau\epsilon\rho$   $\omicron\rho'$  u  $\epsilon$   $\alpha\lambda\delta\alpha\tau\epsilon\rho$  とする。  
「S 階建て」は「S 個の階層をもっている」と考えて、 $\delta\omicron\alpha\tau\epsilon\rho$  ῶ  $\rho\acute{\alpha}\delta\alpha\tau\epsilon\rho$   $\omicron\rho'$  u と表現する。

**名 ρῶσις** /letar/

**名** III, お皿, プレート || 食べ物の上に載せるための浅く平たい容器。



日本語では、「受け皿」のように、何かを入れるための容器というより何かを支えるための道具に対しても「皿」という単語を使うことがあるが、シャレイア語ではこのような「皿」は δαύσι と言う。

**名 9330φ** /letəð/

**名** 脚, 肢, 足  
足首より先も含める。

**助特 9330ς** /letu/

**助名** ~未満の **助形** ~未満で

**名 9330σιος** /ledzaf/

**名** ニンジン

**助特 9330ν** /lede/

**助名** ~以下の **助形** ~以下で

**名 9330νς** /ledet/

**名** 大根, スズシロ

**名 9330νς** /ledis/

**名** ズボン, パンツ  
丈の長さによる分類では、短い方から順に 9330νσιοςοςς, 9330νςουα, 9330νςουοοος, 9330νςουοςς。男性用もしくは女性用であるかによる区別はない。

**名 9330νςουοοοςς** /ledistadis/

**名** ハーフパンツ, 半ズボン || 裾が膝付近になるような丈の長さのズボン。

**名 9330νςουα** /ledistev/

**名** ショートパンツ, クォーターパンツ, 短パン || 裾が足の付け根と膝の中間付近になるような丈の長さのズボン。  
日本語の「ホットパンツ」は女性用というイメージがあるが、9330νςουαには特に性別のニュアンスはない。

**名 9330νςουοδρςς** /ledistikθit/

**名** レギンス, トレンカ  
丈が短いものは特に ρρςαと 言う。σιδρςςとの違いは σιδρςςの項を参照。

**名 9330νςουα** /ledislət/

**名** ロングパンツ, 長ズボン || 裾が膝より下になり、脚全体をほとんど覆う丈のズボン。

**名 9330νςουοαα** /ledisnafst/

**名** ホットパンツ, 短パン || 股下が数 cm 程度のズボン。

**名 9330** /lek/

**名** 会話, 談話, 話 || とある話題についての言葉を用いた情報や意見のやりとり。

**名 9330ς** /lekət/

**名** 乗り物  
車, 自転車, 電車, 船, 飛行機, 馬, 観覧車, エレベーター, エスカレーター, ジェットコース

ターなど、それ自体と一緒に乗ったものを移動させ、乗った後に特定の位置に座ったり立ったりすることが想定されているものを指す。

**助 9330ςς** /lekəd/

**助** (aが e'nを caに) 報告する, レポートする || 自分が行った内容である eをまとめて caに伝える。

**助 9330ςς** /lekut/

**助** (aが caに) 乗る, 乗り込む, 搭乗する  
乗り込むことだけを表す。したがって、「車に乗って来た」などの場合は 9330ςςςではなく ρρςを使う。  
90句にとれるものは 9330ςςの語法欄を参照。

**名 9330** /lef/

**名** 知人, 仲良し, 友達, 友人, 友 || 親しく付き合っているがそれほど気が許せるわけではない人。

9330は、学校や職場などで頻繁に会うので流利的に付き合っている程度の仲の人を表す。家の近くでよく見かけて少し挨拶するくらいの「知っている人」よりは高い。このような人は 9330ではなく σρς ααααααααααなどと言う。9330ςは、もう少し親睦度が増し、一緒に遊びに行ったり他の人には相談しづらいことを相談できたりする友達のことを指す。9330νは、これよりさらに親睦度が増し、本当に全く気を遣わずに付き合える空気のような理想的な人を指す。

**名 9330ςς** /leftəs/

**名** 牛  
家畜として飼育される種の牛を指す。水牛やバイソンなどは指さない。  
オスとメスの区別や、乳牛か肉牛かの区別はしない。

**名 9330νρς** /lefνir/

**名** お兄さん, お兄ちゃん, おじさん || 年上の男性の知り合い。

**名 9330νρςα** /lefνinɔf/

**名** お姉さん, お姉ちゃん, おばさん || 年上の女性の知り合い。  
δοααααα α ααρ δ'η ριοααααααα ροοιοσ α ραα αα ραα σαααδ δααα ρο ραααααααα. ραο 'ηααααα. ▶ 彼が少し前にネーティアお姉さんと楽しそうに喋っていたのを思い出した。

**名 9330α** /lefɔm/

**名** 乳, 牛乳, ミルク  
飲料としての哺乳類の乳を表す。したがって、人間の母乳は含まない。また、豆乳やココナッツミルクなどの植物由来のものも指さない。  
修飾語句や文脈が何もなければ、基本的に









指す。これ以外の色のものは、前述の通り ၄၄၅၁၀၅ က ၄၄၅၁၀၅ ကို 色の形容詞を付けて呼び分ける。現実世界では赤色以外を全て「サファイア」と呼ぶが、シャレイア語では違うので注意。

**名 ၄၄၅၁၀၅ /lirit/**

**名 涙**

၄၄၅၁၀၅ は単に涙を指す一般的な語で、၀၁၄၅ は悲しみによって流された涙だけを表す。

**動 ၄၄၅၁၀၅+ /lin/**

**動 ~しがちな性格の、~する性格の**

主な副詞として使われる動辞と合成して、それが表す様子で行動しがちな性格を表す単語を作る。合成された単語は主に形容詞として使われる。

**動 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅ /linsiref/**

**形 (၇) おとなしい** || 基本的におとなしく行動する性格の。「大人っぽい」というニュアンスは特別ない。

**動 ၄၄၅၁၀၅၀၅၀၅ /lindalaz/**

**形 (၇) 元気な、活発な、快活な** || 基本的に元気に行動する性格の。

**動 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅၁၀၅ /linkebið/**

**形 (၇) 落ち着いた、冷静な、沈着な** || 基本的に落ち着いた行動する性格の。

**動 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅၁၀၅ /linfemis/**

**形 (၇) 素直な、温順な** || 基本的に素直に行動する性格の。

**動 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅၁၀၅ /linperiv/**

**形 (၇) 浅はかな、軽率な、軽薄な、浅薄な** || 浅はかな行為をしがちな。

**動 ၄၄၅၁၀၅၀၅၀၅ /linθafar/**

**形 (၇) 好奇心のある、好奇心豊かな、好奇心旺盛な**

**動 ၄၄၅၁၀၅၀၅၁၀၅ /linlaskez/**

**形 (၇) ませた、おませな、おしゃまな、大人ぶった** || 実際の内面はまだ子供なのに、言動や容姿だけ大人っぽく見せようとする事が多い。ネガティブなイメージがある。

**名 ၄၄၅၁၀၅ /linaθ/**

**名 性格、人格、氣質、気性**

**名 ၄၄၅၁၀၅ /linek/**

**名 ネギ**

**名 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅၁၀၅ /lineksiθir/**

**名 芽ネギ**

**名 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅၁၀၅ /lineklθes/**

**名 長ネギ、白ネギ、根深ネギ** || 太く白い部分

をもつネギ。

**名 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅၁၀၅ /lineknatθ/**

**名 葉ネギ、青ネギ** || 全体的に細く緑色の部分が多いネギ。

**動 ၄၄၅၁၀၅ /linif/**

**動 (a が e を ca に) 導く、連れていく、案内する、誘導する** || e が ca までたどり着けるように手助けする。

**名 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅ /limiθ/**

**名 リス**

**名 ၄၄၅၁၀၅ /lis/**

**名 輪、環** || 細いものを両端で繋げた形状のもの。円形である必要はない。

**動 ၄၄၅၁၀၅ /lid/**

**動 (a が e を) 読む** || e に記されている文字を目で追って、その内容を理解する。書かれている内容を声に出していてもなくても ၄၄၅၁၀၅ と言える。単に ၄၄၅၁၀၅ といった場合はだいたい黙読のことを指し、音読である場合は ၁၄ ၅၁၀၅၁၀၅ などを加えて声に出していることを明示する事が多い。၁ 句には本や看板などの文字が記されているものを置く。読む内容を ၀၄၅၁၀၅ 節で表現することはできない。

**動 ၄၄၅၁၀၅၁၀၅ /ligif/**

**動 (a が e に) 集中する、専念する、熱中する** || e だけに意識を向け、他のものに注意が向かなくなる。

**動 ၄၄၅၁၀၅ /liv/**

**形 (၇) 真っ直ぐな、一直線の** || 曲がっていない。直線にも平面にも使える。

**動 ၄၄၅၁၀၅ /lisaj/**

**形 (၇) 正直な** || あまり嘘をつかない。形容詞として使うと「相対的に嘘をつく回数が少ない」くらいの意味になるが、動詞として使った場合は「その期間で嘘を全くつかない」の意味に捉えられる。၁၀၄၁၁ ၁၀၅၁၀၅ ၀ ၄၁၁ ၁ ၁၀၄၁၁၀၅ ၁ ၀၄၄၅၁၀၅ ၁၁၁၁၁. ၁၁၁၁၁၀၅ ၁၀၅၁၀၅ ၀ ၁၁၁၁ ၀၅ ၁၁၁၁ ၁၁၁၁၁. ▶ 彼はあまりに素直で正直なので、誰も彼に秘密を教えようとはしない。

**名 ၄၄၅၁၀၅ /likeɪ/**

**名 ピアノ、ピアノフォルテ**  
グランドピアノとアップライトピアノの両方を指す。

**動 ၄၄၅၁၀၅ /lit/**

**動 (a が e を z'in で) 過ごす** || zi をすることで e という時間を費やす。  
၀၁၁ ၁၀၅၁၀၅. ၄၄၅၁၀၅ ၀ ၀၁၅ ၁ ၁၁၅ ၁ ၁၀၄၁၁ ၁၁၁၁၁ ၁၁၁၁၁ ၄၄၅၁၀၅

o'q ʋ 9oroc. ▶ 今日は、昼間ずっと小説を読  
んで過ごした。

**名 95ci** /lid/

**名** 地域、地方、地帯、リージョン、エリア || 何  
らかの方法で区切られた土地の一部分。

**名 95ciwio93w** /lidvalʃ/

**名** 故郷、郷里 || 育った地域。

**動 95d** /lik/

**形** (ʃ, ica に) 固有の、特有の、独特な || ica だけ  
がもっていて他はもっていない。

**名 95ti** /lim/

**名** 道のり、道程 || 何らかの移動を行ったとき  
の移動した箇所。

wʋ9ʋ9ʋdu o cʋ9 cʋ uʋoʋ 9o 95ti o93c ʋ9ʋ u9395c  
wʋ. ▶ 今日は 5 km 走った。

**名 95ti** /li/

**名** 愛玩動物 || 姿や仕草などがかわいい動物。

**連 95** /ʋ/

**接動** そして  
節を結ぶときのみ使われる。9d との違いに  
注意すること。

**名 95ʋc3d** /ʋstɔk/

**名** 豚

**動 95ʋd3c** /ʋskɔt/

**動** (a が e を) 列挙する、枚挙する、数える、数え  
上げる || e にあたるものを 1 つずつ具体的に  
たくさん示す。

**動 95ʋaʋʋʋʋ** /ʋsʋɔʃ/

**動** (a が zi から) 流れ出る、流れ出す、湧き出る、  
湧き出す、湧出する || zi の内部から絶え間なく  
出る。

uʋ 句には、「地面」や「ホース」や「蛇口」  
など、主語がその内部にもともとあったもの  
が置かれ、「穴」や布を透過して湧き出る  
場合はその「布」など、何を通して湧き出  
ているのかを表す名詞が置かれるわけでは  
ない。これを表すには uʋʋʋ を使う。

継続して流れ出ていけば良いので、主語は  
液体とは限らない。例えば、煙突から絶え  
間なく煙が出ているのであれば「煙」が主  
語に立てるし、バチンコのようにボールが  
出続けているなら「ボール」が主語になれ  
る。

**動 95ʋaʋʋʋc** /ʋsvet/

**動** (a が e で ca を zi と) 繋げる、繋ぐ、連結する、  
接続する || ca と zi の間に e を置くことで、  
全体を一続きにする。

ʋ 句に置かれたものに何らかの方向がある  
(と示唆したい) 場合は、その方向の先にある  
ものが 9o 句になり、その反対側が uʋ 句  
になる。

**動 95ʋ3cʋ** /ʋssɔd/

**形** (ʃ) 年をとった、年老いた、年長の、年寄り  
の、高齢の || 生まれてから比較的長い時間が  
経っている。

語義に「年老いた」とあるが、年齢が小さ  
いか大きいかは相対的に決まるので、必ず  
しも高齢者を指すわけではない。例えば、  
小学生のグループで 95ʋ3cʋ な人と言うと、  
5 年生か 6 年生などを指すことになる。した  
がって、「年長の」をイメージすると良いか  
もしれない。

uʋʋʋo o cʋ9 cʋ uʋoʋ ʋ o93ʋ3cʋ ʋ9ʋ 9oʋcʋdʋ ʋʋ.  
▶ 私は今日 80 歳になった。

**動 95ʋʋʋʋ** /ʋziɔd/

**動** (a が e を) 遺す、残す || e には何らかの価値  
があると思いき、その状態を保とうとする。

**動 95c** /ʋt/

**形** (ʃ) 長い || 線状のものの端から端までの距  
離が大きい。

細長いものの端から端までの長さが大きい  
のが 95c で、幅の距離が大きいのが  
cʋoʋʋʋʋʋʋ。

物体の長さのみを表すため、時間の長さは  
表さない。時間が長い場合は 95c ではなく  
ʋʋ9ʋ を使う。

**名 95ʋʋʋʋ** /ʋstid/

**名** 箸、お箸

**動 95ʋʋʋʋʋ** /ʋdʋʋʋʋʋ/

**動** (a が zi に) 跳ね返る、反射する、バウンドす  
る || zi にぶつかって移動の方向が逆になる。  
一連のバウンド全体を指す。最初に物にぶ  
つかった瞬間が開始相で、移動方向が変化  
して物から離れた瞬間が完了相。  
o 句には「光」なども置ける。

**動 95ʋʋʋ** /ʋʋe/

**助動** ~ について、~ に関して

**動 95ʋdʋʋʋ** /ʋʋdʋʋʋ/

**動** (a が e を ca に) しまう、入れる、収める || 容器  
などの ca の内部に e を移す。  
入れるものが完全に容器に収まっている必  
要はなく、一部が容器からはみ出してい  
ても良い。例えば、ペン立てにペンを入れ  
ることを考えると、ペンが完全にペン立てに  
収まってしまうような入れ方は普通しない  
が、この場合も 95ʋdʋʋʋ が使える。

**動 95ʋ** /ʋʋʃ/

**副動** しばしば、頻繁に || 特定の期間におい  
て、かなり高い頻度で。

**動 95ʋʋʋʋʋʋ** /ʋʋʋzi/

**動** (a が e'n を) 懐かしむ、懐かしがる、追憶する、  
回顧する || 過去に経験した e のことが自然







**၅၄၀** /luɔ/

၅၄၀ 永遠, 永久

U  
U)  
C  
C)  
ò  
ò)  
o  
o)  
ó  
ó)  
q  
q)  
oo  
oo)  
**9**  
q)  
U  
U)  
o  
o)  
o

**ῥι**

**動** ῥιουδαῖα /iaskef/

**動** (a が) 休む, 休息する, 休養する, 休憩する, 一服する || それまで行っていたことをやめて、体を楽にする。

**動** ῥιουαῖα /iasfot/

**動** (a が) 外出する, 出かける, 出歩く, お出かけする || 義務的でない何らかの目的で家から一時的に出る。

ῥαῖῥαῖοῦ ῥαῖῥ αῖῥ ῥαῖῥ αῖῥ.. ῥουδῖουῦ ῥ'ῥ ῥοῖ ῥαῖῥ ῥ ῥιουαῖα.. ▶ ずっと家にいるね。出かけてきたら?

**動** ῥιουιῥῥῥ /iashir/

**動** (a が e を) 慰める, 元気づける, 励ます || e の悲しみを忘れさせようと行動する。

**動** ῥιουσαῖ /iasaf/

**形** (†) 安全な, 安心な || 危害を負わせることのないような。防犯や防衛などの意味の「安全」の意味はない。英語で例えれば secure というより safe である。

**動** ῥιουῖῥ /iasaf/

**動** (a が e を zi の) 治す, 癒す || zi が患っていた病気や怪我である e をそれが無い状態に戻す。

υῖῥου.. αῖῥαῖῥουῖ ῥ αῖῥυ αῖῥῥουῖῥουῖ ῥ ῥαῖ ῥαῖῥ ῥ αῖῥαῖ.. ▶ おはよう。疲れを癒さない睡眠が終わったよ。

**名** ῥιου /iat/

**名** 何でも  
任意の物の代詞。

**動** ῥιουῖῥ /iater/

**形** (†) 透明な, 透き通った, 透ける  
無色透明に限らない。色が付いていても良い。

ῥιουῖῥ は、光を透過する材質でできているために向こう側が見えるようなものを指す。水やガラスなどが典型的な例である。

ῥαῖῥαῖουῖ ῥ, 布状のものの生地が薄いために反対側にあるものが透けて見えるようなものを表す。

**動** ῥιουῖ /iak/

**形** (†) どんな, どの  
任意の修飾の代詞。

**名** ῥιουῖῥ /iakar/

**名** ゲーム, ビデオゲーム, コンピュータゲーム  
コンピュータゲームのみを指し、スポーツの試合やボードゲームなどは指さない。据

え置き型なのか携帯型なのかは問わず、スマートフォンアプリのゲームも指せる。

**名** ῥιουῖῥ /Iakut/

**名** ラクット

**動** ῥιουῖῥαῖ /iaɣtes/

**動** (a'n が e を) ? || 喜びと悲しみが混ざり合って泣きたい気持ちに e をさせる。

**動** ῥιου /iaf/

**動** (a が e'n を) 望む, 願う || まだ実現していない e が実現すれば良いだろうと思うようになる。

ῥιουαῖ ῥ ῥαῖῥ ~ で「～したい」の意味になる。このとき助動詞的に用いることが多い。

ῥιου は単に願うだけで受動的な印象をまたれ得るが、αῖῥῥιου は願っていることを叶えようと自ら行動していることを表す。

本当にそれを望んでいることを強調するのが αῖῥῥαῖ, 羨ましがっているという意味を加えたのが αῖῥῥαῖῥ, 実現してほしいことが自分の力ではどうにもならない場合が ῥαῖῥουῖ, 望んでいる状態にはなっていない現状がつからいという意味合いを加えるのが υῥῥαῖῥαῖ。

ῥιουαῖ ῥ ῥαῖῥ ῥ'ῥ ῥαῖῥαῖῥαῖῥ αῖῥαῖ ῥ'ῥ ῥο ῥαῖῥ ῥ αῖῥαῖῥαῖῥ ῥ'ῥ.. ▶ 早く家に帰って寝たい。

**動** ῥιουαῖῥαῖ /iaflēs/

**動** (a が ca と) 語らう, 会話する, 対話する, 談話する, 雑談する, おしゃべりする || 様々な些細な話題について ca と気楽に会話する。

**動** ῥιουαῖουῖ /iafhas/

**動** (a'n が e を zi から) 自由にする || これまでの束縛をなくし、e を自由な状態にする。

**動** ῥιουαῖῥ /iafap/

**動** (a が) 休む, 休憩する, 一服する, 息抜きする || しなければならなかったことをやめて好きなことをする。

**動** ῥιουαῖαῖ /iafef/

**形** (†n) 簡単な, 易しい, たやすい, 容易な  
**副動** 簡単に, たやすく, 容易に || 行うのにそれほど手間や努力を必要としない。

**名** ῥιουαῖῥ /iafef/

**名** 休憩, 休み, 休憩時間, 休み時間 || 授業や仕事などの合間に設けられた休憩のための時間。

**名** ῥιουαῖῥαῖαῖ /iafefjav/

**名** 昼休み, 昼休憩 || 昼に設けられた休憩時間。



φιλίασος ο ελεγ δ'η ανθρωπος φιλον δ'ελεγ ελ υλε  
ο φιλιαδ φουλον ο φου ανθρωπον. ▶ フランスに  
行った友達が今何をしているのか気になる。

名 φίλι /ied/

名?

φιλιασ ο φιλια δ'ελεγ ~ ▶ 本心から〜と思  
う || 特に感情が関わる内容について言う。  
αινεοφουλον δ'ελεγ ο ελεγ υλε ανθρωπον ελ εουλεε. αιδ.  
φιλιασος ο ελεγ δ'η ανθρωπος ο φου δ'ουου. / δ'ο φιλιασος  
δ'ηδ'ε ελ φου ο φιλια ε φ'ελε! ▶ 実は昨日彼女と別  
れたんだ。でもそれで良かったと思ってる。/  
それ本当に本心で言ってる?

動 φίλιελε /iekdur/

動 (aが e'nと) 錯覚する, 誤認する, 幻覚する ||  
真実とは異なる e を感覚的に本当だと思っ  
てしまう。

φιλιαに「真実ではないのに真実だと思う」  
という意味合いを加えたのが αιδ'φιλια だが、  
φιλιαδ'εに同様の意味合いを加えたのがこの  
φιλιαελεである。

動 φίλιεε /iekeθ/

動 (a'nが eを) 快適にする, 心地良くする

名 φίλιεε /iekιθ/

名 快適感, 心地良さ

動 φίλιεε /iekot/

動 (aが e'nを) 感じる, 感づく, 察知する, 分か  
る || 感覚的に e の内容などが知っている 状  
態になる。

φιλιαεεδ'ησ ο φου εε υλεσ οαισδ δ'η αιδ'ελεσ δ'φου  
δ'ηδ'ε. ▶ 彼は本当は悲しんでいるということ  
を誰にも気づかせなかった。

名 φίλι /ief/

名 望み, 願い, 夢, 願望, 希望 || 実現してほし  
いと思っている内容。

φιλιαはそうなってほしいというただの願望  
だけを指し、それを現実させるために自分  
が何かをしようと思っているとは限らない。  
一方、φιλιασοςは実現のために自分から行動  
しようとしていることまで含意する。

動 φίλιεεε /iefθir/

動 (aが eに) 共感する, 同情する || e の気持ち  
を想像して自分のことのように思う。  
想像する相手の気持ちがネガティブなもの  
である場合は、特に εφιλιασを使う。そのため、  
φιλιαεεεは相手の気持ちがポジティブなもの  
のときに使われることが多い。例えば、  
友達が何かに成功して喜んでいるところを  
一緒に喜んであげるときなどである。

名 φίλιεεε /iefath/

名 印象, 感じ, インプレッション

名 φίλιαδ /iefet/

名 友達, 友人, 友, 仲良し || 親しく付き合っ

いて互いに気の許せる人。  
「Sと Zは友達」ということを表現したい場  
合は、σφιλιασ ο υδ'φιλιαδ ε υもしくは σφιλιασ  
ο υδ'ηδ'φιλιαδとする。前者は Sに重点が置  
かれ、後者は Sと Zの両方に重点が置かれ  
る。

動 φίλιεε /iev/

動 (aが e'nと) 思う, 考える || e という意見をも  
つ。

名 φίλιεεε /ievez/

名 感情, 気持ち

動 φίλιεεεε /iefθer/

動 (aが caと) イチャイチャする, イチャつく,  
ベタベタする || 恋人である ca と仲良さそう  
に触れ合う。

ここでの「触れ合う」は抱き合ったりキス  
したりする程度までで、性行為のようなも  
のは指さない。

動 φίλιεεεε /iefθak/

動 (aが e'nを) 感じる || 五感によって e が起こ  
ったという感覚が生じる。

あくまで感覚があれば良いので、δ句の内容  
が実際に起こってなくても良い。その場  
合は、現実が起こっていないことを明示す  
るために、δ句の中で δ'εεεε が使われること  
も多い。

名 φίλιεε /ier/

名 どんなことでも, 何でも  
任意の場所の代詞。

名 φίλιεεεε /ielaf/

名 曲, 楽曲  
歌唱が入るものは特に ηδ'εεεε と言う。

動 φίλιεεε /ien/

動 (η) さん, ちゃん, 君  
親しみを込めて呼ぶときに用いる。相手の  
性別にはよらない。φιλιαと違って丁寧にな  
るというわけではないが、何もつけないよ  
りは語調を緩和することができる。

動 φίλιεε /ief/

動 (a'nが eを caに) 感じさせる || ca に e という  
気持ちをもたせる。  
δ句には感情を表す名詞が置かれ、εε句は  
その感情を感じる人が置かれる。  
感情を表す動詞を用いずに、φιλιαと感情を  
表す名詞を用いることで、その感情を感じ  
ているということを強調することができる。

動 φίλιεεεε /iefef/

動 (η) 思いやりのある, 情け深い, 情の深い, 慈  
悲深い, 優しい

動 φίλιεε /iej/

動 (aが eに) 恋する, 惚れる, 好きになる || e と

一緒にいたいと感じ、一緒にいないときは e のことを考えてしまうようになる。  
όο ηρςαδρςα φρ φύοι ρ αδρ ο όρςη φύοου ο'ρ δ ηρςα δαδó. ▶ また誰かに恋すれば私は変わるのかな?

**動** φύοιρδ /ɪetik/

**動** (a'nが eを) ドキドキさせる, キュンキュンさせる || 期待などで心臓の鼓動が速まっている状態に e をする。  
φύοιρδός δαοιρ δ αδρ ο όρςη φρςρς ρδουο ο'ρ αδ αορδρ δ ηρςα ηρςοφιορ δ ο'ρ.. ▶ 明日憧れの人に会えるのですすでにドキドキしている。

**動** φύοι /ɪed/

**動** (aが) 泣く, 涙する, 涙を流す  
φύοι は目から涙を流すことを表し、その理由については言及しない。したがって、原因は悲しさでも嬉しさでも良い。一方、αδρρςα は原因が悲しみや苦しみであることまで含意する。さらに、泣く度合いも一般に φύοι より大きい。αδρρδδρ は悲しみが原因であることは同じだが、他人にさどられないように静かに泣くというニュアンスが強い。όιορφύοι は涙を流すことより叫ぶ方が重視される。イメージとしては、子供が駄々をこねて叫んでいる感じである。

**動** φύορο /ɪeθa/

**動** おめでとう, おめでとうございます

**動** φύορουο /ɪeθas/

**動** (aが e'nを caを) 祝う, 祝福する || 喜ばしいことである e に対して、それを喜んでいることを ca に向かって言葉などで表現する。  
δ 句には出来事が入るので、φύορουοδ δ αοφιοδó とは言えても φύορουοδδ ρδδ などとは言えない。これは ρο 句を使って ρδρρουοδ ρο ρδδ とする。

**動** φύοη /ɪem/

**動** (aが eを) 想う, 思う || e の今の様子をあれこれと想像する。  
όορςα とは違う。

**助** φρς /ɪi/

**接動** もし～, もしも～  
φρς δρςρ で「～さえすれば」の意味になる。

**名** φρς /ɪis/

**名** 誰でも, どんな人でも  
任意の人の代詞。

**動** φρςαδδδ /ɪisfev/

**動** (aが eを caを) 演奏する, 奏でる, 奏する, 弾く  
楽器が δ 句で楽曲が ρο 句。

**名** φρςαδδφιορ /ɪisfeɪt/

**名** 旋律, メロディー

語源からも分かるように水などに見立てられる。したがって、「メロディーが流れる」は日本語と同じく φρςαδδφιορ ο φρςαδδφιορ と  
言う。

φρςαδδφιορ ο φρςρςαδρρ φρςαδδφιορ.. ▶ ラジオからメロディーが流れている。

**動** φρςρρρ /ɪislar/

**動** (aが) 滑る, スリップする

**動** φρςαδδ /ɪisev/

**動** (aが) 流れる

**名** φρςρςα /ɪisis/

**名** 川, 河, 河川 || 海や湖に向かって地表の窪みに水が流れている部分。

**名** φρςρςαδδ /ɪisiv/

**名** 流れ

**動** φρςρςα /ɪitas/

**動** (aが eを) 踊る, ダンスする, 舞う || 音楽などの e に合わせて体を動かす。  
δ 句には曲名や演目名などが入る。

**名** φρςρδδ /ɪites/

**名** 踊り, ダンス, 舞 || 踊るために作られた一連の体の動きや楽曲。

**名** φρςρρςα /ɪitif/

**名** 魚 || 水の中を泳いで生活する生物のうち比較的小さいもの。

**名** φρςρδδρ /ɪiker/

**名** ボトル, 瓶 || 主に液体を入れて持ち運んだり保管するための縦に細長い容器。  
材質は問わないので、ペットボトルもガラス瓶も指す。水筒なども指す。

**動** φρςαδδ /ɪiefep/

**動** (aが eと) キスする, 口付けする, 接吻する

**名** φρςαδδ /ɪiv/

**名** 思い

**動** φρςαδδφρ /ɪivder/

**動** (aが eを ziで) びしょ濡れにする, ずぶ濡れにする, 濡らす || 多量の液体である zi を e にかけるなどしてひどく e を濡れさせる。

**動** φρςρ /ɪiθ/

**形** (r) 6

**名** φρςρρρρ /ɪiθlat/

**名** 詩, ポエム  
韻文だけに限らず、散文の形式をした詩も含める。歌詞もそれを 1 つの文学的な作品だと見なせば φρςρρρρ と言える。

**名** φρςρρρρ /ɪiθnas/

**名** 季節 || 1 年を気象の変化に応じていくつかに区切ったもののうちの 1 つ。



ウ

**縮** ナ /N/

**縮** ナ

**名** ナ /nafsek/

**名** 庭, 庭園 || 家の敷地内で、建物が建っていないある程度の広さのある場所。屋上に草花を植えるなどして庭の代わりにしている家もあるが、それも ナと言

**名** ナ /nasɔr/

**名** 土, 土壤

**名** ナ /natet/

**名** 虫, 昆虫 || 小型の動物。

明確な基準があるわけではないが、だいたい目に見える程度から 3 cm 程度までの大きさの動物を指す。動物の種類は問わず、鳥類でも貝類でも小型なら ナと言

**名** ナ /natis/

**名** 砂

**名** ナ /naklet/

**名** タイツ, ストッキング

ナと ナはどちらも脚にびったりとフィットする形状の衣類である。ナは、基本的にインナーとして身につけるもので、脚のほぼ全体 (少なくともスカートやズボンなどの上に履いているものが隠していない部分) を覆い、布地が爪先まであるものが多い。腰まであって全体が繋がっているものも、脚の付け根付近までで 2 足で 1 セットになっているものもあるが、これらは区別しない。また、布地の厚さでも区別しない。ナで表されるものうち、特に色が肌色で一見して履いているか分からないようなものは ナと言

**名** ナ /nakletfemas/

**名** ストッキング

**動当** ナ /nakɔf/

**形** (ナ) 当たり前の, 当然の **副動** 当然 || それを知っている人は正しいと信じていて、誰も疑っていない。

**動** ナ /nakus/

**動** (a が e を z で) 包む, くるむ, 覆う || e の周り

を z で囲むようにし、どの方向からも e が見えなくなるようにする。

**動** ナ /nafvar/

**動** (a が e を) 栽培する, 育てる

**名** ナ /naflat/

**名** 公園

**動** ナ /nafɔt/

**形** (ナ) 裸の, むき出しの || 他のもので覆われていたり包まれていたりしない。意味は広く、物に対しても使える。例えば と言

**動** ナ /nafɔð/

**形** (ナ) どちらでも良い, どちらでも構わらない, どうでも良い, 問題でない, 重要でない || それが起こったとしても起こらなかったとしても状況に変化は起きないような。間接疑問表現が被修飾語になることが多いが、通常の節も非修飾語になれる。

**動** ナ /nav/

**形** (ナ) 黄色い

**名** ナ /naved/

**名** 野菜, 蔬菜, 青物

**動** ナ /narsɔr/

**動** (a が e を) 植える || 植物である e が育つように、その種や苗を土に埋める。

**名** ナ /narvaf/

**名** 野原, 原, 野, 草原, 平原 || 草で覆われていて木がほとんどない平らな土地。地面が水平である必要はなく、多少傾いていても良い。

**動当** ナ /nalef/

**形** (ナ) 自然な, 当然の, もっともな **副動** 当然 || そうあるべきである様子の。

**名** ナ /najef/

**名** 花 || 植物の綺麗に色づいている部分全体。茎や花など植物全体を指すことはなく、それには ナを用いる。また、一つ一つの花弁を指すわけでもなく、それには ナを用いる。「花が咲く」は 。

**名** ナ /nad/

**名** 木, 樹木

「木の下で」は多くの場合 である。 ではなく ナにしてしまうと、木の真下の地面の中を指してしまう。



「桜の木」のように木の種類を言いたい場合は、u00c1 ρ u00c2u00c3u00c4 のように ρ を用いれば良い。この ρ は材質を表す用法だと解釈される。

**動 u00c5** /nas/

**形** (†n) **本当の, 事実の, 実際の** || 実際に起こったことである。

**名 u00c6** /nat/

**名 花** || 花を咲かせる植物。綺麗に色づく部分としての花(花びら)だけを指すのではなく、茎や葉なども含めた1つの植物全体を指す。花びらは u00c7。

**名 u00c8** /natar/

**名 植物** || 主に葉をもち自ら動くことはしない生物の総称。

**名 u00c9** /natarkid/

**名 生け垣** || 敷地の内部と外部を分けるために、境界に沿って植えられた植物。

**名 u00ca** /natəθ/

**名 草**

**動 u00cb** /nam/

**形** (†) **緑の, 緑色の**

**名 u00cc** /naj/

**名 花びら, 花弁** || 植物の綺麗に色づいているそれぞれの部分。

**名 u00cd** /nar/

**名 自然, 天然** || 世界にあるもののうち、人間が作ったり加工したりしていないもの。

**名 u00ce** /nes/

**名 画 画**

**名 u00cf** /neter/

**名 血, 血液**

**名 u00d0** /nev/

**名 黄, 黄色**

**名 u00d1** /neθat/

**名 灰色, グレー**

**動 u00d2** /neθit/

**形** (†) **灰色の, グレーの**

**名 u00d3** /neðelanez/

**名 画 オランダ**

**動 u00d4** /nertis/

**動** (aがeを) **舐める** || 舌でeをなでるように触れる。

舌を出してペロペロするイメージ。したがって、舐める対象であるj句に置かれたものは口の外にある。舐めるときのように、ものを口の中に入れた後に口の中で舌で触ることは含意しない。

**名 u00d5** /nelət/

**名 キリン**

**名 u00d6** /nelas/

**名 首** || 動物の頭と胴体を繋いでいる部分。

**名 u00d7** /nemək/

**名 鼻**

**名 u00d8** /nes/

**名 事実, 現実** || 実際に起こったこと。

**名 u00d9** /nem/

**名 緑, 緑色**

**動主 u00da** /nelav/

**動** (aが) **臭う, 香る, 薫る** **形** (†) **臭い**  
「臭いを発生させている」という意味で最も一般的な単語。したがって、形容詞用法に「悪臭を放っている」という意味はなく、単に何らかの匂いを発しているということだけを表す。悪臭は u00db を使う。

**名 u00db** /nelev/

**名 匂い, 臭い, 香り**

**助特 u00dc** /ni/

**助形** ~より, ~と比べて **接形** ~より, ~と比べて

**動 u00dd** /nis/

**動** (aがziからeaに) **なる, 変わる, 変化する**  
u00d6 は、o句のものの性質や形容が u00d7 句から qo句に変化したことを表す。別の言い方をすれば、u00d8u00d9 u00da u00db c という表現の意味は、「u00dc o u00d7 u00d9」という状態が成り立っているところから「u00dc o u00d7 c」という状態が成り立つように変化することである。一方で u00d8d9 は、o句のものが何らかの加工などを受けて qo句のものに変化することを表す。つまり、性質ではなくそのものが変わってしまうことを表す。したがって、u00d8d9u00da u00db cと言ったときに、「u00dc o u00d7 c」という状態が成立するとは限らない。

u00d6 は変化の前と後の状態に重点を置くが、u00d8d9 は「変化」ということそのものに重点を置く。例えば、「医者になりたい」と言いたい場合、大事なのは「医者」であって、医者への変化そのものではないので、u00d6 を使うのが一般的である。この違いのため、u00d6 に係る qo句が省略されることは稀であり、u00d8d9 は u00d7 句や qo句を伴わずに使われることが多い。

継続相で使われた u00d6 と u00d9 は表す内容が同じであるが、u00d6 の方には「別のものから変化してきた」というニュアンスが含まれる。

qo句および u00d7 句には形容詞も置くことが

できる。  
оорとは異なり、う句は決してとらない。

**動** тҫу+ /nis/

**動** ~するよな、~を誘う

主に動詞として使う単語に付けて、その動詞が表す動作が起きるポテンシャルをもっていることを表す単語を作る。英語の -able に似ている。典型的な使われ方として、感情を表す単語に付けて、周りの人にその感情を誘うような様子であることを表す単語を作る。例えば、「驚かせる」の意味の оууу に付けて тҫуоууу とすると、「それを知った人が驚かされてしまうよな」すなわち「驚くべき」の意味になる。

**動** тҫууҫы /nisix/

**動** (7n) 恥ずかしい || 恥ずかしがらせるよな。

**動当** тҫуоууу /nissaz/

**形** (7n) 驚くべき、注目すべき、すごい **動** 驚くべきことに || それを知った人は驚いてしまうよな様子。

**動** тҫууаау /nisdod/

**形** (7n) 悲しい || 悲しませるよな。

**動** тҫууаау /nisdod/

**形** (7n) つらい || つらくさせるよな。  
人が感情としてつらさを感じていることを表現するときはおうを用いる。この тҫууаау は、「つらい出来事」のようにそれに関わった人をつらい思いにさせるよな様子を目指す単語で、基本的には物事を修飾する。

**動** тҫуаауоо /nissafemat/

**形** (7) 透ける || 向こう側が透けるほど薄い。

**動** тҫуаауыҭ /nissafef/

**形** (7n) かわいそうな、気の毒な、憐れな、哀れな、不憫な || 他の人にかわいそうと思わせるよな。

**動** тҫуооо /nissapan/

**形** (7n) 困る、困惑させる、戸惑わせる、混乱させる || 困らせるよな。

**動** тҫуооҫ /nissapit/

**形** (7n) 怖い、恐ろしい || 怖がらせるよな。

**動** тҫуооҫыҭ /nissapudot/

**形** (7n) 嫌な、嫌悪すべき、忌むべき || 人にそれを嫌いに思わせるよな。

**動** тҫуоооаа /nissaddej/

**形** (7n) 感動的な || 人を感動させるよな。

**動** тҫуоооаа /nissadjev/

**形** (7n) 興奮する、ワクワクする || ワクワクさせるよな。

**名** тҫуооо /nissodar/

**名** (ie の izi から ica へ) 翻訳、翻訳物、訳 || ie を izi から ica に翻訳したもの。

**動** тҫуооҫы /nissodir/

**動** (a が e を zi から ca に) 訳す、翻訳する || zi の言語で表現された e をほぼ同じ意味になるように ca の言語で表現し直す。

**動** тҫуоооо /nissafaj/

**形** (7n) 幸せな

оорыс у оуууоооо о ооуу уаауу оооооо о оууу у оооооо. ▶ 彼女がいるというだけで幸せなのだ。

**動** тҫуооаа /nissafok/

**形** (7n) おもしろい、興味深い || 興味をもたせるよな。

**動** тҫуооы /nisslof/

**形** (7) 懐かしい || 昔を思い出させるよな。

**動** тҫуоооооу /nissarahas/

**形** (7n) 楽しい、おもしろい

**動** тҫуоооо /nissja/

**形** (7) ほわほわする、幸せにする || 脳がとろける感覚にするよな。

**動** тҫуоооо /nissax/

**形** (7n) 幸せな、嬉しい、良い || 幸せにするよな。

оо ооаауу у уаау оуууоооо! ▶ 何か良いことでもあったの?

**動当** тҫуоо /nissat/

**動** たぶん || 起こる可能性が半々よりは大きい確率で。

**動** тҫуооо /nissad/

**動** (a が e を) 羨む、羨ましがらせる、憧れる || e が良い状況に置かれているかと思ひ、e のようになりたいと感じる。

「良いな」と思う程度なのが тҫуооо で、「何としてでもなりたい」の意味合いを込めたのが оооооо。  
う句には人が置かれる。

**動** тҫуаа /nisser/

**動** (a が zi から ca に) 変わる、変化する

**動** тҫуааыҭ /nissersod/

**動** (a が zi から ca に) 引越す、転居する、移住する || 住む家を zi にあったものから ca にあるものへ変える。

**動** тҫуааыҭ /nitder/

**動** (a が e を ca と) 取り替える、置き換える、交換する || 装置や部品である e を新しい ca に変える。  
「部品の取り替え」の意味合いが強い。例え

ば部屋に設置されているエアコンを新しいものに替える場合も υρρσινρ を用いるが、これはエアコンが部屋の部品だと解釈されているためである。

人とのを交換する場合は σρρρσρσ を用いる。

υρρσινρσινρ σινρ ρ σρδσινρ. σινρρρρσινρσινρ ρσρρρρ ρσινρ σινρρρρ. ρσ σινρδ σινρσινρσ. ▶ 近所の子供に割られてしまった窓を新しいものに交換した。

名 υρρσινρ /nitez/

名 坂, 坂道, 斜面, スロープ || 基準となる面と比べて地面が傾いている部分。階段の横に設置されているような傾斜面としての「スロープ」は ρουσυρρσινρ。

名 υρρσινρρρρρσ /nitezias/

名 スロープ || 人間や自転車などが通りやすいように段差部分に設置された、ゆるやかなに傾斜した通路。

動 υρρδσινρ /nikfeδ/

動 (aがeを) 演じる, 演技する, 役をする || 演劇などにおいて e という登場人物として振る舞う。

名 υρρδσρρσ /nikolas/

名 固 サンタクロース, サンタ  
人名ではあるので固有名詞だが、ディカックナシで用いられる方が普通である。

動 υρρσινρσ /nifet/

動 (aがeを zi から caへ) 持って来る, 届ける

動主 υρρσινρρ /nifit/

動 (aがcaに) 似る 形 (η, icaに) 似ている, そっくりの || その見た目が ca と同じように見えるようになる。

動 υρρδρρσρσ /nibit/

動 (aがe'nを) 中断する, やめる || 今まで行っていた e を途中で続けるのをやめる。σινρδσρρσ は終えるべきところまで続けてきちんと終える感じがするが、υρρδρρσρσ は途中でやめてしまうことを表し、中途半端で終わったというニュアンスがある。

動 υρρρρρρρσρσ /niθlit/

動 (aがcaに) 曲がる || 移動している状態でその方向を ca がある方向に変える。

動 υρρρρρσ /niθas/

動 (aがeを caに) 渡す, 手渡す, 取る  
J句のものが相手の手元に移ったことだけを表し、所有者が変化したかどうかには言及しない。したがって、一時的に貸してあげようと渡す場合も υρρρρρσ が使える。υρρρρρσ は直接手元から手元に移すことを表すが、ρρρρσ は間に第三者が介入する。

動 υρρρρρρρρρ /niθiδ/

動 (aがziからcaへ) 動く, 移る, 移動する || 位置

が zi から ca に変化する。

υρρρρρρρ は全体として位置が変化すること、ρινρσρσινρσ は一部でも良いので位置が変化することを表す。例えば「動くな」と言いたいとき、動詞に υρρρρρρρ を用いると、その場を離れなければ良いだけで、例えば首を回したり足を上げたりは許すことになる。一方で ρινρσρσινρσ を用いた場合は、一切動くことを許さず、首を回すのはもちろんだが指を動かすのも不可であるという意味になる。

動 υρρρρρ /niδ/

動 (aがeをcaに) 与える, あげる || 自分の所有している e を ca のものにしようとする。υρρρρρ は「与える」の意味で最も汎用的に用いることができる。σρδρρσ は好意でものを与えることを表す。「プレゼントをあげる」のような場合は、単に υρρρρρ とするより σρδρρσ を使う方が好まれる。σσρρρρσ は大事なものを与えることを表す。「託す」の意味合いが強い。δινρρρρσινρσ は不本意ながら与えることを表し、σρδρρσ とは真逆のニュアンスをもつ。日本語では「くれてやる」という感じである。なお、これらは所有者の変化を表すだけで、実際に物が動いているかどうかには言及しない。物の移動は υρρρρρσ など表す。「もらう」は受動態相当表現で表す。これに相当する単語は存在しない。

ρσ ρσ 句に置かれるものの所有物に実際になったかどうかまで含意しないため、「υρρρρρσ ρσ ρσινρσ δ σινρσινρσινρσ ρσ ρσινρσ」という状況もあり得る。これは上で述べた υρρρρρ の関連語についても同様である。

動 υρρρρρρρδρσ /niδiδ/

動 (aがcaに) なる, 変わる, 変化する

動 υρρρρρρρδδρρσινρ /niδiδkσm/

動 (aがziからcaに) 着替える || もともと着ていた zi を脱いで代わりに ca を着る。

動 υρρρρρρρσρσ /niδσt/

動 (aがe'nを) 休む, やめる, 中止する, 欠席する, 欠勤する || 今後行うと決められていた e を行わないことにする。J句には δρσρσ ρσρσ を置く。「学校を欠席する」は υρρρρρρρσρσ δρσρσ ρσρρρρσ ρσ σινρσσσσσ とする必要がある。

動 υρρρρρσρσ /nirtes/

動 (aがeを) 染める, 染色する

動 υρρρδρσ /nip/

動 (aがziを) 去る, 離れる, 立ち去る || zi から別の場所へ移動する。「もともといた場所からなくなってしまった」というニュアンスになるため、移動先には重点が置かれず、υρρρδρσ 自身も ρσ 句をとらない。ただし、向かった方向を ρρρρσ 句で

表すことはよくある。また、どうしても行き先を示したければ、ဟင်္ဂါရ်ဂူဟင်္ဂါဝူのように言う必要がある。ဟင်္ဂါ句が表す場所を離れた瞬間が完了相である。

名 **ဟင်္ဂါ** /nir/

名 **兄, お兄さん, お兄ちゃん** || 同じ両親から生まれた男の子供のうち、年上の方。血縁関係がある人のみを指す。日本語では、血縁関係がなくても年上の男の知り合いならば「お兄さん」と呼べるが、シャレイア語ではこの場合は別単語の ဝါဟင်္ဂါを用いる。

名 **ဟင်္ဂါဝါ** /nir0if/

名 **従兄, 従兄弟** || 兄以外の親戚で、自分と年齢が近い年上の男性。細かな関係は区別せず、親の兄弟姉妹の息子(より関係が遠くても良い)のように、年齢が近い年上の男の親戚であれば全て **ဟင်္ဂါဝါ** である。関連する他の単語も同様である。

名 **ဟင်္ဂါဟင်္ဂါ** /nisið/

名 **糸** || 布などを縫ったり織って布地を作ったりするための柔軟で細長いもののうち、比較的太いもの。

動 **ဟင်္ဂါ** /nəz/

形 (†, izi と) **反対の, 逆の** || 対をなすもの *izi* ではない方である。

動 **ဟင်္ဂါဟင်္ဂါ** /nəzez/

動 (aが e'n に) **失敗する, 間違える, 間違う, しくじる**

名 **ဟင်္ဂါဟင်္ဂါ** /nəzið/

名 **失敗, 間違い, しくじり** || 失敗した内容。成功させるはずだった内容ではなく、失敗して実際に行ってしまった内容を指す。

名 **ဟင်္ဂါဟင်္ဂါ** /nəðəm/

名 **嘘** || 他人を騙すために作られた事実とは違う内容。「嘘をつく」は ဝါဝါဝါဝါ ဟင်္ဂါဟင်္ဂါ。

動 **ဟင်္ဂါ** /nof/

形 (†) **0**

動対 **ဟင်္ဂါဝါ** /nəfer/

動 (aが e を) **曲げる, 反らす** 形 (†) **曲がった** 基本的に *ဝါ* 句には棒状もしくは面状のものが入る。

名 **ဟင်္ဂါဝါ** /nəlet/

名 **足** 足首より先の部分だけを指す。胴体から分かれた先の太ももなどを含んでいる部分全体を指すには ဝါဝါဝါ を使う。

名 **ဟင်္ဂါဝါ** /nəlet/

名単 **100 m, 100 メートル**

シャレイア語には 1 km ちょうどを表す単語は存在しないので、1 km を表すには 100 m が 10 個分と考えて **ဟင်္ဂါဝါ** 00 などとする必要がある。

名 **ဟင်္ဂါ** /nək/

名固 **ノーク**

縮約形において、その位置に消された文字があることを示す。

動 **ဟင်္ဂါ** /nəð/

動 (aが e'n を) **し損ねる, しそびれる, 忘れる, 失敗する** || *e* を行う機会が過ぎてしまい *e* を行わないままになる。*ဝါ* 句の行為をする機会が過ぎた瞬間が完了相。助動詞的に用いることができる。

動 **ဟင်္ဂါဝါ** /nəðət/

動 (aが e を) **騙す, 欺く, 詐る** || 自分の都合の良いように意図的に *e* に嘘を伝える。

名 **ဟင်္ဂါ** /nuf/

名 **0**

名 **ဟင်္ဂါဝါရ်ဂူဟင်္ဂါ** /nuzilaned/

名固 **ニュージーランド**



は、「遅れる」という行為は、学校に着いたときに完了する未来の出来事だと考え、未来時制無相にする方法である。前者の場合、気づいた時点で遅れることが確定しているというニュアンスがあり、後者の場合は、急げば何とか間に合うかもしれないというニュアンスがある。

↓句は遅れる内容を取り、「学校に遅れる」のように場所をとることはない。この場合は「学校に着くのに遅れる」と考えて αὐτῶς αὐτῶς ↓ ὄντος ὄντος ὄντος などと表現する必要がある。

**名** αὐτῶς /meɪs/

**名** 1分, 1分間

**動** αὐτῶς /menet/

**形** (ヲ) 紫の, 紫色の

**名** αὐτῶς /menit/

**名** 紫, 紫色

**動** αὐτῶς /menir/

**副動** だんだん, 徐々に || その動作の進み具合が少しずつ大きくなる様子で。

αὐτῶς は 1 回の動作の進み具合が連続的に大きくなっていくことを表すが, κορκορὸ は何回かその動作をするにあたっての各回の進み具合が少しであることを表す。したがって、必然的に κορκορὸ は反復表現とともに用いられる。例えば「徐々に外が暗くなる」の場合、外の明るさが連続的に暗くなるので αὐτῶς で表現できる。一方「徐々に絵を仕上げる」の場合、絵を描くという動作を何回か行って絵を仕上げている、その各回で完成度合いが段階的に高まるため, κορκορὸ で表現することになる。

ὄντος は動作の始まりから終わりまでの時間に注目するが, αὐτῶς は動作の進み具合に注目する。

**動速** αὐτῶς /mer/

**副動** 遅く, ゆっくり, のろく **形** (ヲ) 遅い, ゆっくりの, のろい || 動く速度が小さい。

**動** αὐτῶς /meθiv/

**動** (アガ) ぶらつく, ほつつく, ぶらぶらする, ほつき歩く, 散歩する || 特に目的地などがなく一定の範囲で動き続ける。

**名** αὐτῶς /mitiθ/

**名** ネズミ

**名** αὐτῶς /miv/

**名** 紙

**副** αὐτῶς /miθ/

**副形** より

**動** αὐτῶς /miθðit/

**動** (アガエ) 編む || 細長いものである e を互い

違いに組み合わせることでものを作る。

**動** αὐτῶς /miθat/

**動** (アガエをziと) 比べる, 比較する || e について zi を基準として、似ているところや異なるところを見つけようとする。

比べるものの中で注目している方や調べたいものの方を ↓句に置き、基準とするものを αὐτῶς 句に置く。比べるものうちどれかを注目しているというわけではない場合は、比べるもの全てを ↓句に置き、αὐτῶς 句は使わない。これは αὐτῶς の省略と見なされる。

**名** αὐτῶς /miθes/

**名** イチゴ

**名** αὐτῶς /miθer/

**名** 臍, お臍

**名** αὐτῶς /mirθat/

**名** ペット, 愛玩動物

**動** αὐτῶς /mirθit/

**動** (アガエを) 飼う || ペットである e の世話をする。

ペットを飼っている状態は単に経過相にして αὐτῶς とすれば良い。

**名** αὐτῶς /mit/

**名** 獣耳, けもみみ, 耳 || 動物の耳をかたどったもの。

単に動物の耳を指すのではなく、キャラクターデザインとして人間型のキャラクターの頭につけられたり、コスプレ衣装の一種として用いられたりするものを表す。このことは、この単語を合成成分とする各動物の耳を表す単語についても当てはまる。

**名** αὐτῶς /mitmɔnaf/

**名** 猫耳 || 猫の耳をかたどったもの。

**名** αὐτῶς /mithapet/

**名** 兎耳, うさみみ || ウサギの耳をかたどったもの。

**動** αὐτῶς /mɔzas/

**形** (ヲ) 温かい, 暖かい || 温度が程良く高い。

**動** αὐτῶς /mɔzastip/

**形** (ヲ) 生温かい, 生暖かい, ぬるい, 生ぬるい || 温度がそうあるべき程度よりも低い。

熱いのを期待してそれより冷たかったのが αὐτῶς, 冷たいのを期待してそれより熱かったのが αὐτῶς。

**名** αὐτῶς /mɔzes/

**名** 温もり, 温かみ || 心地良い温度の熱。

「布団に温もりが残っている」や「運動して身体に温かみを感じる」などのように、少し温度が高いことを表す「温もり」を表す。「木の温もり」や「心の温もり」などの「温

もり」は ၁၀၇၄၈။

**名 တၢ်ဒုး** /mɔʔfer/

**名** (izi) **ぬいぐるみ** || 布を縫って中に綿などを  
入れて作られた、柔らかい izi の人形。

**動 တၢ်ဒုး** /mɔʔfar/

**形** (ʔ) **もふもふの** || 表面に細かな毛や羽毛な  
どの柔らかい繊維質のものがあり、全体で  
も柔らかく触って心地が良い。

**名 တၢ်ဒုး** /mɔʔfθ/

**名** **頬, ほっぺ, ほっぺた**

**名 တၢ်ဒုး** /mɔʔvan/

**名** **森, 林, 森林** || 木々が多く生い茂っている  
地域。

日本語のように森と林を区別しない。

**名 တၢ်ဒုး** /mɔʔlaf/

**名** **春, 春季**

**名 တၢ်ဒုး** /mɔʔleθ/

**名** **唇**

**名 တၢ်ဒုး** /mɔʔnaf/

**名** **猫**

**名 တၢ်ဒုး** /mudɔk/

**名** **10 g, 10 グラム**

**動 တၢ်ဒုး** /mur/

**形** (ʔ) **0/10**

**名 တၢ်ဒုး** /mulɔt/

**名** **1 cm, 1 センチメートル**

ո

間 **no** /ja/

間 **はい, イエス**

肯定の意味合いを強めたいときは、ծծծծと続けて言う。

名 **nou** /jas/

名 (ieへの) **愛情, 好意, 愛**

ռնրի ほど重くなく、友達やペットなどにも向けられる感情を表す。love というより affection に近い。

動 **nouoy** /jasar/

動 (aがe'nを) **肯定する, 認める, 認容する** || eが真実だとはっきり思う。

動当 **noծծր** /jakor/

形 (r'n) **正しい, 正解の**

名 **noa** /jaf/

名 **妹** || 同じ両親から生まれた女の子のうち、年下の方。

名 **noյոյծրի** /jaftoð/

名 **自信, 自負** || 自分の能力や才能などを信頼する気持ち。

名 **noյոզո** /jafθif/

名 **従妹, 従姉妹** || 妹以外の親戚で、自分と年齢が近い年下の女性。

動 **noյծծ** /jafek/

動 (aがeを) **信じる, 信頼する, 信用する** || eは自分の期待に沿うものだと思う。j句が人である必要はない。

名 **noյոզծ** /jafik/

名 (ieへの) **信頼, 信用** || ieを信頼する気持ち。

動 **noյոյս** /jafos/

形 (r) **美しい**

神秘的とも言えるような「美」があることを表す。

名 **noյոբս** /jafus/

名 **美**

動 **noյոյծս** /jarfes/

動 (aがeを) **大切に, 大事にする** || eが非常に重要なものなので、気を配って扱ったり接しようと思うようになる。

動 **noյոզո** /jalif/

形 (r) **人気な, 人気のある, 評判の良い** || 多くの一般人に好まれている。

動 **noյոյծո** /jamef/

動 (aがeをcaで) **褒める, 称える** || eが行ったcaを高く評価していると伝える。

動 **noոո** /ja/

動 (a'nがeを) **ほわほわさせる, 幸せにする** || eを脳がとろけるような感覚にする。

間 **no** /ja/

間 **やあ**

動 **noոո** /jaf/

動 (a'nがeを) **幸せにする**

noոոは「えへへー」という感じで、基本的に好意的に想っている人と一緒にいるときに使う。noոոは「ほわほわー」という感じで、かわいいものを見たりおいしいものを食べたりしたときの、ほわほわする気持ちを表す。

動当 **noյր** /jar/

形 (r'n) **問題ない, 大丈夫な, OKな** 副動 **問題なく** || 不安になる点や間違いなどが一切ない。ույրոց ծնրոց ու յր. սորոց ու սնր ու յոյր. ու յոյր. ▶ 安心してください。何の問題もありません。

間 **noյո** /jala/

間 **分かった, 了解, OK**

フランス語の d'accord と同じで、何かを承諾したときに言う。

動当 **noն** /jat/

形 (r'n) **真実の, 本当の, 正しい** 副動 **本当に** ուն յոնոն 文の後に置くことで「～ですよね」という付加疑問の意味を出すことができる。なお、これ以外に ուն ունոն でも付加疑問は表現できる。րոնոն ու րոն յոնոն ուն ունոն. ▶ この付近で彼女に会ったんですよね?

名 **noյ** /jes/

名固 **ո**

動 **noյոս** /jesaf/

形 (r) **新品の, 新しい** || 成立してから誰も使用していない。新品で美しいという意味を加えたのが ունոսոս。

動速 **noյոյր** /jesaθ/

副動 **上手に, うまく** 形 (r) **上手な, うまい, 秀逸な**

動 **noյնրի** /jeser/

形 (r) **清楚な, 清純な, 清らかな** || 過度な装飾がなく清潔で品位のある。

名 **noյոյն** /jeti/

名 **アイドル, スター** || テレビなどに出て歌ったり踊ったりしている若い芸能人。



「偶像」の意味は薄れている。また、単なるタレントや役者や歌手は含まれない。基本的に女性のアイドルを指す。

名 **ηιδος** /jekar/

名 雪 || 空から降ってくる粒になっていない氷の結晶。

ηιδος は雪を指す一般的な語で、空から降ってくる雪も積もった後の雪も指す。ωσοςρζ は空から降ってくる途中の雪の欠片の一つ一つを指し、積もった後の雪は指さない。

動 **ηιδερ** /jekir/

動 雪が降る、降雪する || 空から粒になっていない氷の結晶が降ってくる。助詞句を伴わず、単独で用いられる。

動業 **ηιδεα** /jekuf/

動 (a が e を ca に) 夢中にさせる、魅了する、とりこにする 形 (f, ica に) 夢中な || ca ばかりに触れてしまって他のことがほとんどできなくなるように e をする。否定的なニュアンスはない。

動 **ηιδωου** /jefas/

動 (a が ca と) 付き合う、交際する || ca と恋人の関係になる。

動 **ηιδωυ** /jefef/

形 (+) 魅力的な、素敵で、素晴らしい || ずっとそれを見たり触れたりなど関わっていたいと思えるような。όο ωσοιос ρδου ο'ρ δ ερρ ού ιρρ ου ο'ρ ου ρου οηδωω! ▶ 魅力的な人になるには何をすれば良いんだろう?

名 **ηιδεω** /jefif/

名 魅力 || 魅力的だと思わせる原因となる性質。

動 **ηιδερ** /jepet/

動 (a が e を) 歌う || 音の高低やリズムをつけて e を声を出す。J 句には「歌」など歌う対象のみが入り、歌う内容を表現することはできない。「歌を歌う」を表現したい場合は、重言を避けるために ηιδερρρ とだけ言うのが普通で、ηιδερρρρ ηιδερρ とはしない。ただし、「この歌を歌う」のように ηιδερ に何らかの修飾語が修飾されている場合は、ηιδερρρρ ηιδερρ οορδ と言う。

名 **ηιδερ** /jepir/

名 歌、歌曲 || 歌うために作られた一連の詞やメロディー。歌唱だけ(アカベラ)でも ηιδερρ と言えるが、普通は楽器などの演奏つきのものを指す。

名 **ηιδεδω** /jeθem/

名 さつまいも、甘藷

名 **ηιδεος** /jerfat/

名 リボン || 帯状の織物を結ぶことで作られた結び目の部分で、飾りなどに使うもの。基本的には、帯状の織物を指すのではなく、それで作られた結び目を指す。ただし、結び目の両端の帯状の部分(結び目に使われていない部分)を含めて ηιδεος ということもある。結び目を作る前の状態は ρδονηε と言う。「リボンを結ぶ」は ηιδερρδδρρ ηιδεος と ηιδερρδδρρ ρη ηιδεος とも表現できるが、普通は前者を用いる。

動 **ηιδεου** /jernas/

形 (+) 綺麗な、ビカビカの || 誰も使っていないかのように汚れなどが無い状態。実際に新品である必要はなく、まるで新品であるかのように綺麗な状態であれば良い。

名 **ηιδεοδ** /jelak/

名 宝石、宝玉、ジュエル

動 **ηιδευ** /jeles/

動 (a が e の) 世話をする、世話する、世話を焼く、面倒を見る、構う

名 **ηιδερρ** /jeliθ/

名 アクセサリー、装身具 || 装飾のために身につけるもの。

名 **ηιδερρουερρδω** /jeliθsiloz/

名 指輪、リング || 指に付けて用いる主に環の形をしたアクセサリー。

名 **ηιδερρερξδ** /jeliθsik/

名 髪飾り || 髪を飾るためのアクセサリー。

名 **ηιδερρεηηου** /jeliθnelas/

名 ネックレス、首飾り || 首元を飾るためのアクセサリー。

名 **ηιδη** /jer/

名 心 理性などを司る υδωεε と対比して、感情などを司るものとしての「心」を指す。日本語では「心の中で~する」のように頭を使っている場合でも「心」という単語を用いることがあるが、このときは ηιδη ではなく υδωεε を用いる。

動 **ηιδηδω** /jerfes/

動 (a が e を) 大好きになる 友達に対して言う「大好き」の意味。恋心がある場合は ρηηη を用いる。

名 **ηιδηερρ** /jerfis/

名 (ie への) 愛情、愛

動 **ηιδηουη** /jeram/

形 (+) おいしい、うまい、美味の || 幸せを感じるほどにおいしい。

**動** οἰοῦμαι /jeiɸ/

**形** (㊦) 美しい, 綺麗な || 色や形や雰囲気などが全体的に整っていて、好感をもてる。物に対しても人に対しても使える。さらに、人であれば女性に対しても男性に対しても使える。その場合、女性なら「美人」、男性なら「ハンサム」を指す感じである。

**名** οἰοῦμαι /je:ɸ/

**名固** イェリア

**動** οἰοῦμαι /jen/

**形** (㊦) ちゃん  
οἰοῦμαι の指小辞化。かわいい相手に対して親しみを込めて呼ぶときに用いる。

**名** οἰοῦμαι /jen/

**名** 円

日本の通貨単位のことである。

**動** οἰοῦμαι /jemas/

**形** (㊦) 綺麗な

**動** οἰοῦμαι /jetis/

**形** (㊦) 素晴らしい, 驚くべき, すごい || 存在していることが信じられないほど質が高い。

**名** οἰοῦμαι /jef/

**名** 幸せ

**動** οἰοῦμαι /jem/

**形** (㊦) かわいい, かわいらしい

**名** οἰοῦμαι /jet/

**名** 真実, 本当

**名** οἰοῦμαι /jef/

**名** 妻, 嫁, 家内, 奥さん, 奥様 || 結婚した女性の相手。

**動** οἰοῦμαι /jer/

**形** (㊦) 綺麗な

οἰοῦμαι は οἰοῦμαι の対義語、οἰοῦμαι は οἰοῦμαι の対義語、οἰοῦμαι は οἰοῦμαι の対義語である。使い分けについては οἰοῦμαι の項を参照のこと。

**名** οἰοῦμαι /jeɾak/

**名** 風呂, 風呂場, バス

湯船があったりシャワーを浴びたりする空間を指す。風呂がある部屋全体は οἰοῦμαι。例えば、ホテルなどで浴槽とトイレが一体となっている場合があるが、その場合 οἰοῦμαι は浴槽がある部分のみである。

**動** οἰοῦμαι /jis/

**動** (a が e を) 好きになる, 好む

οἰοῦμαι 句には人が置かれる。

この意味を強めたのが οἰοῦμαι。

**名** οἰοῦμαι /jiθ/

**名** (izi の) 北

**名** οἰοῦμαι /jiθkelɔɾ/

**名** (izi の) 北北西

**名** οἰοῦμαι /jiθpelas/

**名** (izi の) 北北東

**助** οἰοῦμαι /jo/

**助動** ~よ

いわゆる呼格を表す。

他の助詞句とは異なり、οἰοῦμαι 句は間投詞的に扱われる。例えば、οἰοῦμαι 句単独で1つの文になることがあり、また οἰοῦμαι 句の前後にはタデックが打たれることが多い。

**οἰοῦμαι** ▶ すいません, すみません || 見知らぬ人を呼び止めて話しかける定型表現。

**οἰοῦμαι οἰοῦμαι** ▶ すいません, すみません || 上記のより丁寧な言い方。

ὄο οἰοῦμαι ο οἰοῦμαι ὄο οἰοῦμαι οἰοῦμαι οἰοῦμαι! ▶ ヴェルデイスさん、それについてはどうお思いですか?

**οἰοῦμαι οἰοῦμαι**. ὄο οἰοῦμαι οἰοῦμαι οἰοῦμαι! ▶ すみません、図書館はどこでしょうか?

**動** οἰοῦμαι /jɔs/

**形** (㊦) 3

**名** οἰοῦμαι /jus/

**名** 3

**名** οἰοῦμαι /juɾɔs/

**名** 単 ユーロ

U  
U  
C  
C  
δ  
δ  
o  
o  
δ  
δ  
φ  
φ  
Q  
o  
o  
φ  
φ  
U  
U  
o  
o

η

名 ηοοοο /hasaf/

名 雲

動 ηοοοα /hasef/

動 (aが) 浮く, 浮かぶ, 浮遊する || 液体や気体の中間および空中などにとどまる。空中に浮かんでいる場合、ηοοοαと ηοοοοαは似たような意味を表す。ただし、ηοοοαは移動することがほとんどなく、ηοοοοαは移動しているという点で異なる。

動 ηοοορ /hasif/

動 曇る, 曇りになる, 雲天になる

動 ηοοοζ /hasoθ/

副動 気軽に, 気楽に || それを行いつらくさせるような状況ではなく。ηοοοζと δοηοοαはどちらも、被修飾語の動作を行うための障壁が少ないことを表す。違いは、ηοοοζではその障壁は状況的なもので、δοηοοαではその障壁は精神的なものであるという点である。

動 ηοοοω /hafas/

形 (η) 桃色の, ピンクの

間 ηοοα /hafe/

間 (e'nを) ありがとう, ありがとうございます ↓ 句として感謝の内容を置き ηοοαを修飾できる。この場合は ηοοαと ↓の間のタデックは不要(あっても良い)。例文を参照。ηοοα ↓ δρσ αδηοορσ ο ερρ ρο αηρ αλ αουρρ.. ▶ 昨日手伝ってくれてありがとう。

名 ηοοαω /hafes/

名 ピンク, 桃色

動 ηοοαηη /hafef/

動 (aが e'nを caに) 感謝する

動 ηοοαηω /haves/

動 (aが eを) 自由にする 副動 自由に, 好きに, 好きなように || 行いたいと思うことを行えるような状態に eをする。これまで何かしらの束縛があり、それが終わって気持ちが晴れ晴れしているというイメージを加えたのが ηοοαηω。英語で例えると、ηοοαηωは freedom に、ηοοαηωは liberty に似ている。

動 ηοοα /hap/

形 (η) 安い, 安価な, 廉価な || 価格が比較的低い。英語の cheap とは違い、「安っぽい」などの質の低さは含まない。単に価格が低いことだけを示す。

名 ηοοαη /hapet/

名 ウサギ

名 ηοοω /haf/

名 満足, 満足感, 幸せ, 幸福, 幸福感 || ものがうまくいったときに感じる良い気分。

動 ηοοαηαη /harfet/

動 (aが eを) はためかせる, そよがせる, 翻らせる, ヒラヒラさせる 副動 ヒラヒラと || 布状のものである eを波のように揺れ動かせる。ρρρρδδω ο ρδω ρο αηρ αο ηοοαηαηη ο'ς ρρ ηοδρ.. ▶ 彼女はスカートを翻らせながら私の方を向いた。

名 ηοορρδω /harθas/

名 天気, 天候 || 気温や湿度および風や雲や降雨の状態。

動 ηοορωαω /harfaf/

動 (aが eを) 抱く, 抱き締める || eをしっかりと抱く。

名 ηοορηηα /harjef/

名 桜

動 ηοορορ /halat/

形 (η, ica'nに) 天才な, 天才的な, 非凡な || 他人が少し努力したくらいでは達することのできないような icaをする能力をもった。

名 ηοορηαη /halet/

名 (ica'nの) 才能, 天賦 || 他人が少し努力したくらいでは達することのできないような icaをする能力。

副 ηοορρα /halif/

副特 すなわち, つまり || より分かりやすく言い換えられた。基本的に ω ↓ ω ηοορραの形で用いられる。↓以下が挿入構文になることも多い。αοηορρωαο ο ρδω.. αηρδρρορηορ ηοορρα ο ρδω αηρ αοηορραη.. ▶ 彼は死んだ。つまりこの世にはいないのだ。

動 ηοορραη /halif/

動 (aが e'nに) 慣れる, 手慣れる, 習熟する || eを何度も行ううちに eが上手にできるようになる。

動 ηοορη /haI/

動 (a'nが eの) 気分を良くする, 幸せにする, 幸福にする, 嬉しくする || 少しのことでは怒ったり悲しんだりしないような気分に eをする。一般的な正の感情を表す基本的な単語。

**動 ուօղւոճ** /hardot/

**動** (a Գ) **ため息をつく** || 緊張が解けたり失望したときなどに大きく息を吐く。

**動 ուօտղԳ** /hanif/

**動** (a Գ) **溶ける, 融ける, 融解する, 液化する** || 固体であった状態から、熱や圧力の変化によって液体に変化する。一般に液体に変化することを表すが、普通は熱を加えることで液体にすることを表す。

**動 ուօտճ** /hanot/

**動** (a Գ e Ե ca Ի) **放る, 放り投げる** || 手に持っている e Ե ca Ի に向かってそっと投げる。

**名 ուօո** /haj/

**名** **少女, 女の子, 女子** || 8 歳から 14 歳くらいまでの女の人間。

**間 ուօ** /ha/

**間** **はあ, ふう**  
疲れたときなどにつくため息を表す。

**名 ուօ՞ղ** /haθ/

**名** **高く, 高所** || 基準面からの上方向への距離が大きい場所。

**名 ուօղ** /har/

**名** **スカート**  
丈の長さは日本語と同じように ԳՅԸ Ե ԸՅՈ Ե 表現する。  
丈の長さによる分類では、短い方から順に ուօղօտ՞ղ, ուօղօճղ, ուօղօԸԸԸԸԸԸ, ուօղօղճԸ。

**名 ուօղօԸԸԸԸԸԸ** /hartadis/

**名** **ミディスカート, 膝丈スカート** || 立ったときに裾が膝付近になるような丈の長さのスカート。

**名 ուօղօճղճղ** /harfelbθ/

**名** **ワンピース, ワンピ** || 上衣とスカートが繋がっている衣服で、単体で衣服として成り立つもの。

**名 ուօղօճղ** /harfe1/

**名** **ミニスカート, ミニスカ** || 自然に座ったときに膝が完全に見える程度の丈のスカート。 ուօղօ ԸԸՅՈ Ե と言った場合にどのくらいの短さを指すかは表現者の意図や文脈によるが、 ուօղօճղ Ե 概ね語義にあるような丈のものを指す。

**名 ուօղօղճղճԸ** /harθekid/

**名** **吊りスカート** || 上部に取り付けられた紐を用いて肩に吊るすようにして着るスカート。

**名 ուօղօղճղ** /harθe/

**名** **ジャンパースカート** || 主にトップスの上に重ねて着る、上衣とスカートが繋がっている衣服。

**名 ուօղօտ՞ղ** /harʃar/

**名** **マイクロミニ, マイクロミニスカート** || 股下が数 cm 程度の丈のスカート。

**名 ուօղօղճ** /halθ/

**名** **ロングスカート, マキシスカート** || 脚全体をほとんど覆う丈のスカート。

**名 ուօղօղճճճղ** /halθfθm/

**名** **巻きスカート, ラップスカート** || 1 枚の布を腰に巻き付けてスカート状にして着る衣服。

**動 ուօղ** /hai/

**動** (a Գ) **微笑む, 笑う, 笑む, 綻ぶ**

**動 ուօծ** /hap/

**形** (Գ) **軽い, 軽量の** || 持ち上げるのにあまり力を必要としない。

**動 ուօղ** /har/

**形** (Գ) **かわいい, かわいらしい** || 接していると自然と心が和むようで好感をもてる。

**動 ուօղճղ** /halem/

**動** (a Գ ca Ի) **甘える, 甘ったれる** || 普段以上に ca Ի に馴れ馴れしくしてかわいがられようとする。

**名 ուօծ** /hak/

**名** **空気, 大気**

**名 ուճ** /hes/

**名** **固 ո**

**動 ուճ** /hef/

**形** (Գ, izi Կ) **上の, 上方の**

**名 ուճղղղ** /herθas/

**名** **遊び, お遊び, おふざけ** || 真剣にはなくやっていること。

**動活 ուճղղղ** /herθis/

**副** **遊び半分** Ե **動** (a Գ e'n Ը) **遊ぶ, ふざける, 遊び半分** Ե **やる** || 真剣にはなく。単に真剣でないことを表し、「相手をからかう」などの意味は含まない。この意味では ուրղղղղ Ե 使う。

**名 ուճղ** /he1/

**名** **良い気分, 幸せ, 幸福, 幸福感** || 少しのことでは怒ったり悲しんだりしないような気持ち。

**動 ուրղղղ** /hisez/

**動** (a Գ e Ե) **登る, 上る, 上がる** || 傾いている部分のある e Ե の上を通して、下方から上方へ移動する。

**名 ուրղղճ** /hisot/

**名** **天井** || 部屋の上部を仕切っている部分。

**動** οικισμοδ /hizak/

**動** (aが e'nに) 挑戦する, チャレンジする || 困難な e を達成しようとする。

**名** οικισμοδ /hizek/

**名** 挑戦, チャレンジ || 何とか達成しようとして行く困難なこと。

**動** οικισμοδ /hizer/

**動** (aが eで caに) 勝つ, 勝利する || eで競い合い、決められた基準のもとで caより優位な立場になる。  
競うゲームが j句、競う相手が qo 句なので注意。

**動** οικισμο /hit/

**動** (aが) 立つ, 立ち上がる || 縦になり、脚で自分の体重を支える姿勢をとる。  
o 句は主に人(まれに動物)が来る。「建物が立っている」などの用法はない。  
上体を起こすことまで含意する。したがって、οικισμοδ o οικισμοδ は猫が 2 本の後ろ脚で立ち上がっている状態を表す。日本語では「4本脚で立つ動物」のように「身体を支える」程度の意味で「立つ」と言うことがあるが、οικισμο はそれより意味が狭い。

**名** οικισμοδωικισμοδ /hitzozvan/

**名** コウモリ

**動** οικισμοδ /hitaz/

**動** (aが eを) 持ち上げる || 置かれている e を取り上げる。

**名** οικισμοδ /hitar/

**名** 鳥, 鳥類 || 昆虫を除く翼によって空を飛ぶ動物。  
空を飛ぶ動物であっても蝶などの昆虫は含めない。

**名** οικισμοδ /hidsor/

**名** 橋

**名** οικισμοδ /hikot/

**名** (ie の) 覆い, カバー || ie を覆っているもの。

**動** οικισμοδ /hikot/

**動** (aが eを ziで) 覆う, かぶせる || 一方の面で固定されている e に対して他方の面の zi を置き、eが見えなくなるようにする。  
覆われるものは j 句で、覆うのに使うものは uic 句で表現する。  
地面や壁などの他のものですすでに一方の側が隠されているとき、もう一方の側を覆って見えなくするのが οικισμοδ。どの方向からも隠されていない状態で、全体を見えないように覆うのが οικισμοδ。言い換えれば、結果的に 2 つ以上のもので覆われるなら οικισμοδ で、1 つだけのもので覆われるなら οικισμοδ。

**名** οικισμο /hif/

**名** (izi から) 上, 上方

上下は絶対的位置(つまり上なら重力とは反対方向で下なら重力と同じの方向)による。例えば、ひっくり返して置かれた箱から見て οικισμο が指す空間は、そのとき重力とは反対方向を向いている箱の底側の空間になる。上に乗っているのか単に上方にあるだけなのかの区別(英語で言うなら on と above の区別)はなく、文脈で判断される。

**動** οικισμο /hiv/

**副形** 最も, 一番

**名** οικισμοδ /hivas/

**名** 空, 天空, 上空 || 地上から非常に高い位置の空間。

**動** οικισμοδ /hiδ/

**形** (h) 高い || 地面などの基準となる水平面から上端までの距離が大きい。  
地面などの基準面からの上方向への距離が長いのが οικισμοδ で、基準面から下方向への距離が長いのが οικισμοδ。基準面から上への距離が長い位置を表すのが οικισμοδ。οικισμοδ と οικισμοδ は物についての表現で、οικισμοδ が位置についての表現である。  
人間の背の高さは οικισμοδ と οικισμοδ は用いるのではなく、οικισμοδ と οικισμοδ を用いる。これは、οικισμοδ や οικισμοδ を使うには、何か基準となる一定の面(普通は地面)が必要となるからである。人間は地面に固定されているわけではないので、οικισμοδ などは使えないという理屈である。

**動** οικισμοδ /hif/

**動** (a'nが eを) 満足させる || 欲求や望みの通りのことが起こった結果、e を気分が良い思いにさせる。  
語義に「欲求や望みの通りのことが起こる」とあるが、自分が望みを叶えるために行動した場合でも、他の人の活動によって望みが叶った場合でも οικισμοδ を使える。自分が実際に行動して、その望みの内容が「難しいことをやり遂げる」である場合は、特に οικισμοδ と言える。

**動** οικισμοδ /hirsaf/

**形** (h) 偉大な, 立派な, 偉い || 非常に意味のあることをして多くの人に認められている。  
被修飾語は人。

**動** οικισμοδ /hirsot/

**形** (h) 上位の, 上級の  
「優れている」という意味合いはない。

**名** οικισμοδ /hiritv/

**名** 飛行機, 航空機  
翼による揚力で空中を飛ぶものを指す。飛行船やヘリコプターとは異なる。

助 ուրջձ /hilef/

動 (aがeを) 大好きになる || eがとても良いものだと思うようになる。

名 ուրջճ /hilit/

名 (iziの) 頂上, 頂, 天辺 || iziの最も上にある部分の周辺。

ուրջճ は ուրձ と意味が似ているが, ուրջճ には, շար 句のものが上に尖った三角形の形をしていて, その尖った部分の先端付近というニュアンスが加わる。例えば, ուրջճ շար ուրսուս には山頂付近しか指さないが, ուրձ շար ուրսուս には裾野の上空を含み得る。

助 ուրջձձ /hilok/

動 (aが) 起きる, 起き上がる

助 ուրջձձՅ /hirfif/

動 (aが) 飛ぶ, 飛行する, 舞う, 漂う || ゆっくりと軽そうに飛ぶ。

助 ուրջձուս /hixas/

動 (aがeを) 敬う, 尊敬する, 敬意を抱く || eに自分より優れた点があると感じて, eに対して配慮した行動をとる。

名 ուրջուս /hinad/

名 山 || 周りの土地と比べて高さが非常に高くなっている部分。

ԵՂՁԻՁՆԱ Ո ՔՆԱ ԸՆ ՈՒՐՆԱՆԱՅՐ ՕՍ Ն ՈՒՐՍՈՍԻ ՕՐԻՃԸ.  
▶ 彼はあの山に登っている最中に姿を消した。

名 ուրջտձ /hinof/

名 姉, お姉さん, お姉ちゃん || 同じ両親から生まれた女の子のうち, 年上の方。

名 ուրջտձճճ /hinofif/

名 従姉, 従姉妹 || 姉以外の親戚で, 自分と年齢が近い年上の女性。

助 ուրճ /hif/

動 (aが) 上がる, 上昇する || 上方向へ移動する。

ուրճ は単に զԸ 句のものの高度を上昇させることのみを表す。これとは違い, ուրսուս և ԸՆՈՒՐԸ には, 何かに置かれているものを, 手で持ったり何かで支えたりして上方向に動かすことを表す。この2つの単語は, ուրսուս において持ち上げられるものはただ単に置かれているものだが, ԸՆՈՒՐԸ のそれは落ちてきているものである, という点で異なる。

助 ուրճճ /hiθ/

形 (ʔ) 高い || 基準となる水平面から上への距離が大きい位置にある。「高いところを」という意味での「高く」を表現しようとして ուրճ を副詞用法で用いる

のは誤り。正しくは ԸՆ ՈՒՐճ とする。

名 ուրճ /hif/

名 空, 天空

地上から上を見上げると空が見える。このとき, 実際にはそうではないが, 上空には天井が存在してそこに空が貼りついているようにも見える。このようなイメージをもった「空」が ուրճ である。したがって, ուրճ は平面的である。一方, 地上からかなり高い位置の空間を指すのが ուրսուս である。これから分かるように, ուրճ は ուրսուս の下にある。また, 星は ուրճ にある。

名 ուրճարձտ /hiflon/

名 夜空 || 夜の空。

ուրճ ԸՆՁ ԳՆԱ と同じ意味だが, ուրճարձտ にはその夜空が美しいということがニュアンスとして含まれる。

名 ուրճ /hot/

名 3/10

助 ուրճԱՆԱ /hodem/

動 (a'nがeに) 虚無感を感じさせる || 過去に価値のないことをしてしまった結果, eをつらくさせる。

名 ուրճԱՐԸ /hodim/

名 虚無感, 虚脱感 || 過去に価値のないことをしてしまったことによるつらい感情。

助 ուրճճՅ /hɔrɔpɔs/

動 (aがziから) 消える, 消え去る, 消え失せる, なくなる, 消滅する || 他のものが気づかないうちに ziから消える。

助 ուրճճՅ /hɔlap/

形 (ʔ) アホな, 間抜けな, 馬鹿な

助 ուրճճձ /hɔrɔk/

動 (a'nがeを) ホツとさせる, 気が抜けさせる, 安心させる || eの緊張を解けさせる。

助 ուրճճ /hɔɔ/

動 (a'nがeを) 切なくする, 哀しくする || 何かが周りに存在しないような気分させ, eを悲しませる。

助 ուրճ /hut/

形 (ʔ) 3/10

名 ուրճճ /huɔ/

名 切なさ, 哀しさ || 何かが周りに存在しないような悲しい気分。

## 0-Գ

助 0 /a/

助動 ～は、～が

主語を表す。主題を表すことはない。  
非動詞修飾形の ըօ は /ija/ で発音する。/j/ は緩衝音。

名 0C /at/

名固 0

名 0ԳՐԻԾՕՍՍՅԱԼԻԸ /afriikasəzit/

名固 南アフリカ

固 0ԵԻԾ /ava/

固 あーあ、あらら

自分や周りの人が何かに失敗したときに、  
がっかりする気持ちを込めて言う。

名 0ԵԻՆՄԱԴԻՐՈՂ /avendi/

名固 アヴェンディア

ディカックなしで用いられることも多い上  
に、前に母音で終わる単語が置かれている  
ときに、母音連続を避けるための /l/ が必ず  
挿入されるなど、発音上も表記上もほとん  
ど一般名詞のように扱われる。

縮 0Գ' /aθ/

縮 0ԳԾԳ ՐԳԻ ՔՕԻ

数詞の前に置いて序数を表す。

縮 0Գ' /ar/

縮 0ԵԻՅԳ ՐԳԻ ՔԻԾ

数詞の前に置いて基数を表す。

名 0ՄԱՆԳՐԻԾՕՍ /ameiikas/

名固 アメリカ, 米国

固 0 /a/

固 ああ, あ

驚いたとき, 何かに気づいたとき, 悲しいや  
嬉しいことがあったときなど, 様々な場面  
で条件反射で発する。

名 0ՄԱՆԳՐԻՇՄՍ /azentinas/

名固 アルゼンチン

連 0 /ar/

接連 か, または, もしくは

疑問表現における選択を表す。疑問文もし  
くは間接疑問表現でのみ用いられる。

連 0 /av/

接連 しかし, だが, けれども

助 0 /e/

助動 ～を

目的語を表す。  
非動詞修飾形の ըն は /ije/ で発音する。/j/ は  
緩衝音。

固 0 /e/

固 え, ն

何か言われたことに対して聞き返したいと  
きや, 言われたことに不意をつかれたとき  
に出す。  
文章に表記するときはパデックをつけるこ  
とも多い。

名 0C /et/

名固 0

連 0 /er/

接連 または, もしくは

選言を表す。0 յ 0 ω とだけ書かれている場  
合, S と Z 両方が成立するか, どちらか一方  
のみが成立するかは文脈による。

助特 0 /i/

助名 ～の

連体修飾などを表す。

0 Ր 0 ω と書かれたとき, 考えられる意味は以  
下の4つである。1つ目は, 「Zが所有して  
いるS」で, この「所有」は ծճԸ 的な意味でも  
ծօօօ 的な意味にもなり得る。ծճԸ 的な意味  
の場合は ծճ を使うこともできる。2つ目  
は, 「Zの一部であるS」である。これは  
1つ目の意味とも関連する。3つ目は, Sに  
性質や特性を表す単語が置かれるパターン  
で, Zにおけるその性質を表す。例えば,  
0օծծճԸ Ր 0օնօ は「ペンの長さ」の意味で,  
0նճնօ Ր 0 չճրօ 是「携帯の色」の意味にな  
る。4つ目は, 限定節の動詞が省略されたた  
きにその動詞に係っていた基本助接詞の代  
わりとして見られる。例えば, 0ճճծծ Ր 0նօ  
 で「彼が作った料理」の意味になる。これ  
以外の形の名詞修飾は, 一般助接辞の非動  
詞修飾形を用いる。これについては, 各単  
語の語義欄に記載してある。

名 0C /it/

名固 0

名 0ՐՕԳՐՍ /italis/

名固 イタリア

名 0ՐՄԱԴԻՐՍ /indias/

名固 インド

名 0ՐՄԱԴՆՅԱՆՍ /indəniʒas/

名固 インドネシア

連 0 /o/

接連 と, そして

並列を表す。

名 0ՏՈՒՅԱՐԻՇՐԸՍ /osterelias/

名固 オーストラリア, 豪州

名 **3c** /ɔt/

名固 **3**

間 **390** /ɔla/

間 まあ, とにかく

連 **3** /ɔe/

接連 **かつ, そして**

論理的な連言を表す。

節を繋げるときは **93** を使うのが圧倒的に自然である。ただし、従属節の中で 2 つ以上の節を繋げる場合は **3** を使うこともある。

名 **3c** /ut/

名固 **3**

間 **3** /u/

間 うーん, うーむ, えーと

考え込むときに発する声。

u  
U  
C  
C  
ò  
ò  
o  
o  
ó  
ó  
q  
q  
oo  
oo  
q  
q  
u  
u  
o  
o

O